

# 深谷市民まちづくりアンケート

---

## 調査報告書

令和4年8月

深谷市

# 目次

1. I. アンケート調査結果の概要.....	2
1. アンケート調査の実施方法.....	2
2. アンケート調査結果の信頼度.....	3
3. アンケート調査結果の概要.....	4
4. 市全体、地区別の調査結果の分析.....	8
2. II. アンケート調査結果の詳細.....	17
1. 回答者属性.....	17
2. 深谷市のまちづくりについて.....	18
3. 深谷市の施策について.....	166
4. 自由記入欄（まちづくり全般について）.....	189
3. III. アンケート調査結果の単純集計.....	194
1. 深谷市のまちづくりについて.....	194
2. 深谷市の施策について.....	198
3. 自由記入欄（まちづくり全般について）.....	202
4. 最後に、あなた自身のことについておたずねします。.....	202

# 1. I. アンケート調査結果の概要

## 1. アンケート調査の実施方法

### (1) 目的

「第2次深谷市総合計画・前期基本計画」に基づき、施策を推進するにあたり、「深谷市民まちづくりアンケート」を実施することで、今後のまちづくりの参考にするための、現在の深谷市の姿および市民の意向や市民ニーズを把握することを目的としています。

### (2) アンケートの方法

- ①調査対象：深谷市に居住する18歳以上の市民2,000人を住民基本台帳から無作為抽出しました。
- ②調査方法：アンケート票を郵送により配布・回収しました。
- ③調査期間：令和4年5月9日から同年5月20日に実施しました。

### 注意：

- ◆ 図表の数値は回答率を表しています。
- ◆ 図表の数値は小数点第1位未満を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。
- ◆ 複数回答の設問では、合計が100%を超える場合があります。
- ◆ 「Ⅲ-2 深谷市の施策」について
  - ・ 重要度：「重要である」2点、「まあ重要である」1点、「あまり重要でない」-1点、「まったく重要でない」-2点と重要度に応じて得点を設定し、この得点に各々の回答者数を乗じて総得点を算出した上、その総得点を「わからない」「無回答」を除いた回答者数で除した数値です。数値が大きいほど重要度が高く、小さいほど重要度が低いことを表します。
  - ・ 満足度：「満足である」2点、「まあ満足である」1点、「やや不満である」-1点、「不満である」-2点と満足度に応じて得点を設定し、重要度と同様に算出した数値です。数値が大きいほど満足度が高く、小さいほど満足度が低いことを表します。
- ◆ 調査報告書上の重要度・満足度の値、およびその時系列比較の結果は、小数点第3位を四捨五入した値を記載していますが、時系列比較の計算過程においては、四捨五入を行う前の値を使用しているため、紙面上の計算結果と異なる場合があります。

## 2. アンケート調査結果の信頼度

無作為抽出によるアンケート調査実施にあたり、一般的に統計資料として信頼できる調査結果（信頼度±95%）を確保するために必要な回収票数を、以下の計算式により算出しました。各記号の説明および設定値は下表のとおりです。

### ・計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

### ・各記号の説明と設定値

記号	説明	設定値
n	必要なサンプル数	
N	母数	令和4年4月1日時点の住民基本台帳人口（18歳以上）の総数（142,003人）とする
ε	信頼度の誤差範囲	±5%とする
K(α)	信頼度に基づく定数（※）	信頼度95%設定により、1.96とする
P	母比率	安全性の確保を考慮し、50%と設定する

以上より、必要な回収票数は以下のように算出され、

$$n = \frac{142,003}{\left(\frac{0.05}{1.96}\right)^2 \times \frac{142,003-1}{0.5 \times (1-0.5)} + 1} \approx 383$$

深谷市においては、383票回収すれば信頼度95%±5%の調査結果を得ることが分かります。

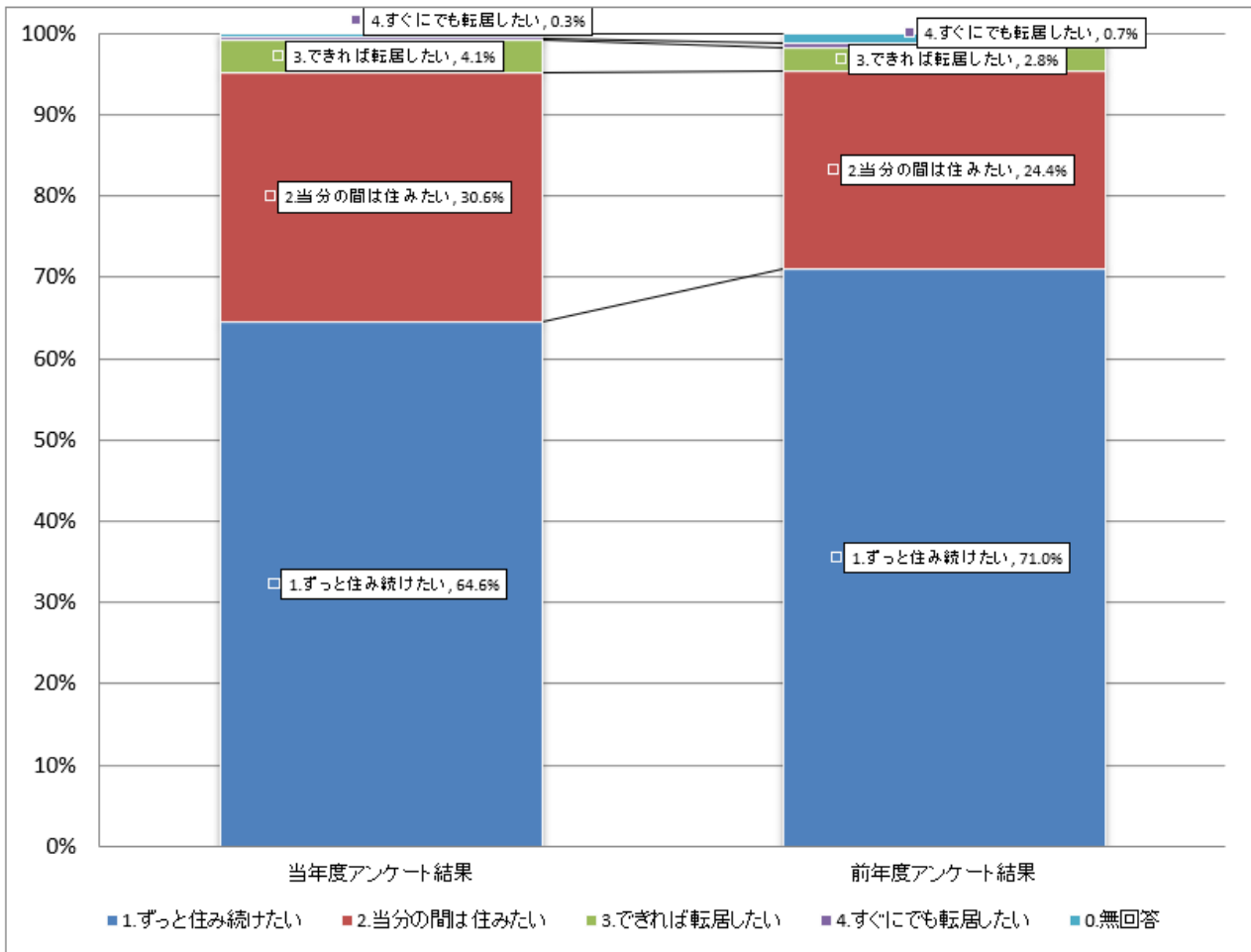
今回の調査では785票の有効回答が回収されたため、調査結果は統計的に信頼できるものと考えられます。

### 3. アンケート調査結果の概要

#### (1) 「深谷市民まちづくりアンケート」について

後期基本計画に基づき、施策を推進するにあたり、市民の市の施策に対する重要度、満足度などを把握するために、令和4年5月9日から同年5月20日までの期間にアンケート調査を実施しました。アンケート調査の対象は無作為に抽出した深谷市在住の満18歳以上の男女2,000人であり、アンケート票の有効回答数は、785人（39.25%）でした。

#### (2) 深谷市への定住意識について

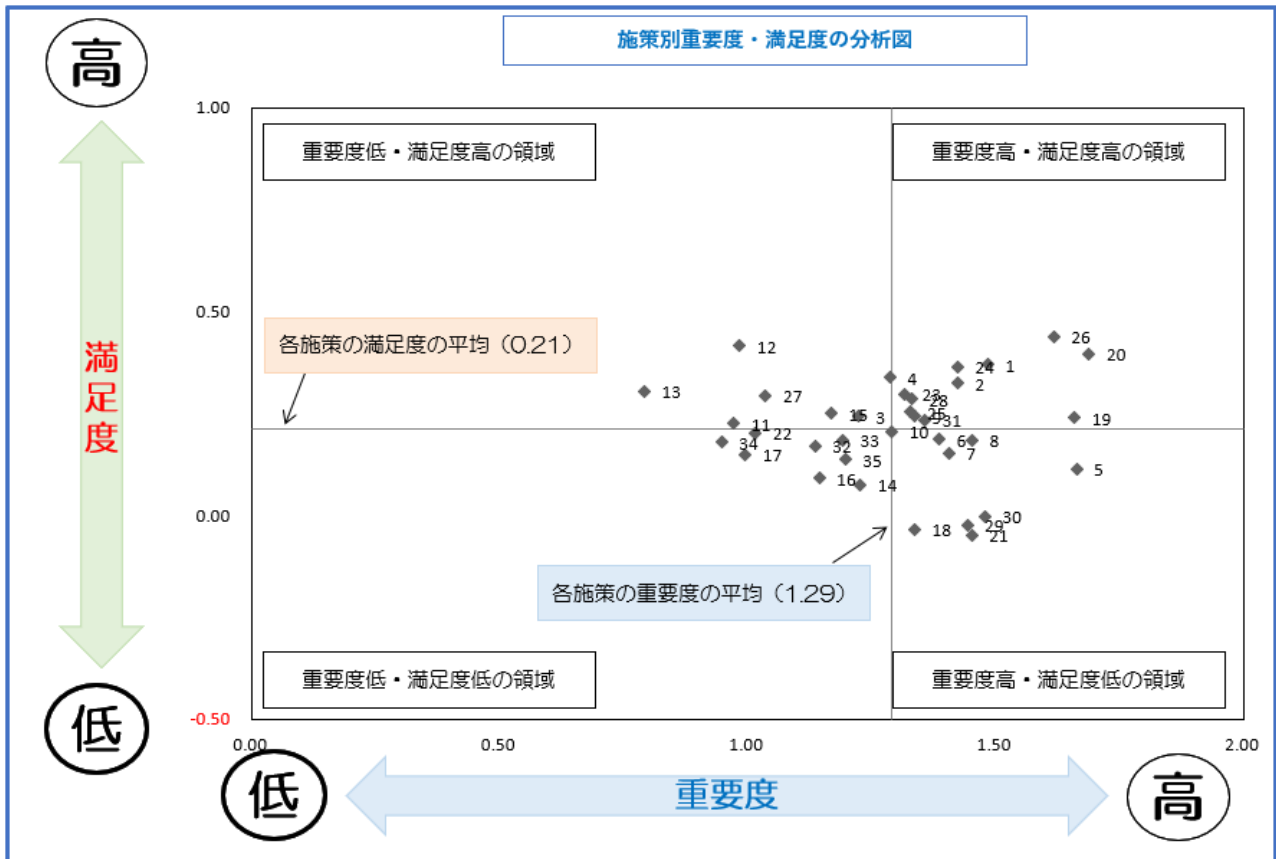


「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合が64.6%、「当分の間は住みたい」と回答した人の割合が30.6%となっています。合計は95.2%と9割を超えており、前年度に引き続き、深谷市民の定住意識が高いことがうかがえます。

### (3) 深谷市の施策の重要度・満足度について

深谷市が実施している施策について、重要度・満足度に関する調査を行いました。

#### ① 施策別重要度・満足度の分布状況



【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
4	健康づくりの推進	2	保育サービスの充実
11	生涯学習の推進	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	19	災害に強い防災体制の推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	20	消防・救急体制の充実
15	農畜産物の販売流通体制の充実	23	自然・生活環境の保全
27	自然・文化を生かした景観形成	24	環境衛生の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
		31	人権・個性が尊重される社会の実現
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	5	地域医療体制の充実
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	6	地域福祉の推進
16	商工業の振興	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	8	障害者福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	18	就労環境の整備
32	男女共同参画の実現	21	防犯・空き家対策の推進
33	情報発信・共有の推進	29	道路・交通環境整備の推進
34	市民との協働・交流の推進	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
35	行財政運営の推進		

全施策における重要度・満足度の平均値を基準とし、重要度・満足度を＜重要度高・満足度高＞、＜重要度高・満足度低＞、＜重要度低・満足度高＞、＜重要度低・満足度低＞の4つに分類し、各施策の重要度および満足度の現状値を相対的に評価しました。

#### ＜重要度高・満足度高＞

重要度が高く、満足度も高い領域には「子育て支援の充実」、「保育サービスの充実」、「生きる力」を育む学校教育の推進、「災害に強い防災体制の推進」、「消防・救急体制の充実」、「自然・生活環境の保全」、「環境衛生の推進」、「良好な市街地・住環境形成の推進」、「水の安定供給と下水処理の適正化」、「治水対策の推進」、「人権・個性が尊重される社会の実現」などの施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点施策として位置づけ、取り組んでいく必要がある施策といえます。

#### ＜重要度高・満足度低＞

重要度が高く、満足度が低い領域には、「地域医療体制の充実」、「地域福祉の推進」、「高齢者福祉の推進」、「障害者福祉の推進」、「就労環境の整備」、「防犯・空き家対策の推進」、「道路・交通環境整備の推進」、「公共交通の維持確保と交通安全の推進」などの施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズがあるにもかかわらず、行政としてその期待に応えられていないことがうかがえます。これらの施策については、施策のあり方を見直す必要性が高い施策であるといえます。

#### ＜重要度低・満足度高＞

重要度が低く、満足度が高い領域には、「青少年の健全育成の推進」、「健康づくりの推進」、「生涯学習の推進」、「郷土の歴史・文化の継承と活用」、「スポーツ・レクリエーションの推進」、「農畜産物の販売流通体制の充実」、「自然・文化を生かした景観形成」などの施策が該当します。

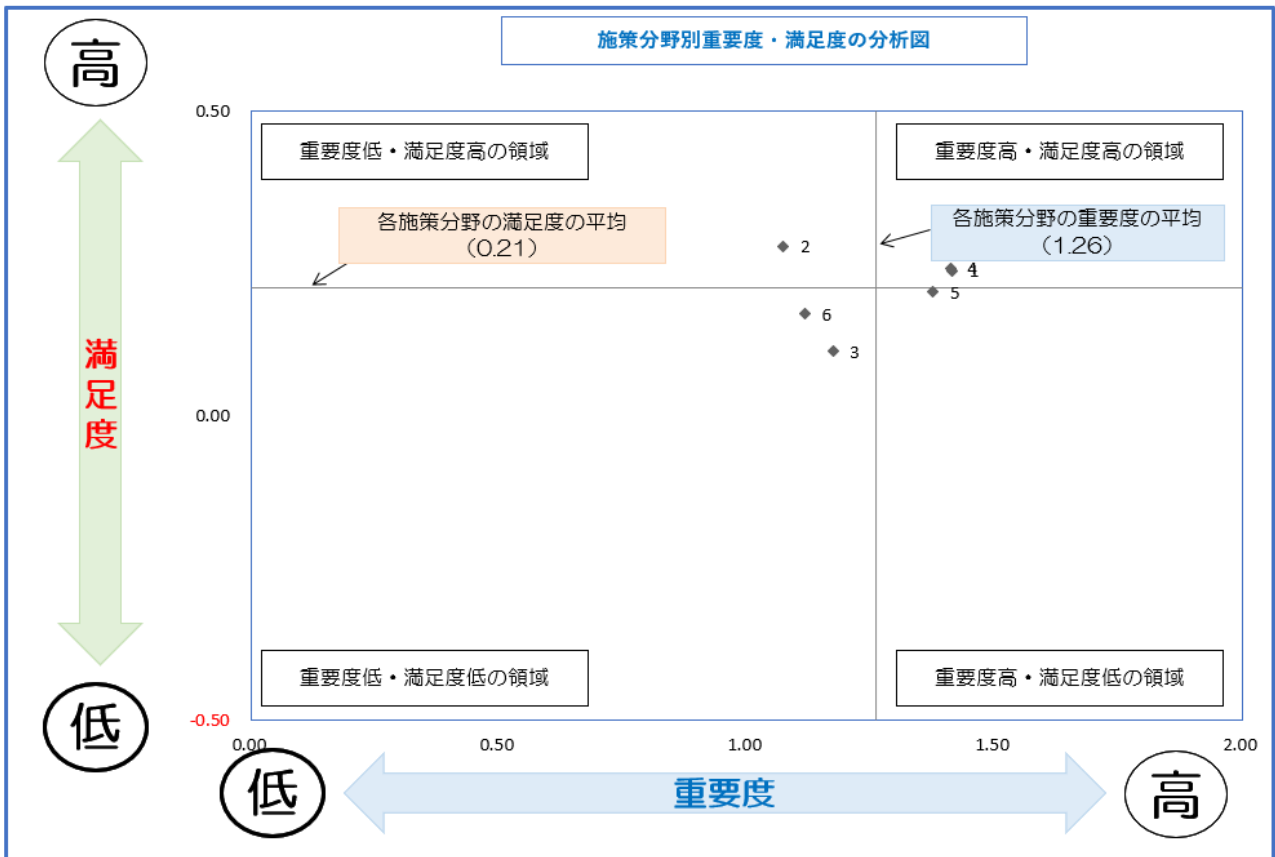
この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性もあり、行政サービスの提供が過剰となっていないか確認する必要があります。

#### ＜重要度低・満足度低＞

重要度が低く、満足度も低い領域には、「家庭・地域・学校の連携による教育力の向上」、「農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「商工業の振興」、「観光資源の整備と活用」、「地域コミュニティの推進」、「男女共同参画の実現」、「情報発信・共有の推進」、「市民との協働・交流の推進」、「行財政運営の推進」などの施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、住民の関心度が低い施策であり、そもそも行政で対応すべきであるのかについて検討する必要があります。

② 施策分野別重要度・満足度の分布状況



【重要度・満足度マトリックス表】

<重要度低・満足度高>		<重要度高・満足度高>	
2	教育・文化	1	子育て・保健・福祉
		4	暮らし・環境
<重要度低・満足度低>		<重要度高・満足度低>	
3	産業振興	5	都市・生活基礎
6	協働・行政経営		

全施策分野における重要度・満足度の平均値を基準とし、重要度・満足度を<重要度高・満足度高>、<重要度高・満足度低>、<重要度低・満足度高>、<重要度低・満足度低>の4つに分類し、各施策分野の重要度および満足度の現状値を相対的に評価しました。

<重要度高・満足度高>に分類される施策分野は、「1. 子育て・保健・福祉」、「4. 暮らし・環境」、の2分野であり、<重要度高・満足度低>に分類される施策分野は、「5. 都市・生活基礎」の1分野となっています。

また、<重要度低・満足度高>に分類される施策分野は、「2. 教育・文化」の1分野であり、<重要度低・満足度低>に分類される施策分野は、「3. 産業振興」、「6. 協働・行政経営」の2分野となっています。

今年度のアンケートで<重要度高・満足度低>に分類された施策は、他の施策と比較し、市民ニーズがあるにもかかわらず、行政としてその期待に応えられていないことがうかがえます。これらの施策については、施策のあり方を見直す必要性が高い施策であるといえます。



#### 4. 市全体、地区別の調査結果の分析

アンケート調査の結果を分析し、その分析結果を市全体、地区ごとに分類すると、以下のとおりです。

##### (1) 調査からわかったこと（市全体）

###### ➤ 市への定住意識

- ・「令和 3 年度深谷市民まちづくりアンケート（以下、「前年度アンケート」）」の結果から大きな変化は見られず、高い割合を維持しています。
- ・「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合と「当分の間は住みたい」と回答した人の割合の合計は、ほとんどの地区で 9 割前後と高い数値であり、現時点において、深谷市外に転居を希望している人は少数であることがうかがえます。

###### ➤ 子育て・保健・福祉について

- ・地域で子どもを育む活動に「参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合の合計は 2 割未満となっています。
- ・小学生以下（小学校 6 年生まで）のお子さんを持つ保護者の方で、仕事と子育てを「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合の合計は 8 割近くとなっているものの、「前年度アンケート」の結果からは微減していることがわかります。
- ・中学生以下（中学 3 年生まで）のお子さんを持つ保護者の方で、子育てのしやすいまちと回答した人の割合は 8 割近くとなっているものの、「前年度アンケート」の結果からは微減していることがわかります。
- ・普段の生活で健康づくり（運動や歩くことなど）に「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合の合計は約 6 割となり、「前年度アンケート」の結果からは微減していることがわかります。
- ・定期的に健康診断や人間ドック、がん検診のいずれかを受けていると回答した人の割合は 8 割近くとなっており、「前年度アンケート」の結果から大きな変化はありませんでした。
- ・7 割を超える市民に、かかりつけ医がいることがうかがえます。その割合は「前年度アンケート」の結果から大きな変化はありませんでした。
- ・健康的な食生活に「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合の合計は 8 割を超えており、「前年度アンケート」の結果から大きな変化はありませんでした。

- ・ 日常生活で困ったことがあった時に、手助けしてくれる自治会や民生委員などがあると回答した人の割合は、半数を切る結果となっており、「前年度アンケート」の結果からは微減していることがわかります。

➤ 教育・文化について

- ・ 生涯学習を「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合の合計は約 3 割となり、「前年度アンケート」からは減少していることがわかります。
- ・ 芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会が「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合の合計は、2 割未満となっています。コロナ渦とはいえ、「前年アンケート」の結果から増加していることがわかります。
- ・ スポーツやレクリエーションを「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合の合計は、半数以上という結果となり、「前年度アンケート」から微増していることがわかります。

➤ 産業振興について

- ・ 市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合は約 6 割となっており、「前年度アンケート」と比較すると微増しています。
- ・ 深谷産の農畜産物を購入することを「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合の合計は約 6 割であり、「前年度アンケート」と比較すると微減しています。
- ・ 自身または家族の仕事と生活のバランスが「とても取れている」または「やや取れている」と回答した人の割合の合計は 7 割程度となり、「前年度アンケート」と比較すると微減しています。

➤ 暮らし・環境について

- ・ ハザードマップで災害の危険性を「確認した」と回答した人の割合は、約 7 割以上とはなっているものの、約 3 割の人が「確認していない」という結果となっています。
- ・ 自宅に災害に対する備えが「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合の合計は約 6 割以上となり、「前年度アンケート」と比較すると大きく増加しています。
- ・ 地震発生時の避難所・避難場所を、市民の約 2 割以上が「知らない」と回答しており、「前年度アンケート」と比較すると減少しています。

- ・ 1年間で消費者トラブルに巻きこまれた人の割合は、「前年度アンケート」と比較すると微減しており、ごくわずかであることがうかがえます。
- ・ 6割以上の市民が、日ごろ防犯対策を「十分とっている」または「ある程度はとっている」と回答しており、「前年度アンケート」と比較すると大きな変化はありませんでした。
- ・ 地域活動（自治会や町内会での活動など）へ「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合の合計は、約4割となっており、「前年度アンケート」と比較すると激減していることがわかります。
- ・ 環境に配慮した取組（省エネ、自然や川の保全活動など）を、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合の合計は、「前年度アンケート」と比較して微増しています。また、環境問題（地球温暖化問題、エネルギー問題、生態系の問題など）を「以前より意識するようになった」と回答した人の割合は約6割未満で、「前年度アンケート」と比較すると大きな変化はありませんでした。
- ・ 環境問題を以前より意識するようになったと回答した人の割合は半数を超えているものの、「前年度アンケート」と比較すると大きな変化はありませんでした。
- ・ 8割以上の市民が、普段からごみの減量化やリサイクルを心がけていることがうかがえますが、「前年度アンケート」と比較すると微減していることがわかります。

#### ➤ 都市・生活基盤について

- ・ 市内の住宅、商業、工業、農業、自然などの土地利用において、相互に調和がとれていると回答した人の割合は約6割となっており、「前年度アンケート」と比較すると微増していることがわかります。
- ・ 住まい周辺の住環境に「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合の合計は約7割となり、「前年度アンケート」と比較して大きな変化はありませんでした。
- ・ 約8割の市民が、身近に自然に親しむことができる環境があると回答していることがうかがえ、「前年度アンケート」と比較すると激増していることがわかります。
- ・ 市内に魅力的なまち並みや景観が「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は半数以上となっており、「前年度アンケート」と比較すると微増していることがわかります。

- ・ 8割近くの市民が、水害に対して安心した生活を送ることができていると感じており、「前年度アンケート」の結果から増加していることがわかります。
- ・ 約半数の市民が、市内の道路を利用する際に不便を感じると回答していることがわかります。不便を感じないと回答している方が「前年度アンケート」と比較すると微減しているものの、公共交通機関の利便性（時間・本数・路線・サービス）についても、約半数が不便を感じると回答しており、道路と公共交通機関のどちらにおいても、多くの人が不便を感じていることがうかがえます。

➤ 協働・行政経営について

- ・ 深谷市が人権と個性の尊重されているまちであると感じている人は、約6割で「前年度アンケート」と比較すると変化は見られませんでした。
- ・ この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると回答した人の割合は、1割未満と少なく、「前年度アンケート」と比較すると変化は見られませんでした。
- ・ お互いの人権について「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合の合計は6割を超えているものの、「前年度アンケート」と比較すると、微減しています。
- ・ 市内で、外国人とのトラブルなどを「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合の合計は約1割と少ないものの、「前年度アンケート」と比較すると、微増しています。
- ・ 性別に関係なく、家庭、地域、職場で対等な役割分担がされていると思うと回答した人の割合の合計は、約6割となり、「前年度アンケート」と比較すると、微増しています。
- ・ 男女共同参画について「以前より意識するようになった」と回答した人の割合は、約2割となっており、「前年度アンケート」の結果から微減しています。
- ・ 8割の市民が、配偶者などによる「電話、メール等の細かい監視」「生活費を渡さない」などの行為が暴力であると思っている反面、約1割の人が「暴力にあたるとは思わない」という結果となっています。
- ・ 約7割近くの市民が、市や財政状況や行政サービス、まちづくりのほか、行事・イベント等に興味や関心を持っていると回答しており、「前年度アンケート」の結果から微増しています。
- ・ 約8割を超える市民が、市役所における窓口対応に満足していると回答しています。

- ・市から得られる情報はその公表手段（ホームページや広報など）も含めて「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合の合計は約8割近くとなり、「前年度アンケート」と比較して、激増しています。
- ・約6割近くの市民が、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決すること（協働のまちづくり）ができていると回答しており、「前年度アンケート」と比較して、激増しています。
- ・市民活動に興味「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合の合計は、約3割となり、「前年度アンケート」と比較して変化は見られませんでした。
- ・市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを「知っている」と回答した人の割合は5割未満となっており、「前年度アンケート」と比較して、激減しており、また、性別や年代によって差があることがうかがえます。
- ・約6割以上の市民が、花と緑をいかしたまちづくり活動について「興味がある」と回答しています。「参加したい」と回答した人の割合については「前年度アンケート」と比較して激減しています。

## （2）調査からわかったこと（地区別）

### ➤ 深谷地区

- ・日常生活で困ったことがあった時に、手助けしてくれる人（民生委員・児童委員や自治会など）がいると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・地域活動（自治会や町内会での活動など）へ参加していると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・この1年間に芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会があると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。

### ➤ 藤沢地区

- ・食材等の購入の際に、深谷産の農畜産物を購入することを心掛けていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・環境問題（地球温暖化問題、エネルギー問題、生態系の問題など）を以前より意識するようになったと回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・性別に関係なく、家庭、地域、職場で均等な役割分担がされていると思うと回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

- ・ 普段からごみの減量化やリサイクルを心がけていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 幡羅地区

- ・ 小学生以下（小学校6年生まで）のお子さんを持つ保護者で、仕事と子育てを両立できていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・ 市内の住宅、商業、工業、農業、自然などの土地利用において、相互に調和がとれていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 明戸地区

- ・ この1年間に芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会があったと回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・ スポーツやレクリエーションを行っているという回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・ 地域活動（自治会での活動など）へ参加していると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・ 市内の住宅、商業、工業、農業、自然などの土地利用において、相互に調和がとれていると思うと回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・ 身近に、自然に親しむことができる環境があると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 大寄地区

- ・ 日常生活で困ったことがあった時に、手助けしてくれる人（民生委員・児童委員や自治会など）がいると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・ 市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目にすることがあると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・ ハザードマップで自宅等の災害の危険性（自宅等の浸水想定が地震時の揺れやすさなど）について確認したと回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・ 市内の道路を普段利用する際に、特に不便を感じることはないという回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 八基地区

- ・ハザードマップで自宅等の災害の危険性（自宅等の浸水想定が地震時の揺れやすさなど）について確認したと回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・地震発生時の避難所・避難場所を知っていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・市内の道路を普段利用する際に、特に不便を感じるがあると回答した市民の割合が低いことがうかがえます。
- ・市内において、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決すること（協働のまちづくり）ができていると思うと回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・健康的な食生活に気をつけていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。

➤ 豊里地区

- ・ご自身またはご家族の仕事と生活のバランスは取れていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・地震発生時の避難所・避難場所を知っていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・周辺の住環境に満足していると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・市内に魅力的なまち並みや景観があると思うと回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・水害に対して安心した生活を送ることができると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。

➤ 上柴地区

- ・ご自身またはご家族の仕事と生活のバランスは取れていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・お住まい周辺の住環境に満足していると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 南地区

- ・ご自身またはご家族の仕事と生活のバランスは取れていると回答した市民の割合が高いことがうかがえます。
- ・ハザードマップで自宅等の災害の危険性（自宅等の浸水想定が地震時の揺れやすさなど）について確認したと回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・地震発生時の避難所・避難場所を知っていると回答した市民の割合が高いことがうかがえます。
- ・市や財政状況や行政サービス、まちづくりのほか、行事・イベント等に興味や関心を持っていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・市民活動（NPO 団体での活動やボランティア活動など）の中で、興味のある活動があると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

➤ 岡部地区

- ・深谷市が人権と個性の尊重されているまちであると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・スポーツやレクリエーションを行っているという回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。

➤ 川本地区

- ・性別に関係なく、家庭、地域、職場で均等な役割分担がされていると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・市内において、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決すること（協働のまちづくり）ができていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。
- ・市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを知っていると回答した市民の割合が相対的に低いことがうかがえます。

➤ 花園地区

- ・ご自宅に災害に対する備え（備蓄品など）はあると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。
- ・市内に魅力的なまち並みや景観があると回答した市民の割合が相対的に高いこ



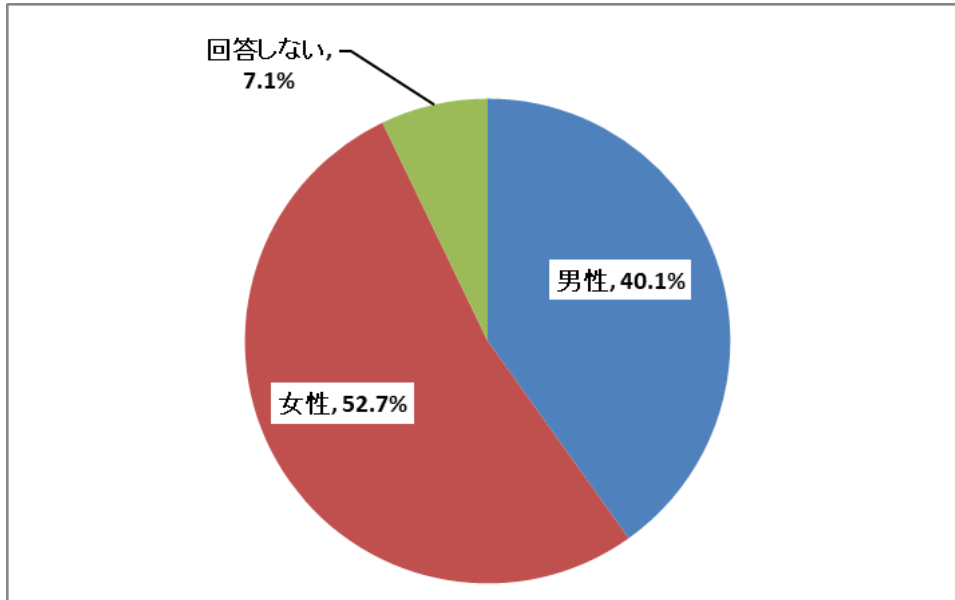
とがうかがえます。

- ・ 市役所における窓口対応について満足であると回答した市民の割合が相対的に高いことがうかがえます。

## 2. II. アンケート調査結果の詳細

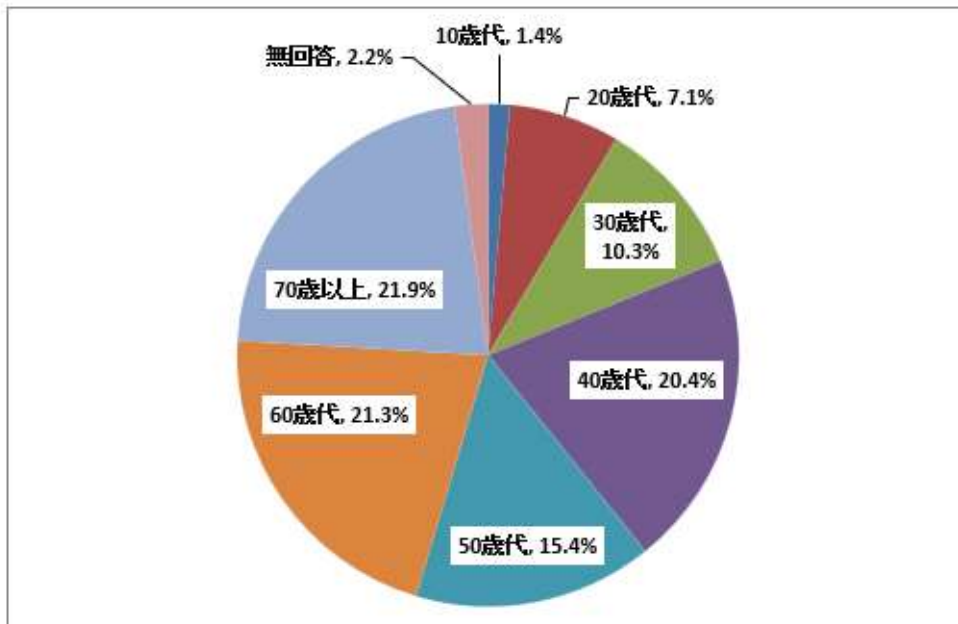
### 1. 回答者属性

#### (1) 性別



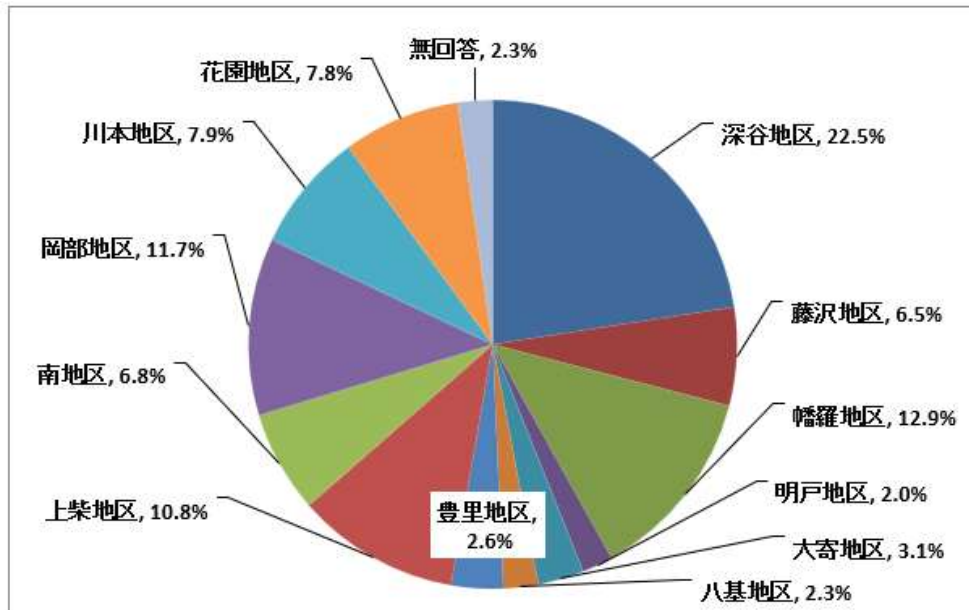
男性が 40.1%、女性が 52.7%と、回答者は女性の割合が多くなっています。

#### (2) 年齢



年齢では、70歳以上が最も多く、21.9%となっています。次いで、60歳代 21.3%、40歳代 20.4%、50歳代 15.4%となっており、最も少ないのは10歳代で1.4%となっています。

### (3) 居住地区

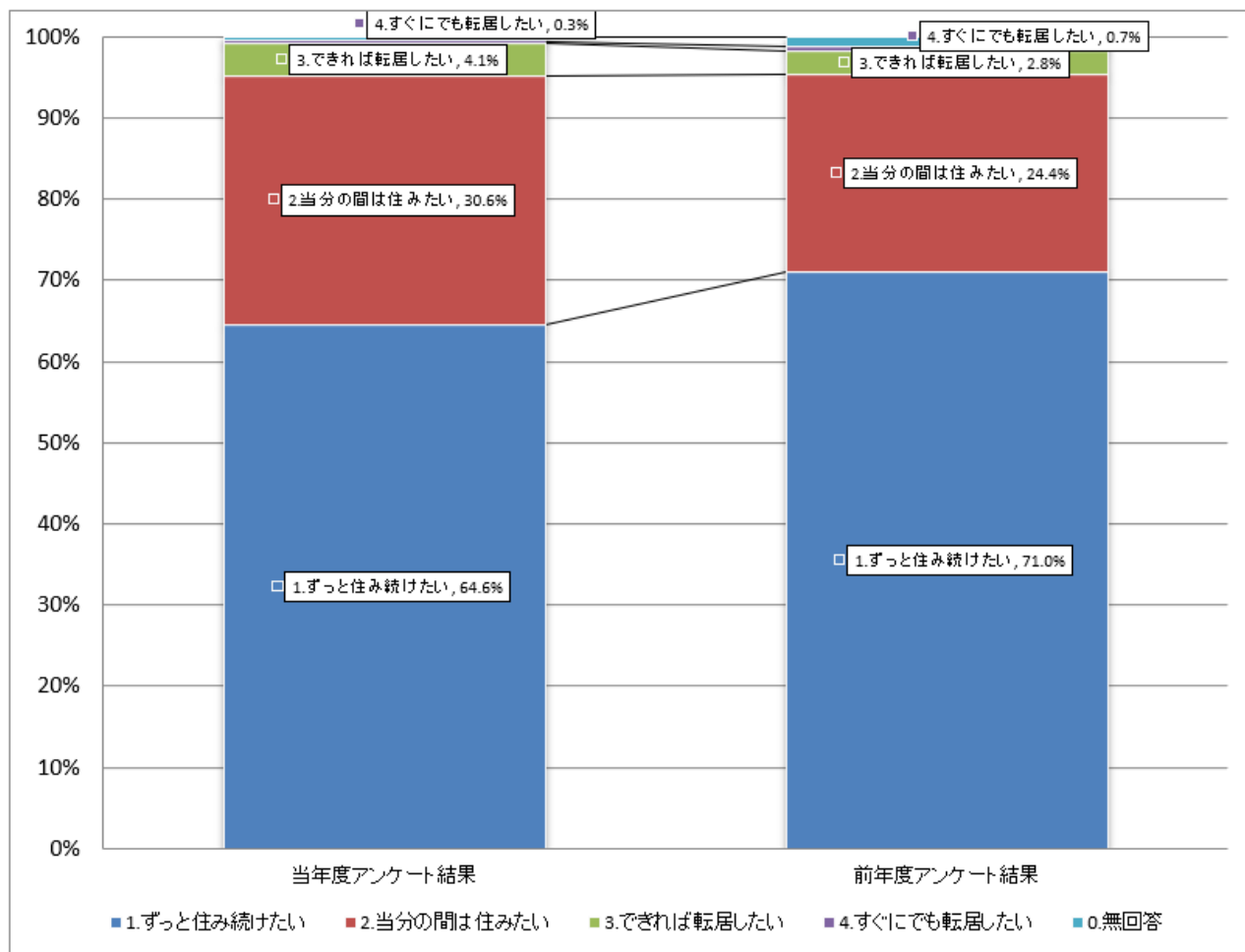


深谷地区が最も多く 22.5%となっています。次いで、幡羅地区で 12.9%、岡部地区で 11.7%となっています。最も少ないのは明戸地区であり、2.0%となっています。

## 2. 深谷市のまちづくりについて

(1) 深谷市のまち全体の印象について (1. 問1)

これからもずっと深谷市に住み続けたいと思いますか。

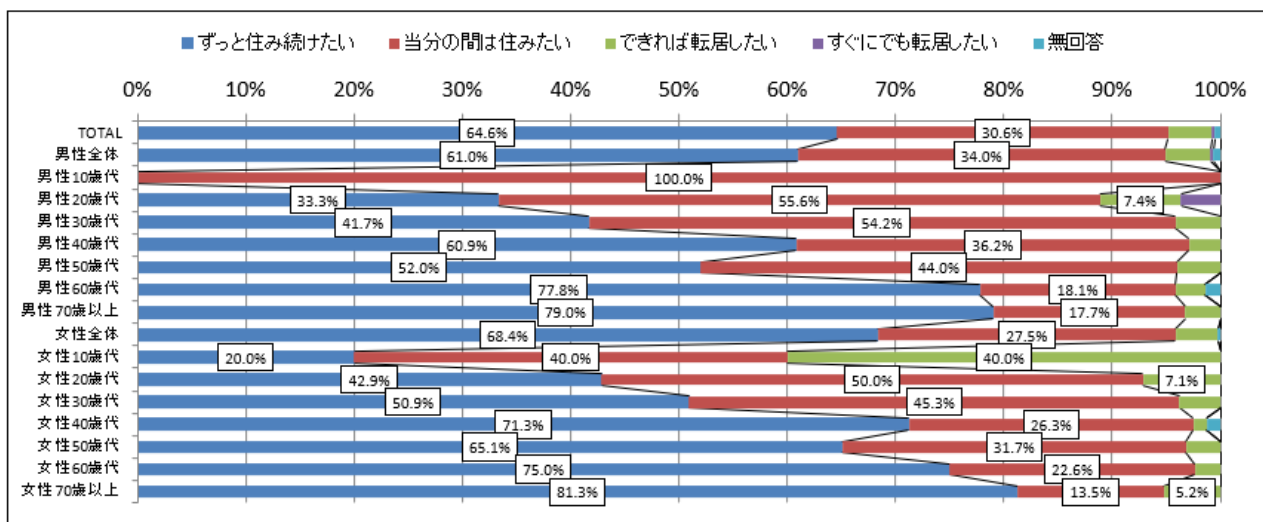


「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合が 64.6%、「当分の間は住みたい」と回答した人の割合が 30.6%となっており、2つの合計は 95.2%と 9 割を超えていることから、深谷市民は定住意識が高いことがうかがえます。

また、前年度アンケートの結果は、「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住みたい」と回答した人の割合は 95.4%であり、前年度アンケートと比較して、ほぼ変動はありませんでした。

母集団		ずっと住み続けたい	当分の間は住みたい	できれば転居したい	すぐにも転居したい	無回答	合計
TOTAL	785	64.6%	30.6%	4.1%	0.3%	0.5%	100.0%
男性全体	315	61.0%	34.0%	4.1%	0.3%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	33.3%	55.6%	7.4%	3.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	41.7%	54.2%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	60.9%	36.2%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	52.0%	44.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	77.8%	18.1%	2.8%	0.0%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	79.0%	17.7%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	68.4%	27.5%	3.9%	0.0%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	50.9%	45.3%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	71.3%	26.3%	1.3%	0.0%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	65.1%	31.7%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	75.0%	22.6%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	81.3%	13.5%	5.2%	0.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	58.8%	37.3%	3.4%	0.0%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	82.4%	13.7%	3.9%	0.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	61.4%	34.7%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	70.8%	12.5%	12.5%	4.2%	0.0%	100.0%
八基地区	18	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	63.0%	29.6%	7.4%	0.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	67.1%	30.6%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%
南地区	53	71.7%	18.9%	9.4%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	60.9%	34.8%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
川本地区	62	69.4%	25.8%	1.6%	0.0%	3.2%	100.0%
花園地区	61	68.9%	29.5%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	44.4%	38.9%	11.1%	0.0%	5.6%	100.0%

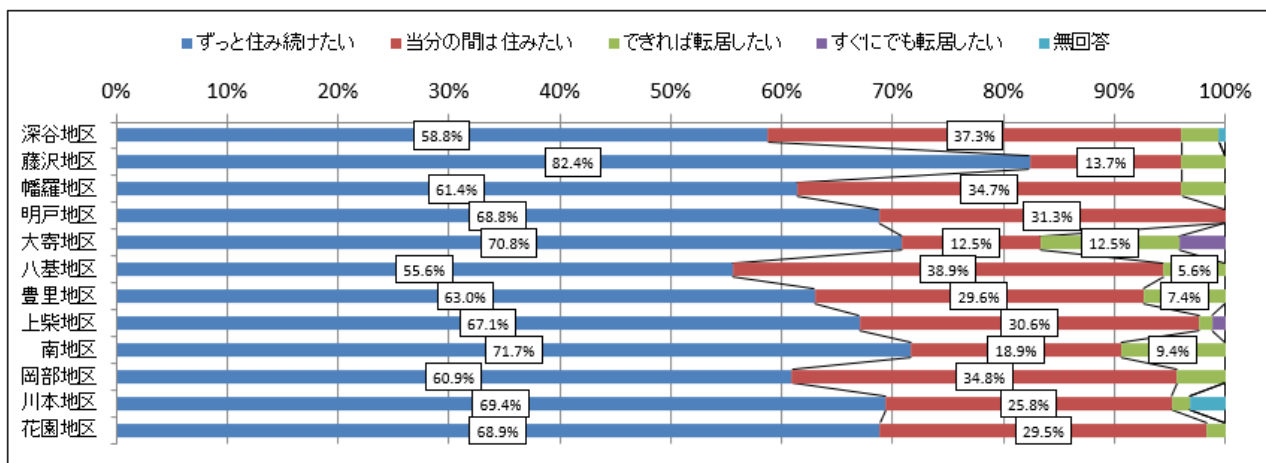
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、男性が 61.0% であるのに対し、女性は 68.4% となっています。男女ともに多くの市民が、住み続けたいと考えていることがうかがえます。

また、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合が最も少ない世代は男性、女性ともに 10 歳代（男性 0.0%、女性 20.0%）であり、一方で最も多い世代は、男性、女性ともに 70 歳以上（男性 79.0%、女性 81.3%）となっています。

## ➤ 地区別



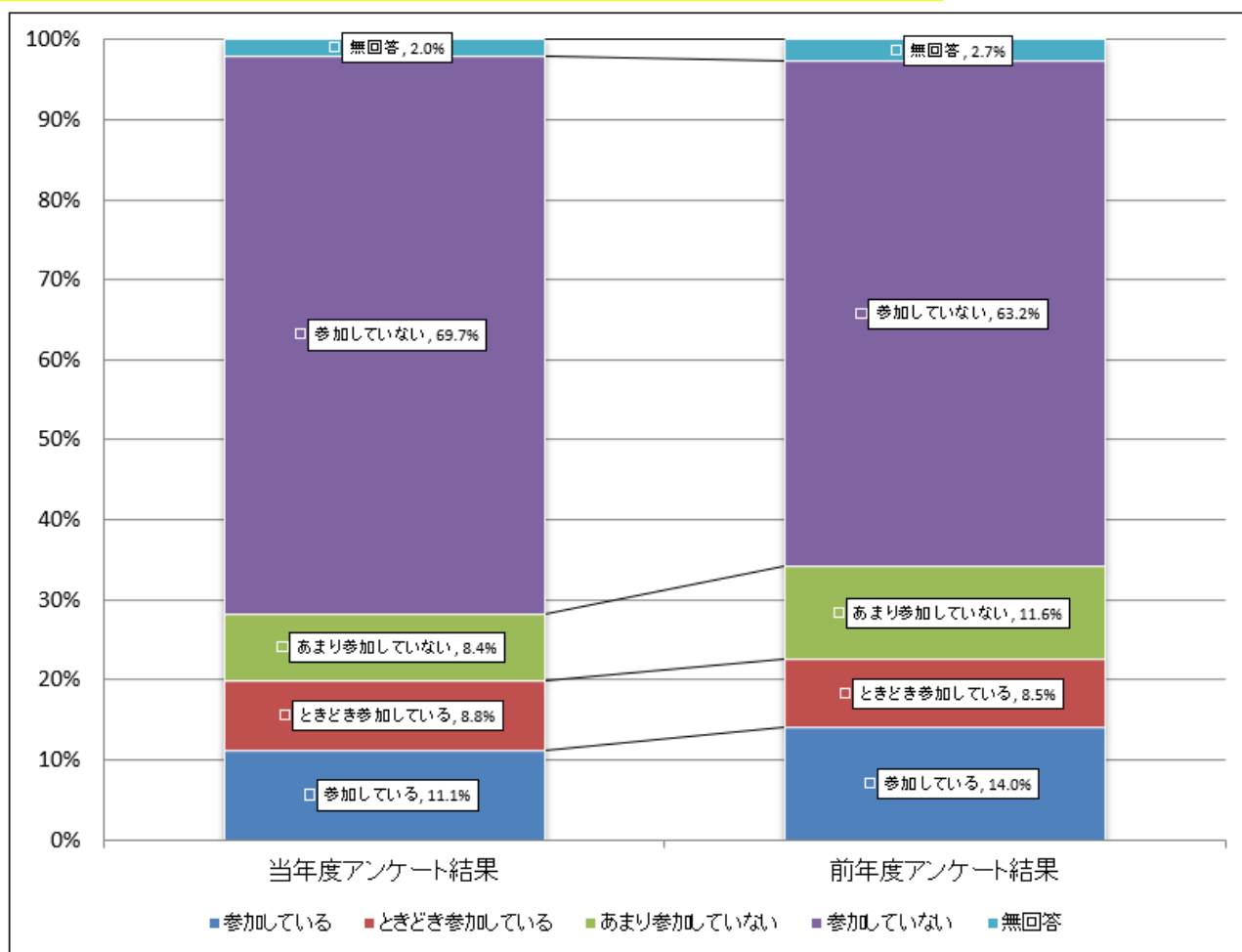
地区別にみると、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は、八基地区においては 55.6% と低い数値になっている一方で、藤沢地区においては 82.4% と高い数値になっています。地域によって意識に差があることがわかります。

ただし、「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合と「当分の間は住みたい」と回答した人の割合の合計はすべての地区で 8 割以上と高い数値であり、現時点において、深谷市外に転居を希望している人は少ないことがうかがえます。

## (2) 子育て・保健・福祉について

### ① 子育てについて (2. 問1~3)

地域で子どもを育む活動に参加していますか。(例: ボランティア活動、スポーツの指導、子ども会やPTA活動、青少年相談員やボーイスカウト等の活動など)



「参加していない」と回答した人の割合が 69.7%と最も多く、次いで、「参加している」と回答した人の割合が 11.1%、「ときどき参加している」と回答した人の割合が 8.8%、「あまり参加していない」と回答した人の割合は 8.4%となっています。

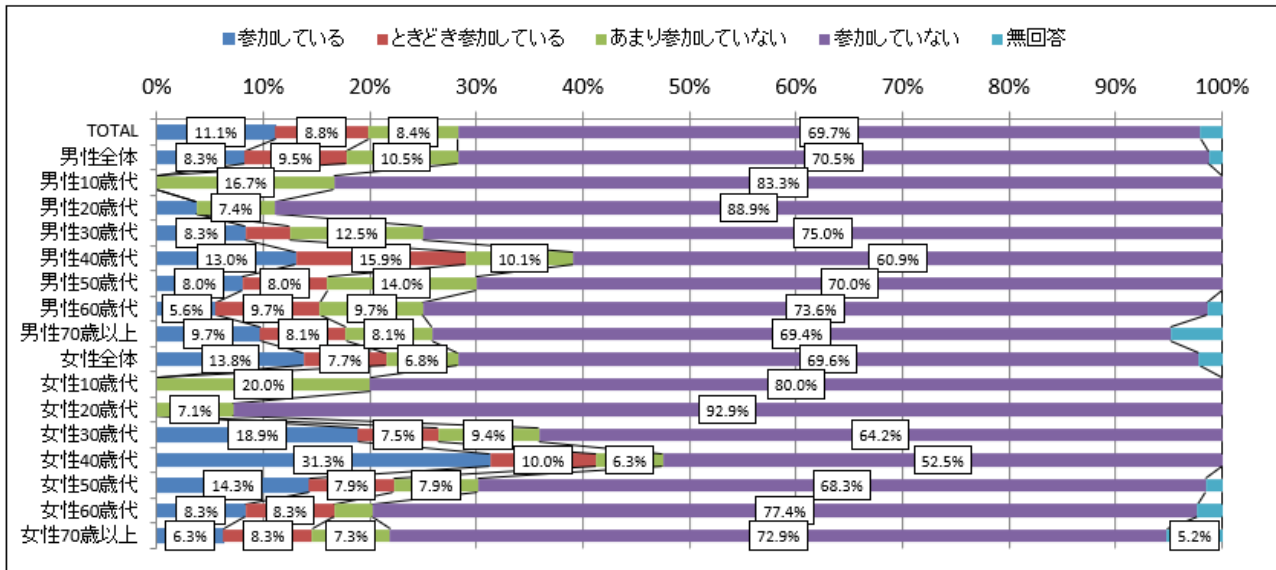
「参加している」「ときどき参加している」と回答した人の割合の合計は 19.9%であり、活動に参加している市民は 2 割にも満たない状況です。

また、前年度アンケートの結果は、「参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合は 22.5%であり、前年度アンケートと比較して、微減となりました。「参加していない」または「あまり参加していない」と回答した人の割合が前年度に比べ、3.3%増加という結果となっています。

母集団		参加している	参加している ときどき	参加していない あまり	参加していない	無回答	合計
TOTAL	785	11.1%	8.8%	8.4%	69.7%	2.0%	100.0%
男性全体	315	8.3%	9.5%	10.5%	70.5%	1.3%	100.0%
男性 10 歳代	6	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
男性 20 歳代	27	3.7%	0.0%	7.4%	88.9%	0.0%	100.0%
男性 30 歳代	24	8.3%	4.2%	12.5%	75.0%	0.0%	100.0%
男性 40 歳代	69	13.0%	15.9%	10.1%	60.9%	0.0%	100.0%
男性 50 歳代	50	8.0%	8.0%	14.0%	70.0%	0.0%	100.0%
男性 60 歳代	72	5.6%	9.7%	9.7%	73.6%	1.4%	100.0%
男性 70 歳以上	62	9.7%	8.1%	8.1%	69.4%	4.8%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	13.8%	7.7%	6.8%	69.6%	2.2%	100.0%
女性 10 歳代	5	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
女性 20 歳代	28	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%	100.0%
女性 30 歳代	53	18.9%	7.5%	9.4%	64.2%	0.0%	100.0%
女性 40 歳代	80	31.3%	10.0%	6.3%	52.5%	0.0%	100.0%
女性 50 歳代	63	14.3%	7.9%	7.9%	68.3%	1.6%	100.0%
女性 60 歳代	84	8.3%	8.3%	3.6%	77.4%	2.4%	100.0%
女性 70 歳以上	96	6.3%	8.3%	7.3%	72.9%	5.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	8.5%	8.5%	5.6%	73.4%	4.0%	100.0%
藤沢地区	51	7.8%	13.7%	11.8%	60.8%	5.9%	100.0%
幡羅地区	101	11.9%	10.9%	5.9%	71.3%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	31.3%	18.8%	6.3%	43.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	16.7%	4.2%	4.2%	70.8%	4.2%	100.0%
八基地区	18	22.2%	0.0%	11.1%	61.1%	5.6%	100.0%
豊里地区	27	7.4%	11.1%	11.1%	70.4%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	11.8%	9.4%	9.4%	67.1%	2.4%	100.0%
南地区	53	15.1%	11.3%	3.8%	69.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	7.6%	7.6%	13.0%	70.7%	1.1%	100.0%
川本地区	62	12.9%	4.8%	11.3%	69.4%	1.6%	100.0%
花園地区	61	13.1%	6.6%	9.8%	70.5%	0.0%	100.0%
無回答	18	0.0%	5.6%	11.1%	83.3%	0.0%	100.0%



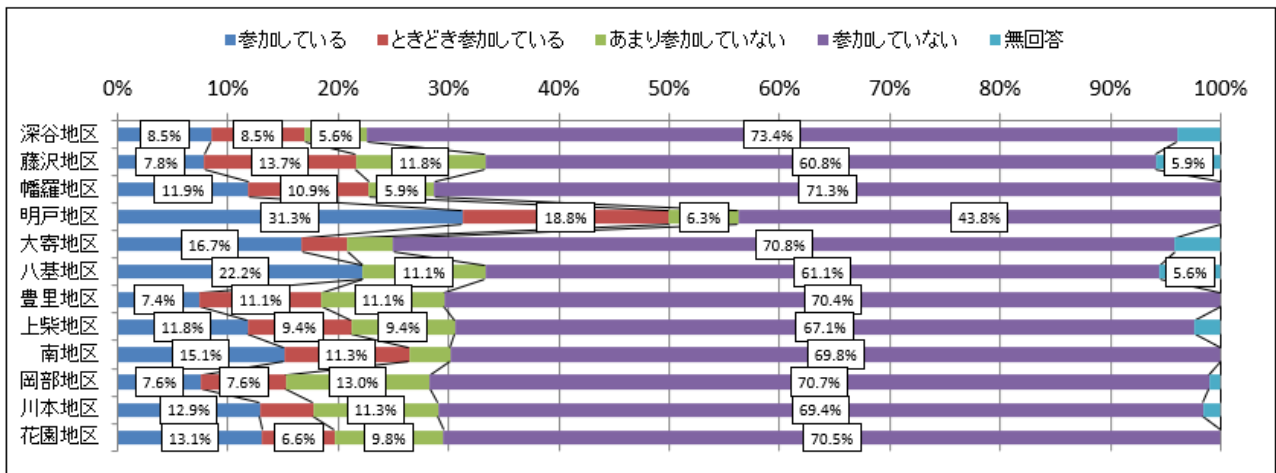
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合は、男性が17.8%、女性は21.5%となっています。このことから、性別によつての活動への参加率は女性が高いことがわかります。

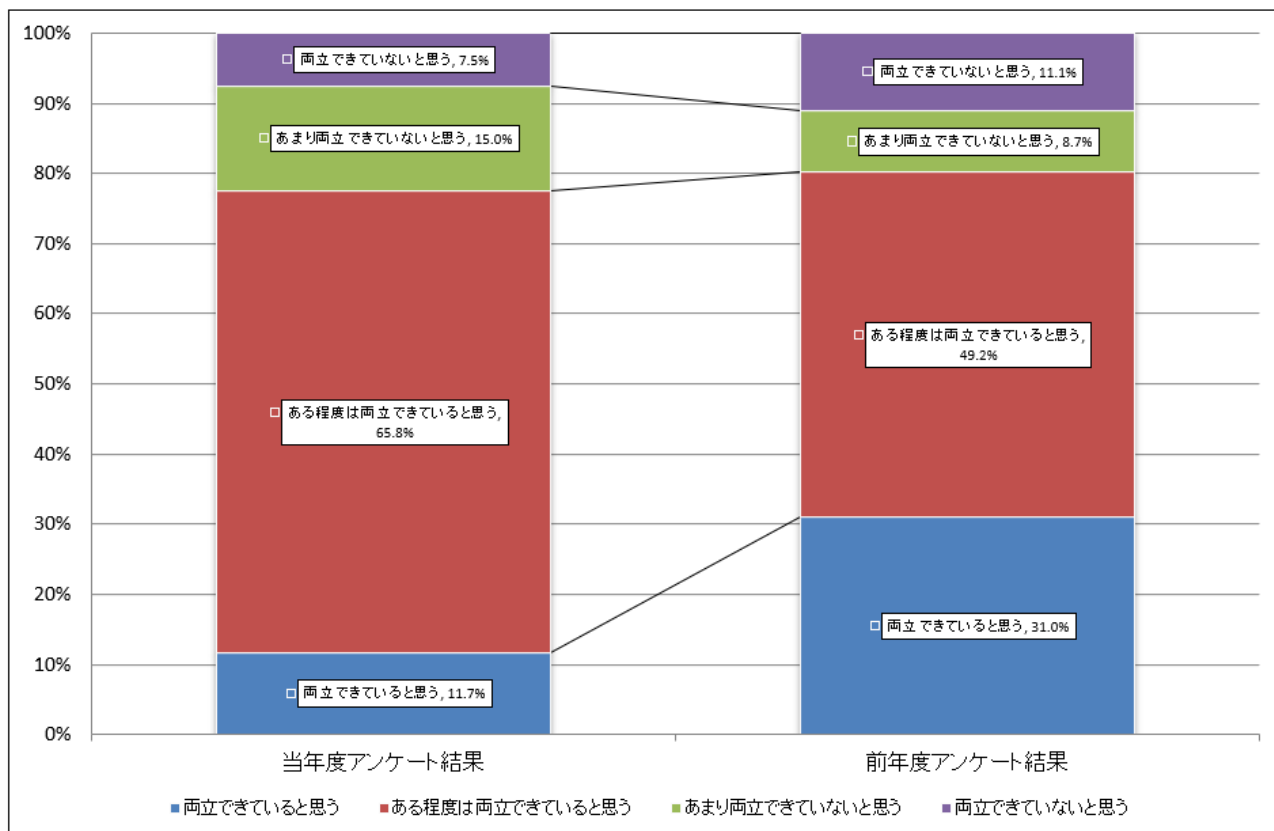
また、「参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は10歳代（男性0.0%）女性は10歳代・20歳代（女性0.0%）でした。一方で、最も多い世代は、男性、女性ともに40歳代（男性28.9%、女性41.3%）となっています。世代によつて、大きな差があることがうかがえます。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合が最も少ない地区は、岡部地区（15.2%）であり、次いで深谷地区（17.0%）となっています。最も多い地区は、明戸地区（50.1%）であり、次いで南地区（26.4%）となっています。地域によつても、比較的差があることがうかがえます。

**小学生以下（小学校6年生まで）のお子さんを持つ保護者の方にお尋ねします。  
仕事と子育てを両立できていると思いますか。**



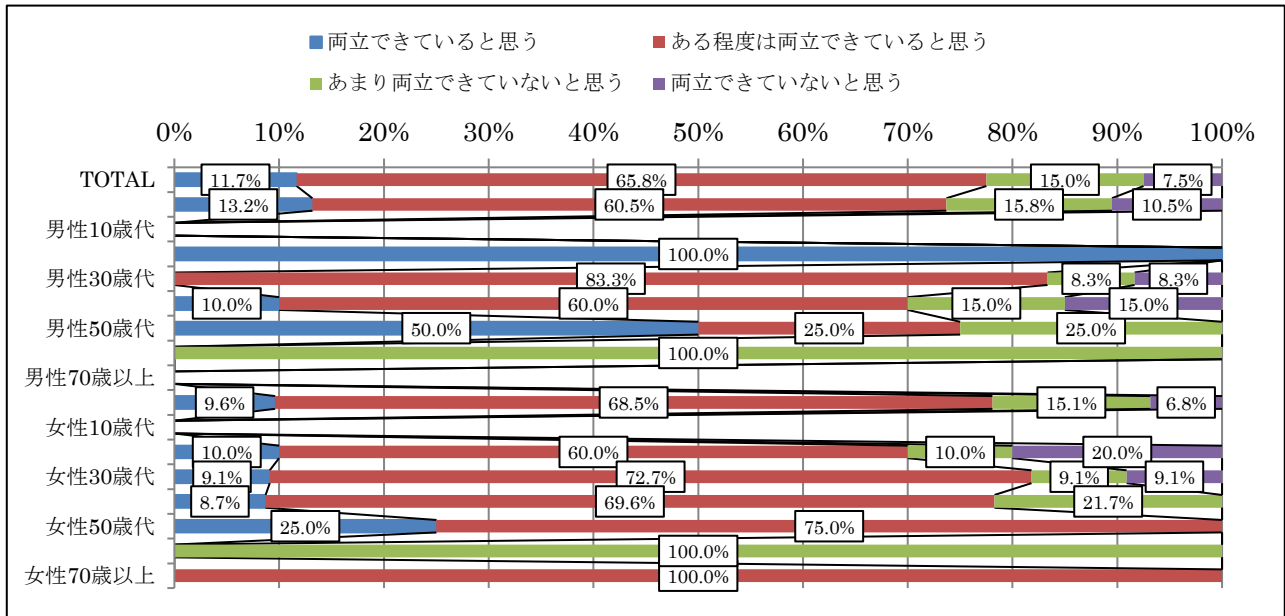
「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合が 65.8%と最も多く、次いで、「あまり両立できていないと思う」と回答した人の割合が 15.0%、「両立できていると思う」と回答した人の割合は 11.7%、「両立できていないと思う」と回答した人の割合が最も少なく 7.5%となっています。

「両立できていると思う」「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合の合計は 77.5%であり、小学生以下（小学校6年生まで）のお子さんを持つ保護者のうち、8割近くは、仕事と子育ての両立ができていると回答しています。

また、前年度アンケートの結果は、「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合は 80.2%であり、前年度アンケートと比較して減少となっています。

母集団		両立できていると思う	ある程度は両立できていると思う	あまり両立できていないと思う	両立できていないと思う	無回答	合計
TOTAL	120	11.7%	65.8%	15.0%	7.5%	0.0%	100.0%
男性全体	38	13.2%	60.5%	15.8%	10.5%	0.0%	100.0%
男性10歳代	0	—	—	—	—	—	100.0%
男性20歳代	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	12	0.0%	83.3%	8.3%	8.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	20	10.0%	60.0%	15.0%	15.0%	0.0%	100.0%
男性50歳代	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性70歳以上	0	—	—	—	—	—	100.0%
男性年齢不詳	0	—	—	—	—	—	—
女性全体	73	9.6%	68.5%	15.1%	6.8%	0.0%	100.0%
女性10歳代	0	—	—	—	—	—	100.0%
女性20歳代	10	10.0%	60.0%	10.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	33	9.1%	72.7%	9.1%	9.1%	0.0%	100.0%
女性40歳代	23	8.7%	69.6%	21.7%	0.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	4	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	0	—	—	—	—	—	100.0%
深谷地区	29	10.3%	69.0%	6.9%	13.8%	0.0%	100.0%
藤沢地区	8	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
幡羅地区	14	0.0%	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%	100.0%
明戸地区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	0	—	—	—	—	—	100.0%
八基地区	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	10	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南地区	10	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	14	0.0%	92.9%	0.0%	7.1%	0.0%	100.0%
川本地区	10	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
花園地区	15	6.7%	73.3%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

➤ 性別・世代別

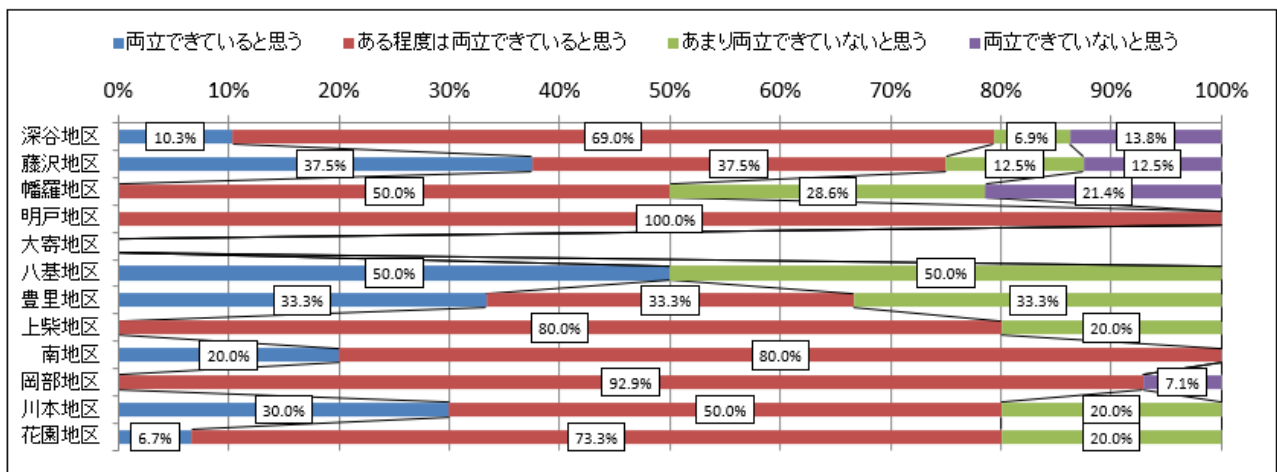


「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合は男性は73.7%、女性は78.1%となっています。

30歳代において、「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合は男性が83.3%であるのに対し、女性は81.8%と、女性よりも男性の方が両立できていると回答している人の割合が高くなっています。

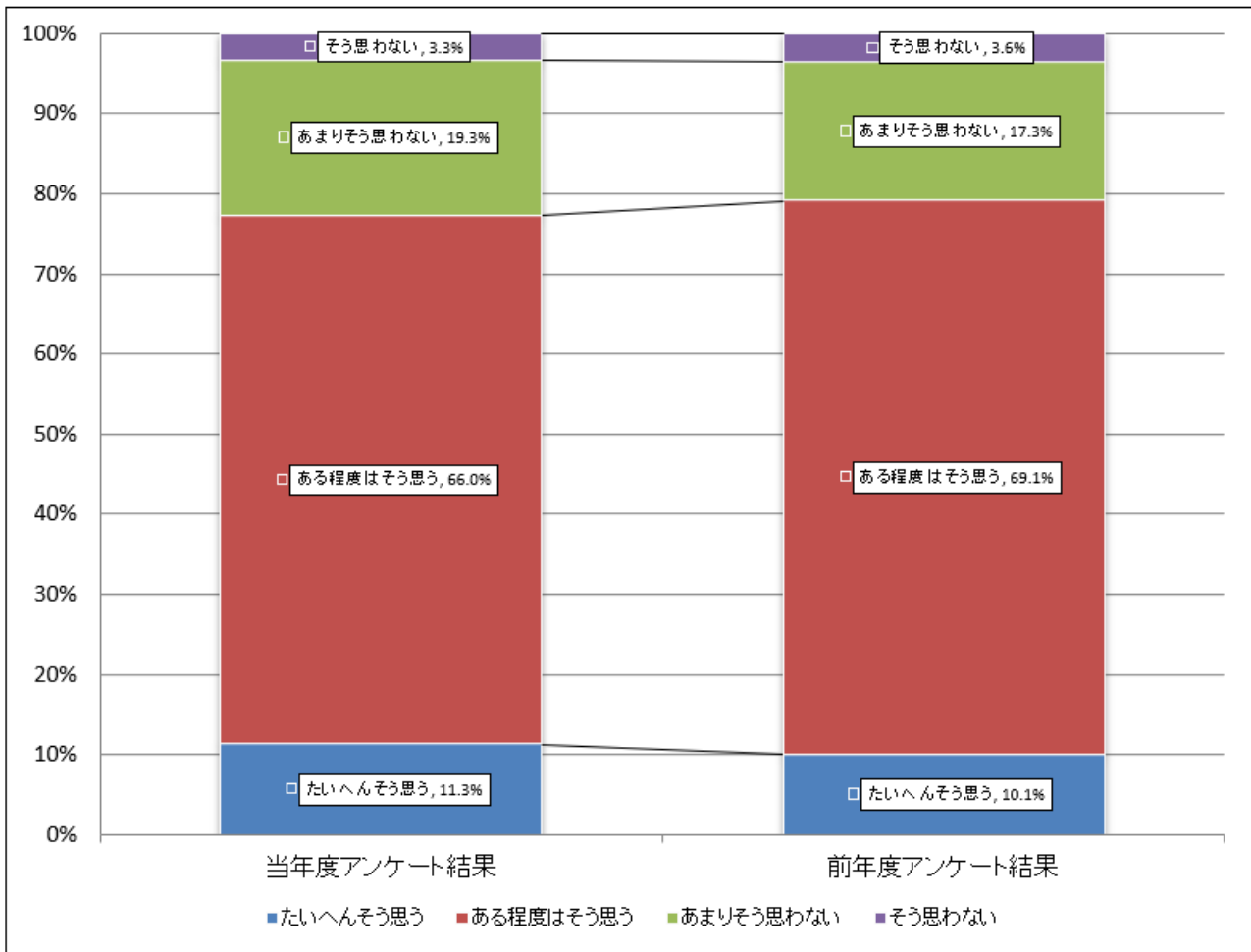
40歳代において、「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合は男性が70.0%であるのに対し、女性は78.3%となっています。世代によって、結果に差があることがうかがえます。

➤ 地区別



地区別にみると、10人以上が回答し、かつ、「両立できていると思う」または「ある程度は両立できていると思う」と回答した人の割合の合計が最も少ない地区は、幡羅地区(50.0%)であり、最も多い地区は、南地区(100.0%)となっています。

中学生以下（中学校3年生まで）のお子さんを持つ保護者の方にお尋ねします。  
 深谷市が子育てのしやすいまちだと思いますか。



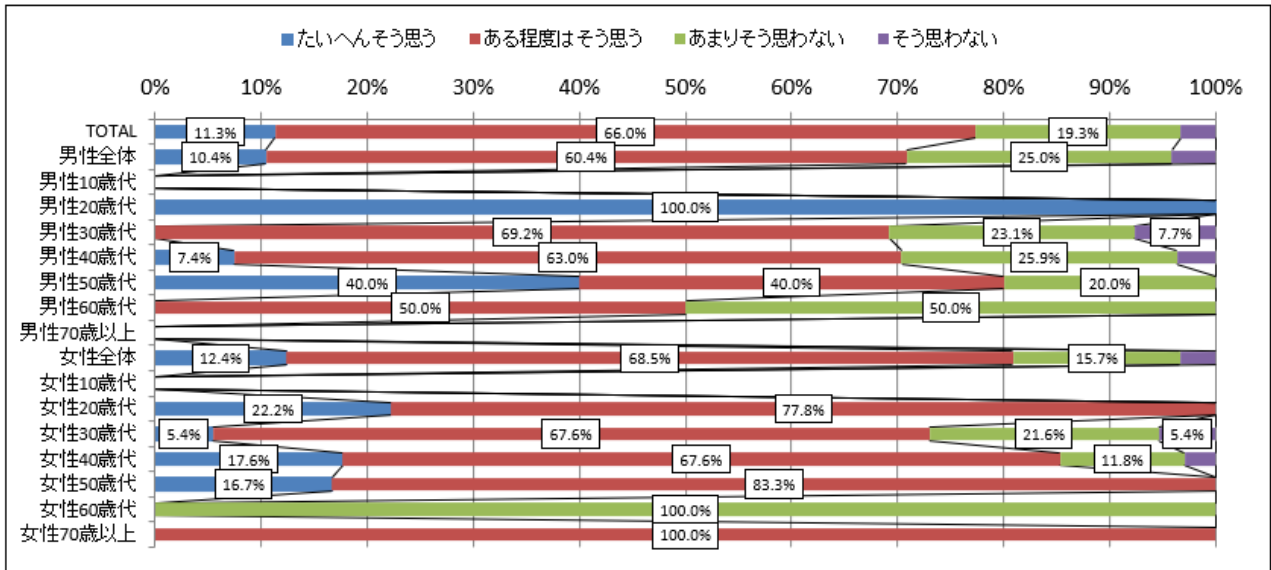
「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が 66.0%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」が 19.3%、「たいへんそう思う」が 11.3%、「そう思わない」と回答した人の割合は 3.3%となっています。

「たいへんそう思う」「ある程度はそう思う」と回答した人の割合の合計は 77.3%であり、中学生以下（中学校3年生まで）のお子さんを持つ保護者のうち 8 割近くが子育てのしやすいまちだと回答しています。

また、前年度アンケートの結果は、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 79.2%であり、前年度アンケートと比較して、僅かに減少となっています。

母集団		たいへんそう思う	ある程度は そう思う	そう思わない あまり	そう思わない	無回答	合計
TOTAL	150	11.3%	66.0%	19.3%	3.3%	0.0%	100.0%
男性全体	48	10.4%	60.4%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%
男性10歳代	0	—	—	—	—	—	100.0%
男性20歳代	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	13	0.0%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	27	7.4%	63.0%	25.9%	3.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性70歳以上	0	—	—	—	—	—	100.0%
男性年齢不詳	0	—	—	—	—	—	—
女性全体	89	12.4%	68.5%	15.7%	3.4%	0.0%	100.0%
女性10歳代	0	—	—	—	—	—	100.0%
女性20歳代	9	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	37	5.4%	67.6%	21.6%	5.4%	0.0%	100.0%
女性40歳代	34	17.6%	67.6%	11.8%	2.9%	0.0%	100.0%
女性50歳代	6	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	29	8.6%	71.4%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%
藤沢地区	8	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	14	0.0%	68.4%	26.3%	5.3%	0.0%	100.0%
明戸地区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
八基地区	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	10	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南地区	10	21.4%	64.3%	0.0%	14.3%	0.0%	100.0%
岡部地区	14	5.6%	61.1%	27.8%	5.6%	0.0%	100.0%
川本地区	10	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%
花園地区	15	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	4	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

➤ 性別・世代別

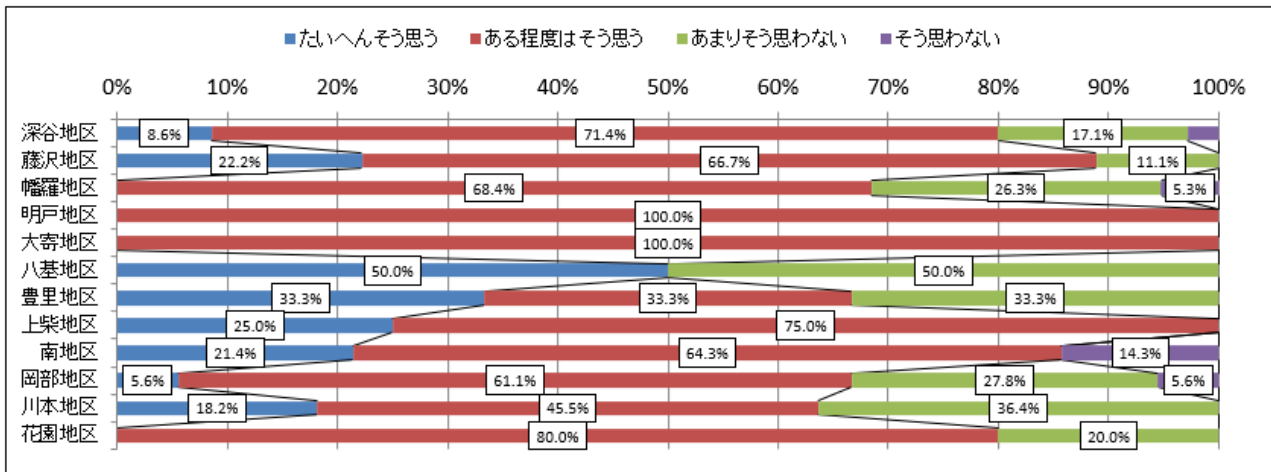


「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性は70.8%、女性は80.9%となっています。

30歳代において、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性が69.2%であるのに対し、女性は73.0%となっています。

40歳代において、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性が70.4%であるのに対し、女性は85.2%と男女によって意識に差がみられます。

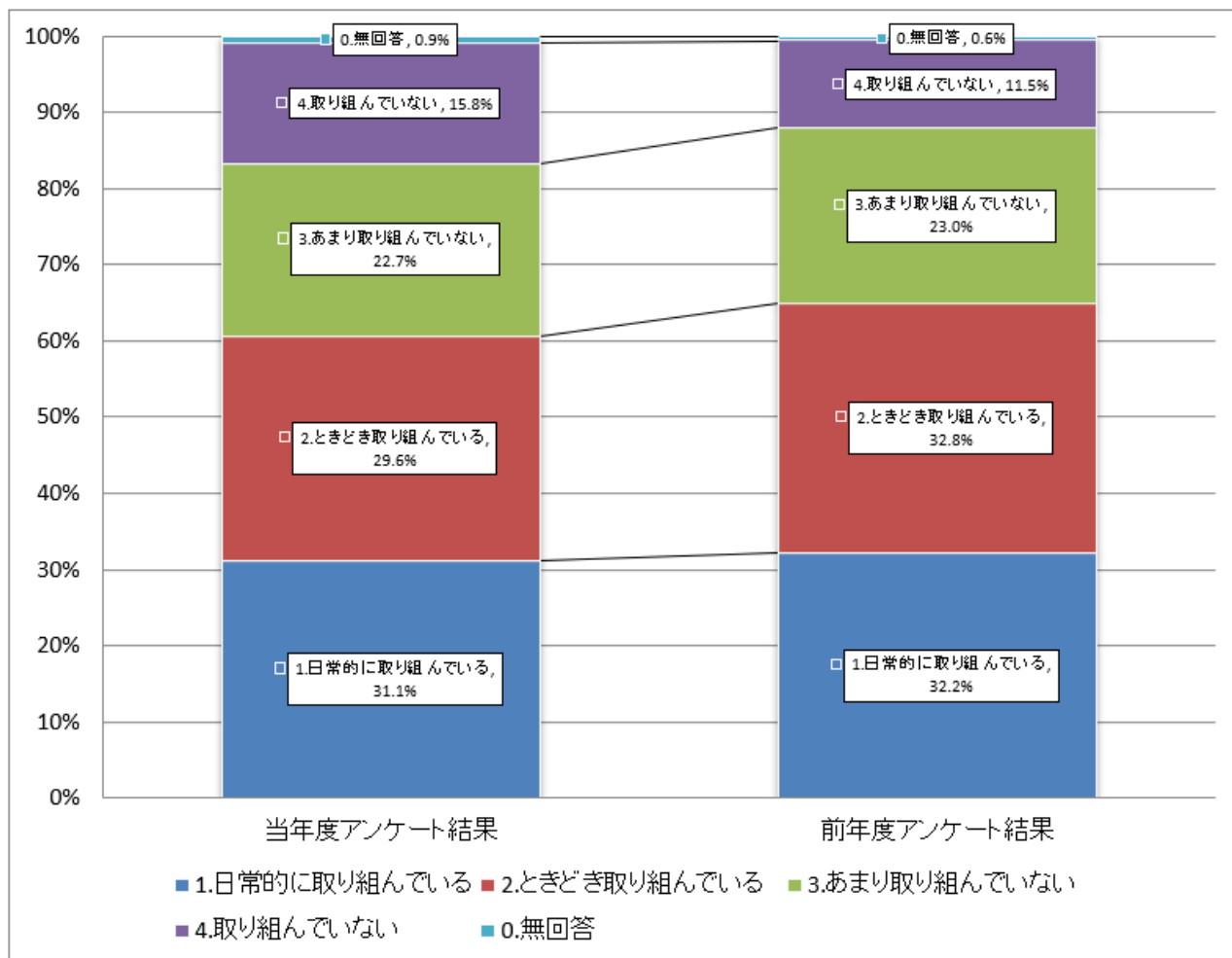
➤ 地区別



地区別にみると、10人以上が回答し、かつ、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合の合計が最も少ない地区は、川本地区（63.7%）であり、最も多い地区は、上柴地区（100.0%）となっています。

② 保健について（2. 問4～7）

普段の生活で健康づくり（運動や歩くことなど）に取り組んでいますか。



「日常的に取り組んでいる」と回答した人の割合が 31.1%と最も多く、次いで、「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合は 29.6%、「あまり取り組んでいない」と回答した人の割合は 22.7%、「取り組んでいない」と回答した人の割合は 15.8%となっています。

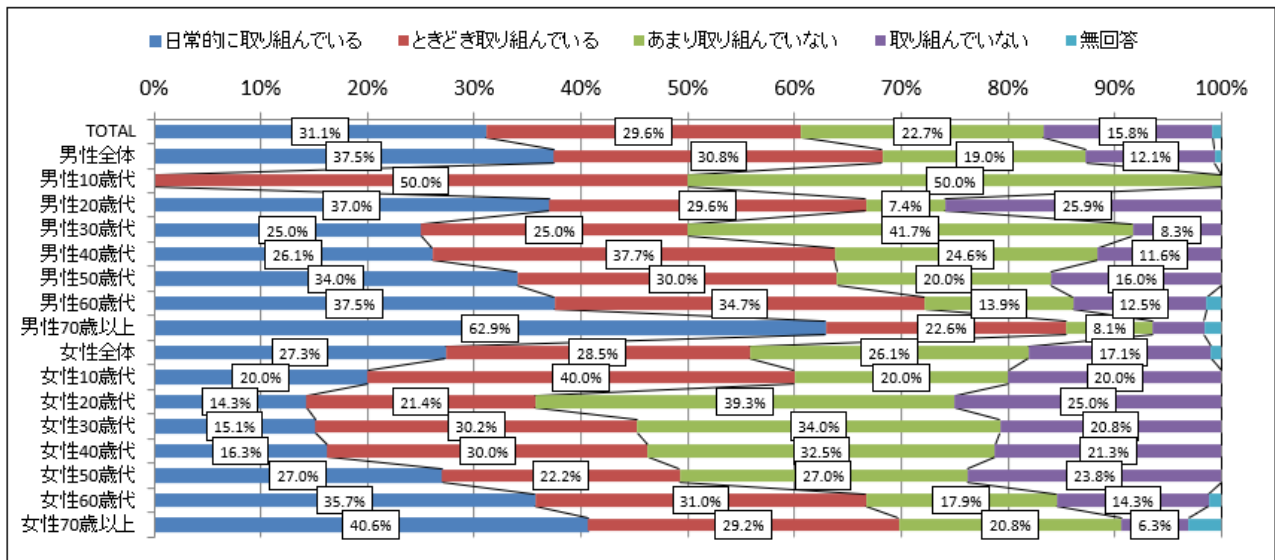
「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合は、60.7%であり、6割以上の市民が普段の生活で健康づくりに取り組んでいることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果をみると「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合は 65.0%であり、普段の生活で健康づくりに取り組んでいる人の割合は、「前年度アンケート」と比較して減少していることがうかがえます。



母集団		日常的に取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答	合計
TOTAL	785	31.1%	29.6%	22.7%	15.8%	0.9%	100.0%
男性全体	315	37.5%	30.8%	19.0%	12.1%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	37.0%	29.6%	7.4%	25.9%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	25.0%	25.0%	41.7%	8.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	26.1%	37.7%	24.6%	11.6%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	34.0%	30.0%	20.0%	16.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	37.5%	34.7%	13.9%	12.5%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	62.9%	22.6%	8.1%	4.8%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	27.3%	28.5%	26.1%	17.1%	1.0%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	14.3%	21.4%	39.3%	25.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	15.1%	30.2%	34.0%	20.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	16.3%	30.0%	32.5%	21.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	27.0%	22.2%	27.0%	23.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	35.7%	31.0%	17.9%	14.3%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	40.6%	29.2%	20.8%	6.3%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	23.7%	31.1%	25.4%	18.1%	1.7%	100.0%
藤沢地区	51	31.4%	31.4%	19.6%	15.7%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	34.7%	29.7%	18.8%	16.8%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	43.8%	25.0%	31.3%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	29.2%	33.3%	8.3%	29.2%	0.0%	100.0%
八基地区	18	44.4%	33.3%	5.6%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	33.3%	18.5%	33.3%	14.8%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	41.2%	28.2%	21.2%	8.2%	1.2%	100.0%
南地区	53	39.6%	32.1%	17.0%	9.4%	1.9%	100.0%
岡部地区	92	26.1%	32.6%	28.3%	13.0%	0.0%	100.0%
川本地区	62	30.6%	24.2%	27.4%	16.1%	1.6%	100.0%
花園地区	61	24.6%	31.1%	23.0%	21.3%	0.0%	100.0%
無回答	18	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	100.0%

## ➤ 性別・世代別

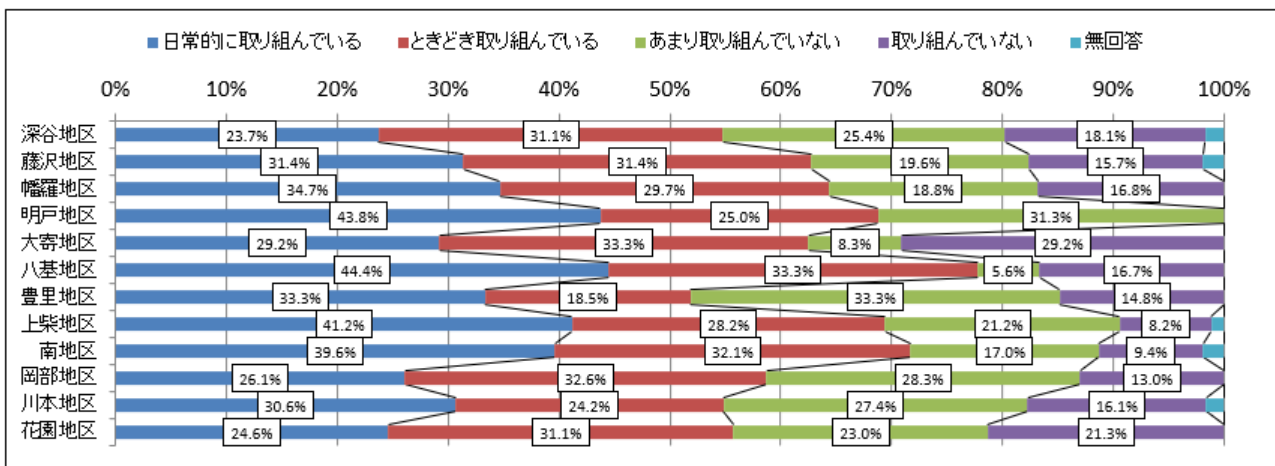


性別・世代別にみると、「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合は男性が68.3%であるのに対して、女性は55.8%となっています。

また、「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合が少ない世代は、男性10歳代・30歳代50.0%であるのに対し、女性20歳代35.7%であることがわかります。一方で、最も多い世代は男女ともに70歳以上（男性85.5%、女性69.8%）となっています。

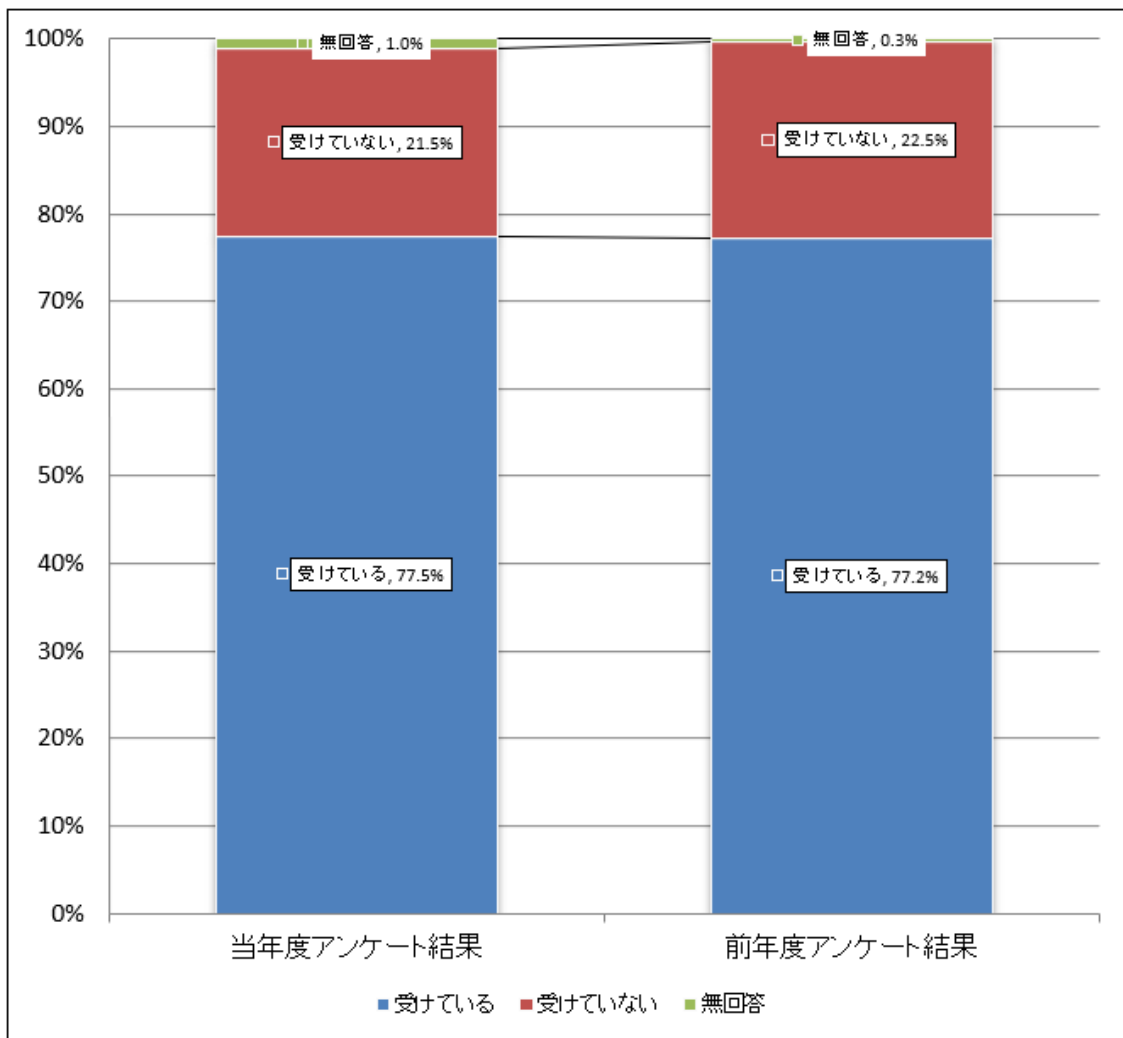
最も少ない世代の回答と最も多い世代の回答では、男女共に世代間での差が大きいことがうかがえます。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した人の割合が最も少ない地区は、豊里地区（51.8%）であり、次いで深谷地区・川本地区（54.8%）となっています。最も多い地区は、八基地区（77.7%）であり、次いで南地区（71.7%）となっています。

定期的に健康診断や人間ドック、がん検診のいずれかを受けていますか。



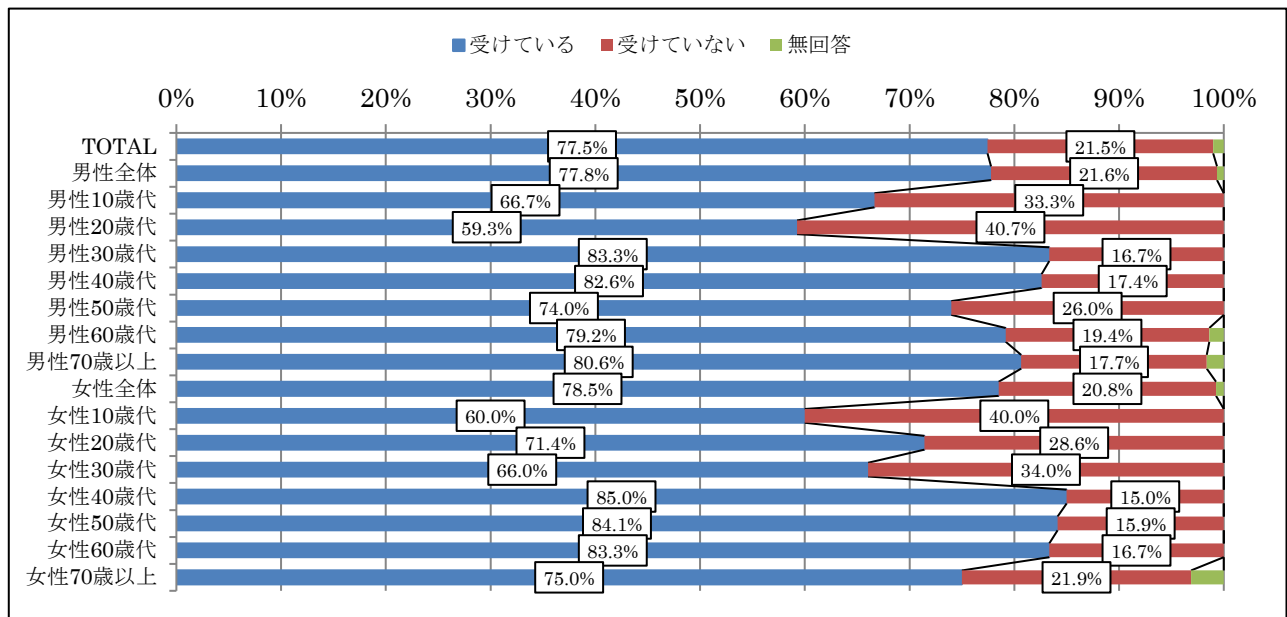
「受けている」と回答した人の割合は 77.5%、「受けていない」と回答した人の割合は 21.5%となっています。

市民の 8 割近くが、定期的に健康診断や人間ドック、がん検診を受けていることがうかがえます。

また、前年度アンケートの結果は、「受けている」と回答した人の割合は 77.2%であり、前年度アンケートと比較して、微増しております。

母集団		受けている	受けていない	無回答	合計
TOTAL	785	77.5%	21.5%	1.0%	100.0%
男性全体	315	77.8%	21.6%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	59.3%	40.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	82.6%	17.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	74.0%	26.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	79.2%	19.4%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	80.6%	17.7%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	78.5%	20.8%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	71.4%	28.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	66.0%	34.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	85.0%	15.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	84.1%	15.9%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	75.0%	21.9%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	157	73.9%	26.1%	0.0%	100.0%
藤沢地区	45	88.9%	11.1%	0.0%	100.0%
幡羅地区	79	83.5%	16.5%	0.0%	100.0%
明戸地区	20	70.0%	30.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	26	69.2%	30.8%	0.0%	100.0%
八基地区	17	88.2%	11.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	25	64.0%	36.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	66	81.8%	18.2%	0.0%	100.0%
南地区	57	71.9%	28.1%	0.0%	100.0%
岡部地区	84	70.2%	29.8%	0.0%	100.0%
川本地区	51	86.3%	13.7%	0.0%	100.0%
花園地区	70	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
無回答	17	70.6%	17.6%	11.8%	100.0%

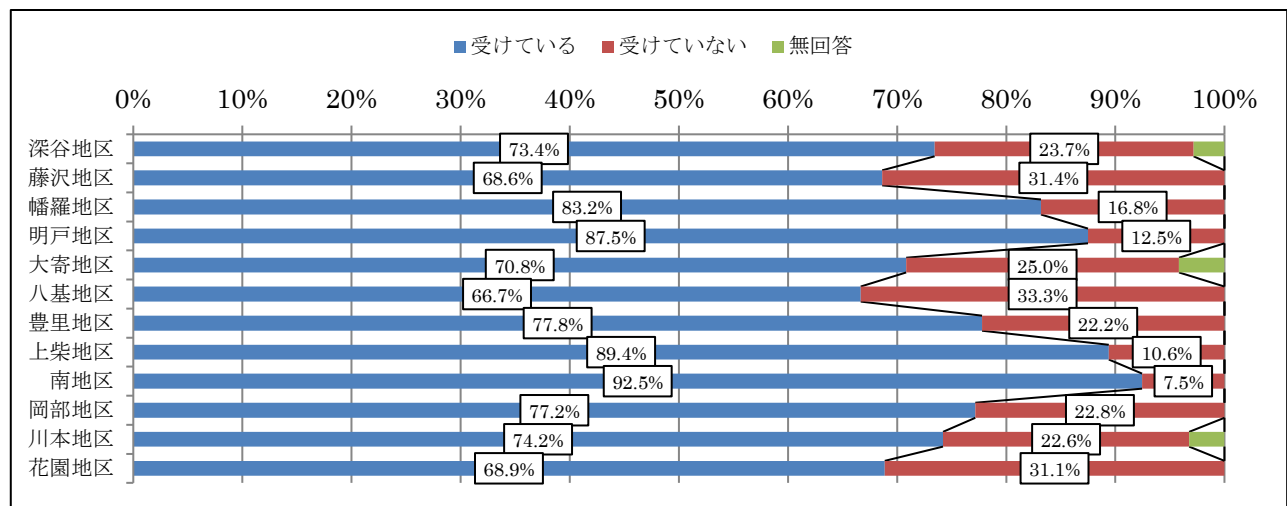
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「受けている」と回答した人の割合は男性が77.8%、女性は78.5%と8割近くの方が定期的に健康診断や人間ドック、がん検診のいずれかを受けていることがうかがえます。

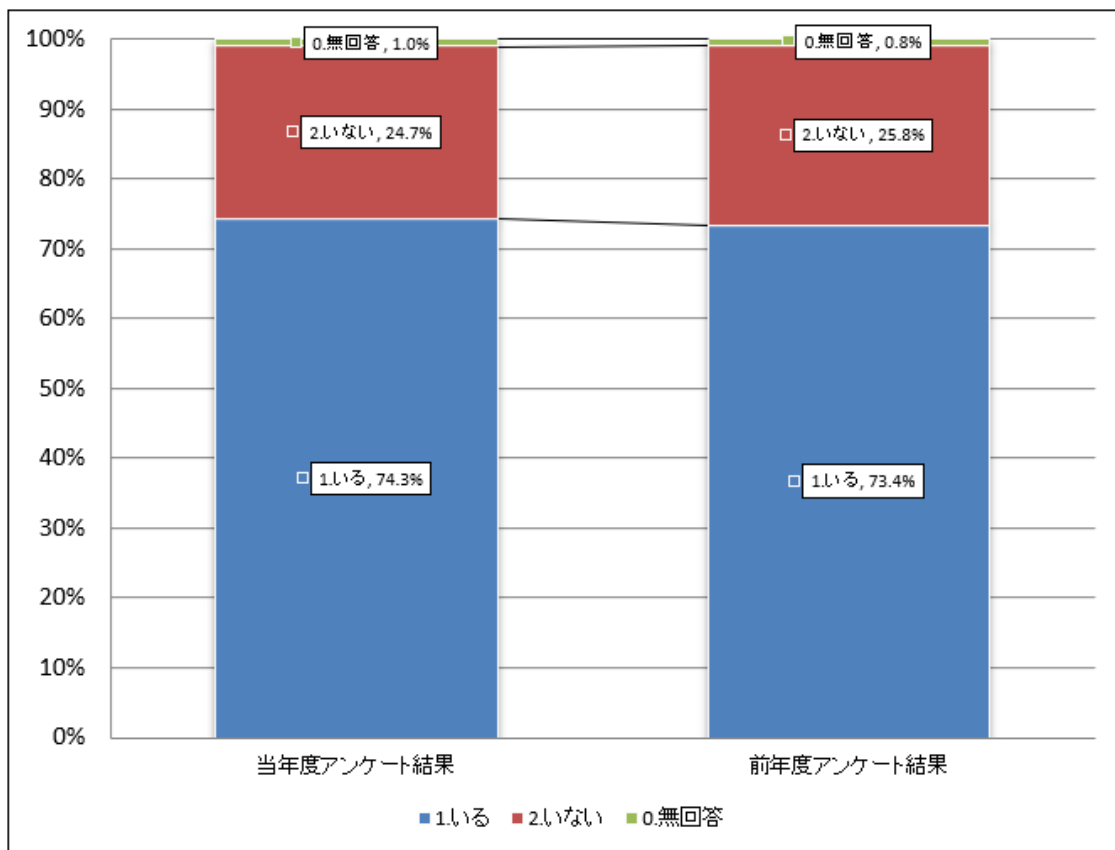
「受けている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は20歳代(59.3%)、女性は10歳代(60.0%)となっています。一方で、最も多い世代は、男性は30歳代(83.3%)女性40歳代(85.0%)となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「受けている」と回答した人の割合が最も少ない地区は、八基地区(66.7%)であり、次いで藤沢地区(68.6%)となっています。最も多い地区は、南地区(92.5%)であり、次いで上柴地区(89.4%)となっています。

## かかりつけのお医者さんはいますか。

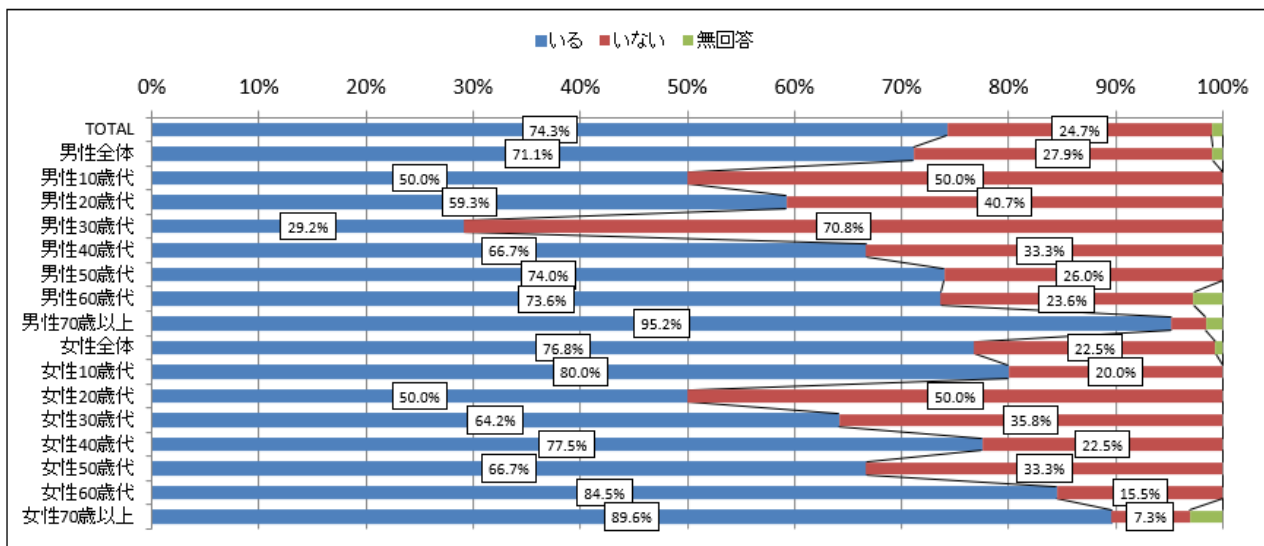


「いる」と回答した人の割合は74.3%、「いない」と回答した人の割合は24.7%であり、大多数の市民にかかりつけ医がいる一方、約4人に1人以上はかかりつけ医がないという状況がうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「いる」と回答した人の割合が73.4%、「いない」と回答した人の割合が25.8%であり、「前年度アンケート」と比較して、かかりつけ医がいると回答した人の割合が微増していることがうかがえます。

母集団		いる	いない	無回答	合計
TOTAL	785	74.3%	24.7%	1.0%	100.0%
男性全体	315	71.1%	27.9%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	59.3%	40.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	29.2%	70.8%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	74.0%	26.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	73.6%	23.6%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	95.2%	3.2%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	76.8%	22.5%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	64.2%	35.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	77.5%	22.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	84.5%	15.5%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	89.6%	7.3%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	78.5%	19.2%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	78.4%	21.6%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	72.3%	27.7%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	70.8%	20.8%	8.3%	100.0%
八基地区	18	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	81.5%	18.5%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	70.6%	28.2%	1.2%	100.0%
南地区	53	84.9%	15.1%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	70.7%	29.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	66.1%	32.3%	1.6%	100.0%
花園地区	61	73.8%	26.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%

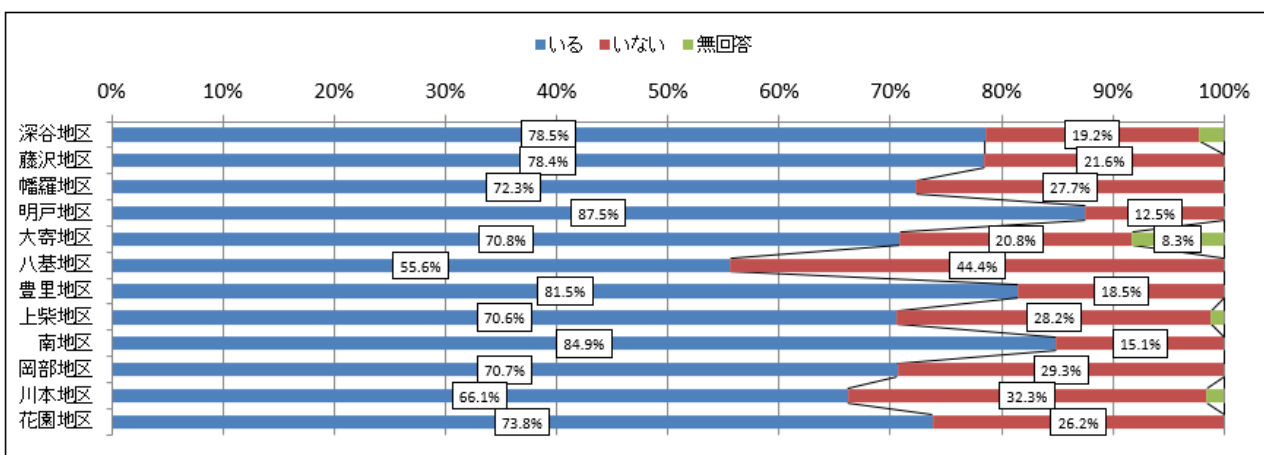
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「いる」と回答した人の割合は男性が 71.1%であるのに対して、女性は 76.8%でした。

また、「いる」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性 30 歳代 (29.2%)、次いで男性 10 歳代・女性 20 歳代 (50.0%) となっています。一方で、最も多い世代は、男女ともに 70 歳以上 (男性 95.2%、女性 89.6%)、次いで女性 60 歳代 (84.5%) であり、60 歳以上の 8 割以上の人にかかりつけ医がいることがうかがえます。

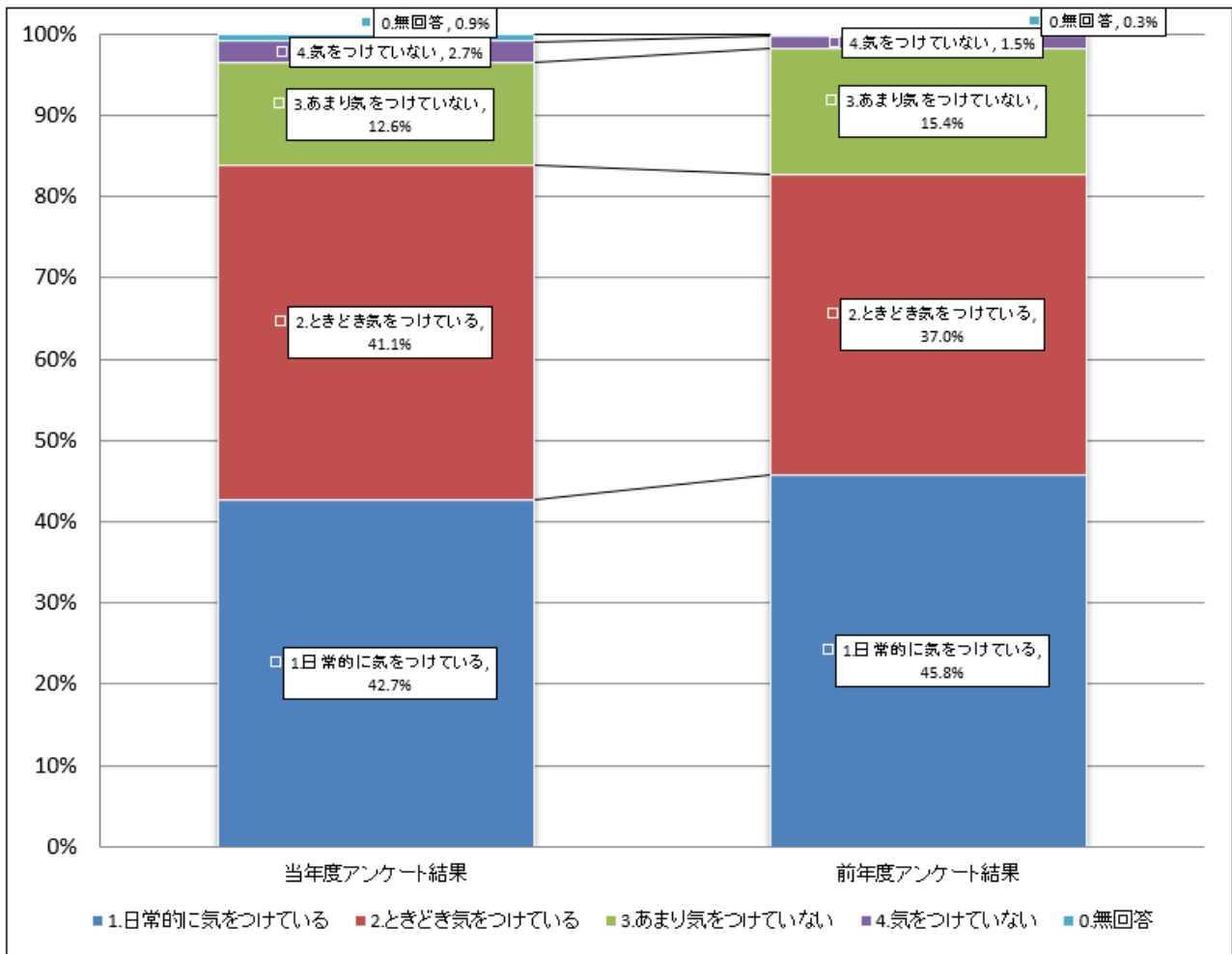
➤ 地区別



地区別にみると、「いる」と回答した人の割合が最も少ない地区は、八基地区 (55.6%) であり、次いで川本地区 (66.1%) となっています。最も多い地区は、明戸地区 (87.5 %) であり、次いで南地区 (84.9%) となっています。



**健康的な食生活に気をつけていますか。**



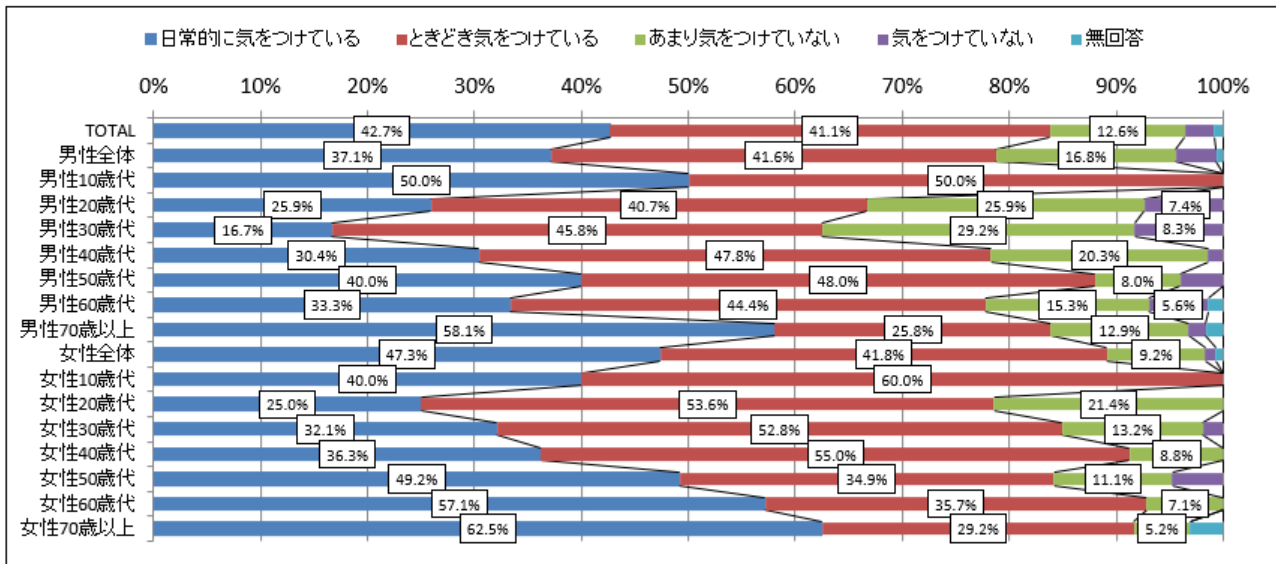
「日常的に気をつけている」と回答した人の割合が 42.7%と最も多く、次いで、「ときどき気をつけている」と回答した人の割合は 41.1%、「あまり気をつけていない」と回答した人の割合は 12.6%、「気をつけていない」と回答した人の割合は 2.7%となっています。

「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合は、83.8%であり、8割以上の市民が、健康的な食生活に気をつけていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果では、「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合は 82.8%であることから、健康的な食生活に気をつけている人の割合は、前年度アンケート時から微増していることがうかがえます。

母集団		日常的に気をつけている	ときどき気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答	合計
TOTAL	785	42.7%	41.1%	12.6%	2.7%	0.9%	100.0%
男性全体	315	37.1%	41.6%	16.8%	3.8%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	25.9%	40.7%	25.9%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	16.7%	45.8%	29.2%	8.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	30.4%	47.8%	20.3%	1.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	40.0%	48.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	33.3%	44.4%	15.3%	5.6%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	58.1%	25.8%	12.9%	1.6%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	47.3%	41.8%	9.2%	1.0%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	25.0%	53.6%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	32.1%	52.8%	13.2%	1.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	36.3%	55.0%	8.8%	0.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	49.2%	34.9%	11.1%	4.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	57.1%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	62.5%	29.2%	5.2%	0.0%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	42.4%	41.8%	11.3%	2.3%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	39.2%	47.1%	13.7%	0.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	47.5%	39.6%	8.9%	4.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	41.7%	37.5%	8.3%	8.3%	4.2%	100.0%
八基地区	18	27.8%	44.4%	22.2%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	44.4%	40.7%	14.8%	0.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	47.1%	37.6%	10.6%	3.5%	1.2%	100.0%
南地区	53	49.1%	37.7%	13.2%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	41.3%	42.4%	15.2%	1.1%	0.0%	100.0%
川本地区	62	40.3%	38.7%	17.7%	1.6%	1.6%	100.0%
花園地区	61	41.0%	41.0%	11.5%	6.6%	0.0%	100.0%
無回答	18	27.8%	50.0%	16.7%	5.6%	0.0%	100.0%

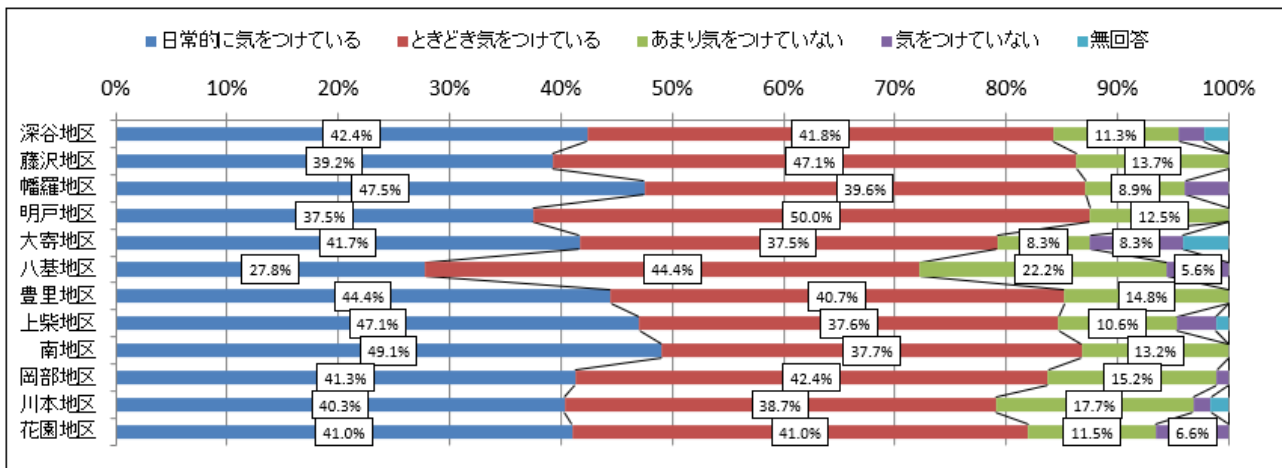
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合は男性が78.7%であるのに対して、女性は89.1%と10.4ポイントもの差がみられます。

また、「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合が最も少ない世代は男性30歳代62.5%、女性20歳代78.6%であり、一方で最も多い世代は、男女ともに10歳代（100.0%）となっています。

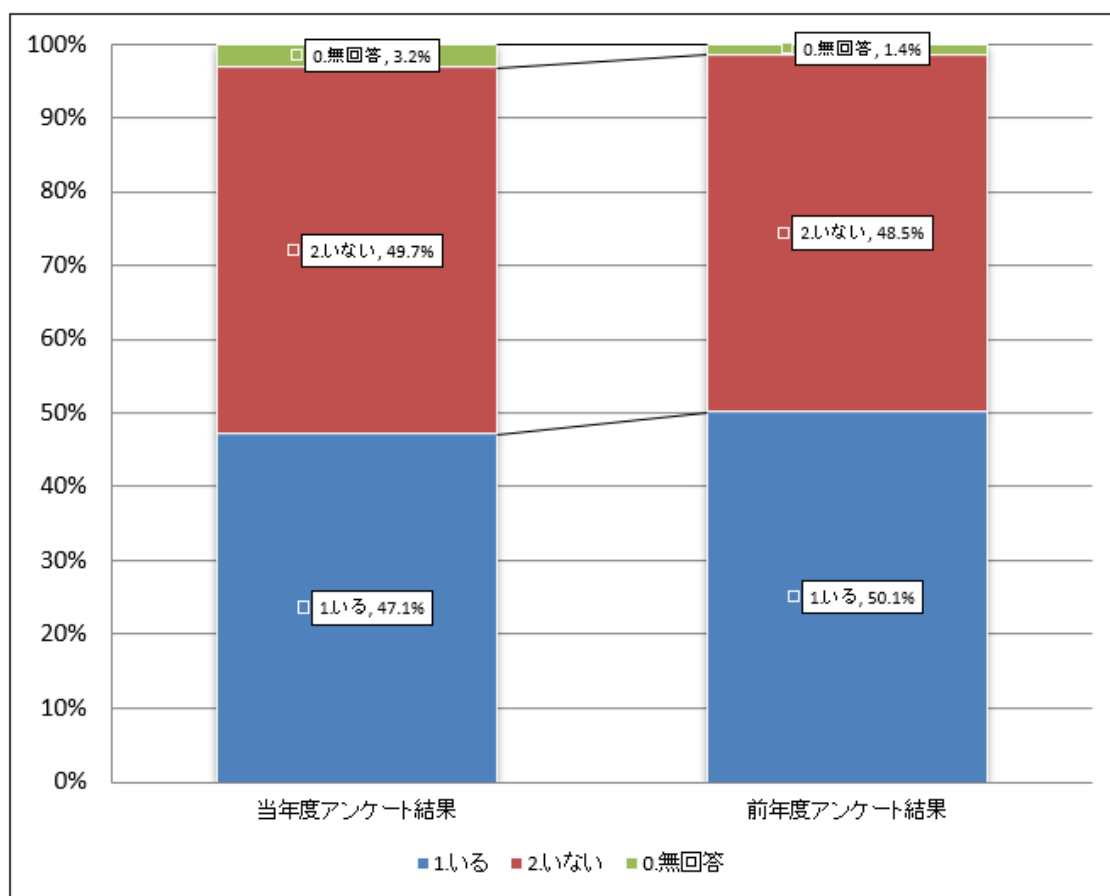
## ➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に気をつけている」または「ときどき気をつけている」と回答した人の割合が最も少ない地区は、八基地区（72.2%）であり、次いで川本地区（79.0%）となっています。最も多い地区は、明戸地区（87.5%）であり、次いで幡羅地区（87.1%）となっています。

### ③ 福祉について（2. 問8）

日常生活で困ったことがあった時に、手助けしてくれる人（民生委員・児童委員や自治会など）はいますか。

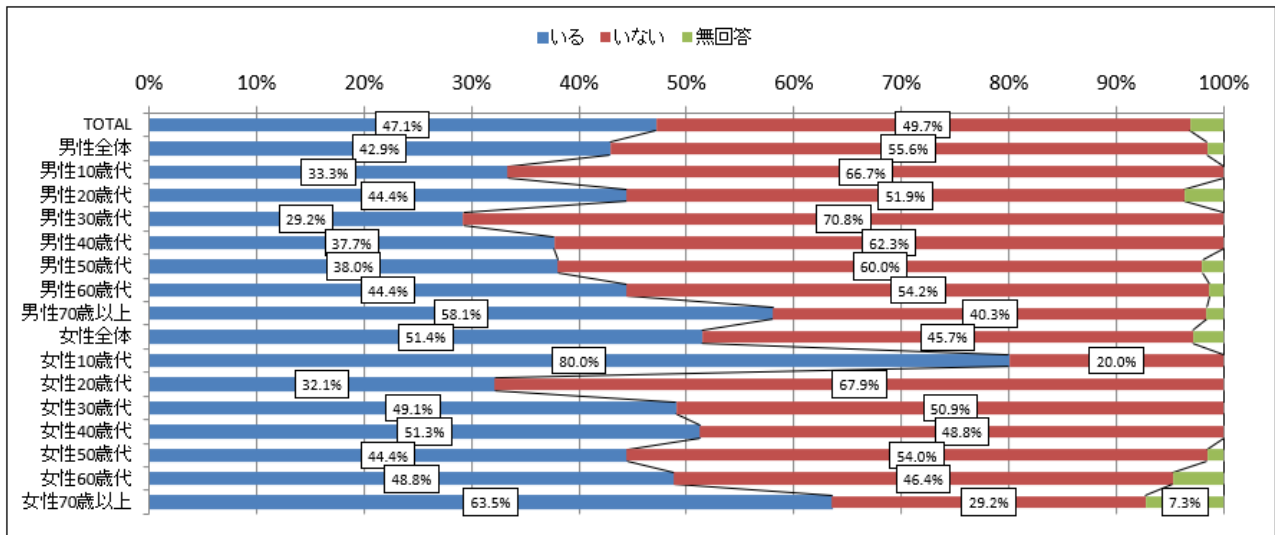


「いる」と回答した人の割合は47.1%、「いない」と回答した人の割合は49.7%となっており、日常生活に困ったことがあった時に、手助けしてくれる人がいないと回答した人が5割近くいることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果では、「いる」と回答した人の割合は50.1%、「いない」と回答した人の割合が48.5%でした。手助けしてくれる人がいると回答した人は「前年度アンケート」と比較して、微減していることがうかがえます。

母集団		いる	いない	無回答	合計
TOTAL	785	47.1%	49.7%	3.2%	100.0%
男性全体	315	42.9%	55.6%	1.6%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	44.4%	51.9%	3.7%	100.0%
男性30歳代	24	29.2%	70.8%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	37.7%	62.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	38.0%	60.0%	2.0%	100.0%
男性60歳代	72	44.4%	54.2%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	58.1%	40.3%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	51.4%	45.7%	2.9%	100.0%
女性10歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	32.1%	67.9%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	49.1%	50.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	51.3%	48.8%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	44.4%	54.0%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	48.8%	46.4%	4.8%	100.0%
女性70歳以上	96	63.5%	29.2%	7.3%	100.0%
女性年齢不詳	5	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	39.5%	57.1%	3.4%	100.0%
藤沢地区	51	60.8%	37.3%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	45.5%	50.5%	4.0%	100.0%
明戸地区	16	68.8%	31.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	75.0%	20.8%	4.2%	100.0%
八基地区	18	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	44.7%	52.9%	2.4%	100.0%
南地区	53	49.1%	47.2%	3.8%	100.0%
岡部地区	92	44.6%	53.3%	2.2%	100.0%
川本地区	62	46.8%	48.4%	4.8%	100.0%
花園地区	61	47.5%	49.2%	3.3%	100.0%
無回答	18	38.9%	50.0%	11.1%	100.0%

➤ 性別・世代別

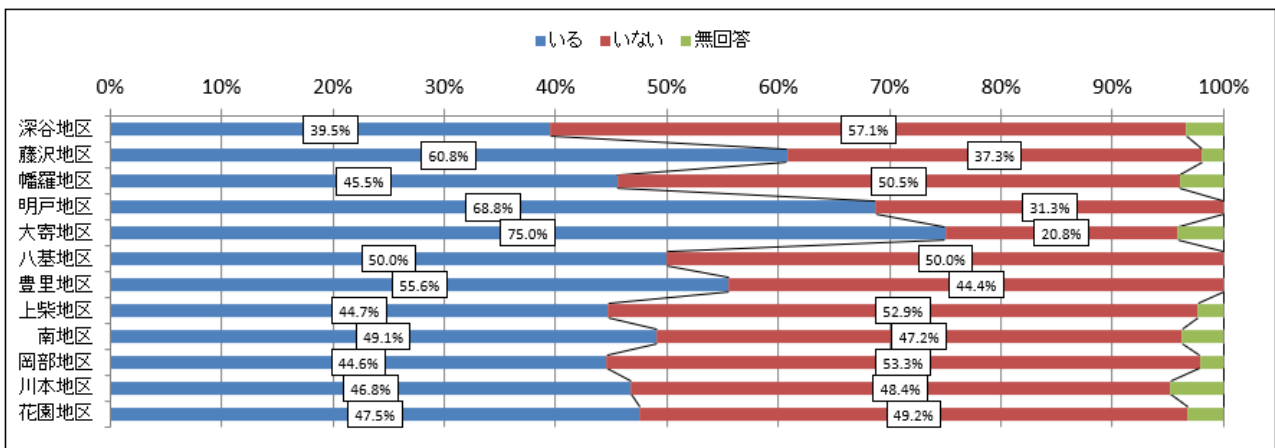


性別・世代別にみると、「いる」と回答した人の割合は男性が 42.9%であるのに対して、女性は 51.4%となっています。

また、「いる」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性 30 歳代 (29.2%)、女性 20 歳代 (32.1%) となりました。一方で、最も割合の多い世代は、男性 70 歳以上 (58.1%)、女性 10 歳代 (80.0%) となっています。

男女ともに 70 歳代以上から、手助けしてくれる人がいると回答する割合が増加傾向にあることがわかります。

➤ 地区別

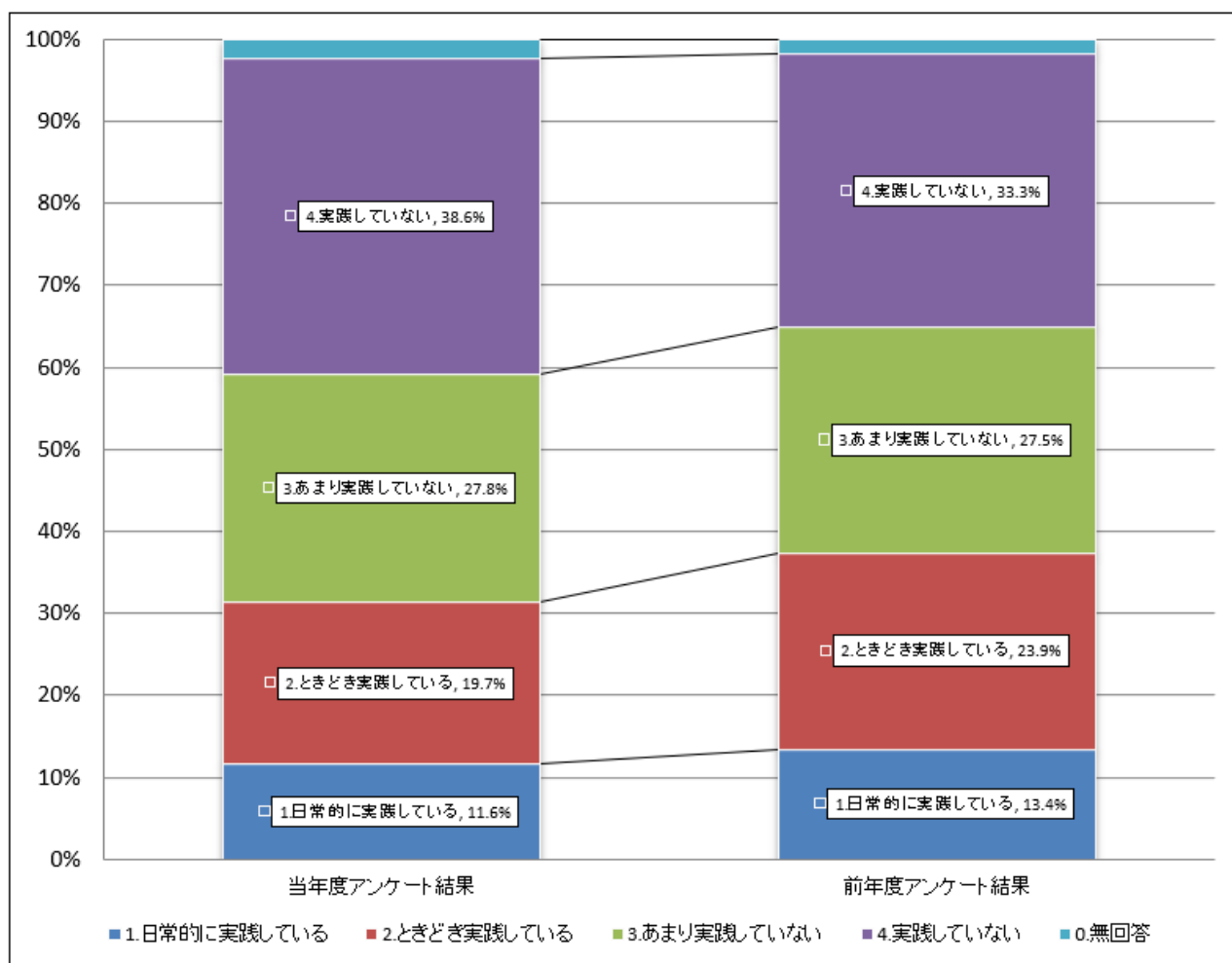


地区別にみると、「いる」と回答した人の割合が最も少ない地区は、深谷地区 (39.5%) であり、次いで岡部地区 (44.6%) となっています。最も多い地区は、大寄地区 (75.0%) であり、次いで明戸地区 (68.8%) となっています。

### (3) 教育・文化について

#### ① 生涯学習の振興（3. 問1）

生涯学習（自発的な学習、自己啓発活動など）を実践していますか。



「実践していない」と回答した人の割合が 38.6%と最も多く、次いで「あまり実践していない」と回答した人の割合が 27.8%、「ときどき実践している」と回答した人の割合が 19.7%、「日常的に実践している」と回答した人の割合が最も少なく 11.6%となっています。

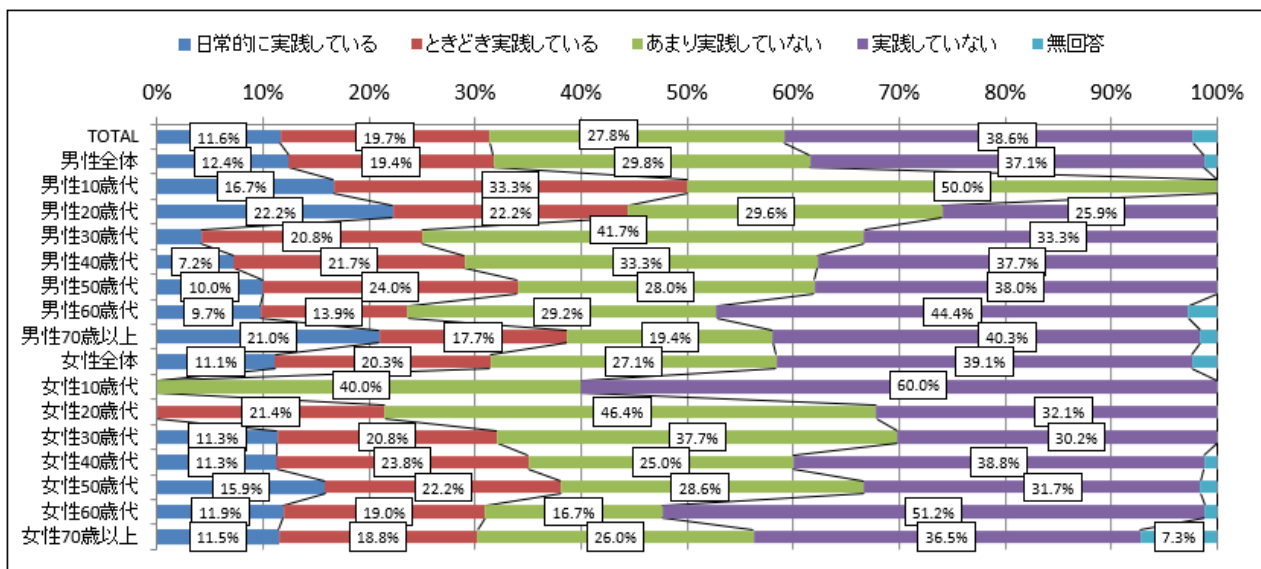
「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合は、31.3%にとどまり、大多数の市民は生涯学習を実践していないということがうかがえます。

また、「前年度アンケート」では、「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合は 37.3%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		日常的に実践している	ときどき実践している	あまり実践していない	実践していない	無回答	合計
TOTAL	785	11.6%	19.7%	27.8%	38.6%	2.3%	100.0%
男性全体	315	12.4%	19.4%	29.8%	37.1%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	22.2%	22.2%	29.6%	25.9%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	4.2%	20.8%	41.7%	33.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	7.2%	21.7%	33.3%	37.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	10.0%	24.0%	28.0%	38.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	9.7%	13.9%	29.2%	44.4%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	17.7%	19.4%	40.3%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	11.1%	20.3%	27.1%	39.1%	2.4%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	21.4%	46.4%	32.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	11.3%	20.8%	37.7%	30.2%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	11.3%	23.8%	25.0%	38.8%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	15.9%	22.2%	28.6%	31.7%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	11.9%	19.0%	16.7%	51.2%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	11.5%	18.8%	26.0%	36.5%	7.3%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	10.2%	18.6%	26.6%	40.7%	4.0%	100.0%
藤沢地区	51	0.0%	25.5%	29.4%	41.2%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	10.9%	20.8%	22.8%	45.5%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	18.8%	18.8%	43.8%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	12.5%	37.5%	33.3%	8.3%	100.0%
八基地区	18	5.6%	27.8%	16.7%	44.4%	5.6%	100.0%
豊里地区	27	11.1%	18.5%	22.2%	48.1%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	16.5%	22.4%	25.9%	32.9%	2.4%	100.0%
南地区	53	17.0%	18.9%	30.2%	34.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	14.1%	18.5%	30.4%	34.8%	2.2%	100.0%
川本地区	62	11.3%	21.0%	27.4%	38.7%	1.6%	100.0%
花園地区	61	13.1%	18.0%	32.8%	36.1%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	11.1%	27.8%	44.4%	5.6%	100.0%



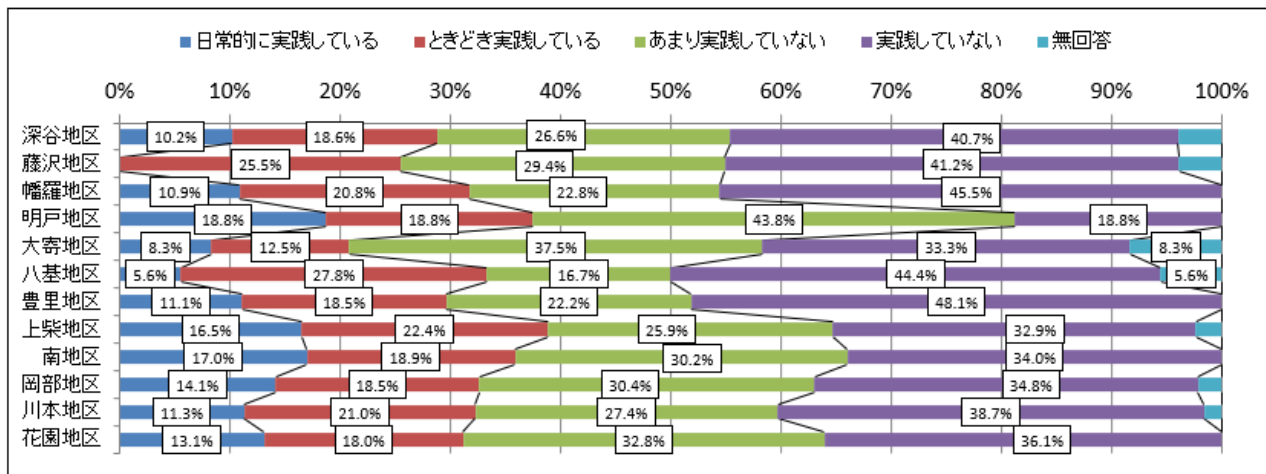
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合は男性が31.8%であるのに対して、女性は31.4%となっています。

また、「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性60歳代（23.6%）、女性10歳代（0.0%）であり、一方で最も割合の多い世代は、男性が10歳代（50.0%）であるのに対して、女性は50歳代（38.1%）となっています。

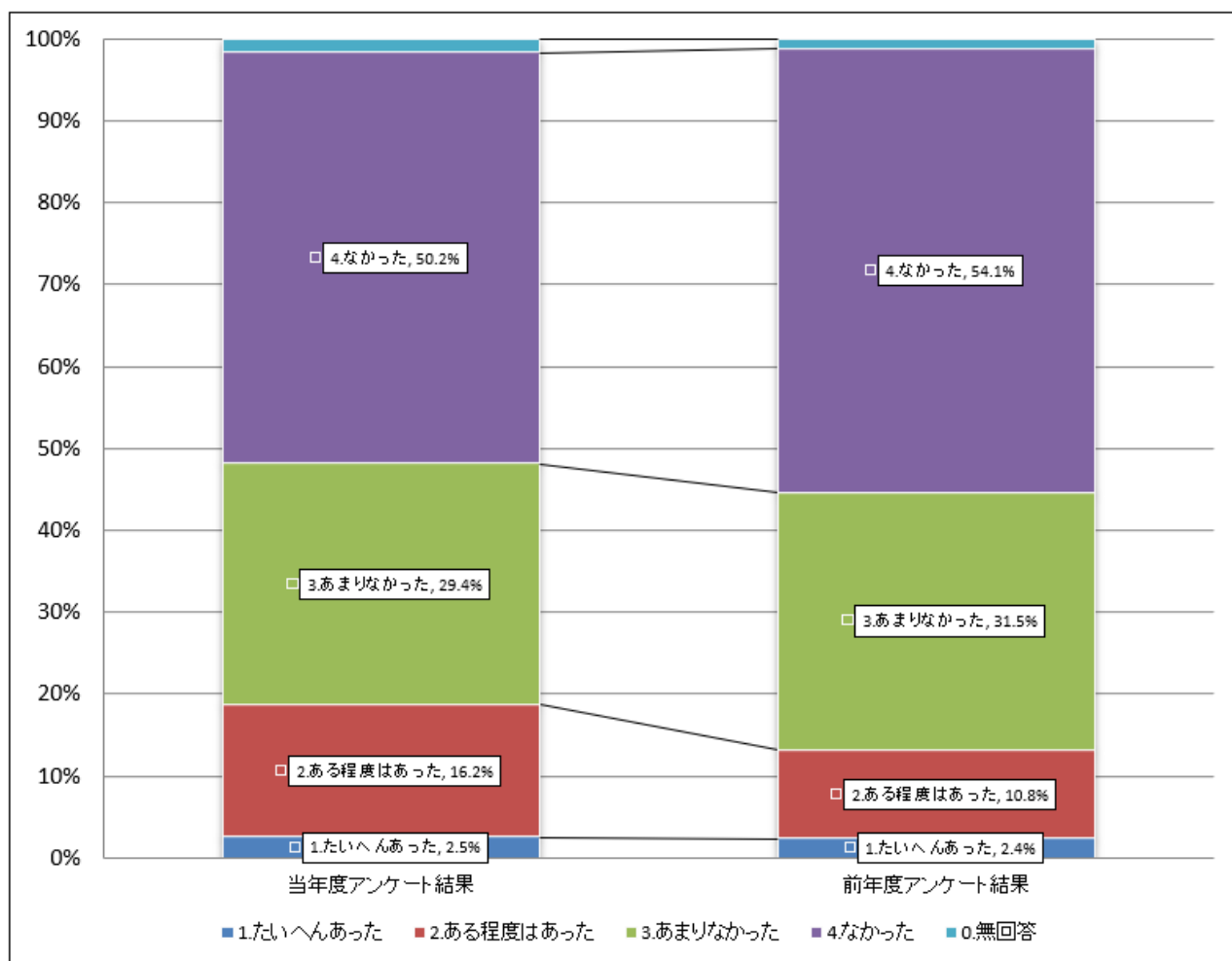
## ➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に実践している」または「ときどき実践している」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区（20.8%）であり、次いで藤沢地区（25.5%）となっています。最も多いのは、上柴地区（38.9%）であり、次いで明戸地区（37.6%）となっています。

## ② 文化の振興（3. 問2）

この1年間に芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会がありましたか。



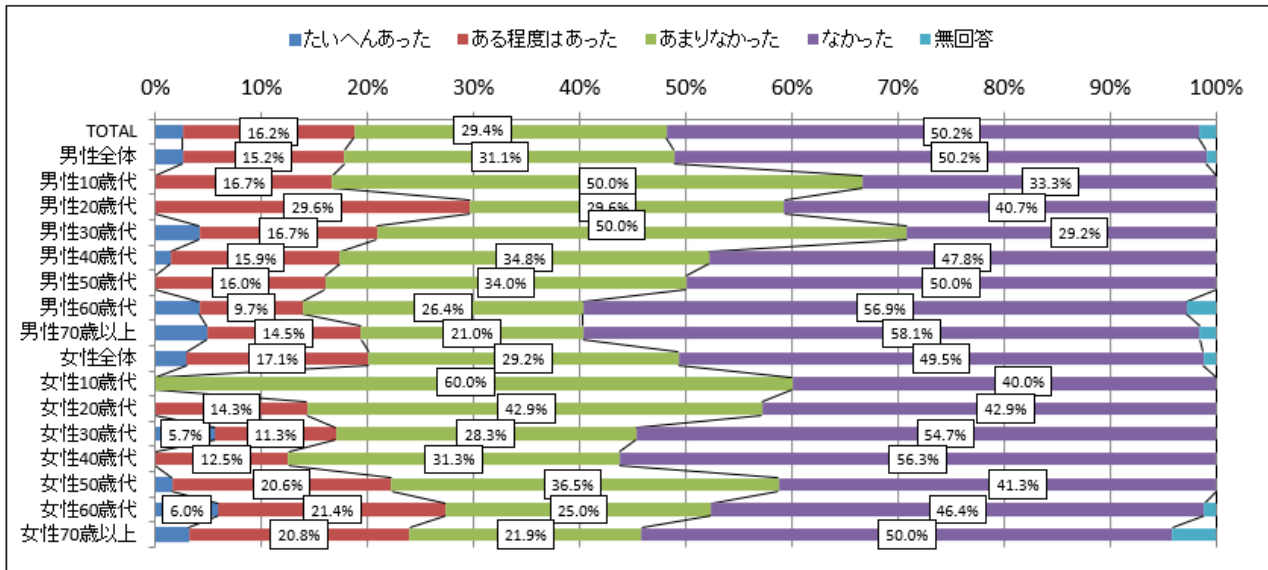
「なかった」と回答した人の割合が 50.2%と最も多く、次いで「あまりなかった」と回答した人の割合が 29.4%、「ある程度はあった」と回答した人の割合が 16.2%、「たいへんあった」と回答した人の割合が 2.5%となっています。

「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合は、18.7%であり、8割以上の市民が芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会がなかったことがうかがえます。

また、前年度アンケートの結果は、「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合は 13.2%であり、前年度アンケートと比較して、「なかった」と回答した人の割合が減少した結果となっています。

母集団		たいへんあった	ある程度はあった	あまりなかった	なかった	無回答	合計
TOTAL	785	2.5%	16.2%	29.4%	50.2%	1.7%	100.0%
男性全体	315	2.5%	15.2%	31.1%	50.2%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	0.0%	29.6%	29.6%	40.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	4.2%	16.7%	50.0%	29.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	1.4%	15.9%	34.8%	47.8%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	0.0%	16.0%	34.0%	50.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	4.2%	9.7%	26.4%	56.9%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	4.8%	14.5%	21.0%	58.1%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	2.9%	17.1%	29.2%	49.5%	1.2%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	5.7%	11.3%	28.3%	54.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	0.0%	12.5%	31.3%	56.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	1.6%	20.6%	36.5%	41.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	6.0%	21.4%	25.0%	46.4%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	3.1%	20.8%	21.9%	50.0%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	2.3%	12.4%	31.6%	51.4%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	0.0%	11.8%	31.4%	54.9%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	2.0%	22.8%	23.8%	50.5%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	18.8%	56.3%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	12.5%	20.8%	50.0%	8.3%	100.0%
八基地区	18	0.0%	27.8%	16.7%	55.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	25.9%	18.5%	48.1%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	1.2%	18.8%	35.3%	44.7%	0.0%	100.0%
南地区	53	1.9%	24.5%	24.5%	49.1%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	6.5%	9.8%	28.3%	54.3%	1.1%	100.0%
川本地区	62	3.2%	16.1%	27.4%	51.6%	1.6%	100.0%
花園地区	61	0.0%	14.8%	36.1%	47.5%	1.6%	100.0%
無回答	18	0.0%	5.6%	27.8%	61.1%	5.6%	100.0%

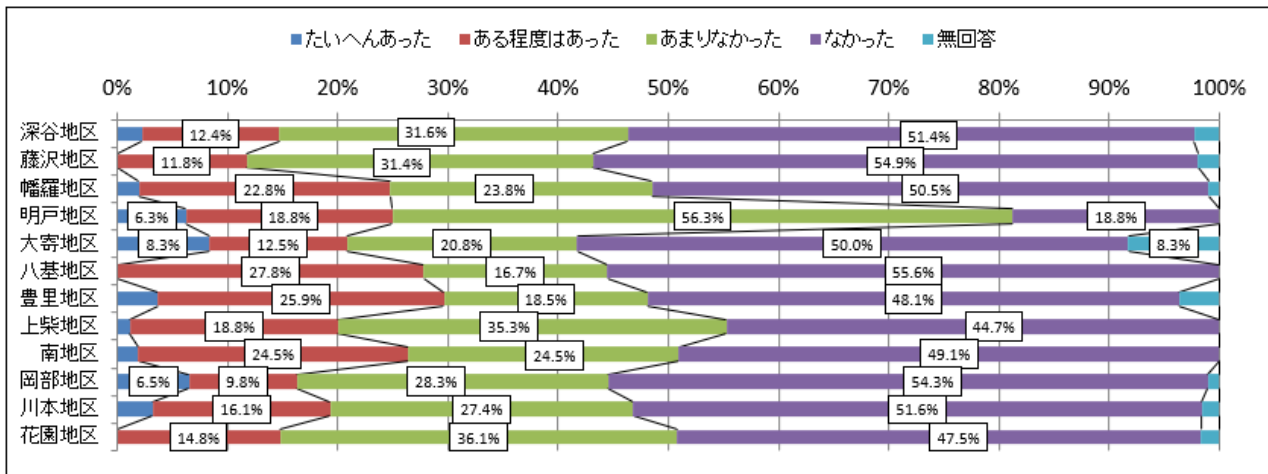
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合は男性が17.7%であるのに対して、女性は20.0%となっています。

また、「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性60歳代（13.9%）、女性10歳代（0.0%）であり、一方で最も割合の多い世代は、男性が20歳以上（29.6%）であるのに対して、女性は60歳代（27.4%）となっています。

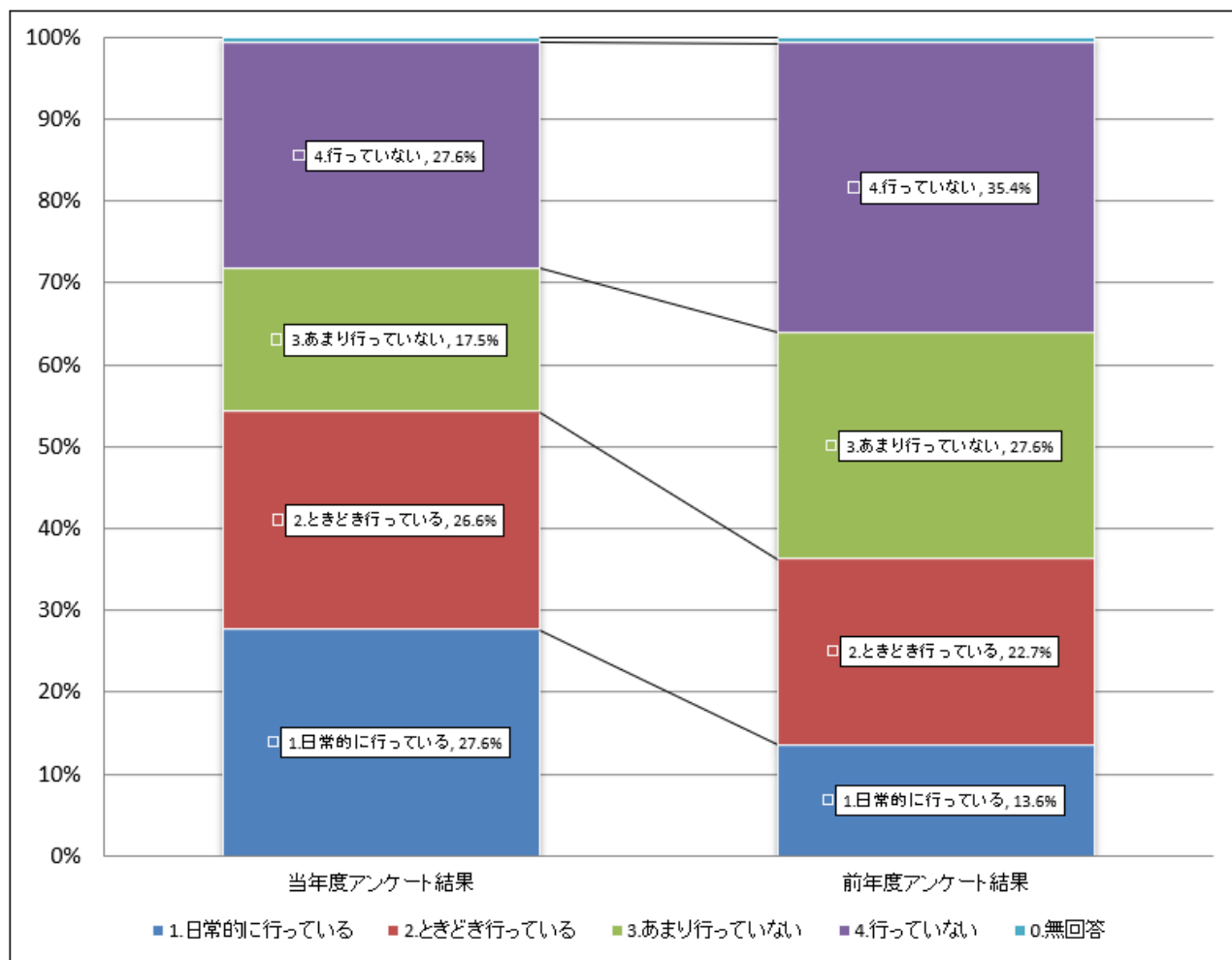
➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんあった」または「ある程度はあった」と回答した人の割合が最も少ないのは、藤沢地区（11.8%）であり、次いで深谷地区（14.7%）となっています。最も多いのは、豊里地区（29.6%）であり、次いで八基地区（27.8%）となっています。

### ③ スポーツの振興（3. 問3）

スポーツやレクリエーションをどの程度行っていますか。

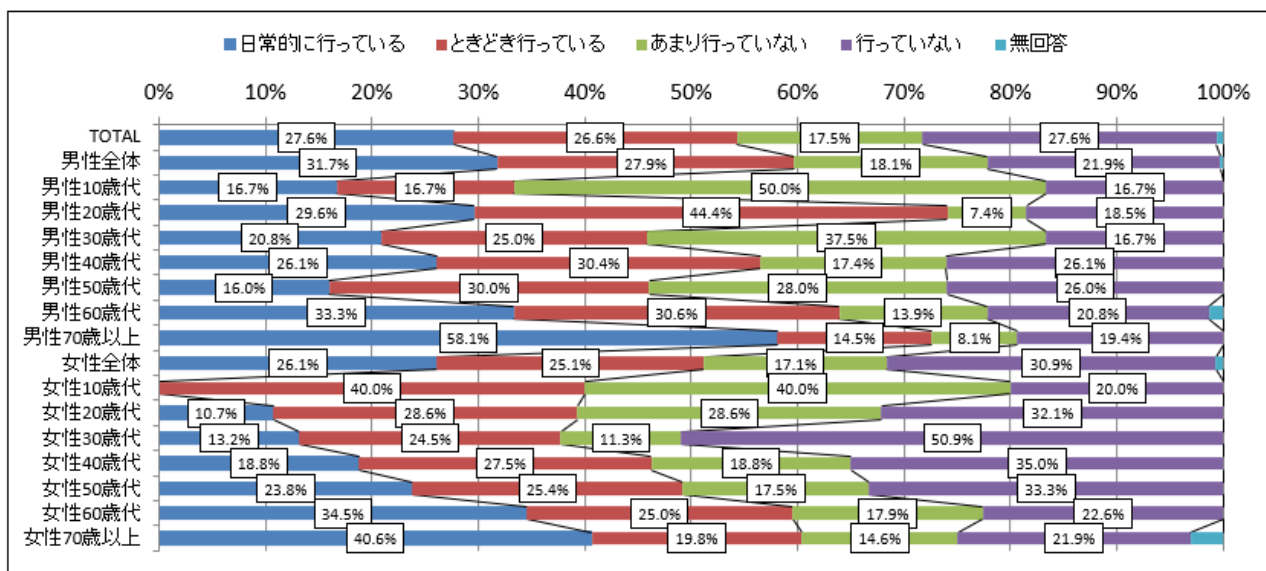


「日常的に行っている」と「行っていない」と回答した人の割合がともに 27.6%と最も多く、次いで、「ときどき行っている」と回答した人の割合は 26.6%、「あまり行っていない」と回答した人の割合は 17.5%となっています。

「日常的に行っている」または「ときどき行っている」とした人の割合は、54.2%と前年度アンケートと比較して大幅に増加し、日頃からスポーツやレクリエーション活動を行っている人が過半数を超えています。

母集団		日常的に行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	行っていない	無回答	合計
TOTAL	785	27.6%	26.6%	17.5%	27.6%	0.6%	100.0%
男性全体	315	31.7%	27.9%	18.1%	21.9%	0.3%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	29.6%	44.4%	7.4%	18.5%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	20.8%	25.0%	37.5%	16.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	26.1%	30.4%	17.4%	26.1%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	16.0%	30.0%	28.0%	26.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	33.3%	30.6%	13.9%	20.8%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	58.1%	14.5%	8.1%	19.4%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	26.1%	25.1%	17.1%	30.9%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	10.7%	28.6%	28.6%	32.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	13.2%	24.5%	11.3%	50.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	18.8%	27.5%	18.8%	35.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	23.8%	25.4%	17.5%	33.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	34.5%	25.0%	17.9%	22.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	40.6%	19.8%	14.6%	21.9%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	24.3%	28.2%	15.8%	31.1%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	31.4%	31.4%	9.8%	23.5%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	33.7%	18.8%	21.8%	25.7%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	25.0%	43.8%	25.0%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	20.8%	25.0%	20.8%	33.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	27.8%	33.3%	11.1%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	22.2%	29.6%	14.8%	33.3%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	36.5%	27.1%	16.5%	20.0%	0.0%	100.0%
南地区	53	35.8%	26.4%	11.3%	26.4%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	21.7%	22.8%	27.2%	28.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	30.6%	27.4%	9.7%	30.6%	1.6%	100.0%
花園地区	61	18.0%	31.1%	19.7%	29.5%	1.6%	100.0%
無回答	18	22.2%	16.7%	22.2%	38.9%	0.0%	100.0%

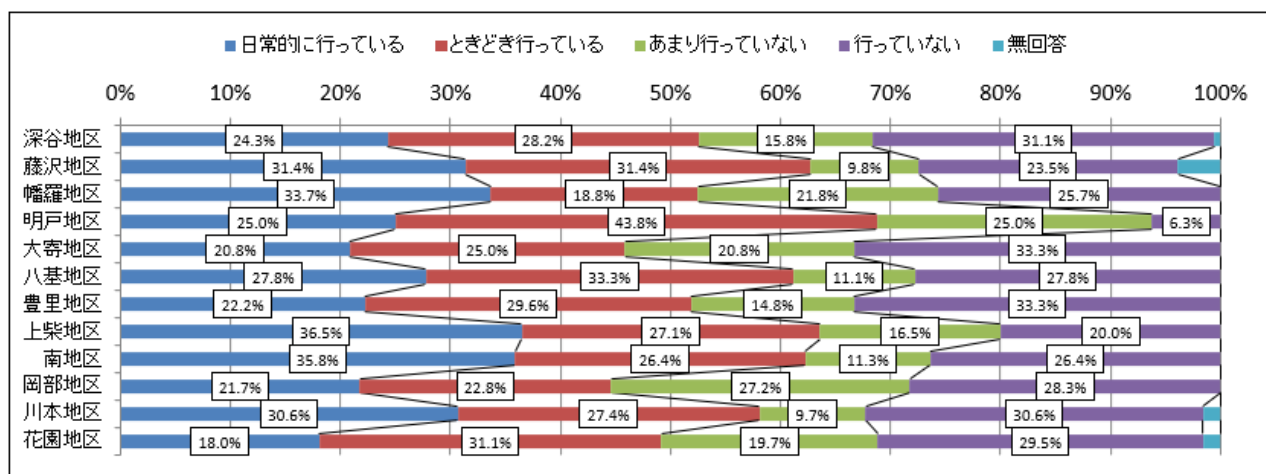
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合は男性が 59.6%であるのに対して、女性は 51.2%となっています。男女間で 8.4 ポイントの差があることから、男性の方がスポーツやレクリエーションに対する意識が高いことがうかがえます。

また、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は 10 歳代 (33.4%)、女性は 30 歳代 (37.7%) であり、一方で最も割合の多い世代は、男性は 20 歳代 (74.0%)、女性は 70 歳以上 (60.4%) となっています。

## ➤ 地区別

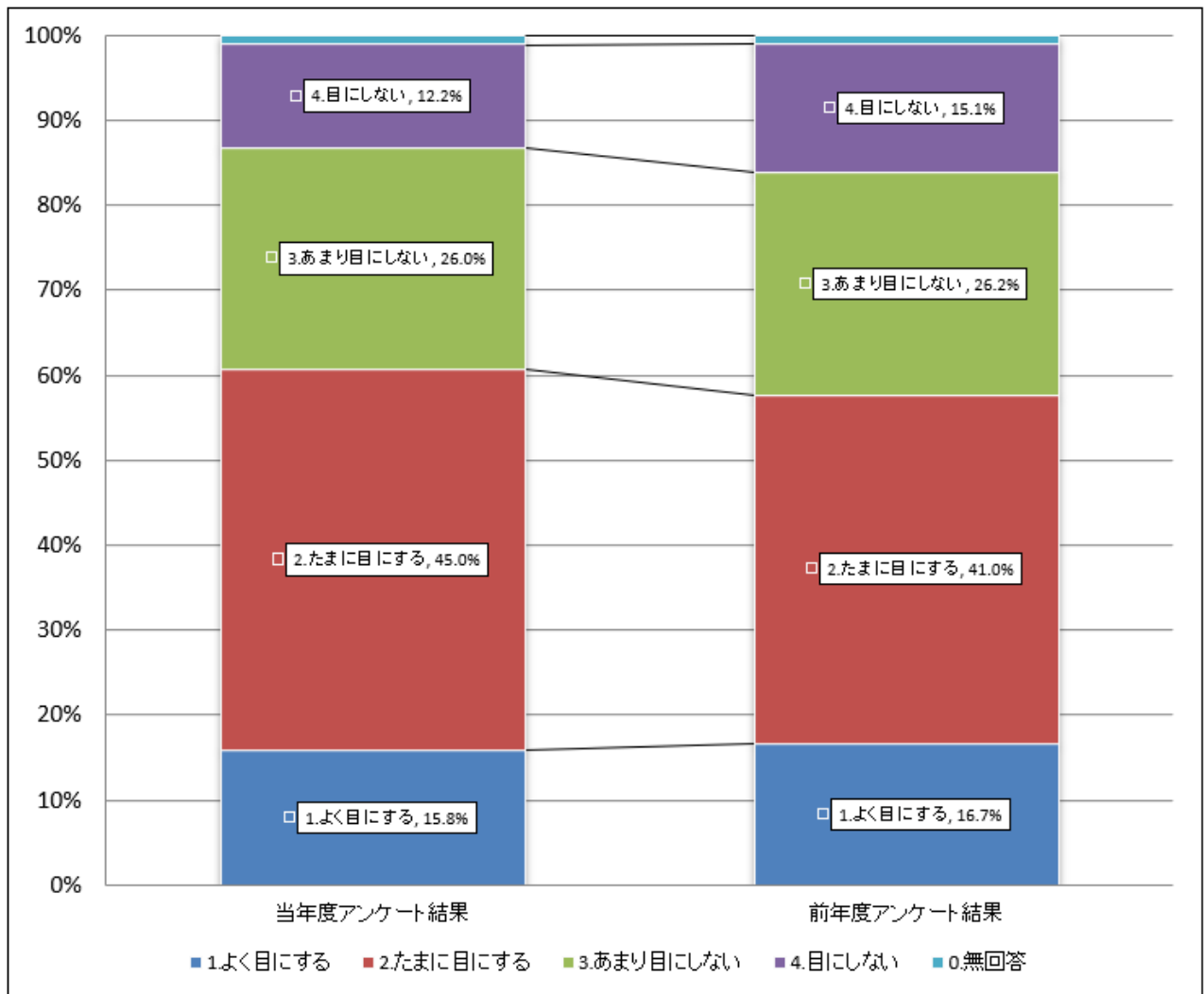


地区別にみると、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合が最も少ない地区は、岡部地区 (44.5%) であり、次いで花園地区 (49.1%) となっています。最も多い地区は、明戸地区 (68.8%) であり、次いで上柴地区 (63.6%) となっています。

#### (4) 産業振興について

##### 全国に誇る農業の振興（4. 問1～2）

市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目にすることがありますか。



「たまに目にする」と回答した人の割合が 45.0%と最も多く、次いで「あまり目にしない」と回答した人の割合が 26.0%、「よく目にする」と回答した人の割合が 15.8%、「目にしない」と回答した人の割合は 12.2%となっています。

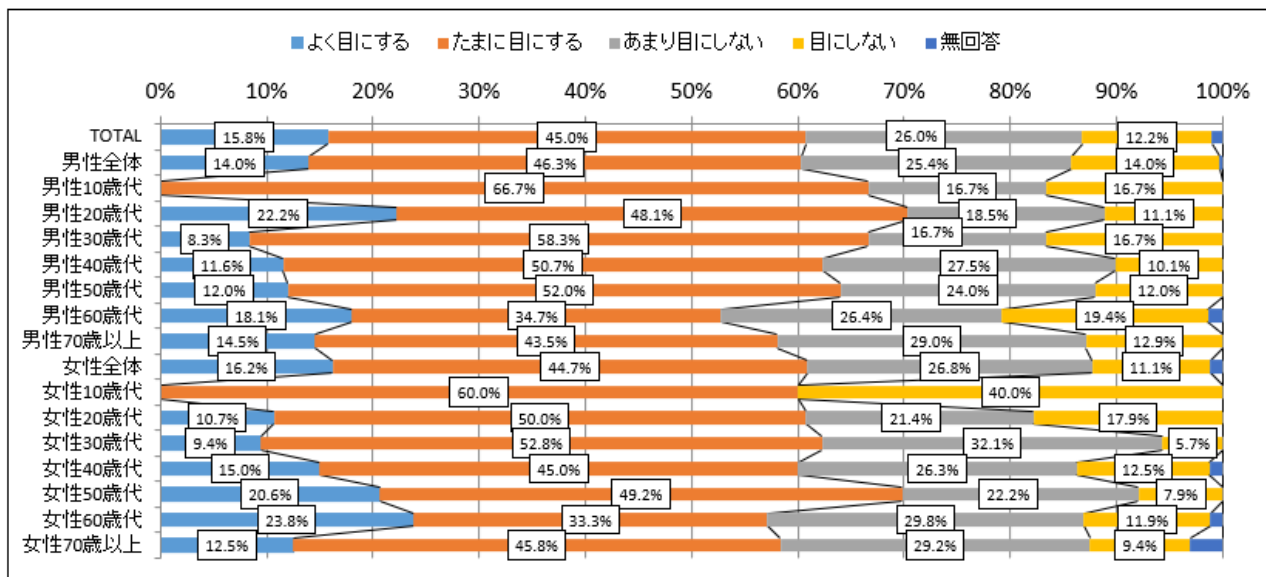
「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合は 60.8%であり、市民の6割以上の市民が市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目にしていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合は 57.7%であり、前年度アンケートと比較して、増加していることがうかがえます。



母集団		よく目にする	たまに目にする	あまり目に見えない	目に見えない	無回答	合計
TOTAL	785	15.8%	45.0%	26.0%	12.2%	1.0%	100.0%
男性全体	315	14.0%	46.3%	25.4%	14.0%	0.3%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	22.2%	48.1%	18.5%	11.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	58.3%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	11.6%	50.7%	27.5%	10.1%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	12.0%	52.0%	24.0%	12.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	18.1%	34.7%	26.4%	19.4%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	14.5%	43.5%	29.0%	12.9%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	16.2%	44.7%	26.8%	11.1%	1.2%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	10.7%	50.0%	21.4%	17.9%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	9.4%	52.8%	32.1%	5.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	15.0%	45.0%	26.3%	12.5%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	20.6%	49.2%	22.2%	7.9%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	23.8%	33.3%	29.8%	11.9%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	12.5%	45.8%	29.2%	9.4%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	14.7%	47.5%	20.9%	15.8%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	15.7%	49.0%	21.6%	11.8%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	12.9%	42.6%	36.6%	6.9%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	18.8%	50.0%	18.8%	12.5%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	25.0%	45.8%	12.5%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	33.3%	22.2%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	14.8%	40.7%	29.6%	14.8%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	15.3%	52.9%	23.5%	8.2%	0.0%	100.0%
南地区	53	15.1%	43.4%	34.0%	7.5%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	14.1%	42.4%	31.5%	10.9%	1.1%	100.0%
川本地区	62	17.7%	38.7%	25.8%	16.1%	1.6%	100.0%
花園地区	61	23.0%	45.9%	21.3%	8.2%	1.6%	100.0%
無回答	18	11.1%	33.3%	27.8%	22.2%	5.6%	100.0%

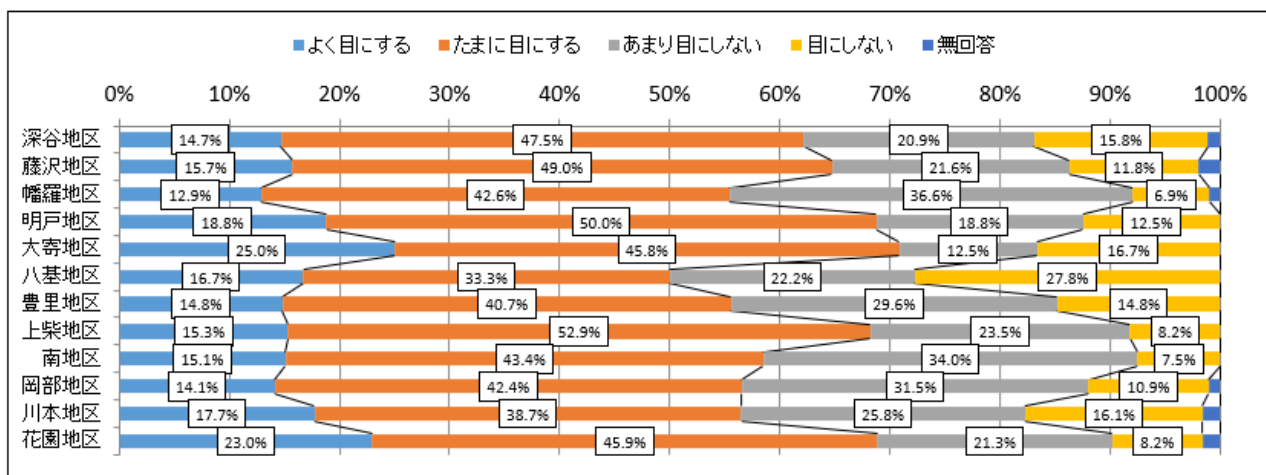
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合は男性が60.3%、女性は60.9%と男女間での差は少なくなっています。

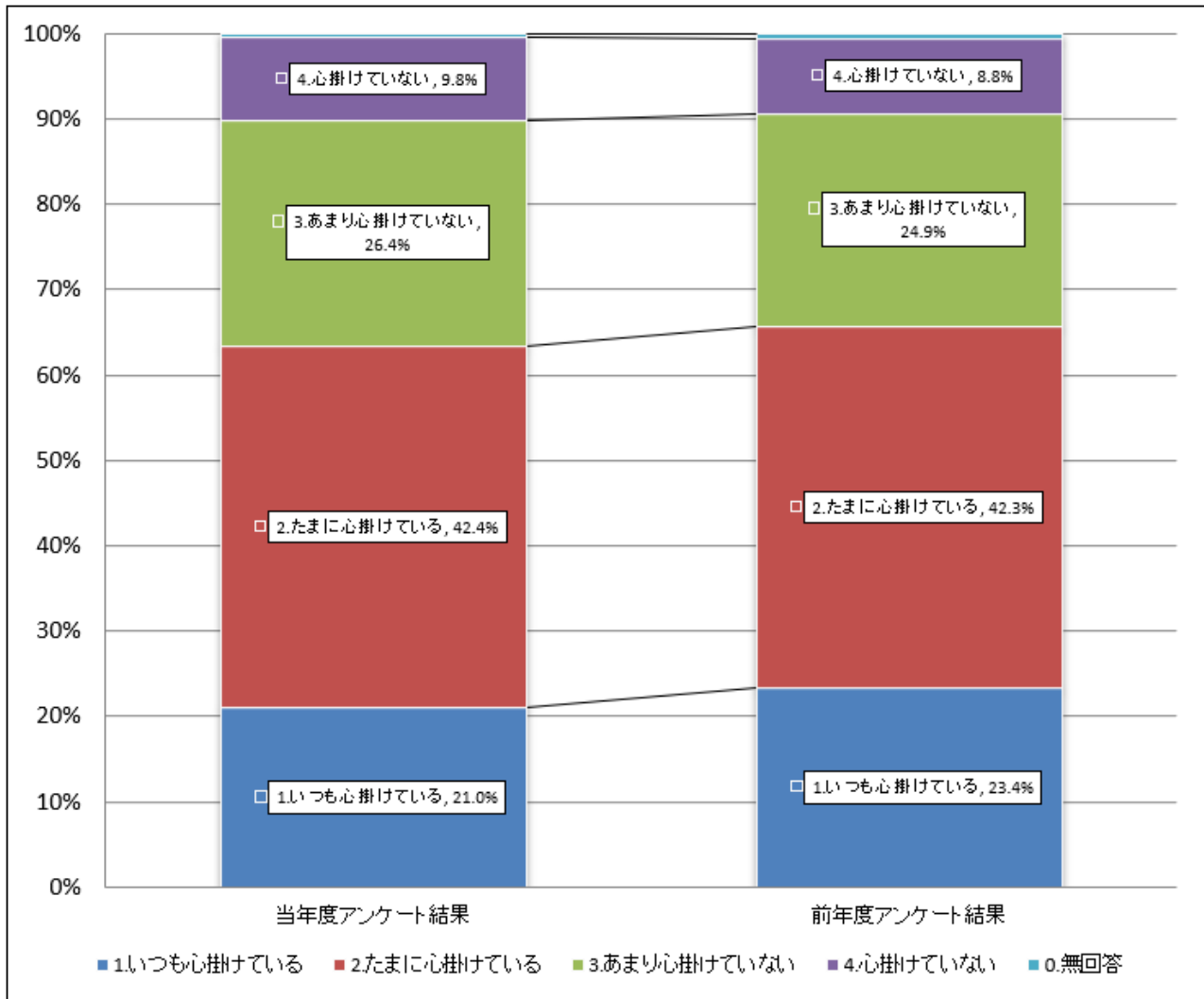
また、「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに60歳代（男性52.8%、女性57.1%）であり、一方で最も多い世代は、男性が20歳代（70.3%）女性が50歳代（69.8%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「よく目にする」または「たまに目にする」と回答した人の割合が最も少ないのは、八基地区（50.0%）であり、次いで幡羅地区（55.4%）となっています。最も多いのは大寄地区（70.8%）であり、次いで花園地区（68.9%）となっています。

食材等の購入の際に、深谷産の農畜産物を購入することを心掛けていますか。



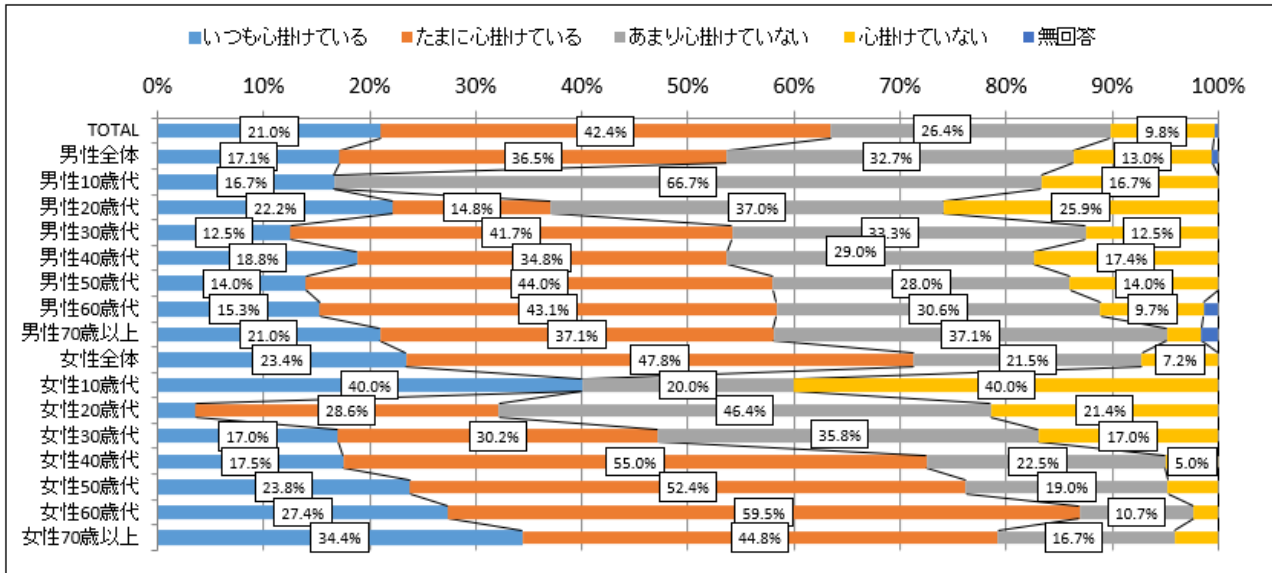
「たまに心掛けている」と回答した人の割合が 42.4%と最も多く、次いで「あまり心掛けていない」と回答した人の割合が 26.4%、「いつも心掛けている」と回答した人の割合が 21.0%、「心掛けていない」と回答した人の割合は最も少なく 9.8%となっています。

「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合は 63.4%であり、6 割以上の市民が食材等の購入時に、深谷産の農畜産物を購入することを心掛けていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合は 65.7%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		いつも心掛けている	たまに心掛けている	あまり心掛けている	心掛けていない	無回答	合計
TOTAL	785	21.0%	42.4%	26.4%	9.8%	0.4%	100.0%
男性全体	315	17.1%	36.5%	32.7%	13.0%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	22.2%	14.8%	37.0%	25.9%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	12.5%	41.7%	33.3%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	18.8%	34.8%	29.0%	17.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	14.0%	44.0%	28.0%	14.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	15.3%	43.1%	30.6%	9.7%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	37.1%	37.1%	3.2%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	23.4%	47.8%	21.5%	7.2%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	3.6%	28.6%	46.4%	21.4%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	17.0%	30.2%	35.8%	17.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	17.5%	55.0%	22.5%	5.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	23.8%	52.4%	19.0%	4.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	27.4%	59.5%	10.7%	2.4%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	34.4%	44.8%	16.7%	4.2%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	21.5%	42.9%	27.1%	7.3%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	13.7%	62.7%	17.6%	5.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	21.8%	52.5%	19.8%	5.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	25.0%	43.8%	18.8%	12.5%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	37.5%	37.5%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	27.8%	38.9%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	18.5%	29.6%	25.9%	25.9%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	34.1%	30.6%	28.2%	7.1%	0.0%	100.0%
南地区	53	24.5%	47.2%	22.6%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	12.0%	42.4%	34.8%	10.9%	0.0%	100.0%
川本地区	62	21.0%	35.5%	27.4%	14.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	21.3%	41.0%	29.5%	8.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	22.2%	27.8%	33.3%	0.0%	100.0%

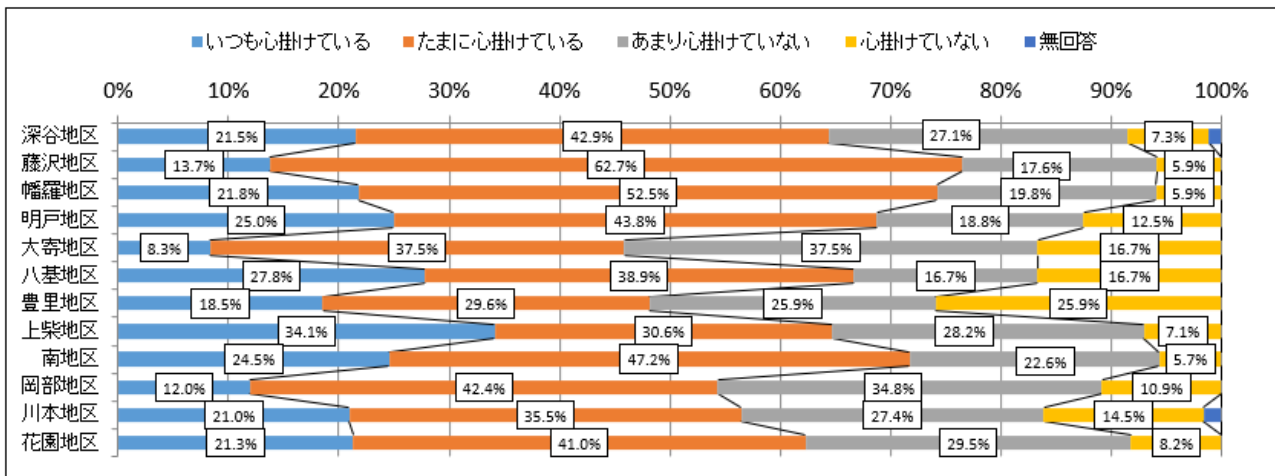
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合は男性が 53.6%であるのに対して、女性は 71.2%となっています。このことから、男性よりも女性の方が意識が高いことがうかがえます。

また、「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性 10 歳代 (16.7%)、女性 20 歳代 (32.2%) であり、一方で最も多い世代は、男女ともに 60 歳代 (男性 58.4%、女性 86.9%) となっています。

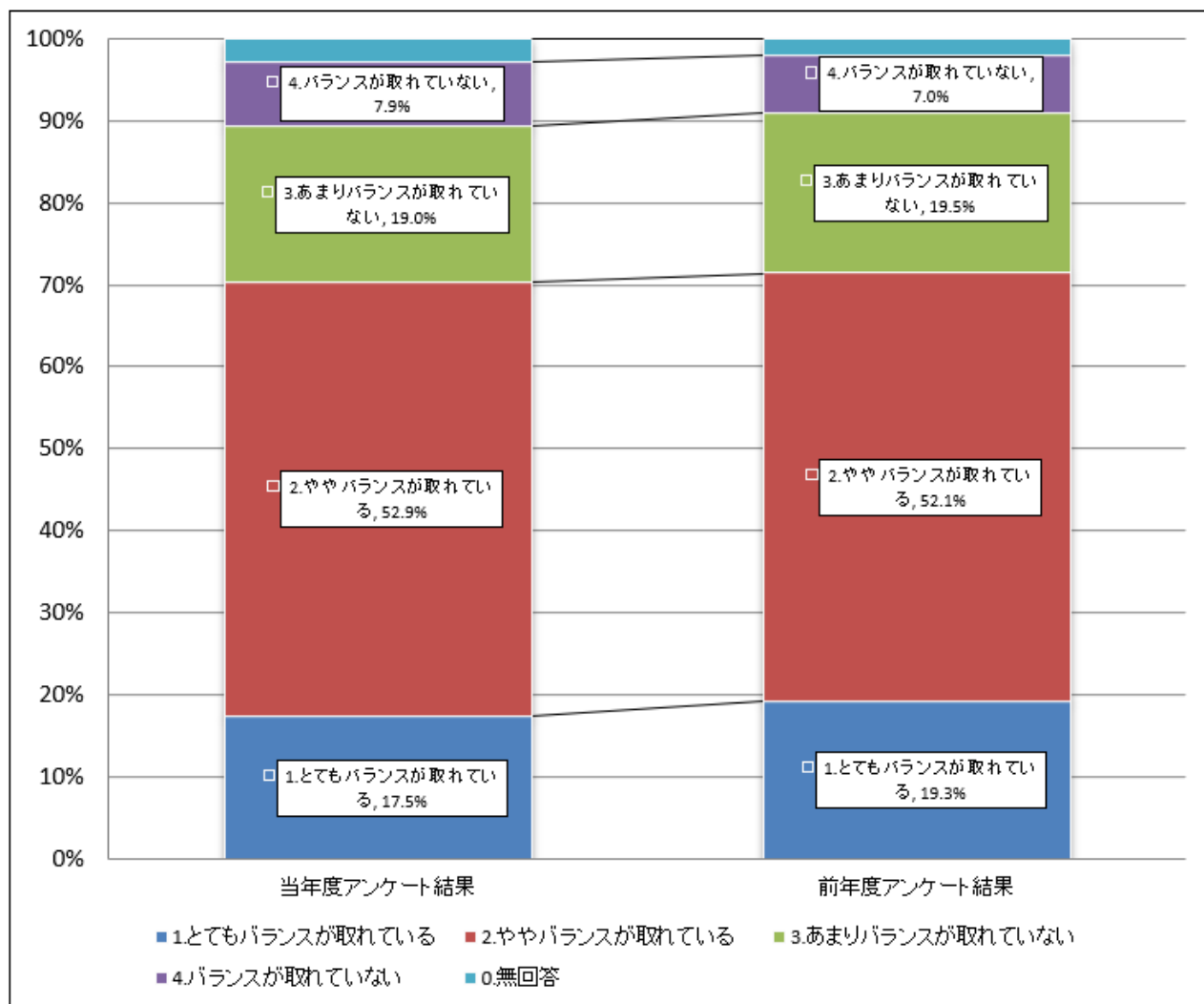
## ➤ 地区別



地区別にみると、「いつも心掛けている」または「たまに心掛けている」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区 (45.8%) であり、次いで豊里地区 (48.1%) となっています。最も多いのは藤沢地区 (76.4%) であり、次いで幡羅地区で (74.3%) となっています。

## ②雇用の創出・安定と勤労者への支援（3. 問3）

ご自身またはご家族の仕事と生活のバランスは取れていますか（休暇の取得状況や家族と過ごす時間の確保などは十分ですか）。



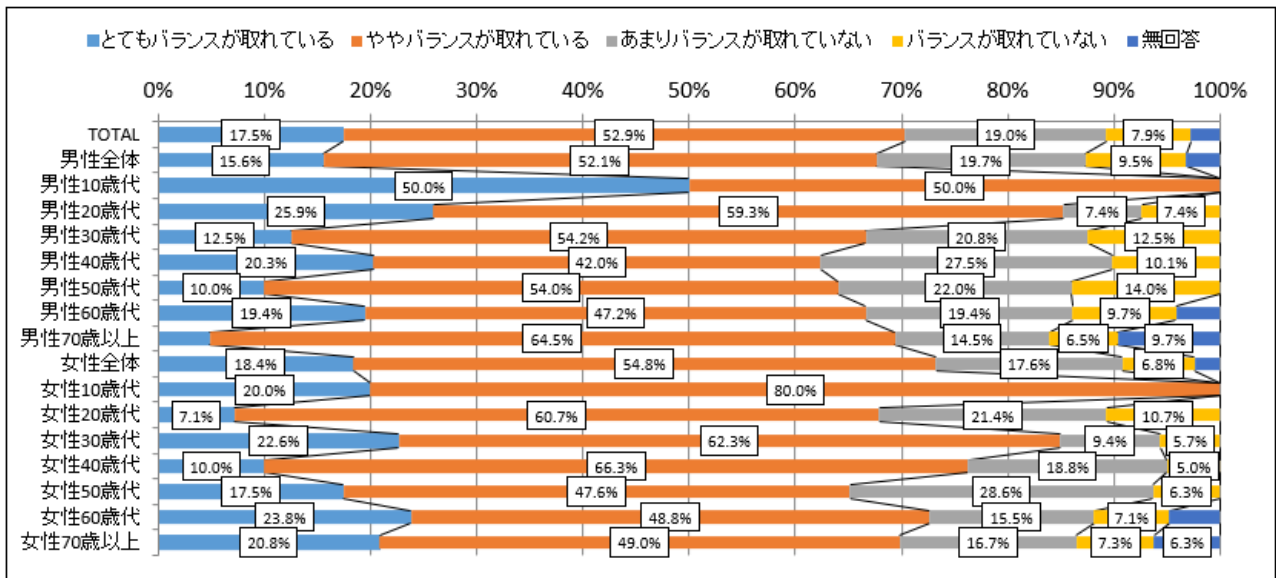
「ややバランスが取れている」と回答した人の割合が 52.9%と最も多く、次いで「あまりバランスが取れていない」と回答した人の割合が 19.0%、「とてもバランスが取れている」と回答した人の割合が 17.5%、「バランスが取れていない」と回答した人の割合は最も少なく 7.9%となっています。

「とてもバランスが取れている」または「ややバランスが取れている」と回答した人の割合は 70.4%であり、市民の 7 割以上が、仕事と生活のバランスが取れていると感じていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「とてもバランスが取れている」または「ややバランスが取れている」と回答した人の割合は 71.4%であり、前年度アンケートと比較して、微減となっています。

母集団		とてもバランスが 取れている	ややバランスが取れている	あまりバランスが 取れていない	バランスが取れていない	無回答	合計
TOTAL	785	17.5%	52.9%	19.0%	7.9%	2.8%	100.0%
男性全体	315	15.6%	52.1%	19.7%	9.5%	3.2%	100.0%
男性10歳代	6	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	25.9%	59.3%	7.4%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	12.5%	54.2%	20.8%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	20.3%	42.0%	27.5%	10.1%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	10.0%	54.0%	22.0%	14.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	19.4%	47.2%	19.4%	9.7%	4.2%	100.0%
男性70歳以上	62	4.8%	64.5%	14.5%	6.5%	9.7%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	18.4%	54.8%	17.6%	6.8%	2.4%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	60.7%	21.4%	10.7%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	22.6%	62.3%	9.4%	5.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	10.0%	66.3%	18.8%	5.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	17.5%	47.6%	28.6%	6.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	23.8%	48.8%	15.5%	7.1%	4.8%	100.0%
女性70歳以上	96	20.8%	49.0%	16.7%	7.3%	6.3%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	20.3%	45.2%	20.3%	10.2%	4.0%	100.0%
藤沢地区	51	17.6%	58.8%	11.8%	5.9%	5.9%	100.0%
幡羅地区	101	16.8%	52.5%	21.8%	7.9%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	62.5%	20.8%	8.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	18.5%	40.7%	25.9%	7.4%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	17.6%	62.4%	15.3%	4.7%	0.0%	100.0%
南地区	53	20.8%	58.5%	15.1%	3.8%	1.9%	100.0%
岡部地区	92	15.2%	55.4%	19.6%	9.8%	0.0%	100.0%
川本地区	62	17.7%	45.2%	22.6%	6.5%	8.1%	100.0%
花園地区	61	18.0%	57.4%	16.4%	8.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	22.2%	27.8%	16.7%	16.7%	16.7%	100.0%

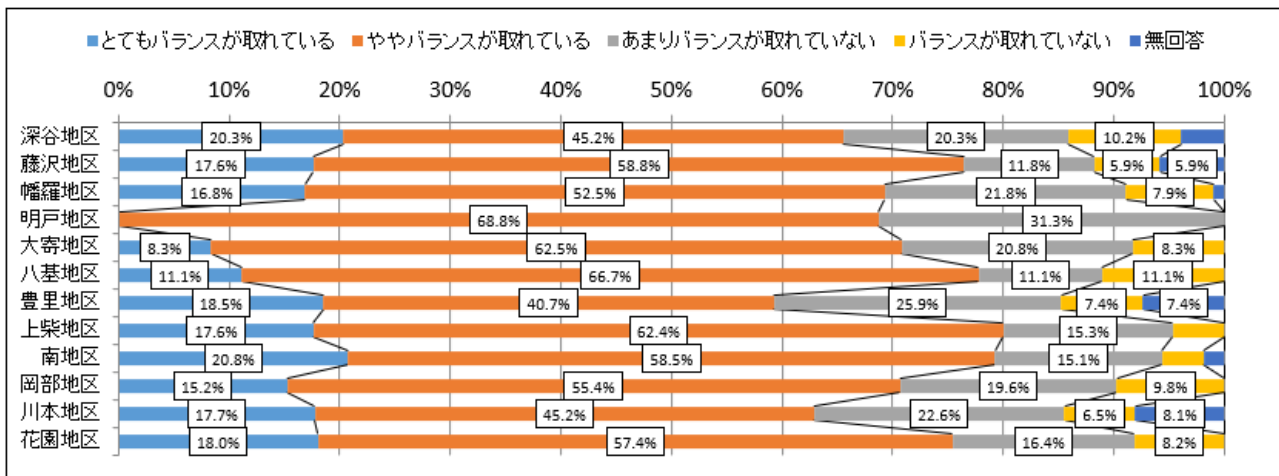
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とてもバランスが取れている」または「ややバランスが取れている」と回答した人の割合は男性が 67.7%であるのに対して、女性は 73.2%となっています。

また、「とてもバランスが取れている」または「ややバランスが取れている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 40 歳代 (62.3%) であり、女性は 50 歳代 (65.1%) となっています。最も多い世代は、男女ともに 10 歳代 (100.0%) となっています。

➤ 地区別



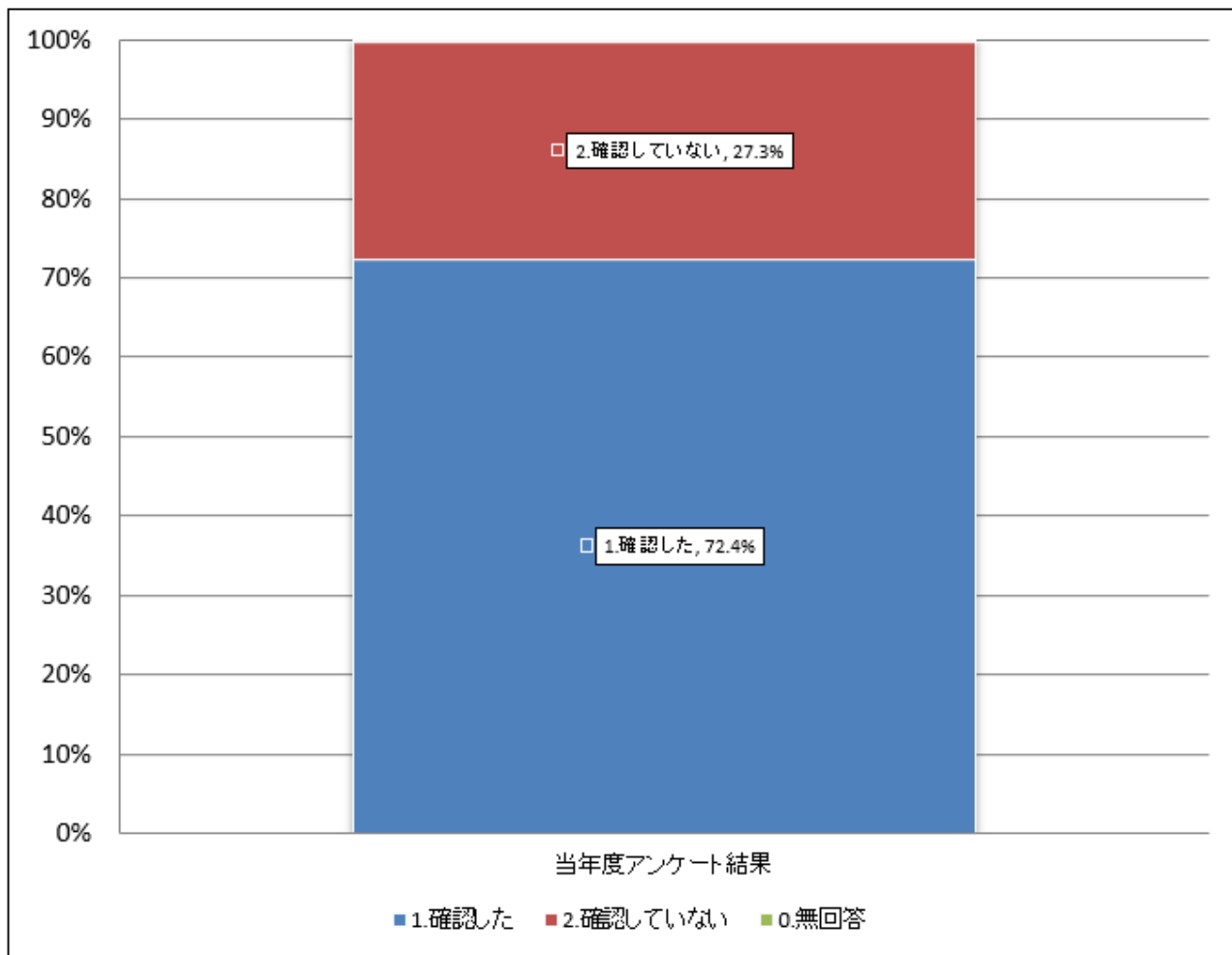
地区別にみると、「とてもバランスが取れている」または「ややバランスが取れている」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区 (59.2%) であり、次いで川本地区 (62.9%) となっています。最も多いのは上柴地区 (80.0%) であり、次いで南地区 (79.3%) となっています。



(5) 暮らし・環境について

①防災対策の推進（5. 問1～3）

ハザードマップで自宅等の災害の危険性（自宅等の浸水想定が地震時の揺れやすさなど）について確認しましたか。



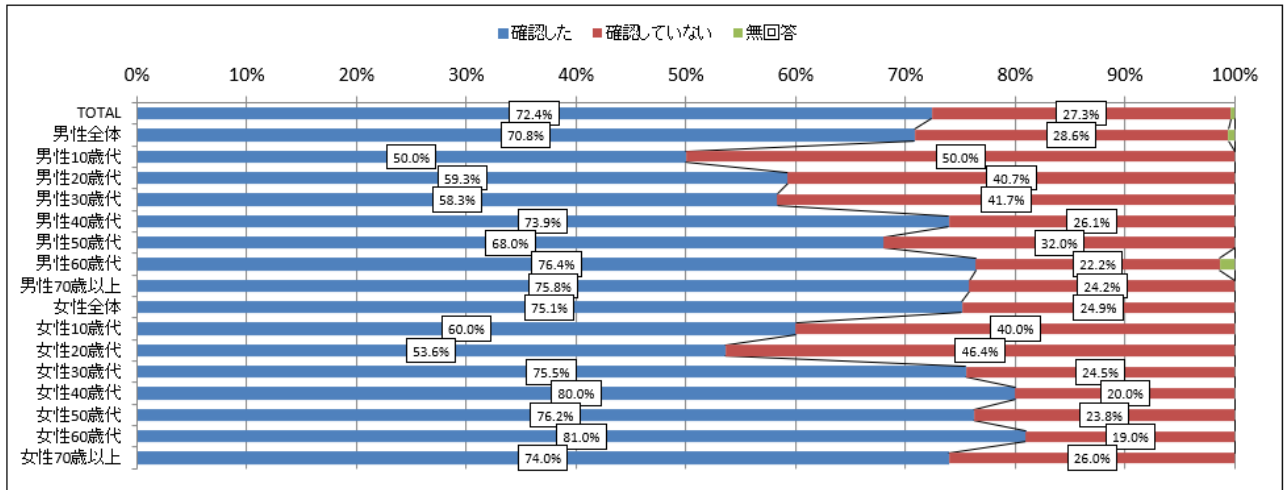
「確認した」と回答した人の割合が 72.4%、「確認していない」と回答した人の割合が 27.3%となっています。

市民の7割以上が、ハザードマップで自宅等の災害の危険性を確認していることがうかがえます。

一方、約3割の市民が確認していないこともうかがえます。

母集団		確認した	確認していない	無回答	合計
TOTAL	785	72.4%	27.3%	0.4%	100.0%
男性全体	315	70.8%	28.6%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	59.3%	40.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	73.9%	26.1%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	68.0%	32.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	76.4%	22.2%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	75.8%	24.2%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	75.1%	24.9%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	53.6%	46.4%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	75.5%	24.5%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	76.2%	23.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	81.0%	19.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	74.0%	26.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	71.2%	28.2%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	72.5%	27.5%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	78.2%	21.8%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	81.3%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	74.1%	25.9%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	67.1%	32.9%	0.0%	100.0%
南地区	53	83.0%	17.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	71.7%	28.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	67.7%	30.6%	1.6%	100.0%
花園地区	61	77.0%	23.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	44.4%	50.0%	5.6%	100.0%

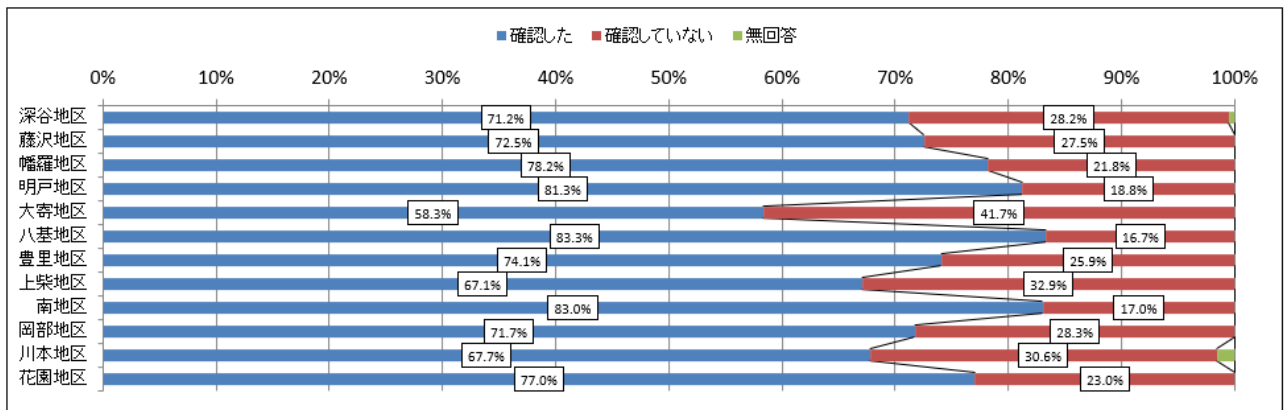
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「確認した」と回答した人の割合は男性が 70.8%であるのに対して、女性は 75.1%となっています。

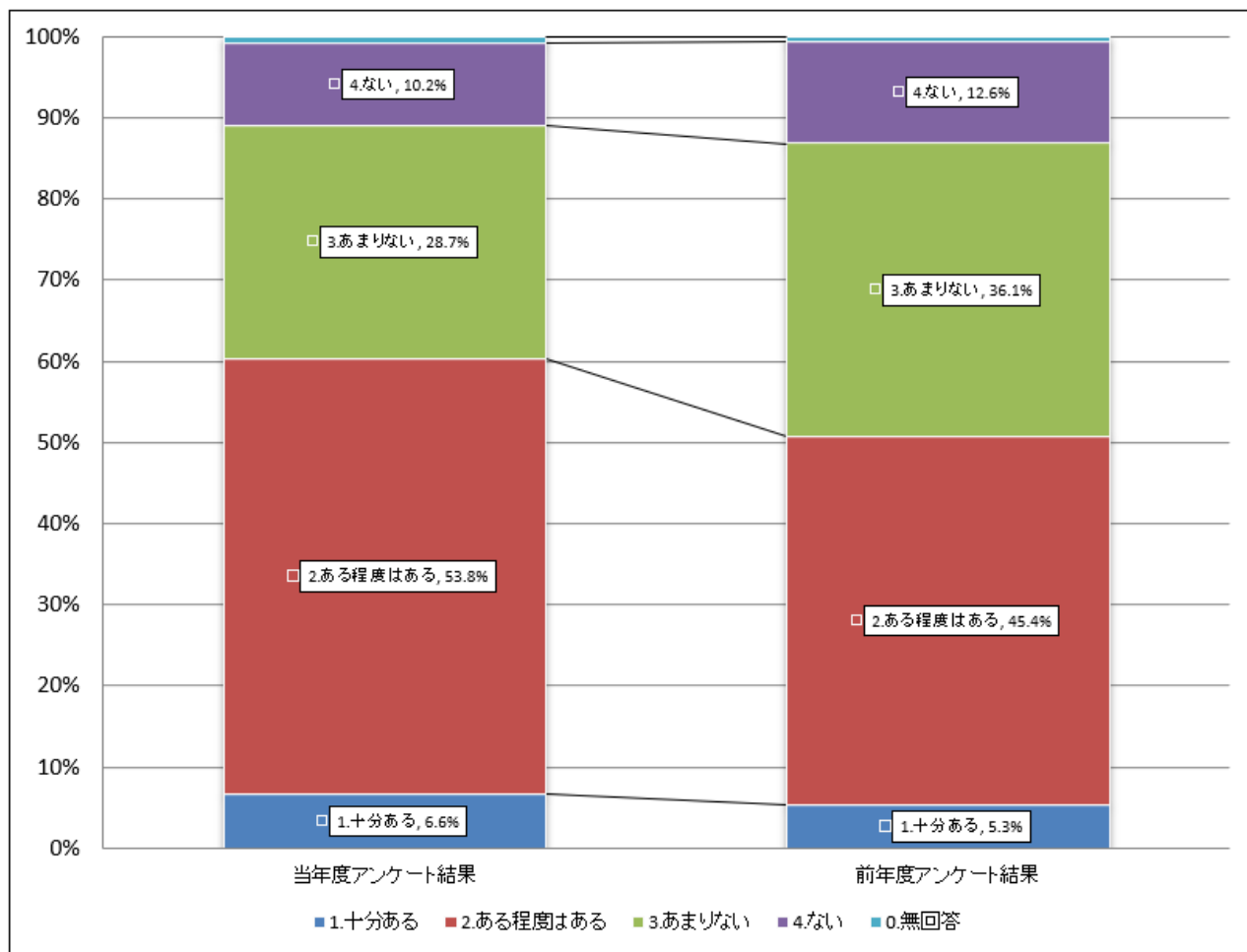
また、「確認した」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 10 歳代 (50.0%) であり、女性は 20 歳代 (53.6%) となっています。最も多い世代は、男女ともに 60 歳代 (男性 76.4%、女性 81.0%) となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「確認した」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区 (58.3%) であり、次いで上柴地区 (67.1%) となっています。最も多いのは八基地区 (83.3%) であり、次いで南地区 (83.0%) となっています。

**ご自宅に災害に対する備え（備蓄品など）はありますか。**



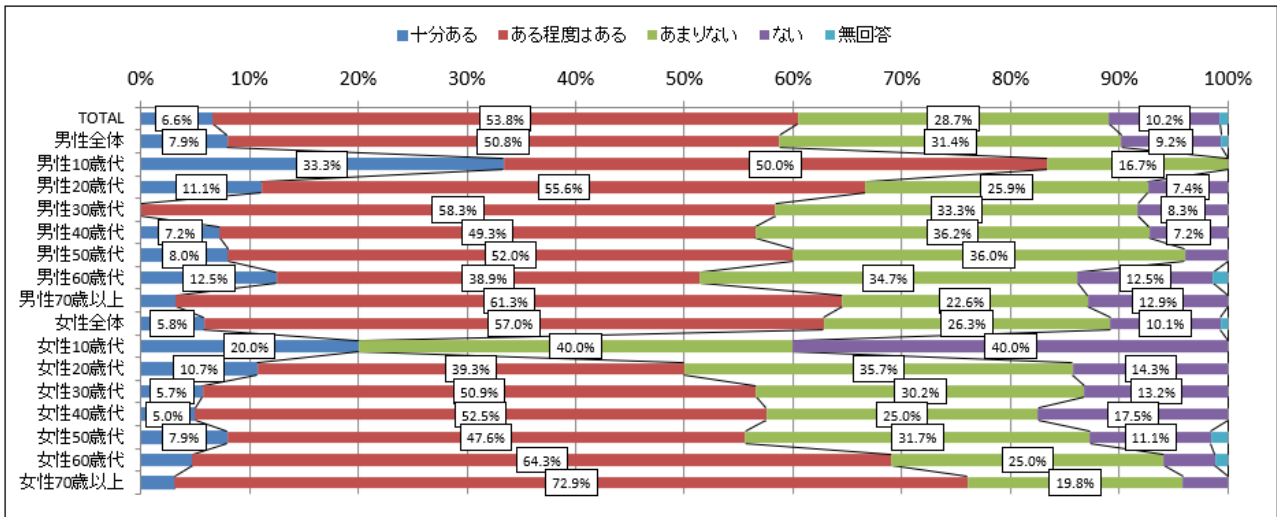
「ある程度はある」と回答した人の割合が 53.8%と最も多く、次いで「あまりない」と回答した人の割合が 28.7%、「ない」と回答した人の割合が 10.2%、「十分ある」と回答した人の割合が最も少なく 6.6%となっています。

「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は 60.4%であり、市民の 6割は、災害時の備え（備蓄品など）が十分であることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は 50.7%であり、前年度アンケートと比較して、増加していることがうかがえます。

母集団		十分ある	ある程度はある	あまりない	ない	無回答	合計
TOTAL	785	6.6%	53.8%	28.7%	10.2%	0.8%	100.0%
男性全体	315	7.9%	50.8%	31.4%	9.2%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	11.1%	55.6%	25.9%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	7.2%	49.3%	36.2%	7.2%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	8.0%	52.0%	36.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	12.5%	38.9%	34.7%	12.5%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	3.2%	61.3%	22.6%	12.9%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	5.8%	57.0%	26.3%	10.1%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	10.7%	39.3%	35.7%	14.3%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	5.7%	50.9%	30.2%	13.2%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	5.0%	52.5%	25.0%	17.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	7.9%	47.6%	31.7%	11.1%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	4.8%	64.3%	25.0%	4.8%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	3.1%	72.9%	19.8%	4.2%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	5.1%	51.4%	28.2%	13.6%	1.7%	100.0%
藤沢地区	51	7.8%	56.9%	33.3%	2.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	5.0%	57.4%	29.7%	7.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	56.3%	31.3%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	45.8%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	11.1%	33.3%	38.9%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	11.1%	44.4%	29.6%	14.8%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	3.5%	62.4%	23.5%	10.6%	0.0%	100.0%
南地区	53	7.5%	60.4%	26.4%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	9.8%	48.9%	32.6%	7.6%	1.1%	100.0%
川本地区	62	3.2%	50.0%	30.6%	14.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	13.1%	57.4%	23.0%	6.6%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	55.6%	16.7%	16.7%	5.6%	100.0%

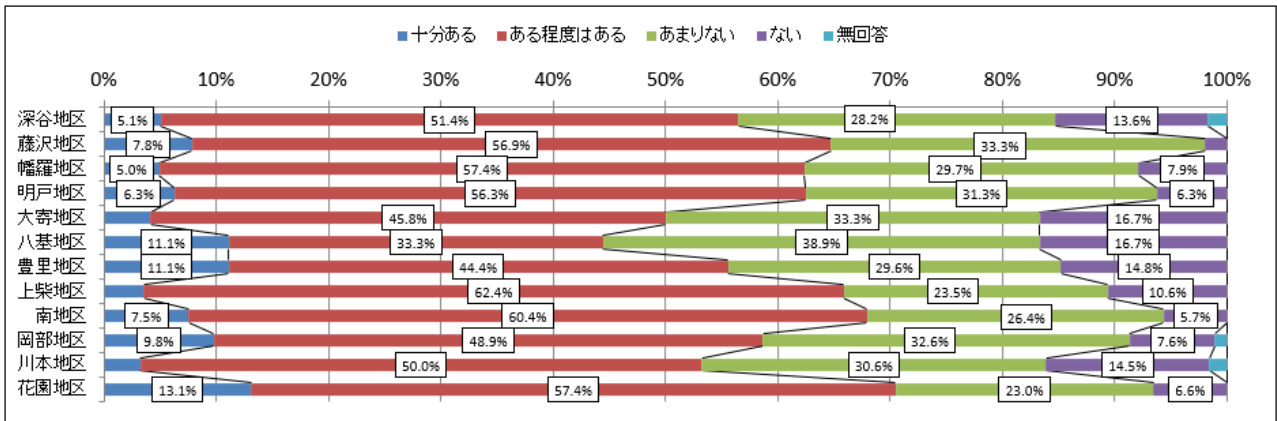
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は男性が58.7%であるのに対して、女性は62.8%となっています。

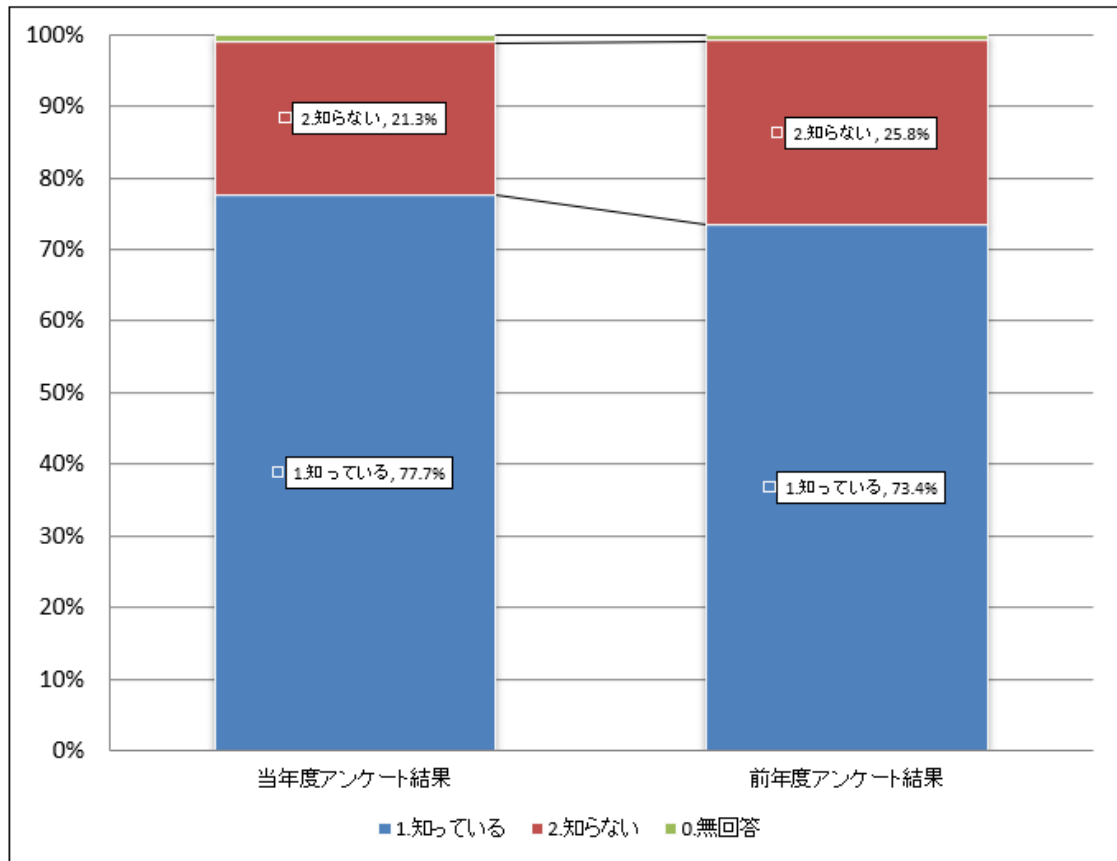
また、「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が60歳代(51.4%)、女性が10歳代(20.0%)であり、一方で最も多い世代は、男性10歳代(83.3%)、女性70歳以上(76.0%)となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「十分ある」または「ある程度はある」と回答した人の割合が最も少ないのは、八基地区(44.4%)であり、次いで大寄地区(50.0%)となっています。最も多いのは、花園地区(70.5%)、次いで南地区(67.9%)となっています。

## 地震発生時の避難所・避難場所を知っていますか。



「知っている」と回答した人の割合は 77.7%、「知らない」と回答した人の割合は 21.3% となっています。

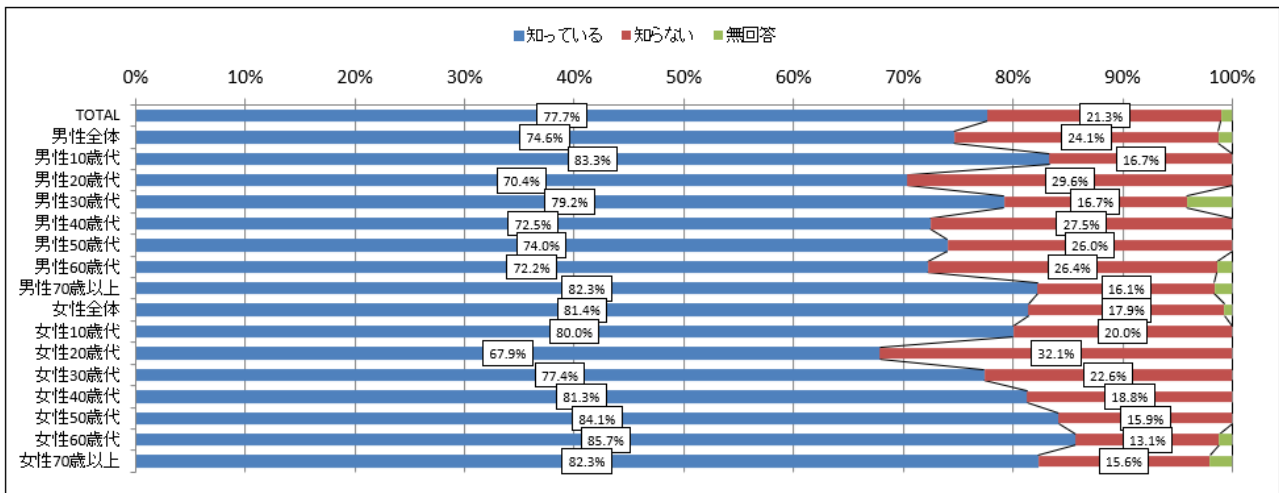
また、地震発生時の避難所・避難場所を知っているという人が大多数を占めているものの、まだ 21.3%の人が知らない状況であることから、引き続き避難所・避難場所の周知徹底が求められます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「知っている」と回答した人の割合は 73.4%であり、前年度アンケートと比較して、増加したことがうかがえます。

母集団		知っている	知らない	無回答	合計
TOTAL	785	77.7%	21.3%	1.0%	100.0%
男性全体	315	74.6%	24.1%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	70.4%	29.6%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	79.2%	16.7%	4.2%	100.0%
男性40歳代	69	72.5%	27.5%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	74.0%	26.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	72.2%	26.4%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	82.3%	16.1%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	81.4%	17.9%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	67.9%	32.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	77.4%	22.6%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	81.3%	18.8%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	84.1%	15.9%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	85.7%	13.1%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	82.3%	15.6%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	76.8%	20.9%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	82.4%	15.7%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	83.2%	16.8%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	81.3%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	62.5%	37.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	88.9%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	48.1%	51.9%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	84.7%	15.3%	0.0%	100.0%
南地区	53	88.7%	11.3%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	79.3%	20.7%	0.0%	100.0%
川本地区	62	69.4%	27.4%	3.2%	100.0%
花園地区	61	77.0%	23.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	50.0%	44.4%	5.6%	100.0%



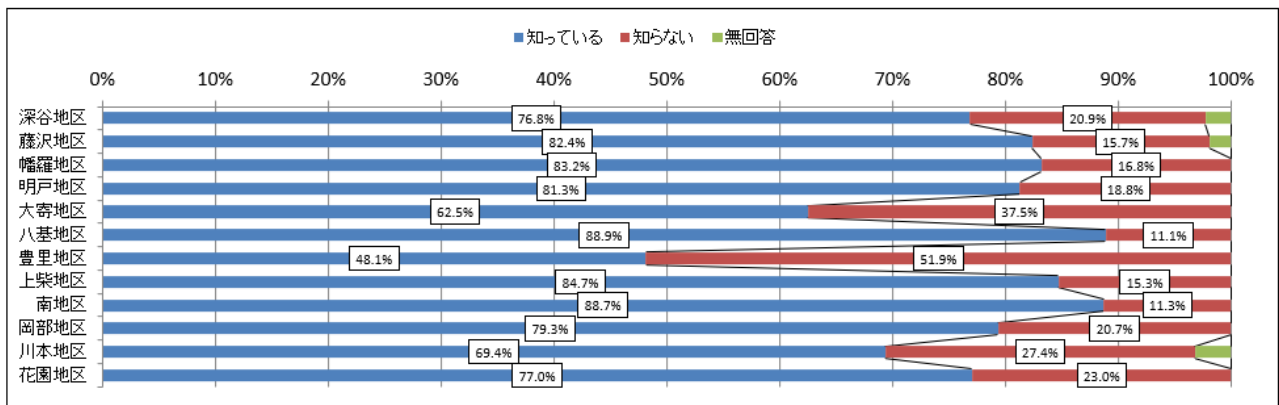
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「知っている」と回答した人の割合は男性が 74.6%であるのに対して、女性は 81.4%となっています。

また、「知っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに 20 歳代（男性 70.4%、女性 67.9%）であり、一方で最も多い世代は、男性が 10 歳代（83.3%）、女性が 60 歳代（85.7%）となっています。

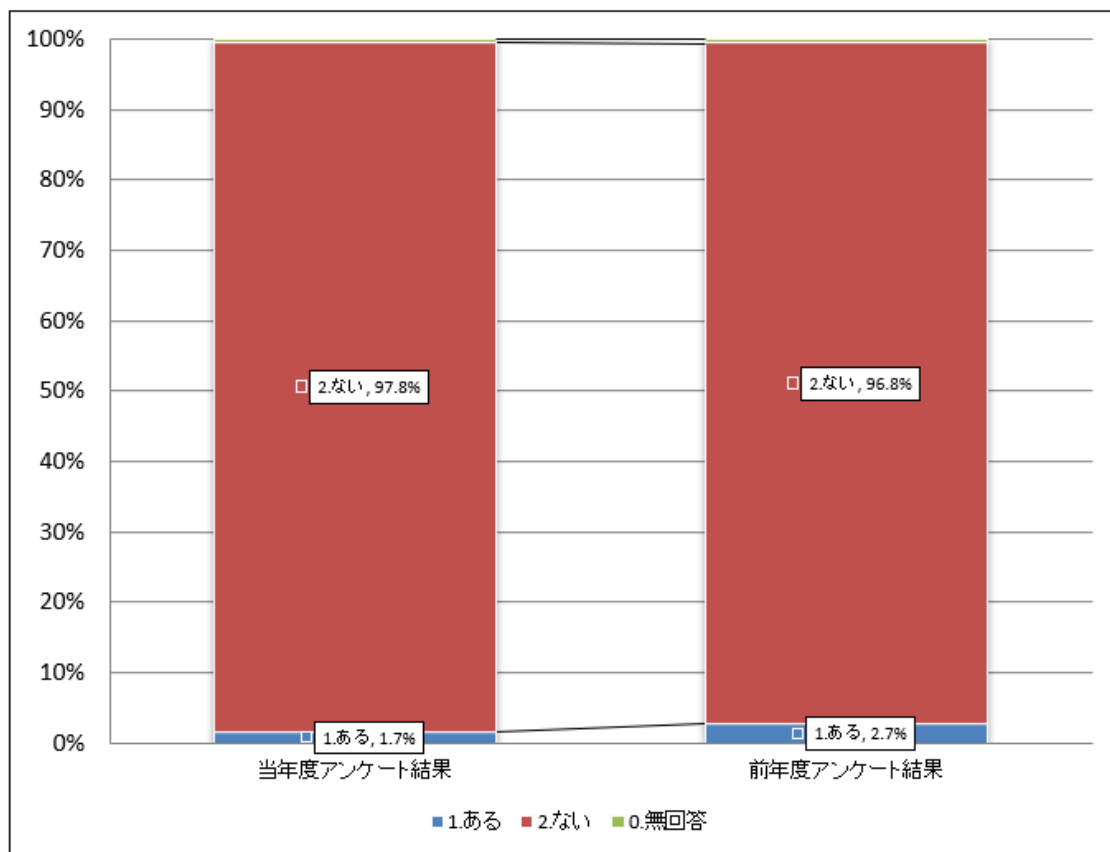
➤ 地区別



地区別にみると、「知っている」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（48.1%）であり、次いで大寄地区（62.5%）となっています。最も多いのは、八基地区（88.9%）であり、次いで南地区（88.7%）となっています。

## ②くらしの安全対策の推進（5. 問4～5）

この1年間で消費者トラブルに巻き込まれたことはありますか。

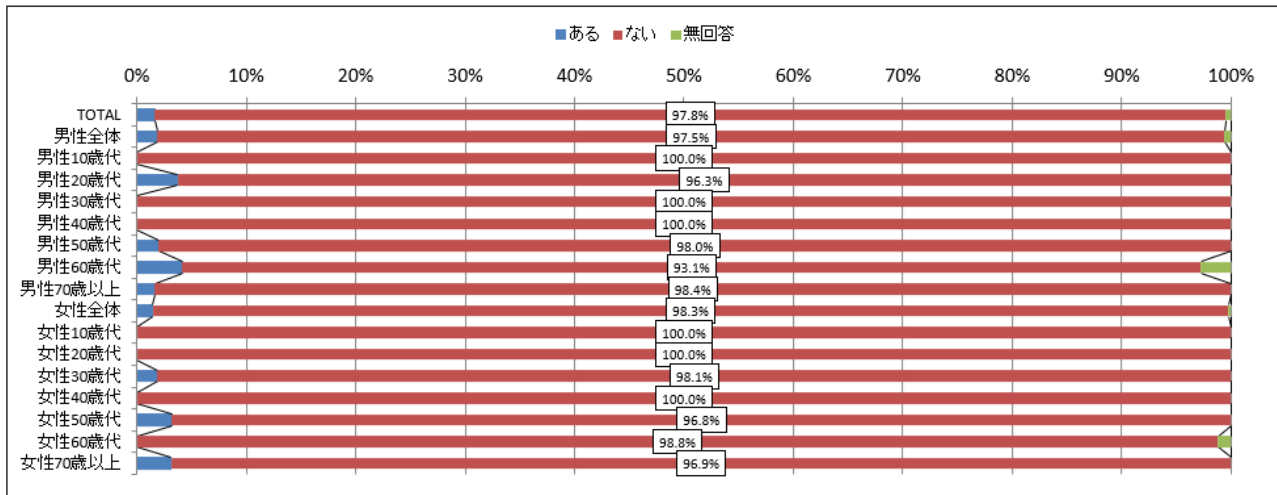


「ある」と回答した人の割合は 1.7%、「ない」と回答した人の割合は 97.8%となっており、この1年間で消費者トラブルに巻き込まれた人はほとんどいないことがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「ある」と回答した人の割合は 2.7%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		ある	ない	無回答	合計
TOTAL	785	1.7%	97.8%	0.5%	100.0%
男性全体	315	1.9%	97.5%	0.6%	100.0%
男性 10 歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性 20 歳代	27	3.7%	96.3%	0.0%	100.0%
男性 30 歳代	24	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性 40 歳代	69	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性 50 歳代	50	2.0%	98.0%	0.0%	100.0%
男性 60 歳代	72	4.2%	93.1%	2.8%	100.0%
男性 70 歳以上	62	1.6%	98.4%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	1.4%	98.3%	0.2%	100.0%
女性 10 歳代	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性 20 歳代	28	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性 30 歳代	53	1.9%	98.1%	0.0%	100.0%
女性 40 歳代	80	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性 50 歳代	63	3.2%	96.8%	0.0%	100.0%
女性 60 歳代	84	0.0%	98.8%	1.2%	100.0%
女性 70 歳以上	96	3.1%	96.9%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	1.1%	97.7%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	1.0%	99.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	93.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	91.7%	4.2%	100.0%
八基地区	18	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	2.4%	97.6%	0.0%	100.0%
南地区	53	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	2.2%	97.8%	0.0%	100.0%
川本地区	62	4.8%	93.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	1.6%	98.4%	0.0%	100.0%
無回答	18	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

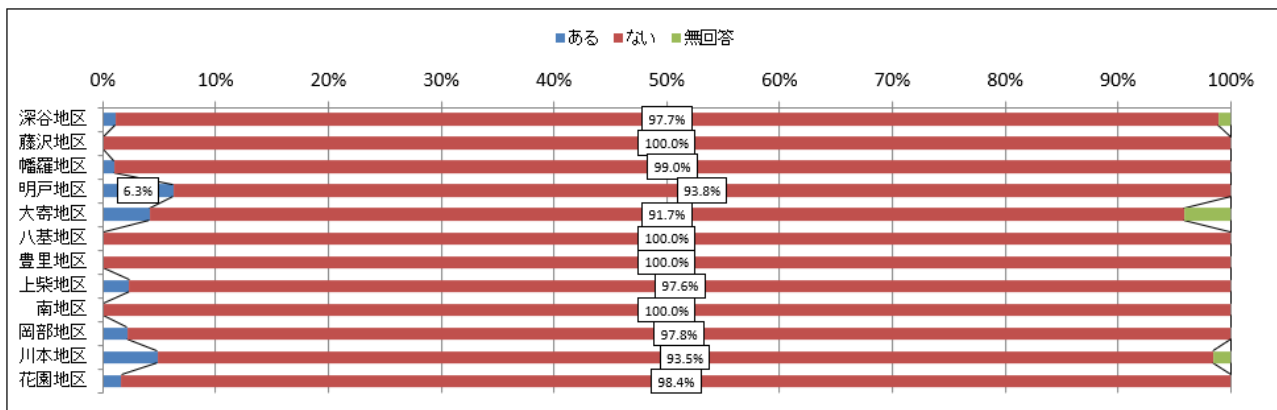
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「ある」と回答した人の割合は男性が 1.9%であるのに対して、女性は 1.4%となっています。

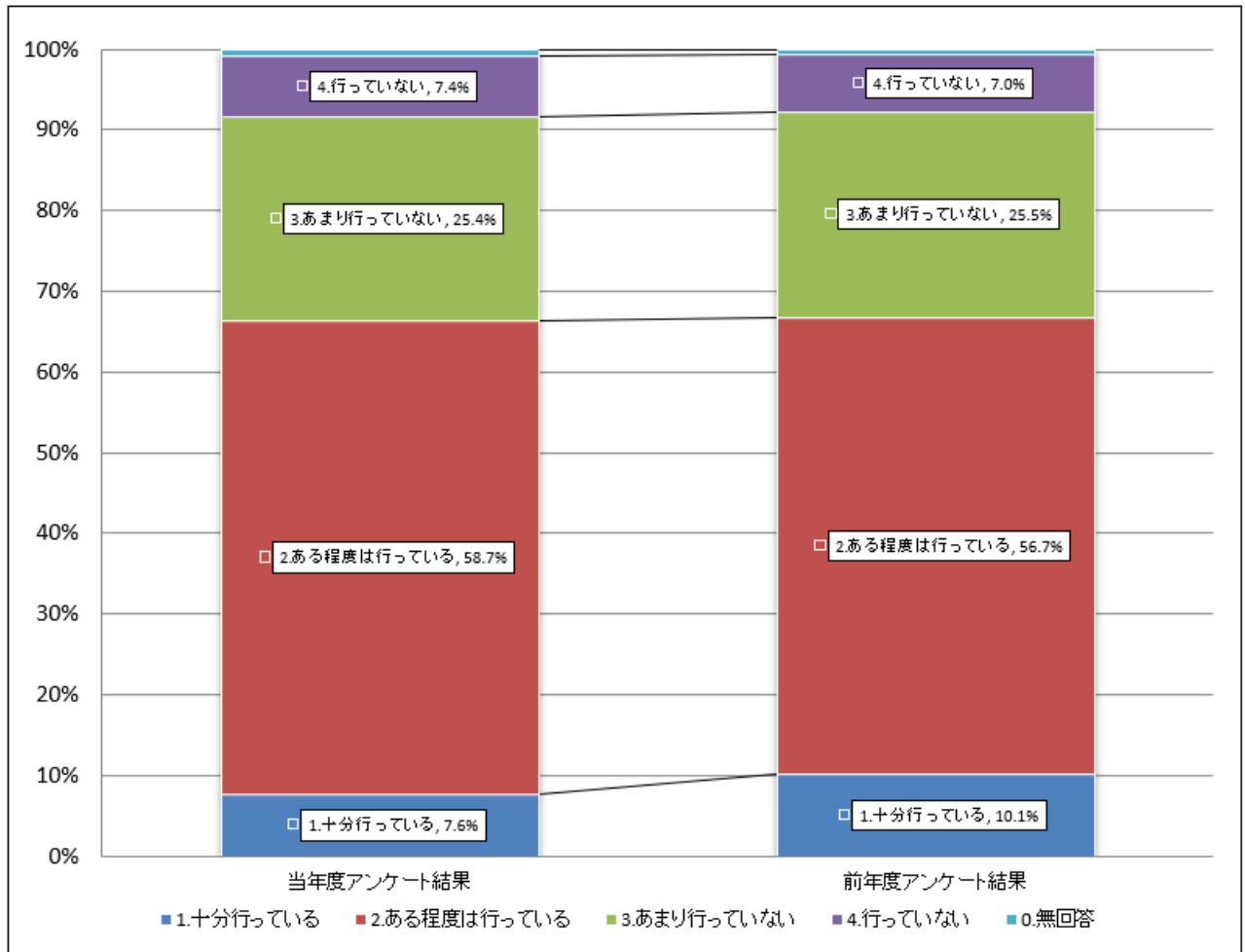
また、「ある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性 10 歳代、30 歳代、40 歳代とともに (0.0%)、女性 10 歳代、20 歳代、40 歳、60 歳代で (0.0%) となっています。一方でこの割合が最も多い世代は、男性が 60 歳代 (4.2%) であり、女性が 50 歳代 (3.2%) となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「ある」と回答した人の割合が最も少ないのは、藤沢地区、八基地区、豊里地区、南地区 (0.0%) の 4 地区であり、次いで幡羅地区 (1.0%) となっています。最も多いのは、明戸地区 (6.3%) であり、次いで川本地区 (4.8%) となっています。

**日ごろ、防犯対策を行っていますか。**

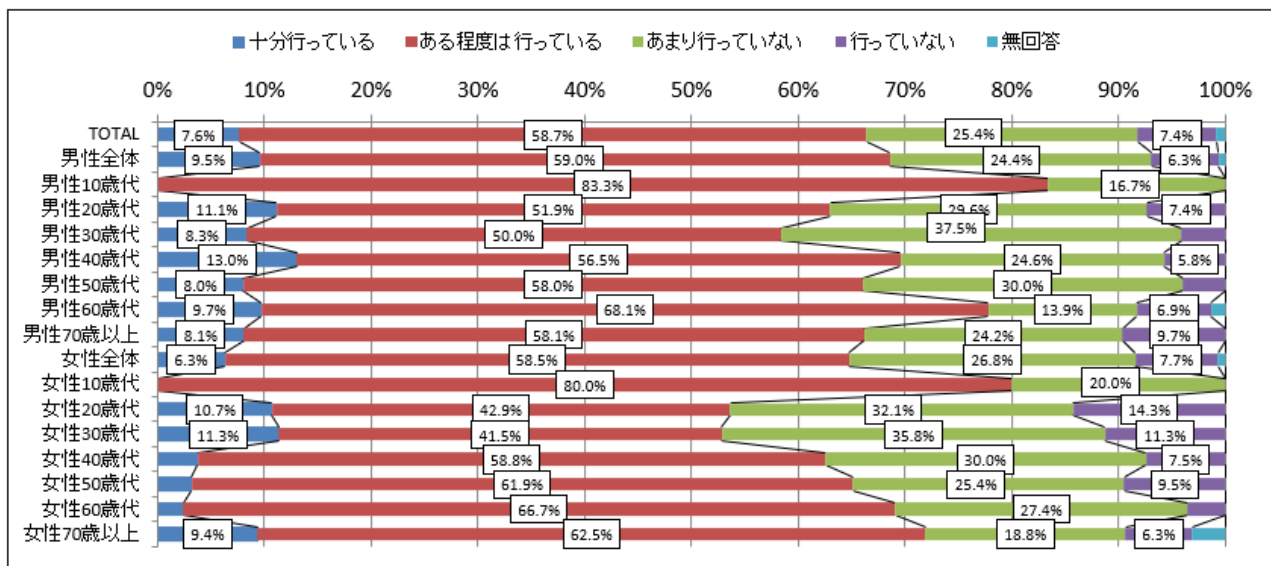


「ある程度は行っている」と回答した人の割合が 58.7%と最も多く、次いで「あまり行っていない」と回答した人の割合が 25.4%、「十分行っている」と回答した人の割合が 7.6%、「行っていない」と回答した人の割合が最も少なく 7.4%となっています。

「十分行っている」または「ある程度は行っている」と回答した人の割合は 66.3%であり、市民の約 6 割以上は、日ごろから防犯対策を行っていることがうかがえます。

母集団		十分行っている	ある程度は 行っている	行っていない あまり	行っていない	無回答	合計
TOTAL	785	7.6%	58.7%	25.4%	7.4%	0.9%	100.0%
男性全体	315	9.5%	59.0%	24.4%	6.3%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	11.1%	51.9%	29.6%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	50.0%	37.5%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	13.0%	56.5%	24.6%	5.8%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	8.0%	58.0%	30.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	9.7%	68.1%	13.9%	6.9%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	8.1%	58.1%	24.2%	9.7%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	6.3%	58.5%	26.8%	7.7%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	10.7%	42.9%	32.1%	14.3%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	11.3%	41.5%	35.8%	11.3%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	3.8%	58.8%	30.0%	7.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	3.2%	61.9%	25.4%	9.5%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	2.4%	66.7%	27.4%	3.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	9.4%	62.5%	18.8%	6.3%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	8.5%	56.5%	27.1%	7.3%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	9.8%	54.9%	27.5%	3.9%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	5.9%	58.4%	29.7%	5.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	12.5%	56.3%	25.0%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	50.0%	25.0%	12.5%	4.2%	100.0%
八基地区	18	11.1%	27.8%	44.4%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	66.7%	18.5%	7.4%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	2.4%	63.5%	24.7%	9.4%	0.0%	100.0%
南地区	53	9.4%	69.8%	20.8%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	9.8%	57.6%	19.6%	13.0%	0.0%	100.0%
川本地区	62	4.8%	66.1%	24.2%	3.2%	1.6%	100.0%
花園地区	61	9.8%	60.7%	21.3%	8.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	44.4%	33.3%	5.6%	5.6%	100.0%

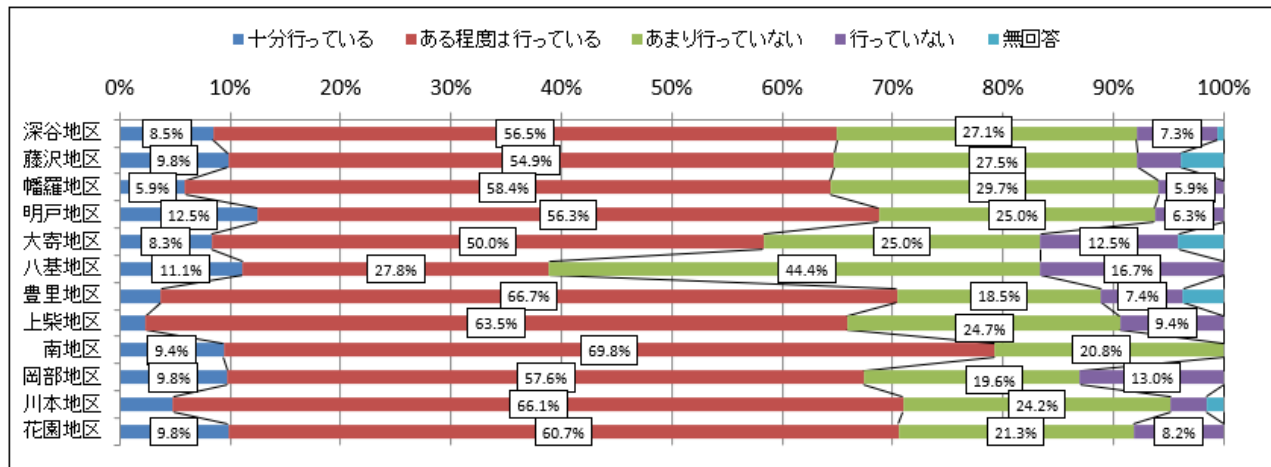
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「十分行っている」または「ある程度は行っている」と回答した人の割合は男性が68.5%であるのに対して、女性は64.8%となっています。

また、「十分行っている」または「ある程度は行っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに30歳代（男性58.3%、女性52.8%）であり、一方で最も多い世代は、男女ともに10歳代（男性83.3%、女性80.0%）となっています。

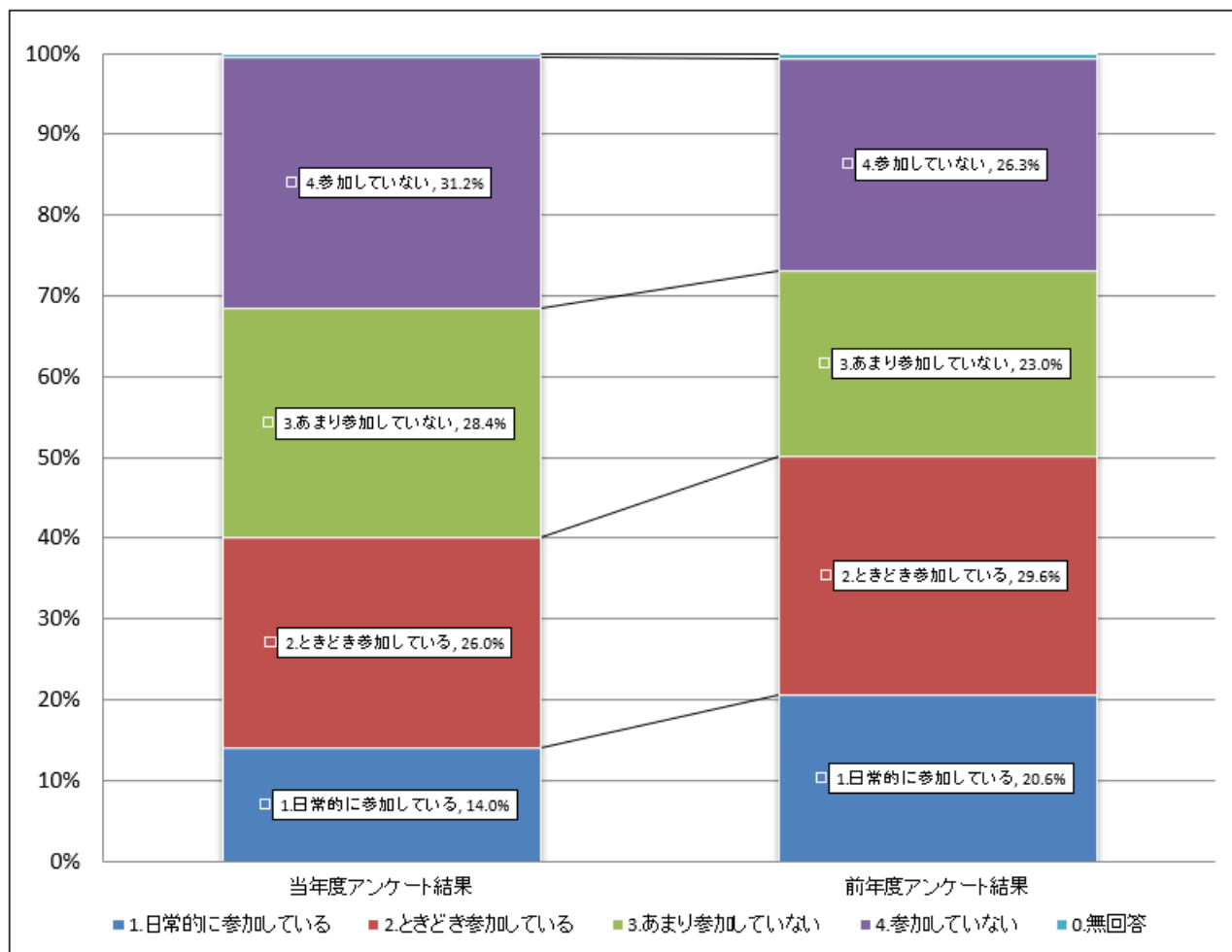
## ➤ 地区別



地区別にみると、「十分行っている」または「ある程度は行っている」と回答した人の割合が最も少ないのは、八基地区（38.9%）であり、次いで大寄地区（58.3%）となっています。最も多いのは、南地区（79.2%）であり、次いで川本地区（70.9%）となっています。

### ③絆でつながるひとづくり（5. 問6）

地域活動（自治会や町内会での活動など）への程度参加していますか。



「参加していない」と回答した人の割合が 31.2%と最も多く、次いで「あまり参加していない」と回答した人の割合が 28.4%、「ときどき参加している」と回答した人の割合が 26.0%、「日常的に参加している」と回答した人の割合は最も少なく 14.0%となっています。

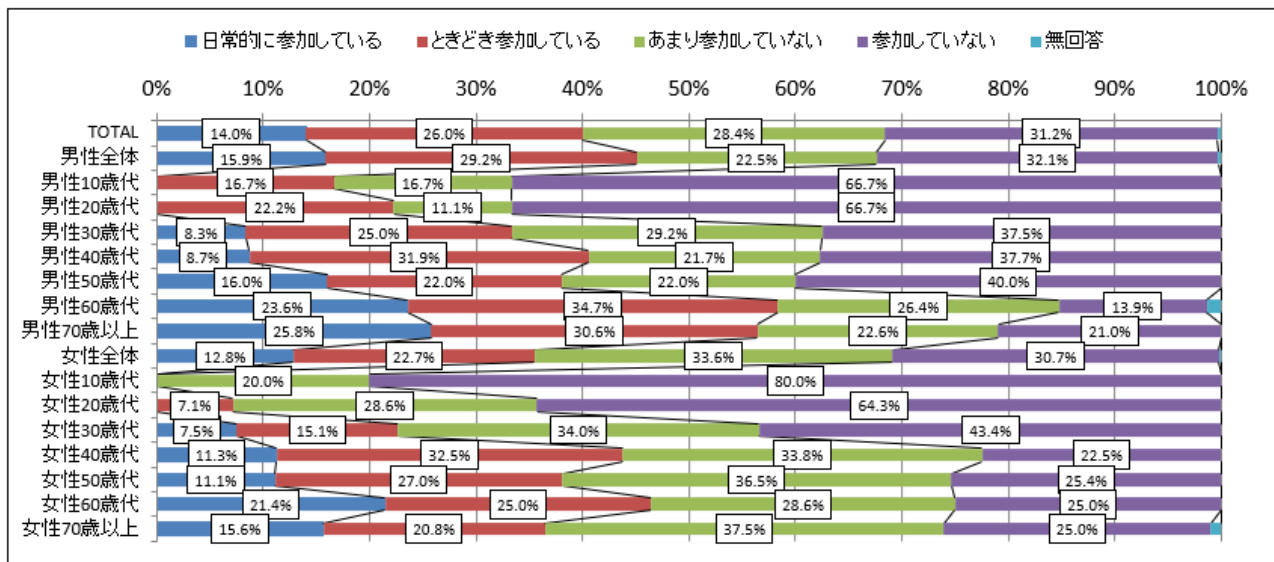
また、「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合は 40.0%であり、自治会や町内会での活動などの地域活動に参加している市民は 4 割いることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合は 50.2%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。



母集団		日常的に参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答	合計
TOTAL	785	14.0%	26.0%	28.4%	31.2%	0.4%	100.0%
男性全体	315	15.9%	29.2%	22.5%	32.1%	0.3%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	0.0%	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	25.0%	29.2%	37.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	8.7%	31.9%	21.7%	37.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	16.0%	22.0%	22.0%	40.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	23.6%	34.7%	26.4%	13.9%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	25.8%	30.6%	22.6%	21.0%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	12.8%	22.7%	33.6%	30.7%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	7.1%	28.6%	64.3%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	7.5%	15.1%	34.0%	43.4%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	11.3%	32.5%	33.8%	22.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	11.1%	27.0%	36.5%	25.4%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	21.4%	25.0%	28.6%	25.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	15.6%	20.8%	37.5%	25.0%	1.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	7.9%	20.3%	27.7%	42.9%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	15.7%	37.3%	27.5%	19.6%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	13.9%	26.7%	26.7%	32.7%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	31.3%	43.8%	18.8%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	12.5%	29.2%	33.3%	25.0%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	38.9%	16.7%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	25.9%	22.2%	29.6%	22.2%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	12.9%	29.4%	32.9%	24.7%	0.0%	100.0%
南地区	53	5.7%	26.4%	35.8%	32.1%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	13.0%	22.8%	29.3%	34.8%	0.0%	100.0%
川本地区	62	21.0%	21.0%	27.4%	29.0%	1.6%	100.0%
花園地区	61	24.6%	27.9%	27.9%	19.7%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	27.8%	16.7%	44.4%	0.0%	100.0%

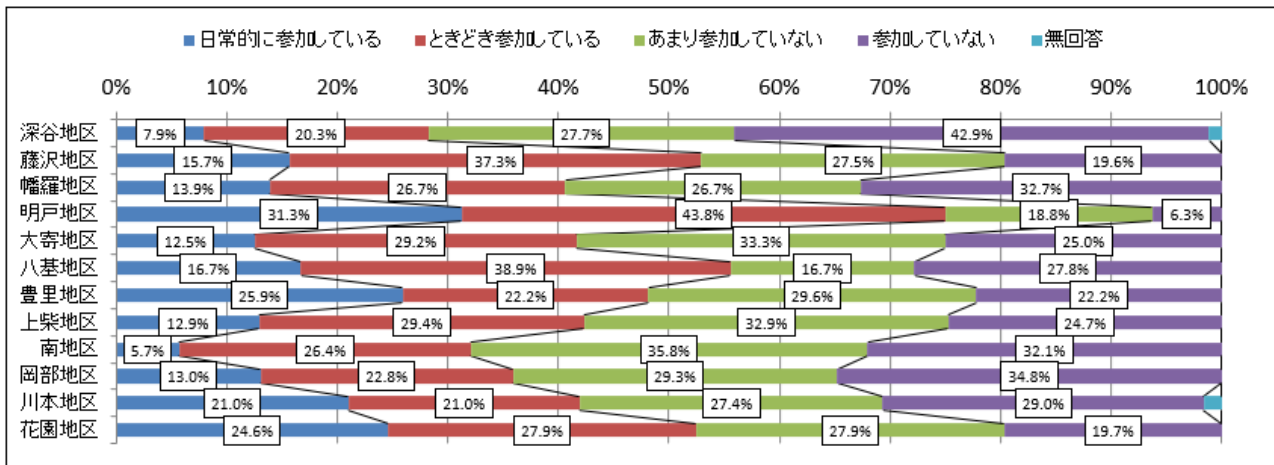
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合は男性が45.1%であるのに対して、女性は35.5%となっています。

また、「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに10歳代（男性16.7%、女性0.0%）であり、一方で最も多い世代は、男女ともに60歳代（男性58.3%、女性46.4%）となっています。

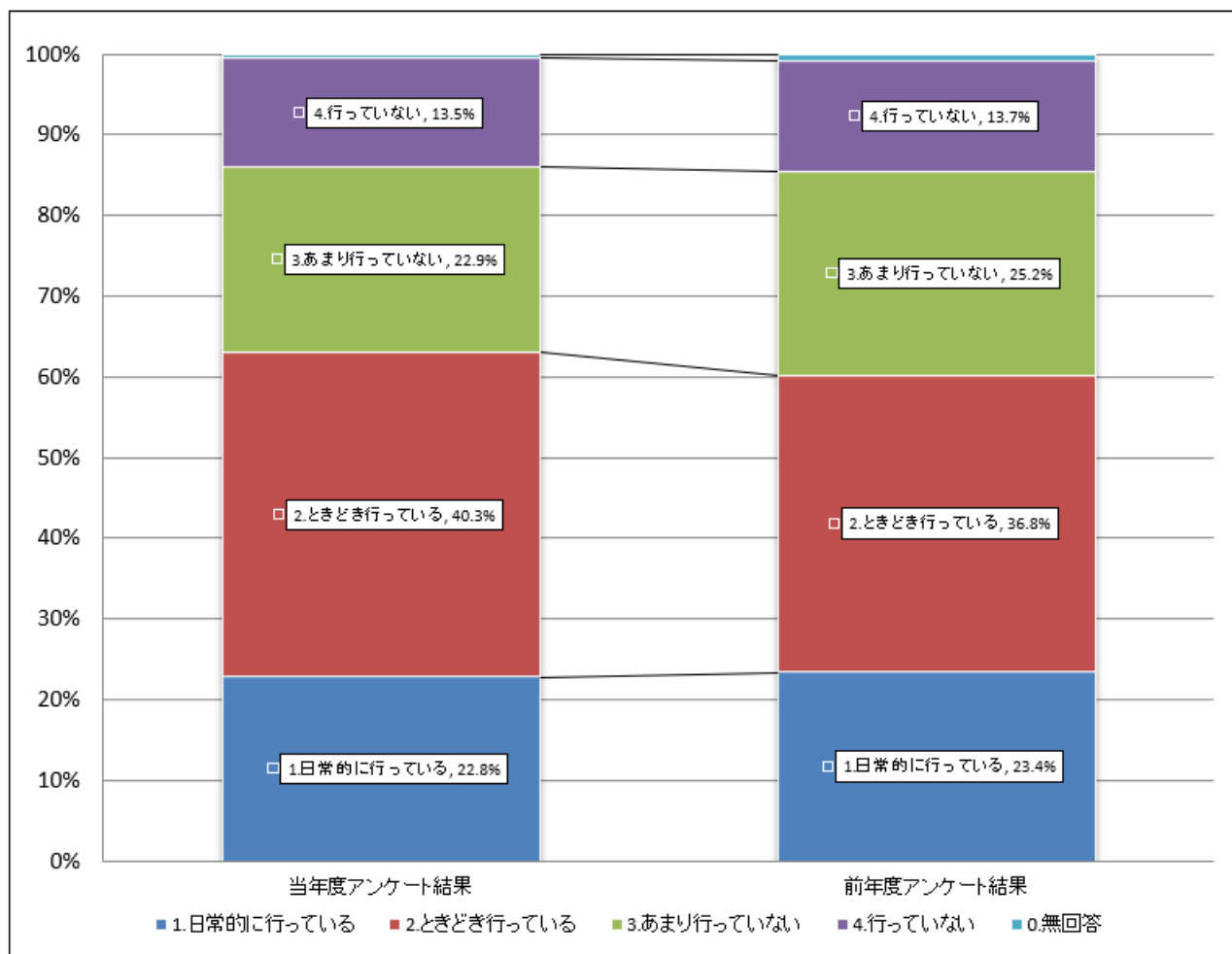
## ➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に参加している」または「ときどき参加している」と回答した人の割合が最も少ないのは、深谷地区（28.2%）であり、次いで南地区（32.1%）となっています。最も多いのは、明戸地区（75.1%）であり、次いで八基地区（55.6%）となっています。

#### ④生活環境の保全と配慮（5. 問7～9）

環境に配慮した取組（省エネ（節電を含みます）、自然や川の保全活動など）を行っていますか。



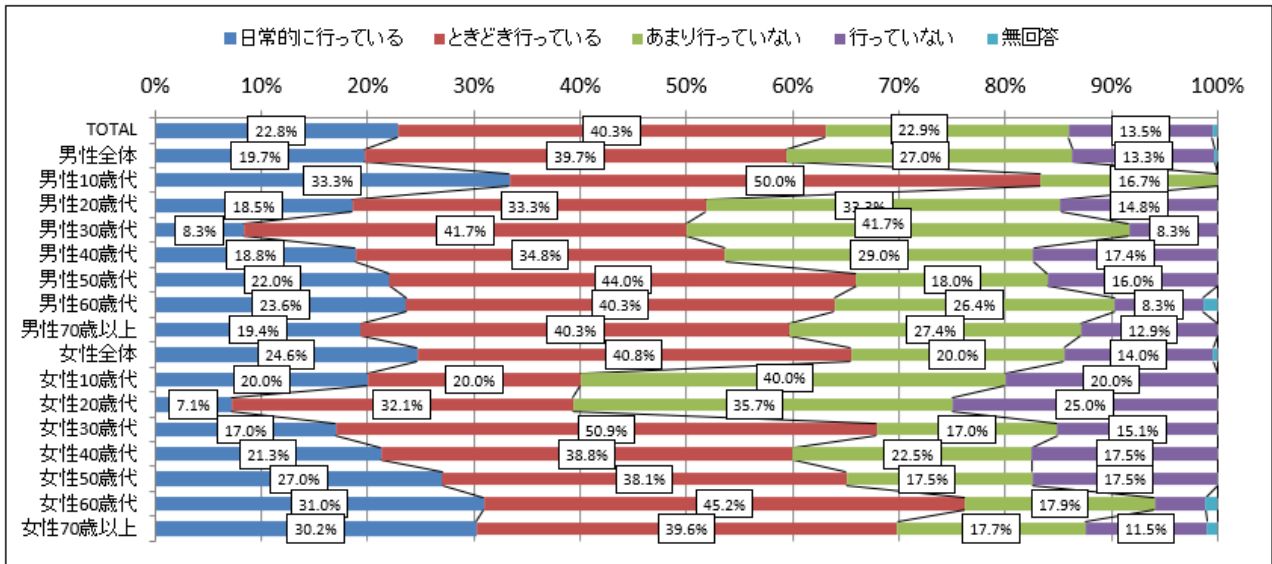
「ときどき行っている」と回答した人の割合が 40.3%と最も多く、次いで「あまり行っていない」と回答した人の割合が 22.9%、「日常的に行っている」と回答した人の割合は 22.8%と、「行っていない」と回答した人の割合が最も少なく 13.5%となっています。

「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合は、63.1%であり、6割以上の方が、環境に配慮した取組を行っていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合は、60.2%であり、前年度アンケートと比較して、微増していることがうかがえます。

母集団		日常的に行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	行っていない	無回答	合計
TOTAL	785	22.8%	40.3%	22.9%	13.5%	0.5%	100.0%
男性全体	315	19.7%	39.7%	27.0%	13.3%	0.3%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	18.5%	33.3%	33.3%	14.8%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	18.8%	34.8%	29.0%	17.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	22.0%	44.0%	18.0%	16.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	23.6%	40.3%	26.4%	8.3%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	19.4%	40.3%	27.4%	12.9%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	24.6%	40.8%	20.0%	14.0%	0.5%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	32.1%	35.7%	25.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	17.0%	50.9%	17.0%	15.1%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	21.3%	38.8%	22.5%	17.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	27.0%	38.1%	17.5%	17.5%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	31.0%	45.2%	17.9%	4.8%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	30.2%	39.6%	17.7%	11.5%	1.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	23.2%	36.7%	24.3%	15.3%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	17.6%	52.9%	11.8%	13.7%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	22.8%	40.6%	25.7%	10.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	31.3%	50.0%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	29.2%	25.0%	25.0%	20.8%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	25.9%	44.4%	18.5%	11.1%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	22.4%	35.3%	24.7%	17.6%	0.0%	100.0%
南地区	53	22.6%	41.5%	30.2%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	23.9%	42.4%	27.2%	6.5%	0.0%	100.0%
川本地区	62	17.7%	46.8%	21.0%	12.9%	1.6%	100.0%
花園地区	61	23.0%	44.3%	18.0%	14.8%	0.0%	100.0%
無回答	18	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	100.0%

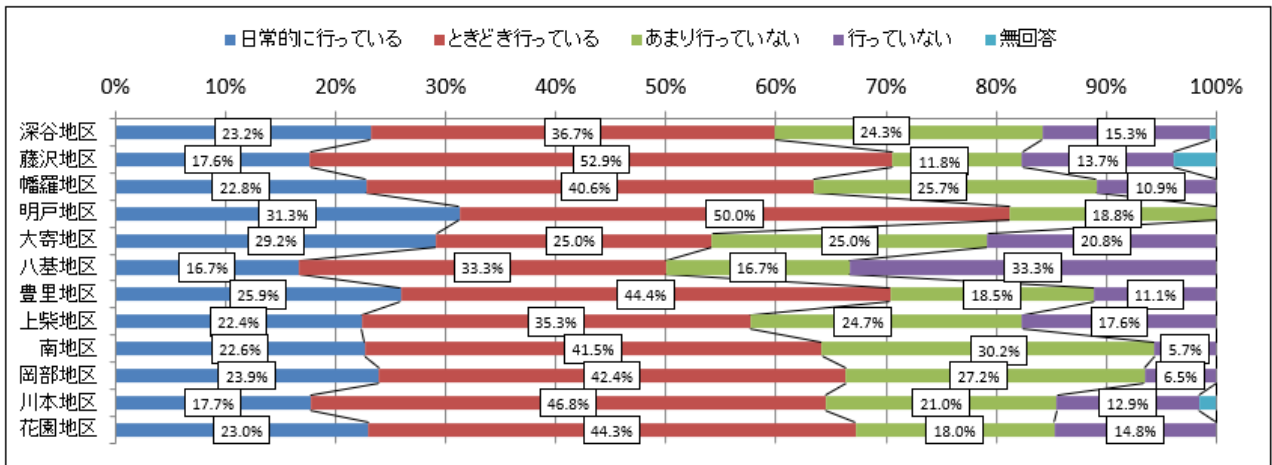
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合は男性が59.4%であるのに対して、女性は65.4%となっています。

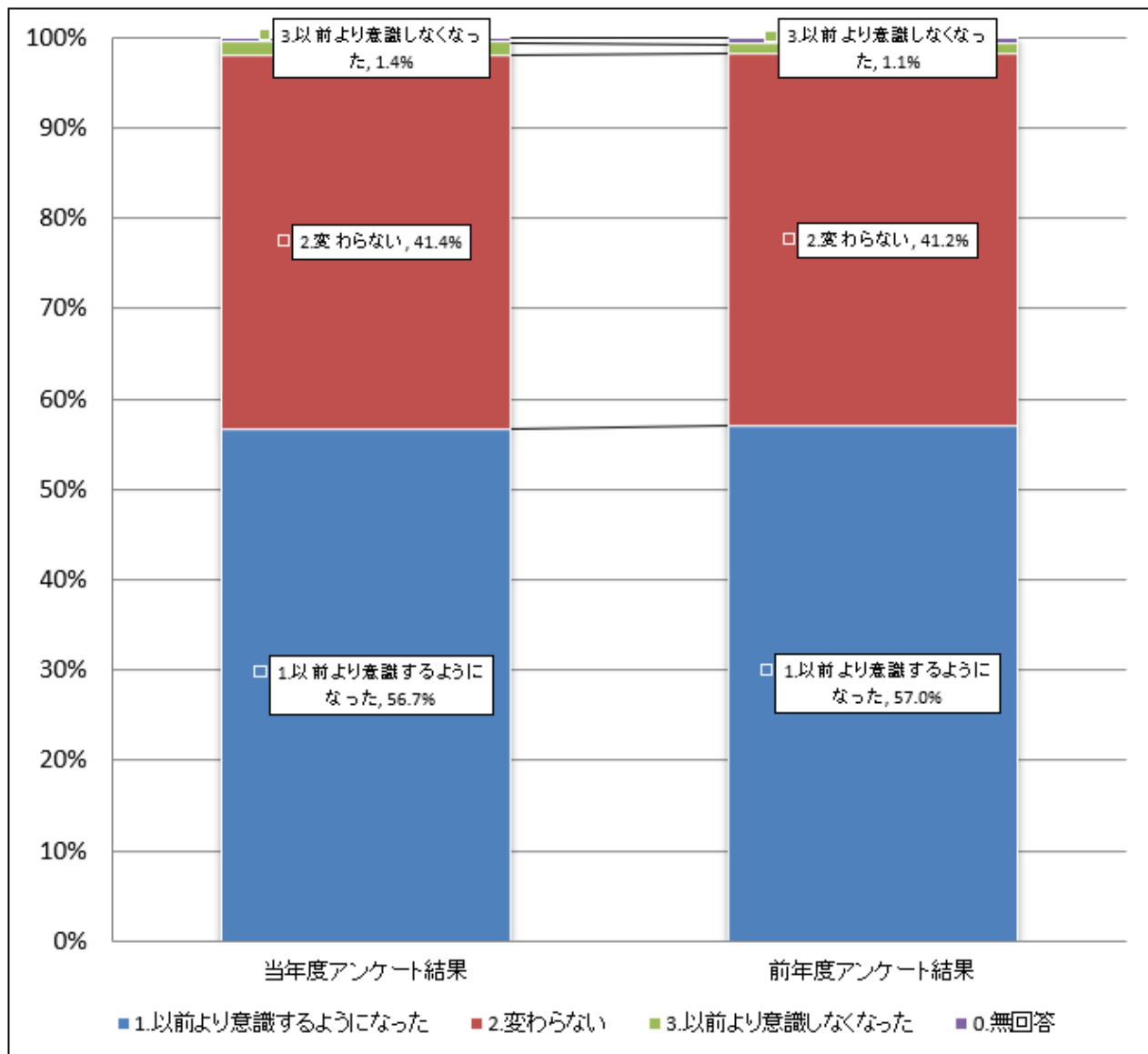
「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性30歳代(50.0%)、女性20歳代(39.2%)となっています。一方で、最も多い世代は、男性10歳代(83.3%)、女性60歳代(76.2%)となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に行っている」または「ときどき行っている」と回答した人の割合が最も少ない地区は、八基地区(50.0%)であり、次いで大寄地区(54.2%)となっています。最も多い地区は、明戸地区(81.3%)であり、次いで藤沢地区(70.5%)となっています。

**環境問題（地球温暖化問題、エネルギー問題、生態系の問題など）を以前より意識するようになりましたか。**



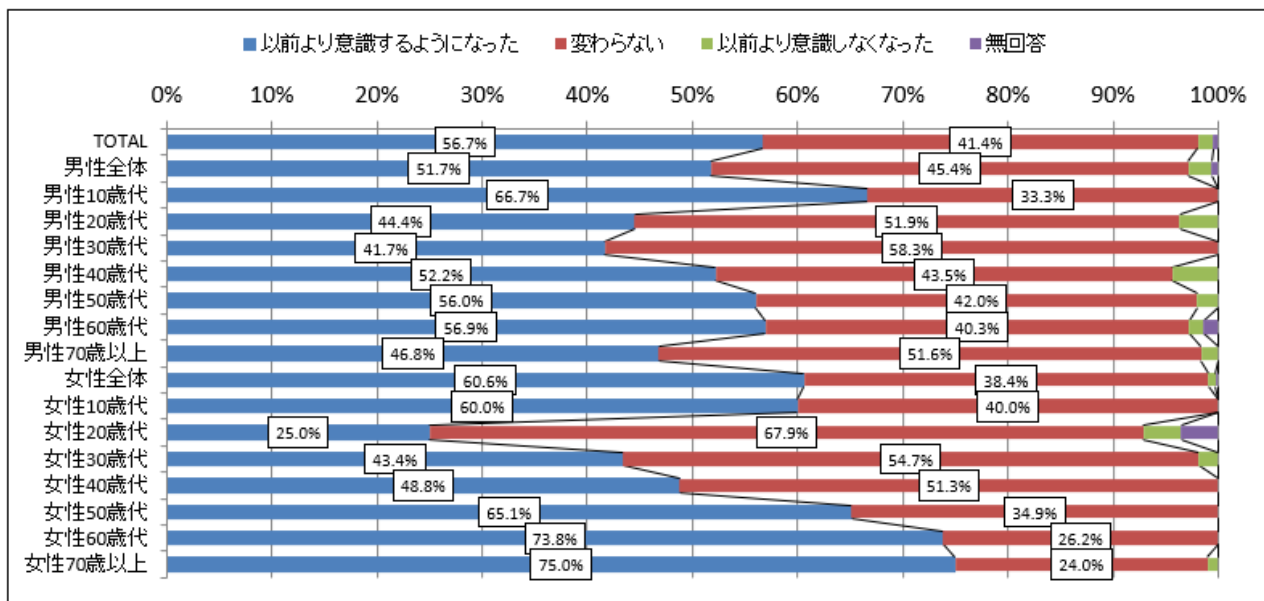
「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が 56.7%と最も多く、次いで、「変わらない」と回答した人の割合が 41.4%となっています。

「以前より意識しなくなった」と回答した人の割合は 1.4%とごくわずかであり、多くの市民が環境問題について、関心を持っていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が 57.0%であり、前年度アンケートと比較して、変化は見られませんでした。

母集団		意識するようになった 以前より	変わらない	意識しなくなった 以前より	無回答	合計
TOTAL	785	56.7%	41.4%	1.4%	0.5%	100.0%
男性全体	315	51.7%	45.4%	2.2%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	44.4%	51.9%	3.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	56.0%	42.0%	2.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	56.9%	40.3%	1.4%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	46.8%	51.6%	1.6%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	60.6%	38.4%	0.7%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	25.0%	67.9%	3.6%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	43.4%	54.7%	1.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	48.8%	51.3%	0.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	65.1%	34.9%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	75.0%	24.0%	1.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	55.9%	41.2%	2.3%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	70.6%	25.5%	3.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	59.4%	40.6%	0.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	41.7%	54.2%	4.2%	0.0%	100.0%
八基地区	18	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	59.3%	37.0%	3.7%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	57.6%	41.2%	1.2%	0.0%	100.0%
南地区	53	60.4%	39.6%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	57.6%	40.2%	1.1%	1.1%	100.0%
川本地区	62	54.8%	43.5%	0.0%	1.6%	100.0%
花園地区	61	47.5%	52.5%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	44.4%	50.0%	0.0%	5.6%	100.0%

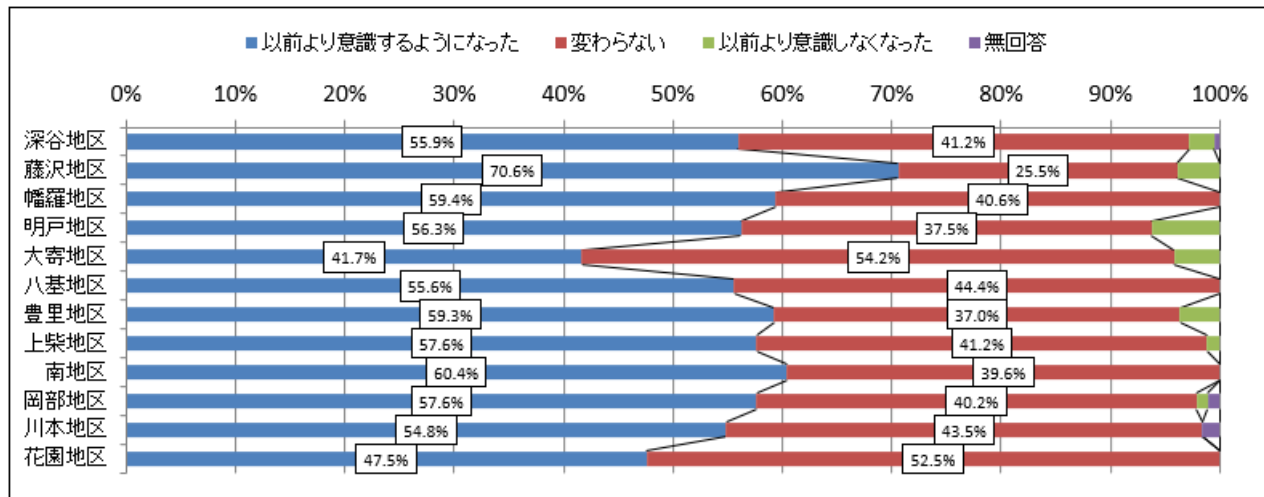
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合は男性が51.7%であるのに対して、女性は60.6%となっています。

また、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性30歳代(41.7%)、女性20歳代(25.0%)となっています。一方で、最も多い世代は、男性10歳代(66.7%)、女性70歳以上(75.0%)となっています。

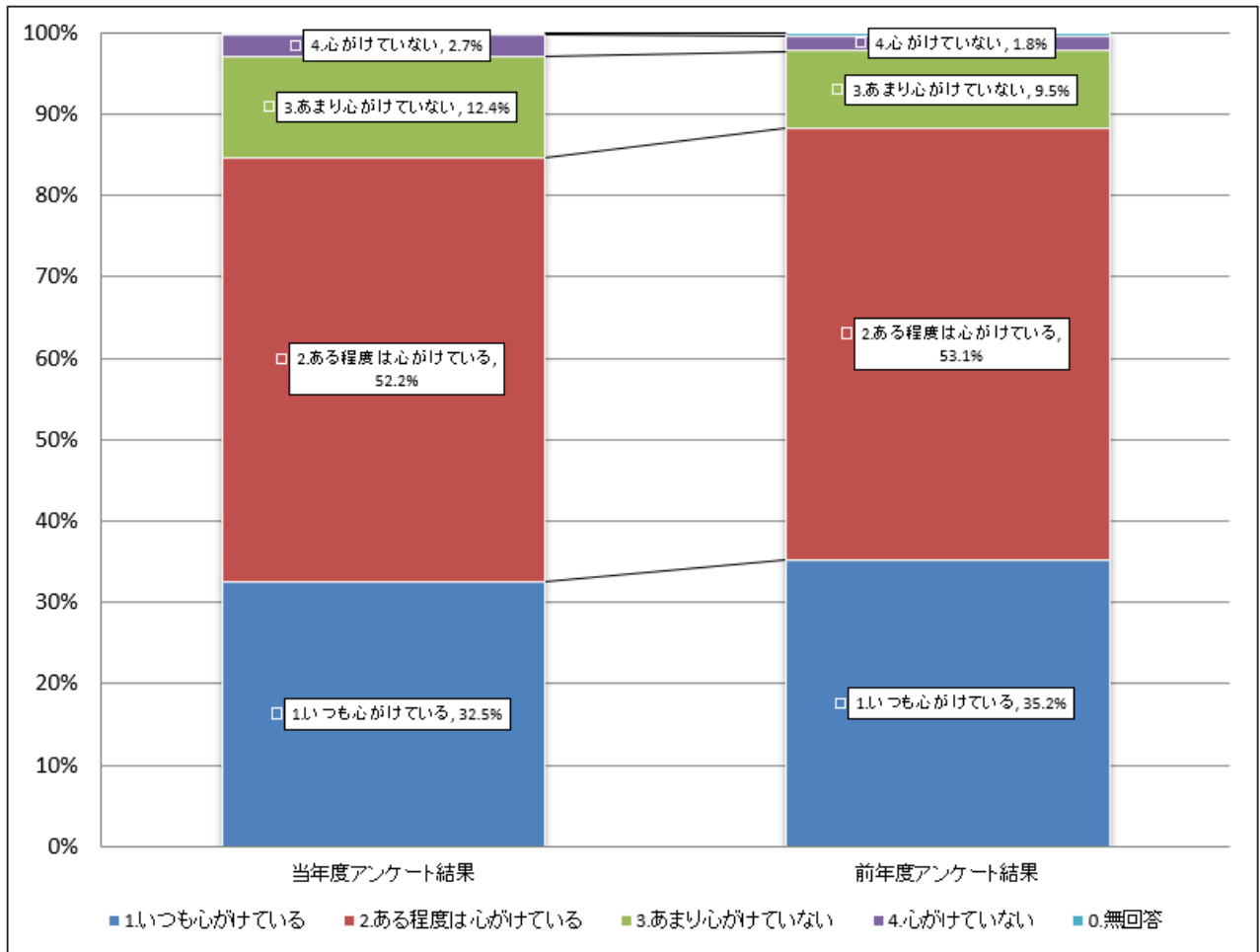
➤ 地区別



地区別にみると、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が最も少ない地区は、大寄地区(41.7%)であり、次いで花園地区(47.5%)となっています。最も多い地区は、藤沢地区(70.6%)であり、次いで南地区(60.4%)となっています。



普段からごみの減量化やリサイクルを心がけていますか。



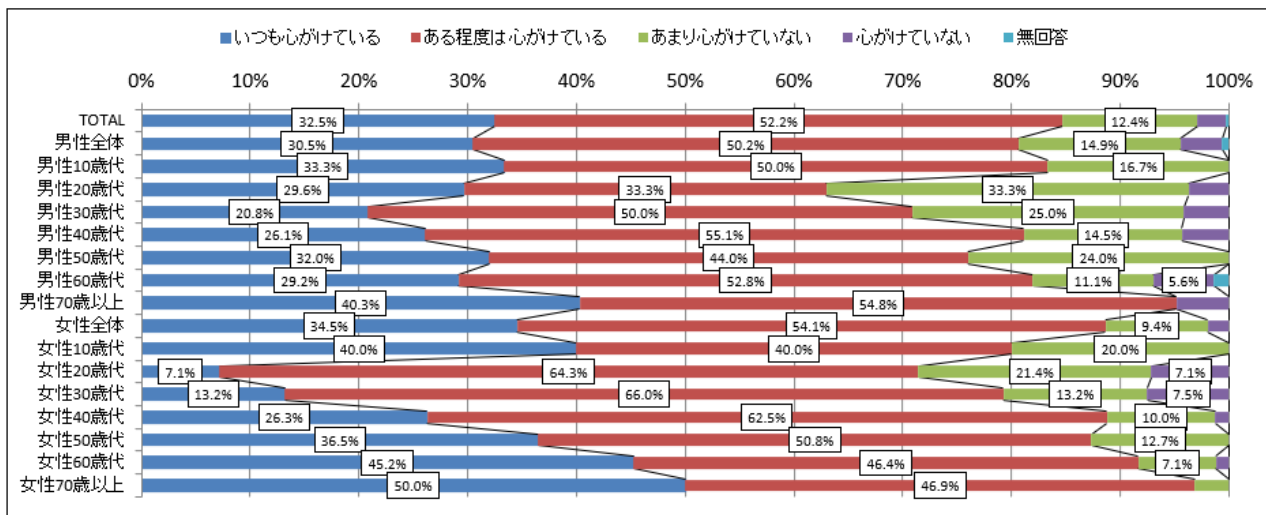
「ある程度は心がけている」と回答した人の割合が 52.2%と最も多く、次いで、「いつも心がけている」と回答した人の割合が 32.5%、「あまり心がけていない」と回答した人の割合が 12.4%、「心がけていない」と回答した人の割合が最も少なく 2.7%となっています。

「いつも心がけている」または「ある程度は心がけている」と回答した人の割合は 84.7%であり、大多数の市民がごみの減量化やリサイクルを心がけていることがうかがえます。

また、前年度アンケートの結果は、「いつも心がけている」または「ある程度は心がけている」と回答した人の割合は 88.3%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		いつも心がけている	ある程度は心がけている	あまり心がけていない	心がけていない	無回答	合計
TOTAL	785	32.5%	52.2%	12.4%	2.7%	0.3%	100.0%
男性全体	315	30.5%	50.2%	14.9%	3.8%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	29.6%	33.3%	33.3%	3.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	20.8%	50.0%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	26.1%	55.1%	14.5%	4.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	32.0%	44.0%	24.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	29.2%	52.8%	11.1%	5.6%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	40.3%	54.8%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	34.5%	54.1%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	64.3%	21.4%	7.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	13.2%	66.0%	13.2%	7.5%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	26.3%	62.5%	10.0%	1.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	36.5%	50.8%	12.7%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	45.2%	46.4%	7.1%	1.2%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	50.0%	46.9%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	28.2%	57.1%	10.7%	4.0%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	47.1%	39.2%	11.8%	2.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	34.7%	50.5%	12.9%	2.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	37.5%	56.3%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	37.5%	45.8%	8.3%	8.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	22.2%	61.1%	11.1%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	33.3%	44.4%	18.5%	3.7%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	35.3%	48.2%	11.8%	4.7%	0.0%	100.0%
南地区	53	35.8%	52.8%	11.3%	0.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	29.3%	55.4%	14.1%	1.1%	0.0%	100.0%
川本地区	62	27.4%	54.8%	16.1%	0.0%	1.6%	100.0%
花園地区	61	31.1%	54.1%	14.8%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	33.3%	44.4%	11.1%	5.6%	5.6%	100.0%

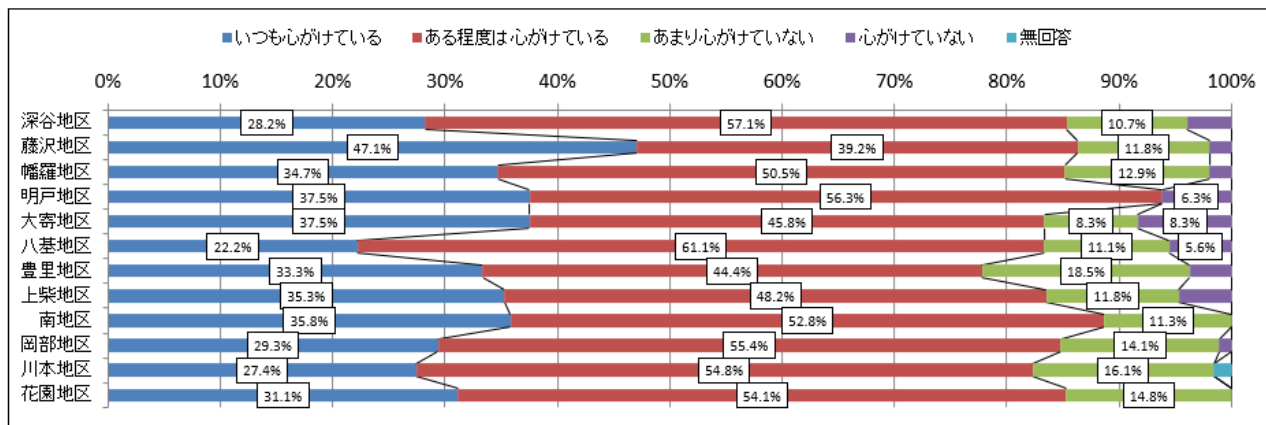
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「いつも心がけている」または「ある程度は心がけている」と回答した人の割合は男性が80.7%であるのに対して、女性は88.6%となっています。

また、「いつも心がけている」または「ある程度は心がけている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに20歳代（男性62.9%、女性71.4%）となっています。一方で、最も多い世代は、男女ともに70歳以上（男性95.1%、女性96.9%）となっています。

## ➤ 地区別

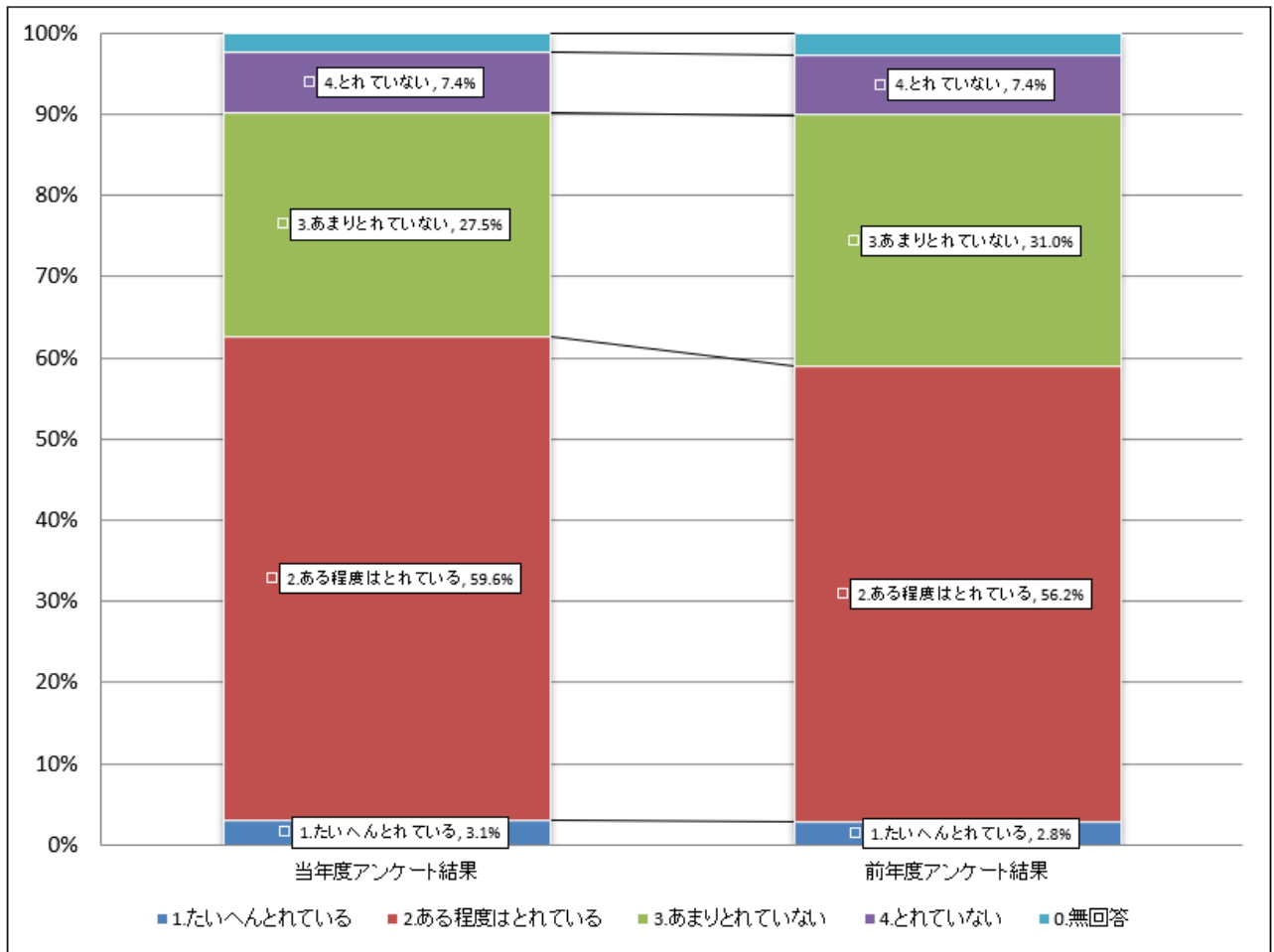


地区別にみると、「いつも心がけている」または「ある程度は心がけている」と回答した人の割合が最も少ない地区は、豊里地区（77.7%）であり、次いで川本地区（82.2%）となっています。最も多い地区は、明戸地区（93.8%）であり、次いで南地区（88.6%）となっています。

## (6) 都市・生活基盤について

### ①快適な空間と景観づくり (6. 問1～4)

市内の住宅、商業、工業、農業、自然などの土地利用において、相互に調和がとれていると思いますか。



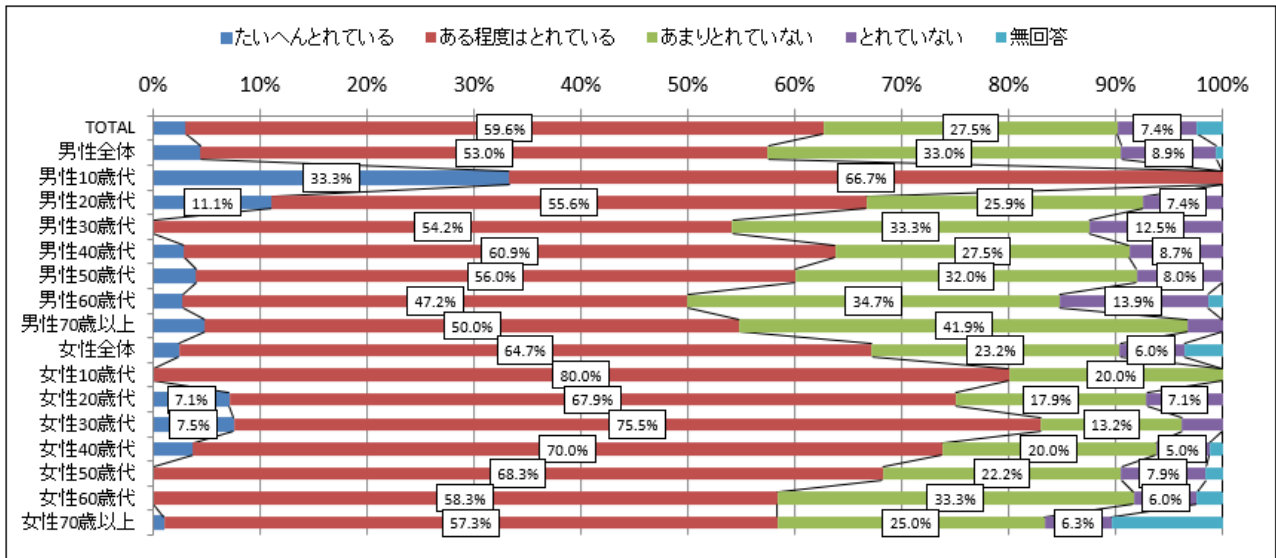
「ある程度はとれている」と回答した人の割合が 59.6%と最も多く、次いで「あまりとれていない」と回答した人の割合が 27.5%、「とれていない」と回答した人の割合が 7.4%、「たいへんとれている」と回答した人の割合が最も少なく 3.1%となっています。

「たいへんとれている」または「ある程度はとれている」と回答した人の割合は 62.7%であり、6 割の人が、土地利用について調和がとれていると考えていることがうかがえます。

また、前年度アンケートの結果は、「ある程度はとれている」と回答した人の割合は 56.2%であり、前年度アンケートと比較して増加していることがうかがえます。

母集団		たいへんとれている	ある程度はとれている	あまりとれていない	とれていない	無回答	合計
TOTAL	785	3.1%	59.6%	27.5%	7.4%	2.4%	100.0%
男性全体	315	4.4%	53.0%	33.0%	8.9%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	11.1%	55.6%	25.9%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	54.2%	33.3%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	2.9%	60.9%	27.5%	8.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	4.0%	56.0%	32.0%	8.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	2.8%	47.2%	34.7%	13.9%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	4.8%	50.0%	41.9%	3.2%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	2.4%	64.7%	23.2%	6.0%	3.6%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	67.9%	17.9%	7.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	7.5%	75.5%	13.2%	3.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	3.8%	70.0%	20.0%	5.0%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	0.0%	68.3%	22.2%	7.9%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	0.0%	58.3%	33.3%	6.0%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	1.0%	57.3%	25.0%	6.3%	10.4%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	4.0%	57.1%	30.5%	4.5%	4.0%	100.0%
藤沢地区	51	5.9%	49.0%	35.3%	5.9%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	1.0%	64.4%	29.7%	4.0%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	0.0%	58.3%	29.2%	8.3%	4.2%	100.0%
八基地区	18	5.6%	55.6%	22.2%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	55.6%	25.9%	18.5%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	2.4%	65.9%	25.9%	4.7%	1.2%	100.0%
南地区	53	5.7%	62.3%	26.4%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	1.1%	65.2%	25.0%	8.7%	0.0%	100.0%
川本地区	62	6.5%	51.6%	24.2%	14.5%	3.2%	100.0%
花園地区	61	3.3%	65.6%	21.3%	6.6%	3.3%	100.0%
無回答	18	0.0%	61.1%	16.7%	5.6%	16.7%	100.0%

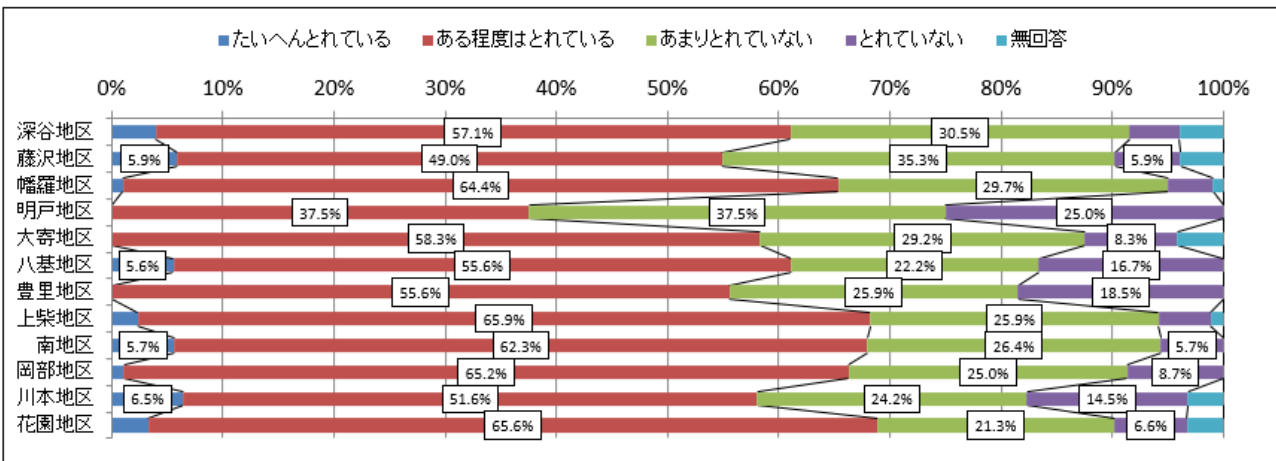
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんとれている」または「ある程度はとれている」と回答した人の割合は男性が57.4%であるのに対して、女性は67.1%となっています。

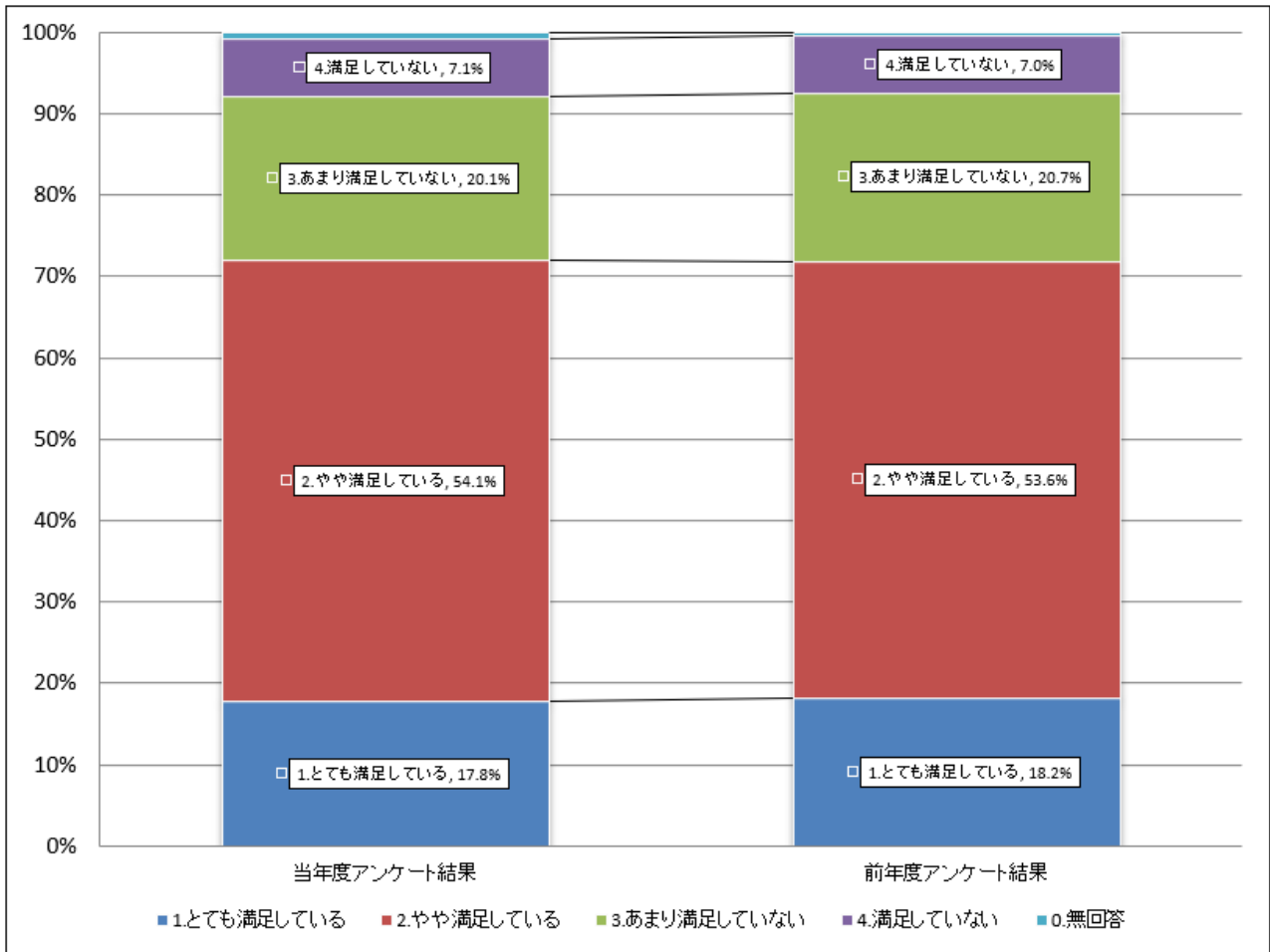
また、「たいへんとれている」または「ある程度はとれている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は60歳代(50.0%)、女性は60歳代と70歳以上(58.3%)であり、一方で最も多い世代は、男性が10歳代(100.0%)、女性が30歳代(83.0%)となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんとれている」または「ある程度はとれている」と回答した人の割合が最も少ないのは、明戸地区(37.5%)であり、次いで藤沢地区(54.9%)となっています。最も多いのは、花園地区(68.9%)であり、次いで上柴地区(68.3%)となっています。

## お住まい周辺の住環境に満足していますか。



「やや満足している」と回答した人の割合が 54.1%と最も多く、次いで「あまり満足していない」と回答した人の割合が 20.1%、「とても満足している」と回答した人の割合が 17.8%、「満足していない」と回答した人の割合が最も少なく 7.1%となっています。

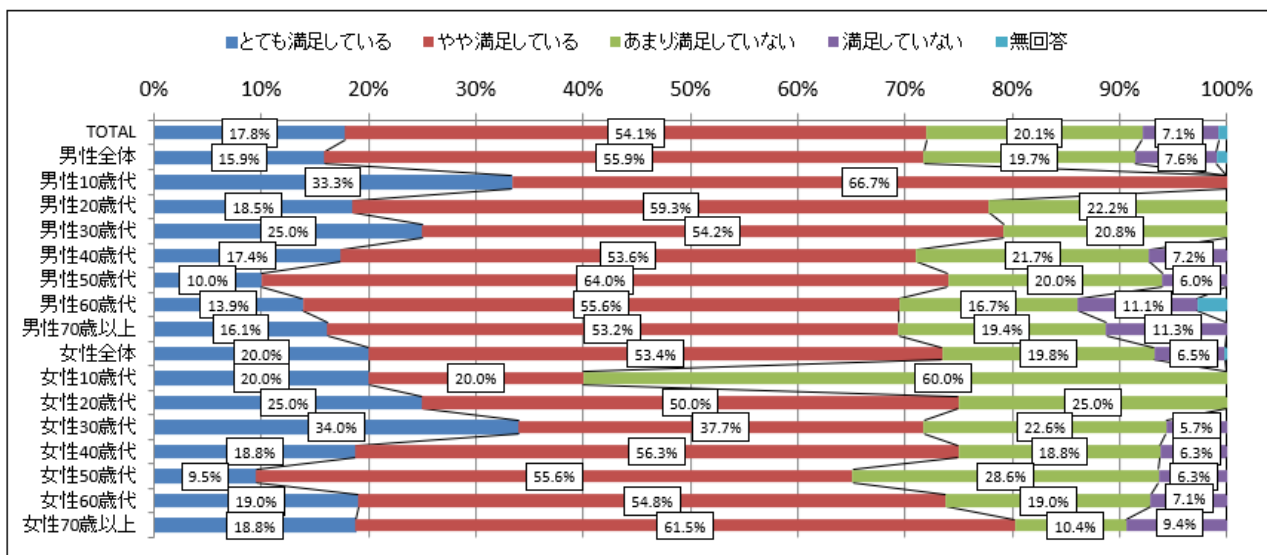
「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合は 71.9%であり、約 7 割の市民が、住まい周辺の住環境について満足していることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合は 71.8%であり、前年度アンケートと比較して、大きな変化はありませんでした。

母集団		とても満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	合計
TOTAL	785	17.8%	54.1%	20.1%	7.1%	0.8%	100.0%
男性全体	315	15.9%	55.9%	19.7%	7.6%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	18.5%	59.3%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	25.0%	54.2%	20.8%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	17.4%	53.6%	21.7%	7.2%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	10.0%	64.0%	20.0%	6.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	13.9%	55.6%	16.7%	11.1%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	16.1%	53.2%	19.4%	11.3%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	20.0%	53.4%	19.8%	6.5%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	34.0%	37.7%	22.6%	5.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	18.8%	56.3%	18.8%	6.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	9.5%	55.6%	28.6%	6.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	19.0%	54.8%	19.0%	7.1%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	18.8%	61.5%	10.4%	9.4%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	20.3%	58.8%	15.3%	5.1%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	13.7%	62.7%	15.7%	7.8%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	18.8%	60.4%	18.8%	2.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	12.5%	25.0%	31.3%	31.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	58.3%	20.8%	12.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	11.1%	38.9%	38.9%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	7.4%	25.9%	33.3%	29.6%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	29.4%	60.0%	8.2%	2.4%	0.0%	100.0%
南地区	53	15.1%	60.4%	22.6%	1.9%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	12.0%	45.7%	33.7%	8.7%	0.0%	100.0%
川本地区	62	16.1%	48.4%	22.6%	9.7%	3.2%	100.0%
花園地区	61	21.3%	52.5%	18.0%	8.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	50.0%	16.7%	5.6%	11.1%	100.0%



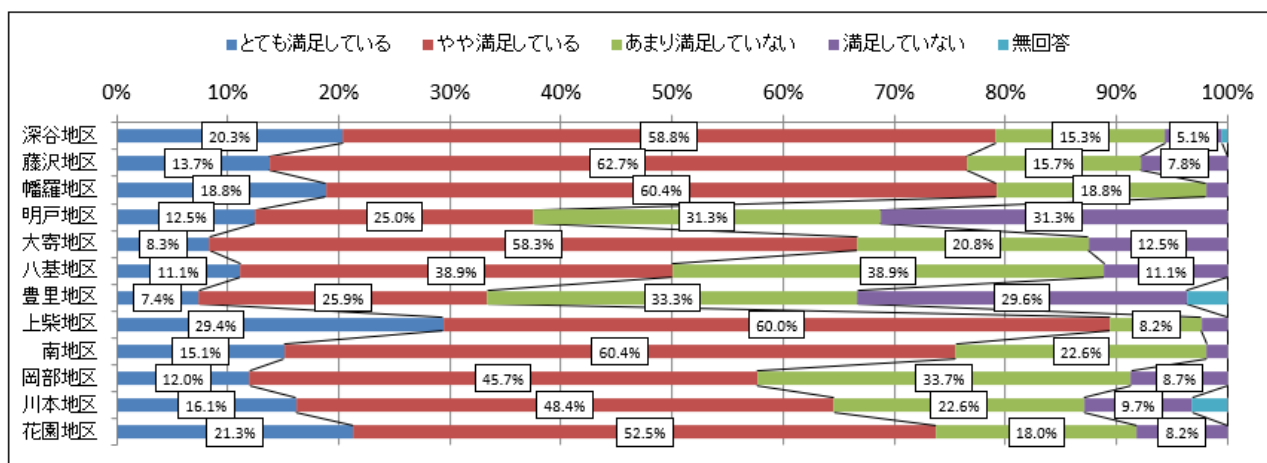
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合は男性が71.8%であるのに対して、女性は73.4%となっています。

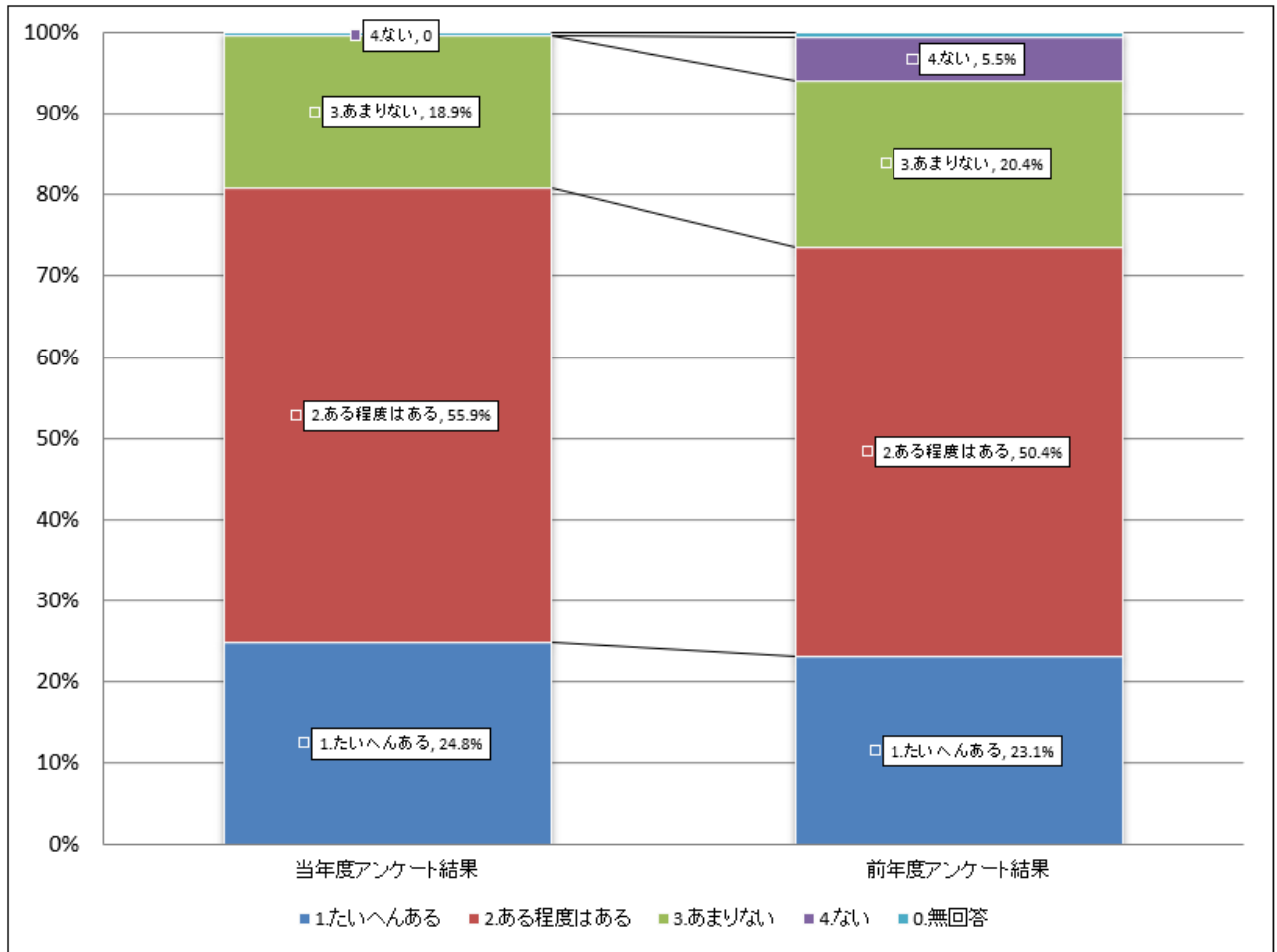
また、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は70歳以上（69.3%）、女性は10歳代（40.0%）であり、一方で最も多い世代は、男性が10歳代（100.0%）、女性が70歳以上（80.3%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（33.3%）であり、次いで明戸地区（37.5%）となっています。最も多いのは、上柴地区（89.4%）であり、次いで幡羅地区（79.2%）となっています。

**あなたの身近に、自然に親しむことができる環境はありますか。**



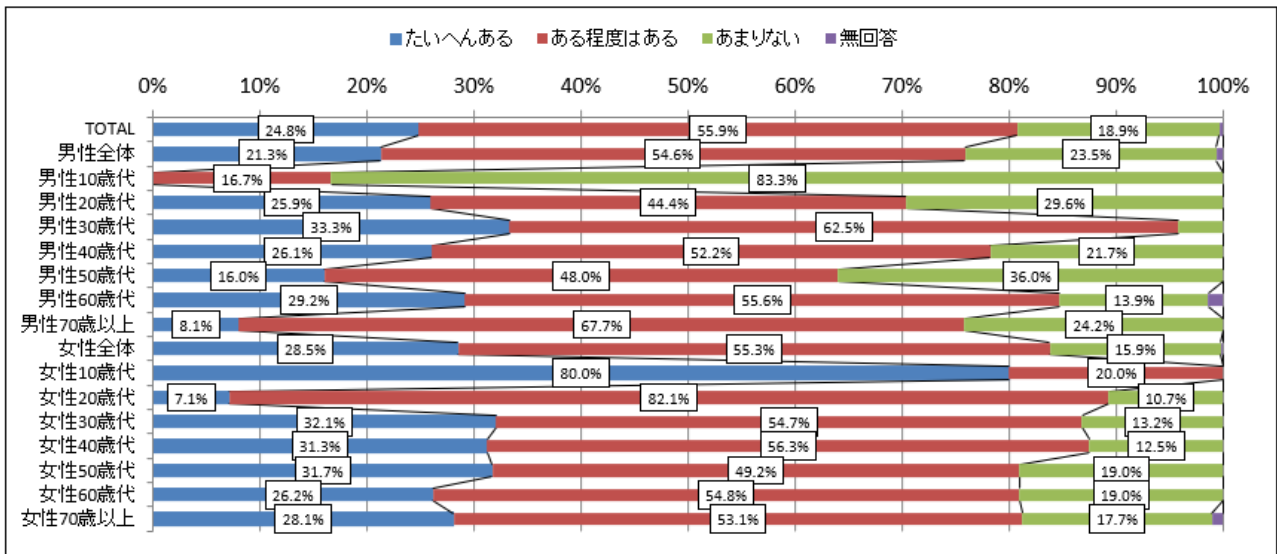
「たいへんある」と回答した人の割合が 24.8%、「ある程度はある」が 55.9%、「あまりない」と回答した人の割合が最も少なく 18.9% となっています。

「たいへんある」と回答した人の割合は 24.8%であり、2 割以上の市民が、身近に自然に親しむことができる環境があると回答していることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへんある」と回答した人の割合は 23.1%であり、前年度アンケートと比較して、増加していることがうかがえます。

母集団	たいへんある	ある程度はある	あまりない	ない	無回答	合計
TOTAL	785	24.8%	55.9%	18.9%	0.4%	100.0%
男性全体	315	21.3%	54.6%	23.5%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	25.9%	44.4%	29.6%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	33.3%	62.5%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	26.1%	52.2%	21.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	16.0%	48.0%	36.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	29.2%	55.6%	13.9%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	8.1%	67.7%	24.2%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	28.5%	55.3%	15.9%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	82.1%	10.7%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	32.1%	54.7%	13.2%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	31.3%	56.3%	12.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	31.7%	49.2%	19.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	26.2%	54.8%	19.0%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	28.1%	53.1%	17.7%	1.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	14.7%	57.1%	28.2%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	43.1%	49.0%	7.8%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	22.8%	51.5%	25.7%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	43.8%	50.0%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	41.7%	37.5%	20.8%	0.0%	100.0%
八基地区	18	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	29.6%	44.4%	25.9%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	9.4%	67.1%	22.4%	1.2%	100.0%
南地区	53	20.8%	66.0%	13.2%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	29.3%	53.3%	17.4%	0.0%	100.0%
川本地区	62	35.5%	51.6%	11.3%	1.6%	100.0%
花園地区	61	31.1%	62.3%	6.6%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	66.7%	11.1%	5.6%	100.0%

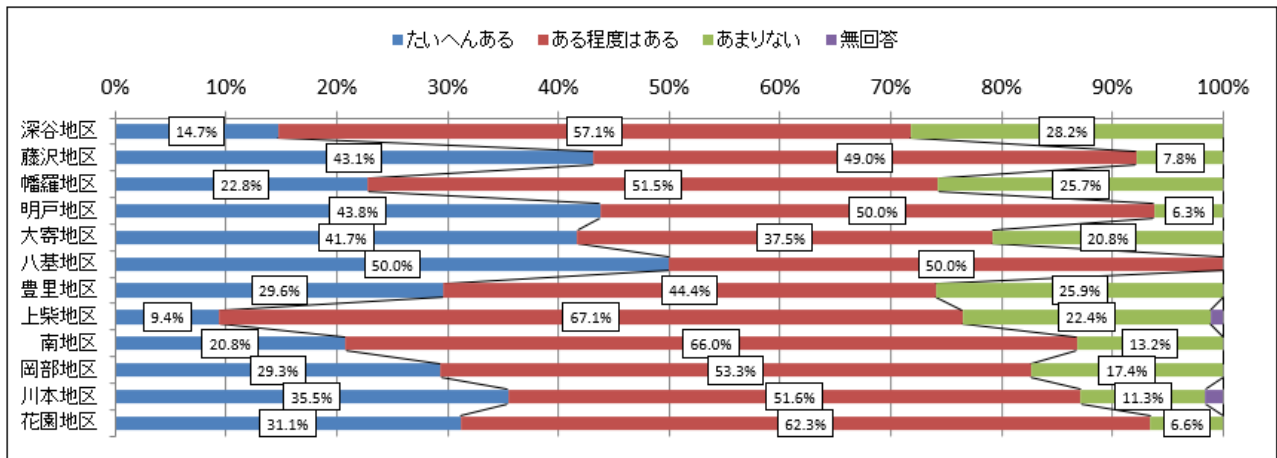
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんある」と回答した人の割合は男性が 21.3%であるのに対して、女性は 28.5%となっています。

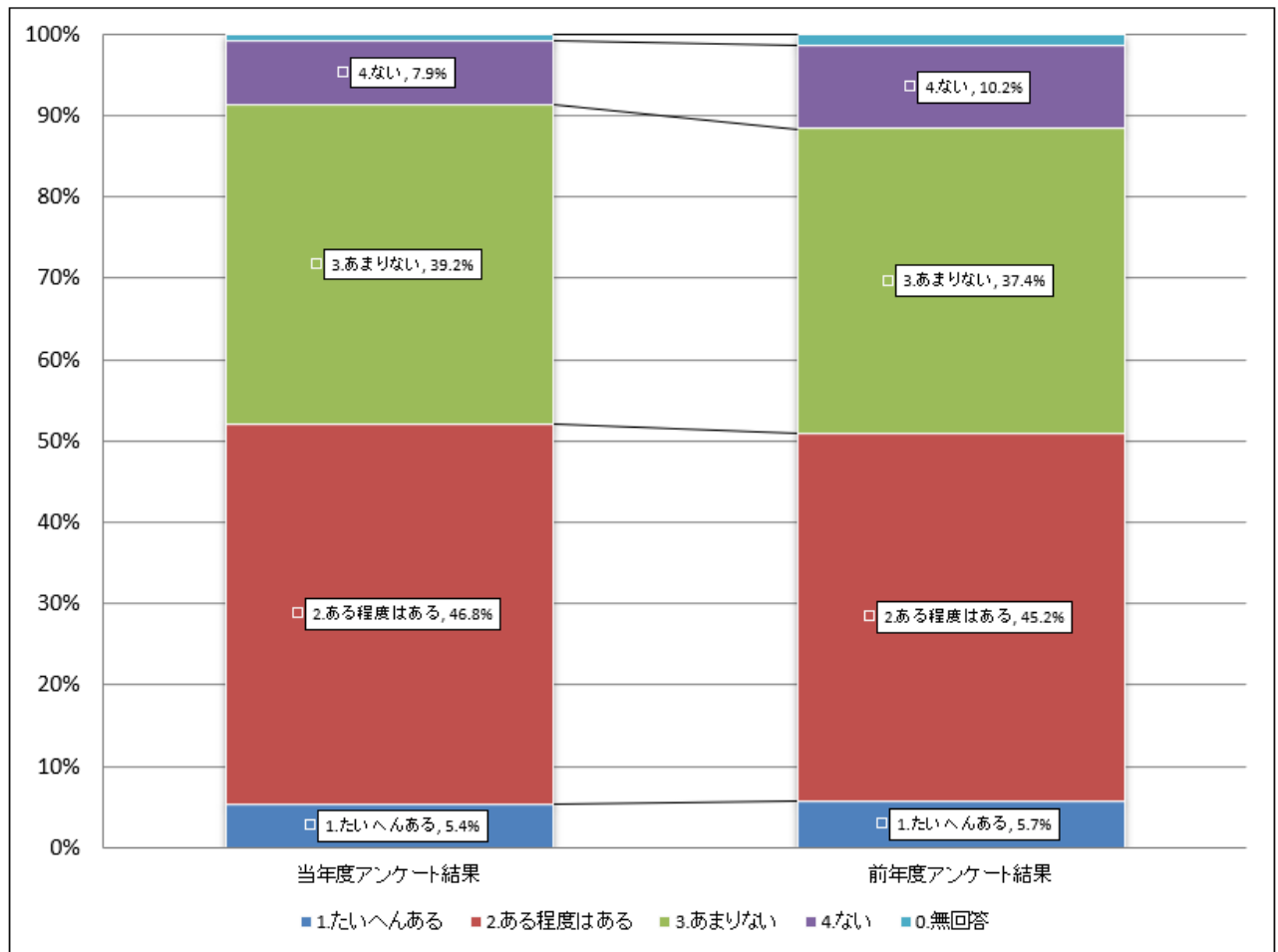
また、「たいへんある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は 10 歳代 (0.0%) 女性は 20 歳代 (7.1%) であり、一方で最も多い世代は、男性 30 歳代 (33.3%)、女性 10 歳代 (80.0%) となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんある」と回答した人の割合が最も少ないのは、上柴地区 (9.4%) であり、次いで深谷地区 (14.7%) となっています。最も多いのは、八基地区 (50.0%) であり、次いで明戸地区 (43.8%) となっています。

## 市内に魅力的なまち並みや景観があると思いますか。



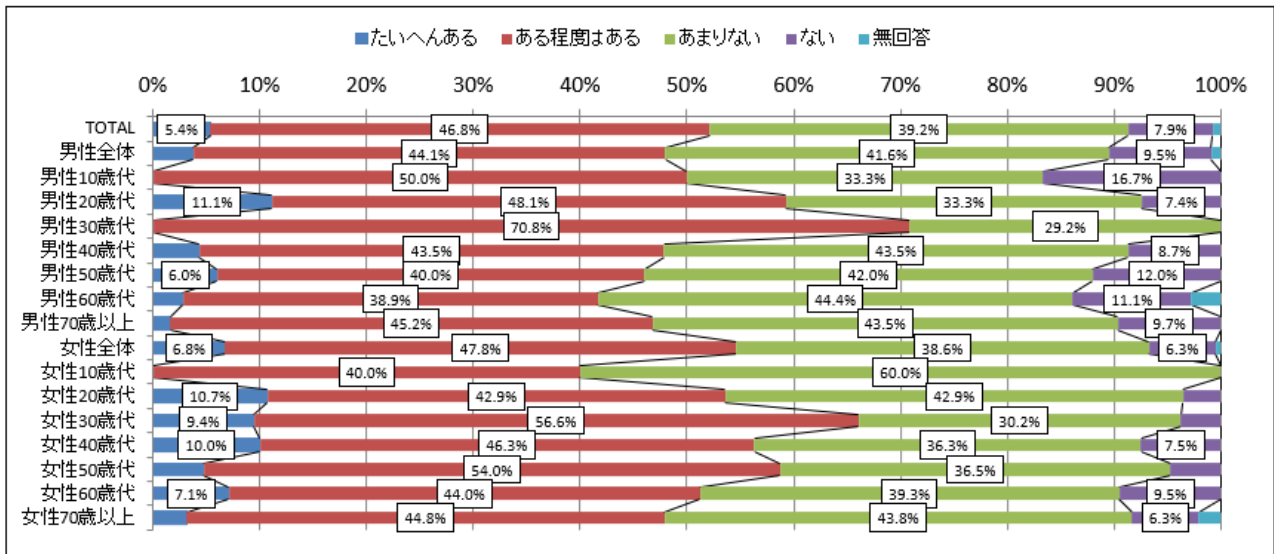
「ある程度はある」と回答した人の割合が 46.8%と最も多く、次いで「あまりない」と回答した人の割合が 39.2%、「ない」と回答した人の割合が 7.9%、「たいへんある」と回答した人の割合が最も少なく 5.4%となっています。

「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は 52.2%であり、市内に魅力的なまち並みや景観があると答えた人が、過半数以上いることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は 50.9%であり、前年度アンケートと比較して、増加した結果となっています。

母集団		たいへんある	ある程度はある	あまりない	ない	無回答	合計
TOTAL	785	5.4%	46.8%	39.2%	7.9%	0.8%	100.0%
男性全体	315	3.8%	44.1%	41.6%	9.5%	1.0%	100.0%
男性 10 歳代	6	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
男性 20 歳代	27	11.1%	48.1%	33.3%	7.4%	0.0%	100.0%
男性 30 歳代	24	0.0%	70.8%	29.2%	0.0%	0.0%	100.0%
男性 40 歳代	69	4.3%	43.5%	43.5%	8.7%	0.0%	100.0%
男性 50 歳代	50	6.0%	40.0%	42.0%	12.0%	0.0%	100.0%
男性 60 歳代	72	2.8%	38.9%	44.4%	11.1%	2.8%	100.0%
男性 70 歳以上	62	1.6%	45.2%	43.5%	9.7%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	6.8%	47.8%	38.6%	6.3%	0.5%	100.0%
女性 10 歳代	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性 20 歳代	28	10.7%	42.9%	42.9%	3.6%	0.0%	100.0%
女性 30 歳代	53	9.4%	56.6%	30.2%	3.8%	0.0%	100.0%
女性 40 歳代	80	10.0%	46.3%	36.3%	7.5%	0.0%	100.0%
女性 50 歳代	63	4.8%	54.0%	36.5%	4.8%	0.0%	100.0%
女性 60 歳代	84	7.1%	44.0%	39.3%	9.5%	0.0%	100.0%
女性 70 歳以上	96	3.1%	44.8%	43.8%	6.3%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	4.5%	45.2%	38.4%	11.3%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	11.8%	49.0%	31.4%	7.8%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	4.0%	41.6%	47.5%	6.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	37.5%	37.5%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	0.0%	62.5%	20.8%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	5.6%	50.0%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	37.0%	51.9%	7.4%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	4.7%	54.1%	38.8%	2.4%	0.0%	100.0%
南地区	53	11.3%	50.9%	34.0%	3.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	2.2%	43.5%	47.8%	6.5%	0.0%	100.0%
川本地区	62	8.1%	37.1%	43.5%	8.1%	3.2%	100.0%
花園地区	61	6.6%	57.4%	26.2%	8.2%	1.6%	100.0%
無回答	18	5.6%	50.0%	27.8%	11.1%	5.6%	100.0%

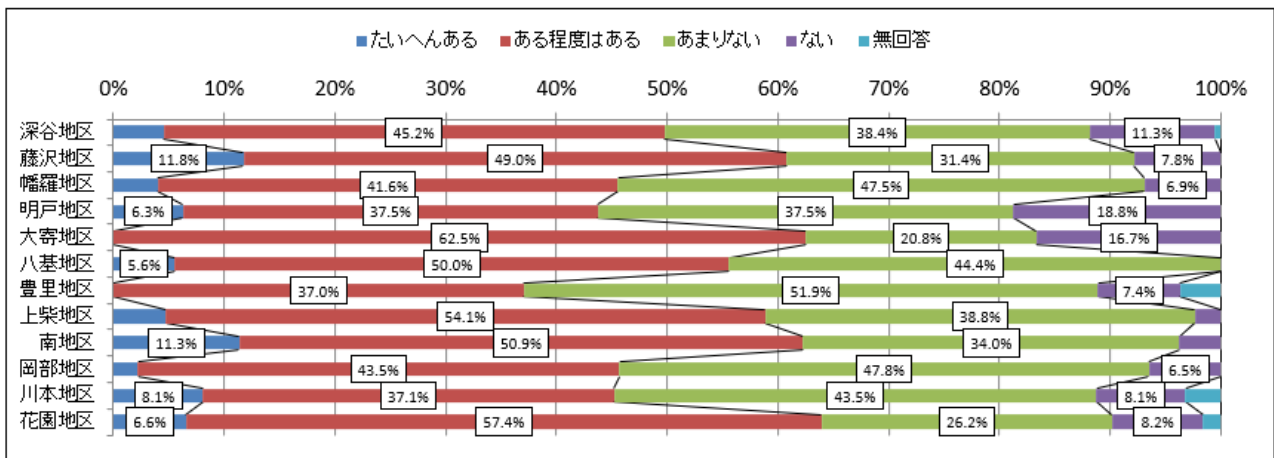
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合は男性が47.9%であるのに対して、女性は54.6%となっています。

また、「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が60歳代(41.7%)、女性が10歳代(40.0%)であり、一方で最も多い世代は、男女ともに30歳代(男性70.8%、女性66.0%)となっています。

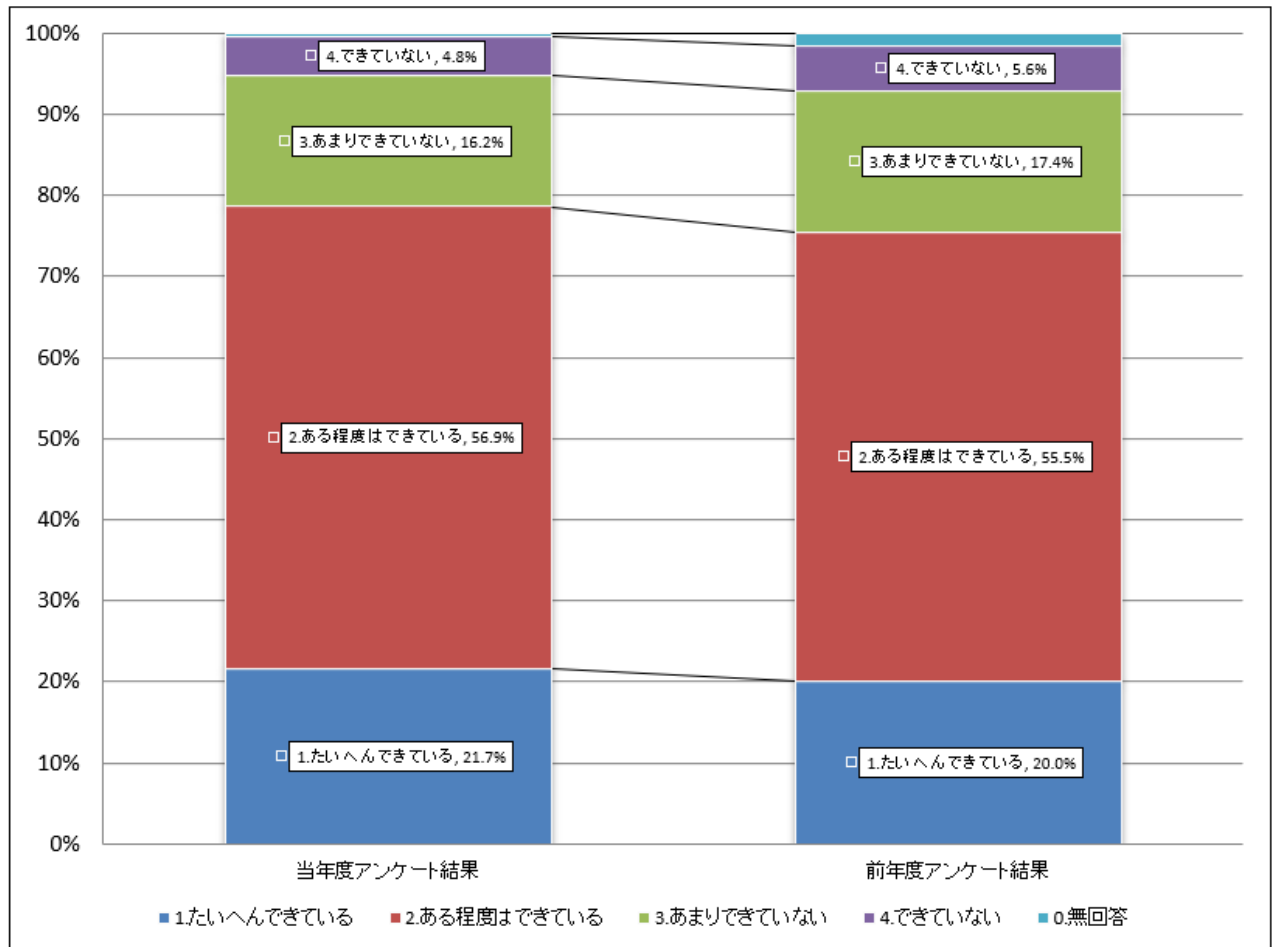
➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんある」または「ある程度はある」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区(37.0%)であり、次いで明戸地区(43.8%)となっています。最も多いのは、花園地区(64.0%)であり、次いで大寄地区(62.5%)となっています。

## ②良好で快適な都市環境の形成（6. 問5～7）

水害に対して安心した生活を送ることができていますか。



「ある程度はできている」と回答した人の割合が 56.9%と最も多く、次いで「たいへんできている」と回答した人の割合が 21.7%、「あまりできていない」と回答した人の割合が 16.2%、「できていない」と回答した人の割合が最も少なく 4.8%となっています。

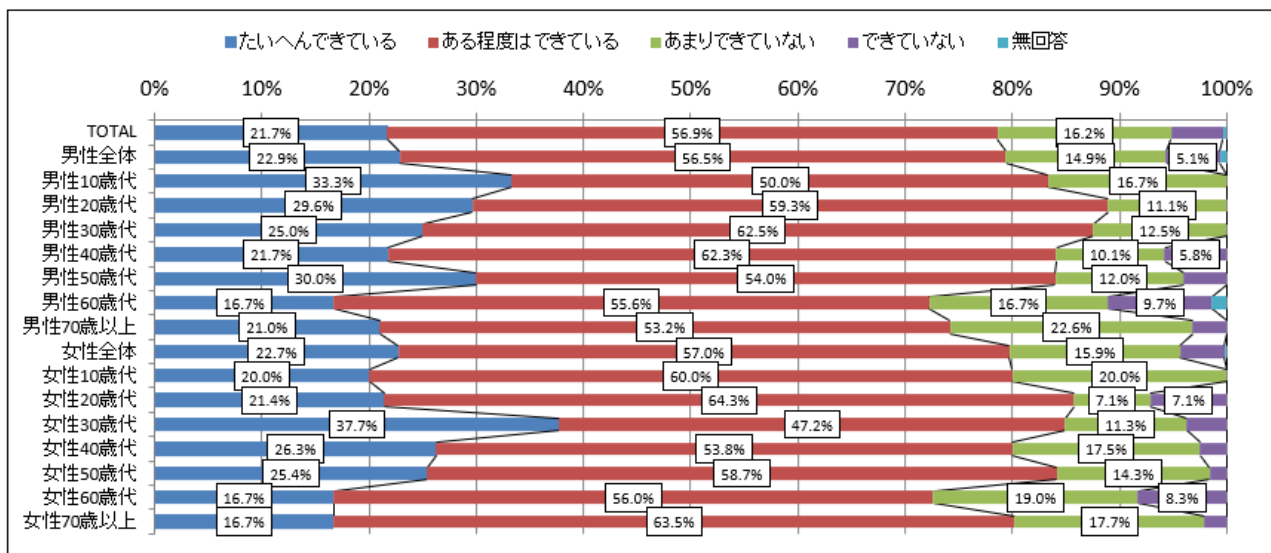
「たいへんできている」または「ある程度はできている」と回答した人の割合は 78.6%であり、8 割近くの市民が、水害に対して安心した生活ができていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへんできている」または「ある程度はできている」と回答した人の割合は 75.5%であり、前年度アンケートと比較して、増加していることがうかがえます。



母集団		たいへんできている	ある程度はできている	あまりできていない	できていない	無回答	合計
TOTAL	785	21.7%	56.9%	16.2%	4.8%	0.4%	100.0%
男性全体	315	22.9%	56.5%	14.9%	5.1%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	29.6%	59.3%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	21.7%	62.3%	10.1%	5.8%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	30.0%	54.0%	12.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	16.7%	55.6%	16.7%	9.7%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	53.2%	22.6%	3.2%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	22.7%	57.0%	15.9%	4.1%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	21.4%	64.3%	7.1%	7.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	37.7%	47.2%	11.3%	3.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	26.3%	53.8%	17.5%	2.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	25.4%	58.7%	14.3%	1.6%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	16.7%	56.0%	19.0%	8.3%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	16.7%	63.5%	17.7%	2.1%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	19.8%	57.6%	18.6%	4.0%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	27.5%	60.8%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	22.8%	62.4%	11.9%	3.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	58.3%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	5.6%	77.8%	11.1%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	33.3%	40.7%	25.9%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	32.9%	52.9%	10.6%	3.5%	0.0%	100.0%
南地区	53	30.2%	54.7%	13.2%	1.9%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	20.7%	65.2%	9.8%	4.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	16.1%	58.1%	16.1%	8.1%	1.6%	100.0%
花園地区	61	27.9%	52.5%	18.0%	1.6%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	33.3%	38.9%	0.0%	11.1%	100.0%

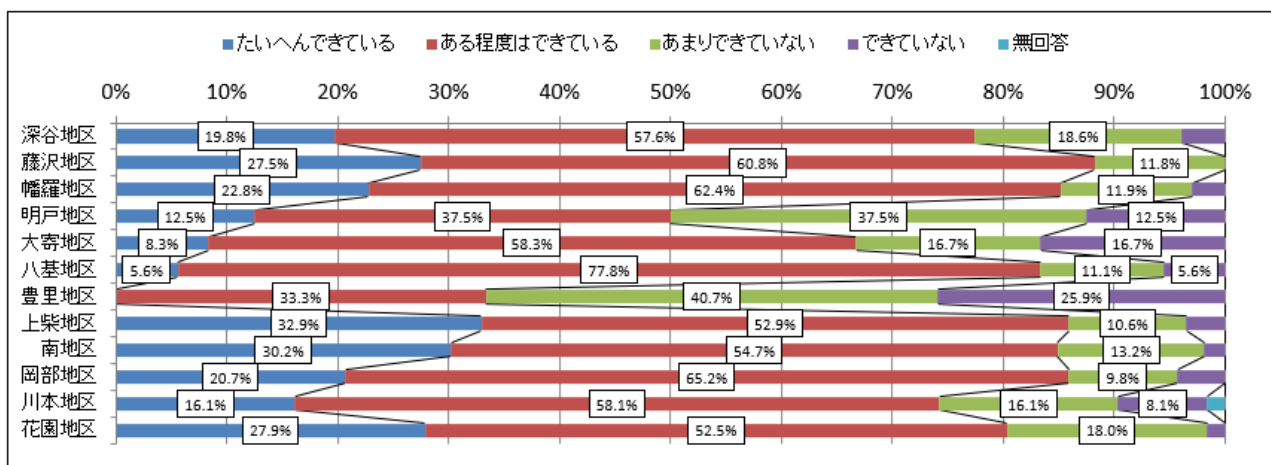
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんできている」または「ある程度はできている」と回答した人の割合は男性が79.4%であるのに対して、女性は79.7%となっています。

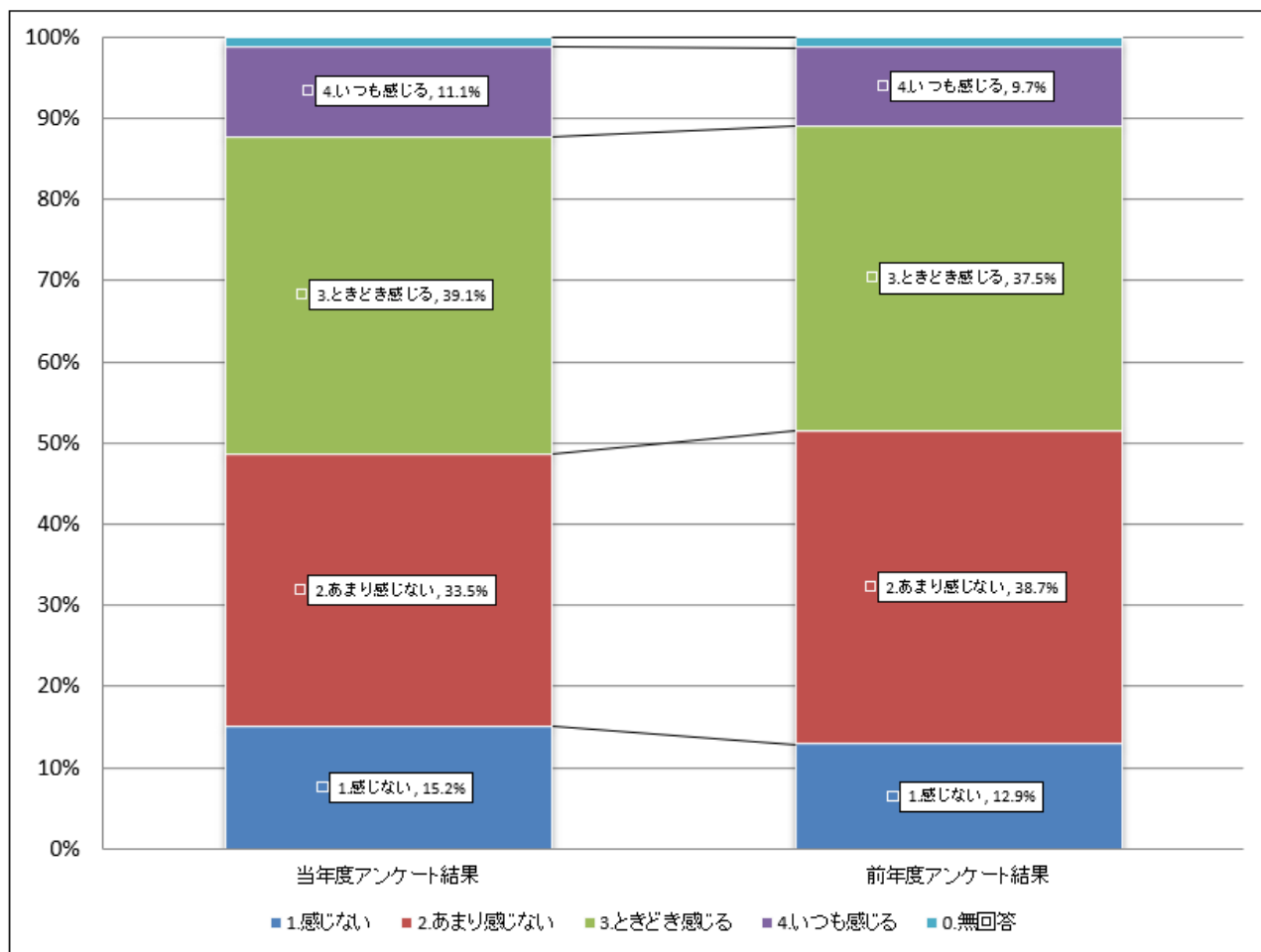
また、「たいへんできている」または「ある程度はできている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに60歳代（男性72.3%、女性72.7%）であり、一方で最も多い世代は、男女ともに20歳代（男性88.9%、女性85.7%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんできている」または「ある程度はできている」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（33.3%）であり、次いで明戸地区（50.0%）となっています。最も多いのは、藤沢地区（88.3%）であり、次いで岡部地区（85.9%）となっています。

市内の道路を普段利用する際に、特に不便を感じることはありませんか。

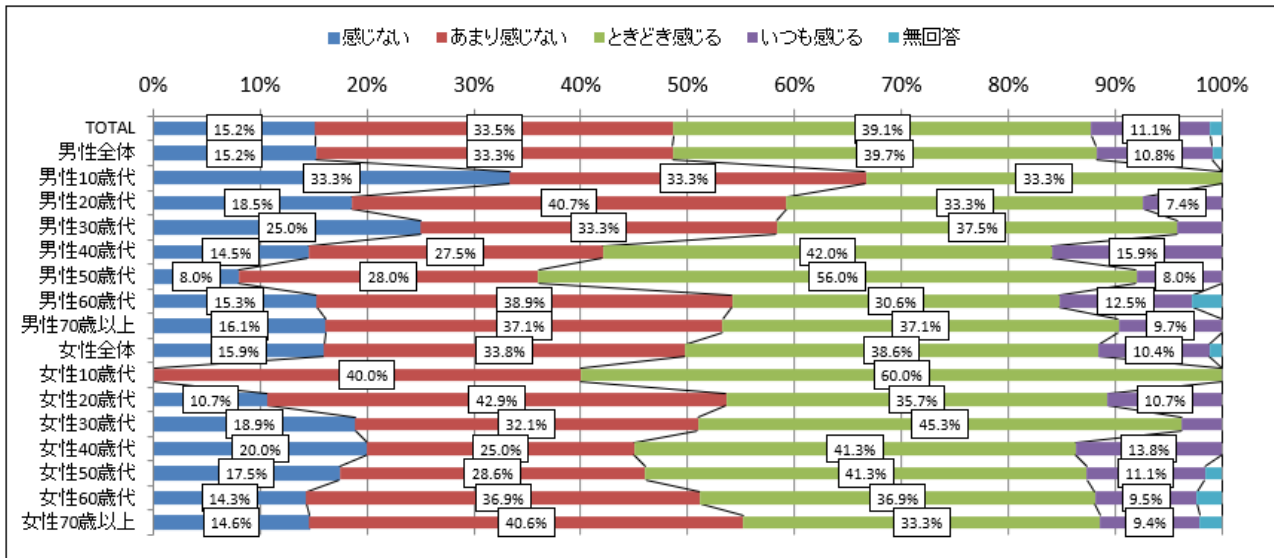


「ときどき感じる」と回答した人の割合が 39.1%と最も多く、次いで「あまり感じない」と回答した人の割合が 33.5%、「感じない」と回答した人の割合が 15.2%、「いつも感じる」と回答した人の割合が最も少なく 11.1%となっています。

「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は 48.7%にとどまり、半数以上の市民が、市内の道路を利用する際に不便を感じていることがうかがえます。「前年度アンケート」の結果、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は 51.6%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		感じない	あまり感じない	ときどき感じる	いつも感じる	無回答	合計
TOTAL	785	15.2%	33.5%	39.1%	11.1%	1.1%	100.0%
男性全体	315	15.2%	33.3%	39.7%	10.8%	1.0%	100.0%
男性 10 歳代	6	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
男性 20 歳代	27	18.5%	40.7%	33.3%	7.4%	0.0%	100.0%
男性 30 歳代	24	25.0%	33.3%	37.5%	4.2%	0.0%	100.0%
男性 40 歳代	69	14.5%	27.5%	42.0%	15.9%	0.0%	100.0%
男性 50 歳代	50	8.0%	28.0%	56.0%	8.0%	0.0%	100.0%
男性 60 歳代	72	15.3%	38.9%	30.6%	12.5%	2.8%	100.0%
男性 70 歳以上	62	16.1%	37.1%	37.1%	9.7%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	15.9%	33.8%	38.6%	10.4%	1.2%	100.0%
女性 10 歳代	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性 20 歳代	28	10.7%	42.9%	35.7%	10.7%	0.0%	100.0%
女性 30 歳代	53	18.9%	32.1%	45.3%	3.8%	0.0%	100.0%
女性 40 歳代	80	20.0%	25.0%	41.3%	13.8%	0.0%	100.0%
女性 50 歳代	63	17.5%	28.6%	41.3%	11.1%	1.6%	100.0%
女性 60 歳代	84	14.3%	36.9%	36.9%	9.5%	2.4%	100.0%
女性 70 歳以上	96	14.6%	40.6%	33.3%	9.4%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	13.6%	37.3%	41.8%	6.8%	13.6%	100.0%
藤沢地区	51	25.5%	37.3%	29.4%	7.8%	25.5%	100.0%
幡羅地区	101	14.9%	33.7%	44.6%	6.9%	14.9%	100.0%
明戸地区	16	18.8%	12.5%	56.3%	12.5%	18.8%	100.0%
大寄地区	24	8.3%	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%	100.0%
八基地区	18	0.0%	27.8%	44.4%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	22.2%	48.1%	25.9%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	24.7%	31.8%	34.1%	5.9%	24.7%	100.0%
南地区	53	7.5%	28.3%	43.4%	20.8%	7.5%	100.0%
岡部地区	92	12.0%	29.3%	46.7%	10.9%	12.0%	100.0%
川本地区	62	19.4%	38.7%	24.2%	12.9%	19.4%	100.0%
花園地区	61	19.7%	31.1%	34.4%	14.8%	19.7%	100.0%
無回答	18	5.6%	27.8%	33.3%	27.8%	5.6%	100.0%

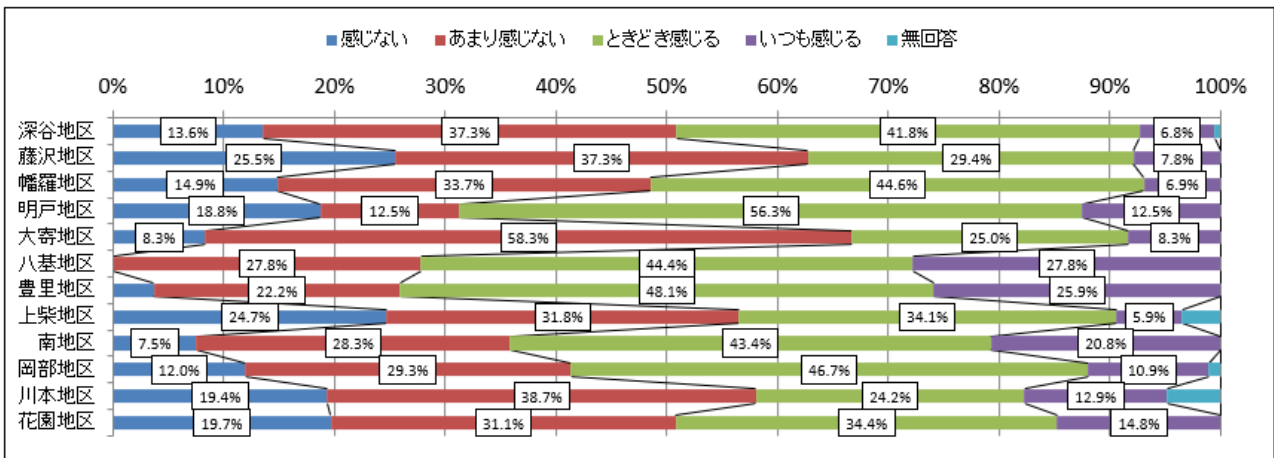
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は男性が48.5%であるのに対して、女性は49.7%となっています。

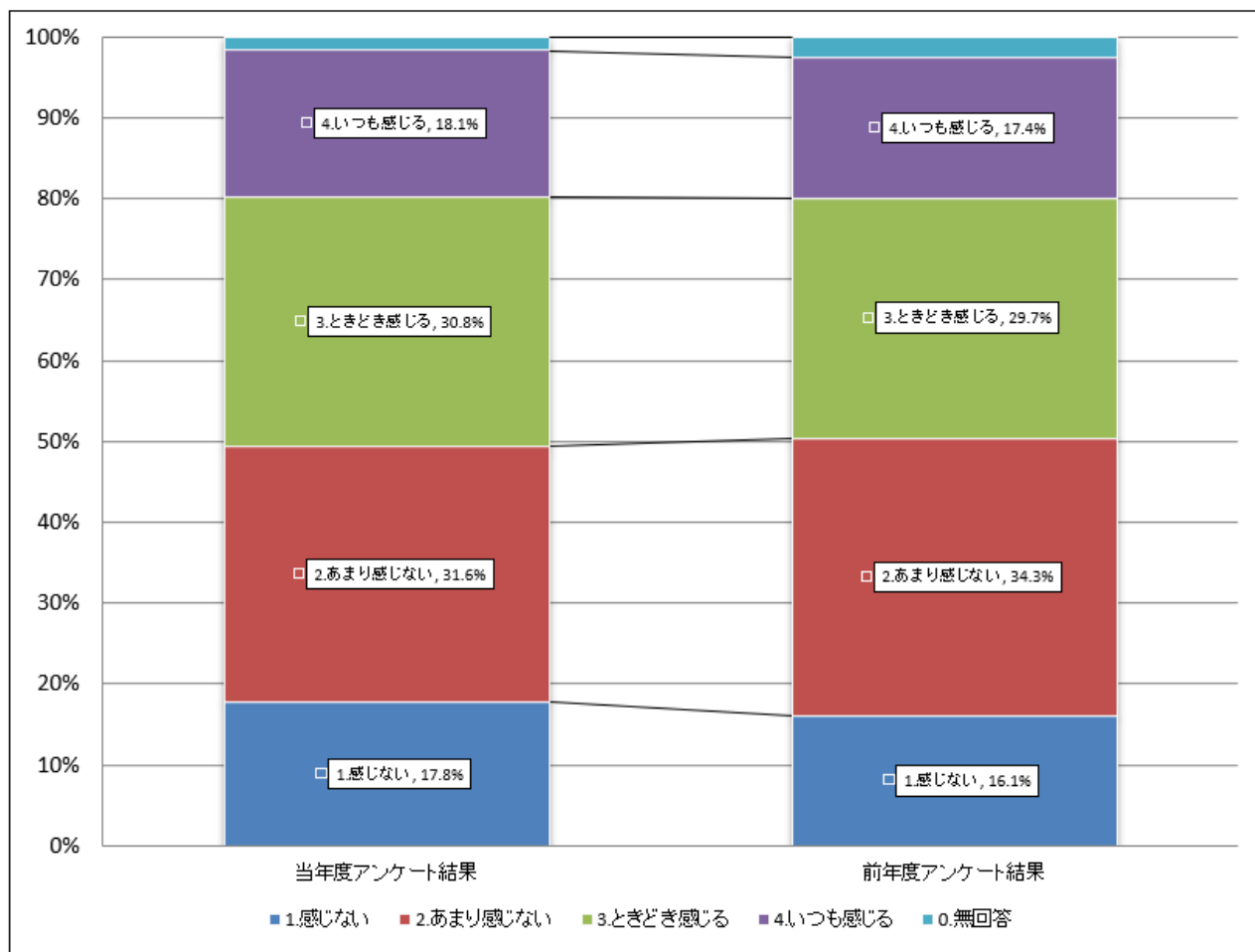
また、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が50歳代（36.0%）、女性が10歳代（40.0%）であり、一方で最も多い世代は、男性10歳代（66.6%）、女性70歳以上（55.2%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（25.9%）であり、次いで八基地区（27.8%）となっています。最も多いのは、大寄地区（66.6%）であり、次いで藤沢地区（62.8%）となっています。

市内の公共交通機関の利便性（時間・本数・路線・サービス）に不便を感じていますか。

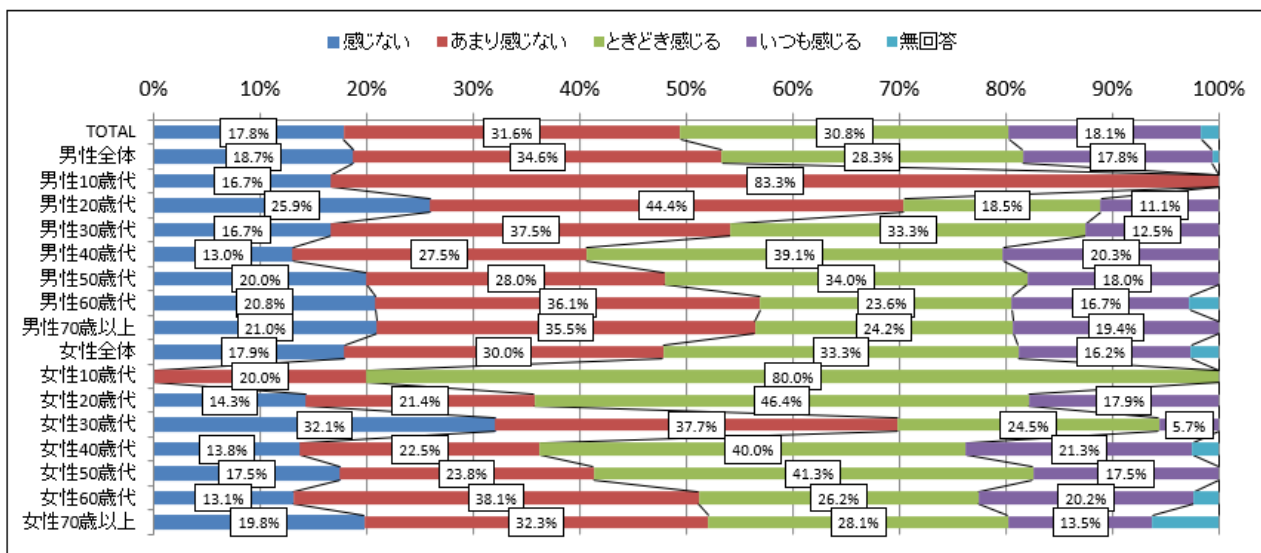


「あまり感じない」と回答した人の割合が 31.6%と最も多く、次いで「ときどき感じる」と回答した人の割合が 30.8%、「いつも感じる」と回答した人の割合が 18.1%、「感じない」と回答した人の割合が最も少なく 17.8%となっています。

「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は 49.4%になっており、半数以上の市民が、市内の公共交通機関の利便性に不便を感じていることがうかがえます。「前年度アンケート」の結果は、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は 50.4%であり、前年度アンケートと比較して、大きな変化はみられませんでした。

母集団		感じない	あまり感じない	ときどき感じる	いつも感じる	無回答	合計
TOTAL	785	17.8%	31.6%	30.8%	18.1%	1.7%	100.0%
男性全体	315	18.7%	34.6%	28.3%	17.8%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	25.9%	44.4%	18.5%	11.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	16.7%	37.5%	33.3%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	13.0%	27.5%	39.1%	20.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	20.0%	28.0%	34.0%	18.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	20.8%	36.1%	23.6%	16.7%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	35.5%	24.2%	19.4%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	17.9%	30.0%	33.3%	16.2%	2.7%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	14.3%	21.4%	46.4%	17.9%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	32.1%	37.7%	24.5%	5.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	13.8%	22.5%	40.0%	21.3%	2.5%	100.0%
女性50歳代	63	17.5%	23.8%	41.3%	17.5%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	13.1%	38.1%	26.2%	20.2%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	19.8%	32.3%	28.1%	13.5%	6.3%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	20.9%	41.2%	26.6%	9.0%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	27.5%	23.5%	31.4%	15.7%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	15.8%	29.7%	27.7%	23.8%	3.0%	100.0%
明戸地区	16	18.8%	6.3%	43.8%	31.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	12.5%	41.7%	33.3%	12.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	16.7%	38.9%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	25.9%	33.3%	37.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	15.3%	34.1%	35.3%	15.3%	0.0%	100.0%
南地区	53	18.9%	35.8%	34.0%	11.3%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	19.6%	29.3%	30.4%	18.5%	2.2%	100.0%
川本地区	62	16.1%	21.0%	25.8%	32.3%	4.8%	100.0%
花園地区	61	14.8%	31.1%	37.7%	16.4%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	27.8%	27.8%	27.8%	0.0%	100.0%

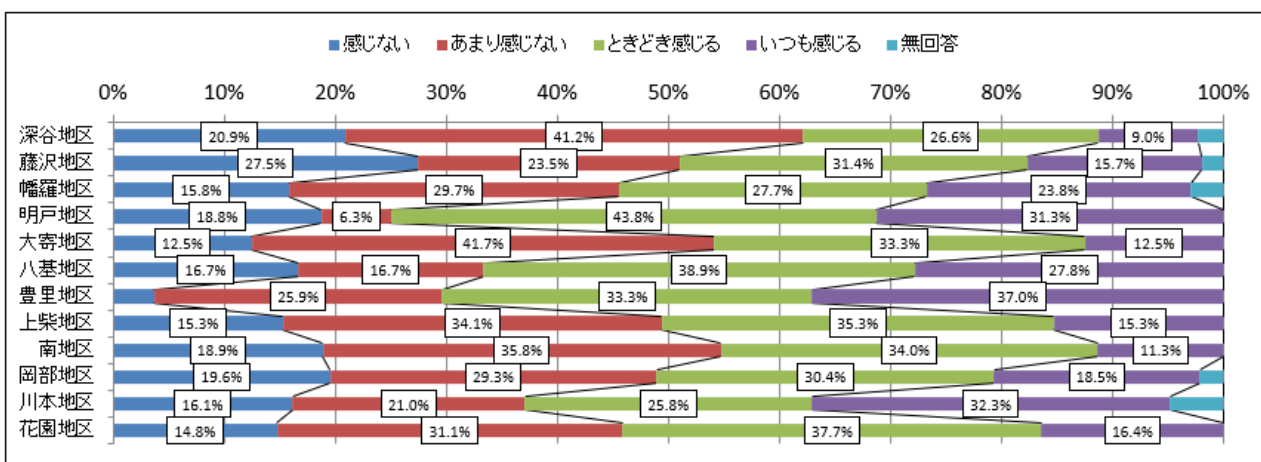
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合は男性が53.3%であるのに対して、女性は47.9%となっています。

また、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性40歳代（40.5%）、女性10歳代（20.0%）であり、一方で最も多い世代は、男性10歳代（100.0%）女性30歳代（69.8%）となっています。

➤ 地区別



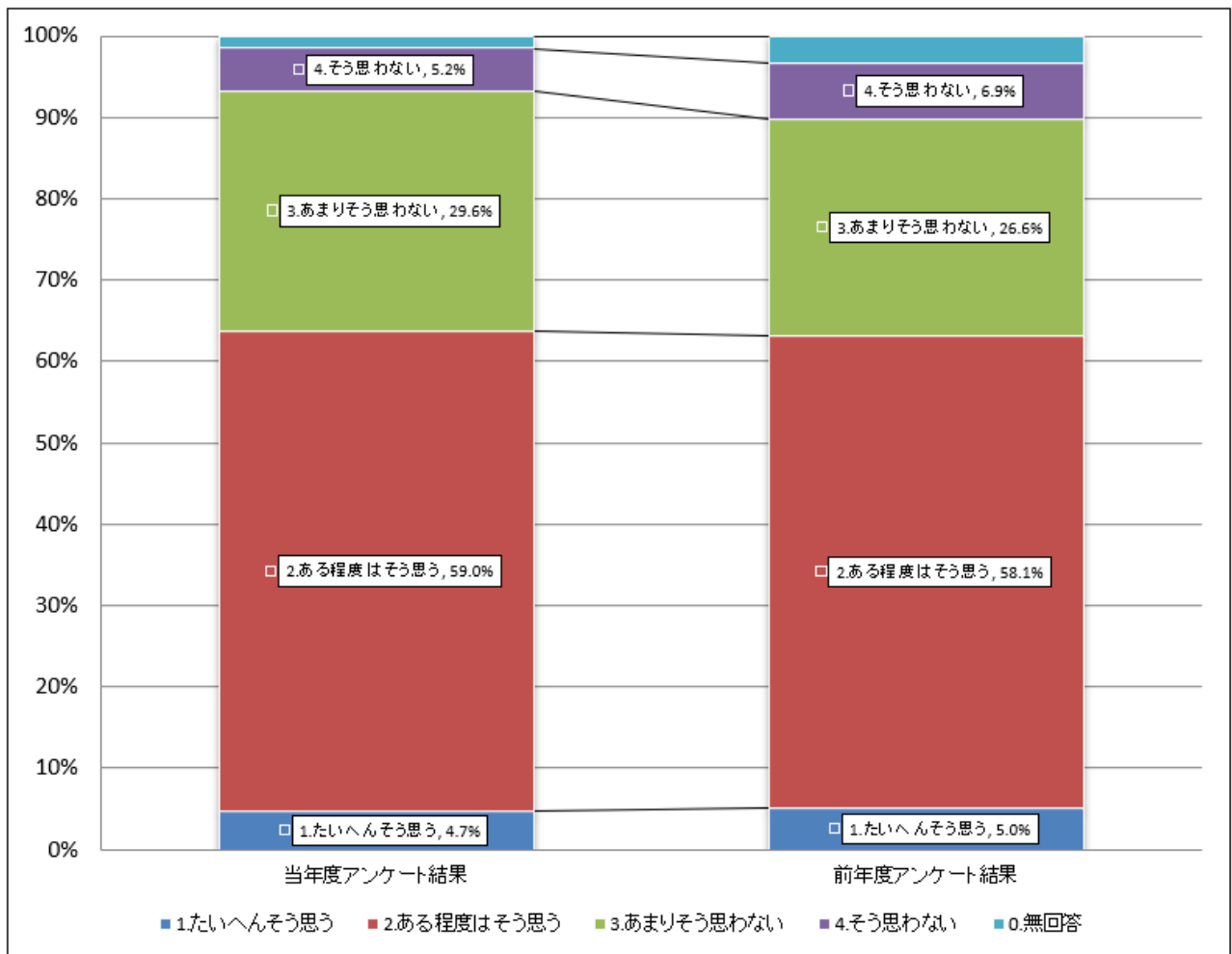
地区別にみると、「感じない」または「あまり感じない」と回答した人の割合が最も少ないのは、明戸地区（25.1%）であり、次いで豊里地区（29.6%）となっています。最も多いのは、深谷地区（62.1%）であり、次いで南地区（54.7%）となっています。



(7) 協働・行政経営について

①人権を尊重する社会づくり (7. 問1～4)

深谷市が人権と個性の尊重されているまちであると思いますか。



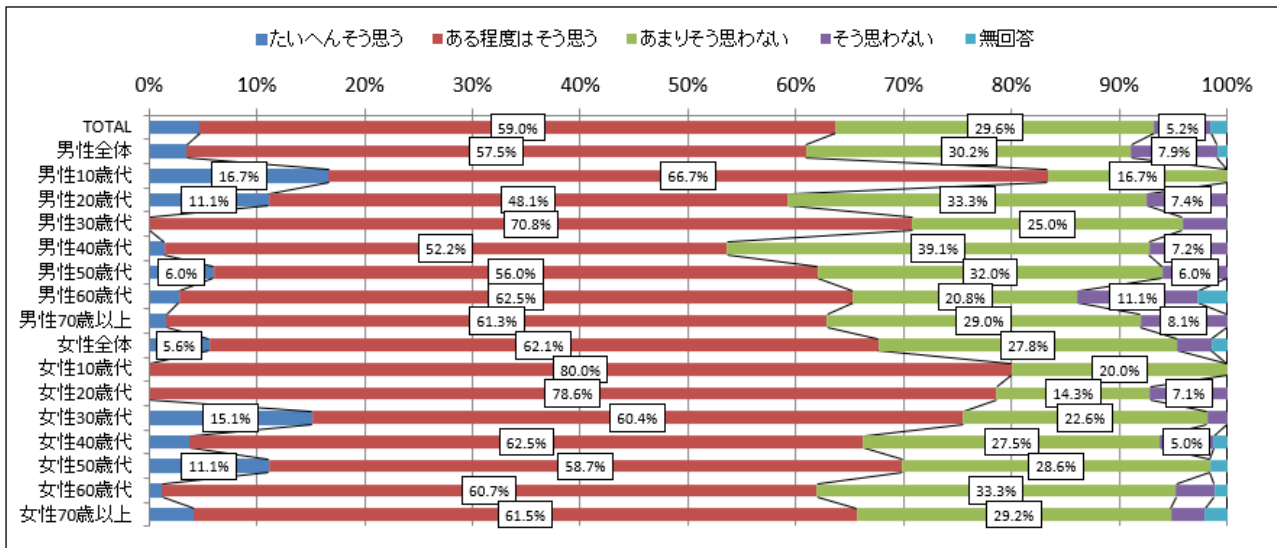
「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が 59.0%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」と回答した人の割合が 29.6%、「そう思わない」と回答した人の割合が 5.2%、「たいへんそう思う」と回答した人の割合が最も少なく 4.7%となっています。

「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 63.7%であり、約 6 割以上の市民が、深谷市が人権と個性の尊重されているまちであると感じていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 63.1%であり、前年度アンケートと比較して、大きな変化は出ていない結果となっています。

母集団		たいへんそう思う	ある程度はそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
TOTAL	785	4.7%	59.0%	29.6%	5.2%	1.5%	100.0%
男性全体	315	3.5%	57.5%	30.2%	7.9%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	11.1%	48.1%	33.3%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	70.8%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	1.4%	52.2%	39.1%	7.2%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	6.0%	56.0%	32.0%	6.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	2.8%	62.5%	20.8%	11.1%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	1.6%	61.3%	29.0%	8.1%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	5.6%	62.1%	27.8%	3.1%	1.4%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	78.6%	14.3%	7.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	15.1%	60.4%	22.6%	1.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	3.8%	62.5%	27.5%	5.0%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	11.1%	58.7%	28.6%	0.0%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	1.2%	60.7%	33.3%	3.6%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	4.2%	61.5%	29.2%	3.1%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	6.8%	55.4%	32.8%	4.0%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	5.9%	60.8%	29.4%	3.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	3.0%	55.4%	33.7%	5.9%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	62.5%	18.8%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	0.0%	62.5%	29.2%	8.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	38.9%	38.9%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	48.1%	33.3%	14.8%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	3.5%	62.4%	27.1%	5.9%	1.2%	100.0%
南地区	53	9.4%	64.2%	22.6%	3.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	1.1%	69.6%	25.0%	4.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	4.8%	53.2%	33.9%	3.2%	4.8%	100.0%
花園地区	61	6.6%	63.9%	24.6%	4.9%	0.0%	100.0%
無回答	18	0.0%	55.6%	27.8%	0.0%	16.7%	100.0%

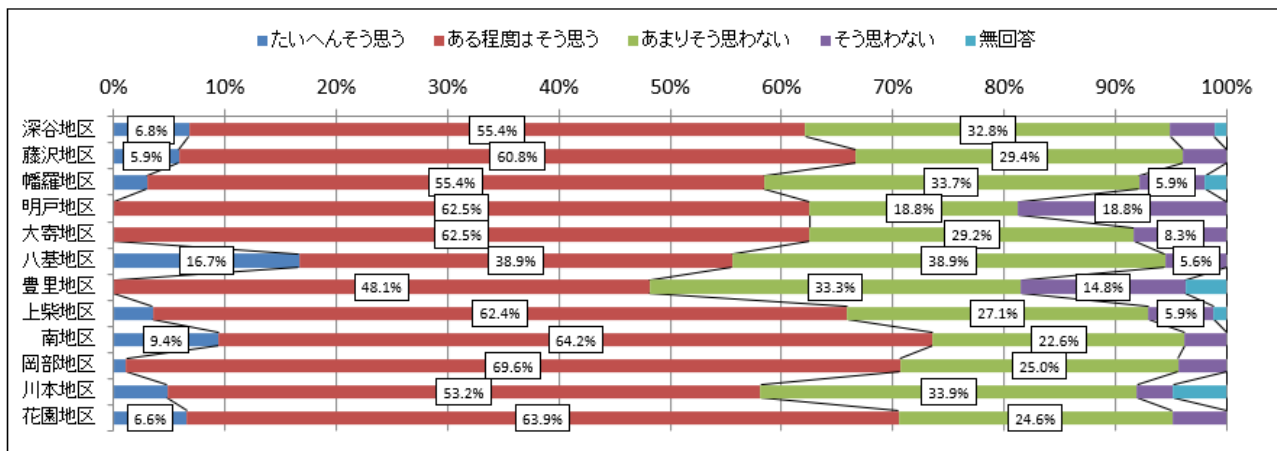
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性が61.0%であるのに対して、女性は67.7%となっています。

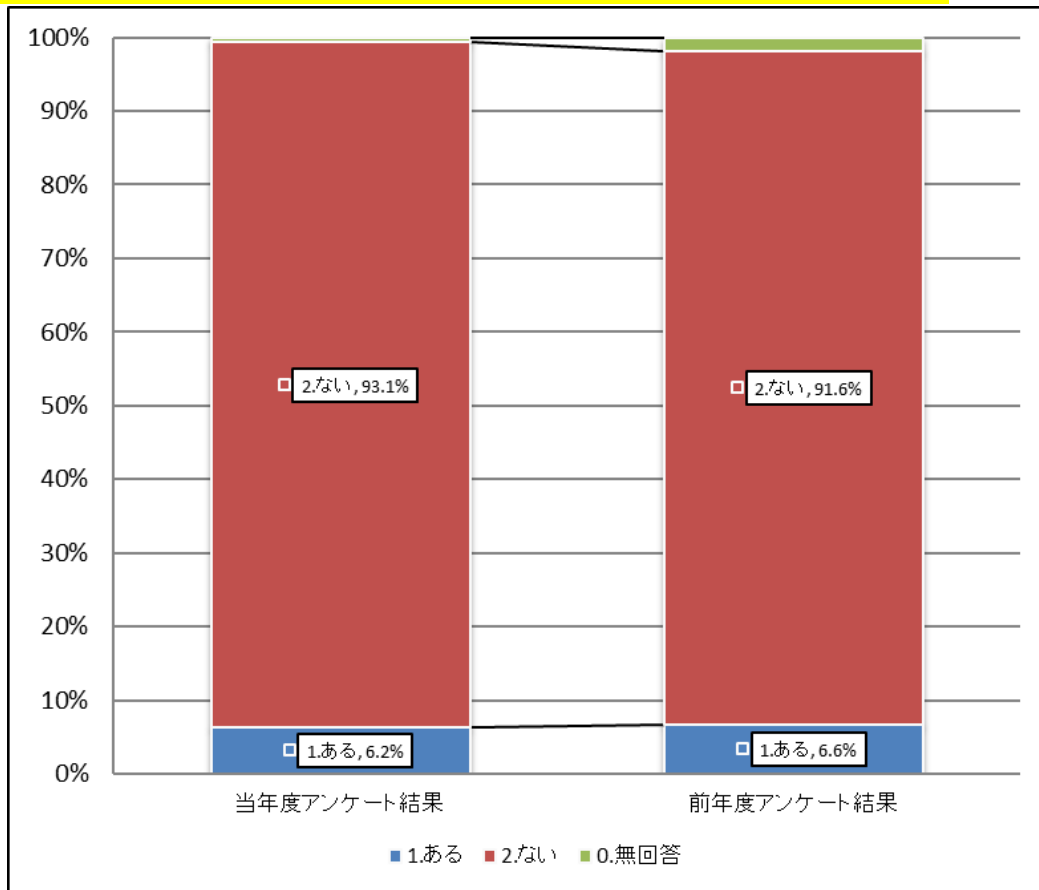
また、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が40歳代（53.6%）、女性が60歳代（61.9%）であり、一方で、最も多い世代は、男女ともに10歳代（男性83.3%、女性80.0%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（48.1%）であり、次いで八基地区（55.6%）となっています。最も多いのは南地区（73.6%）であり、次いで岡部地区（70.7%）となっています。

**この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことはありますか。**



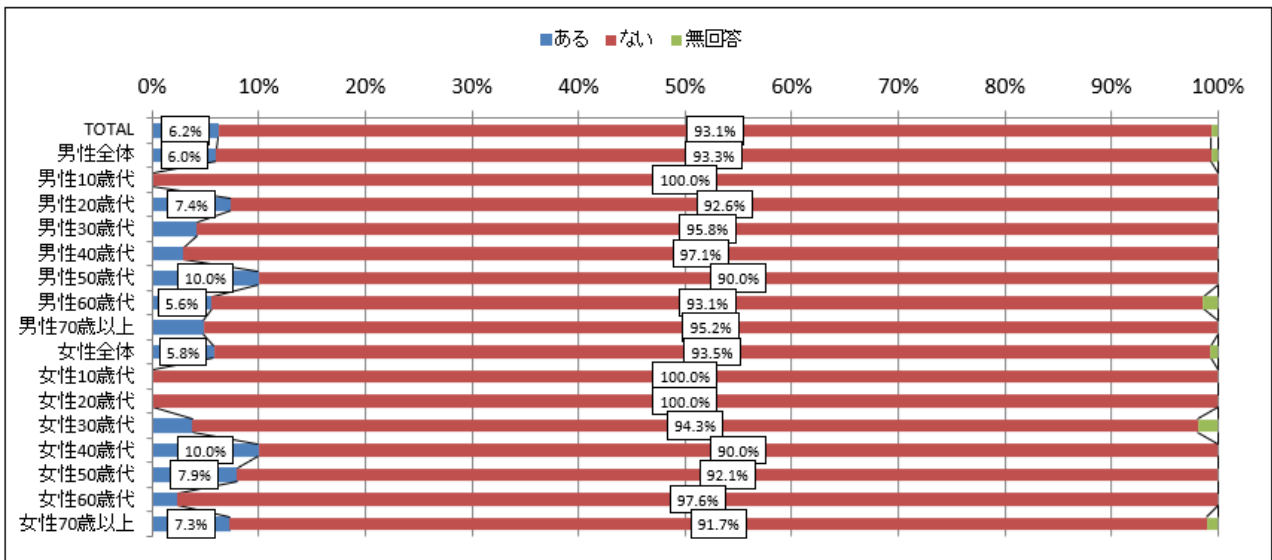
「ある」と回答した人の割合が 6.2%、「ない」と回答した人の割合が 93.1%となっています。

ほとんどの市民が、この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことはなかったと回答していることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「ない」と回答した人の割合は 91.6%であり、前年度アンケートと比較して、この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことはなかったとの回答が微増したことがうかがえます。

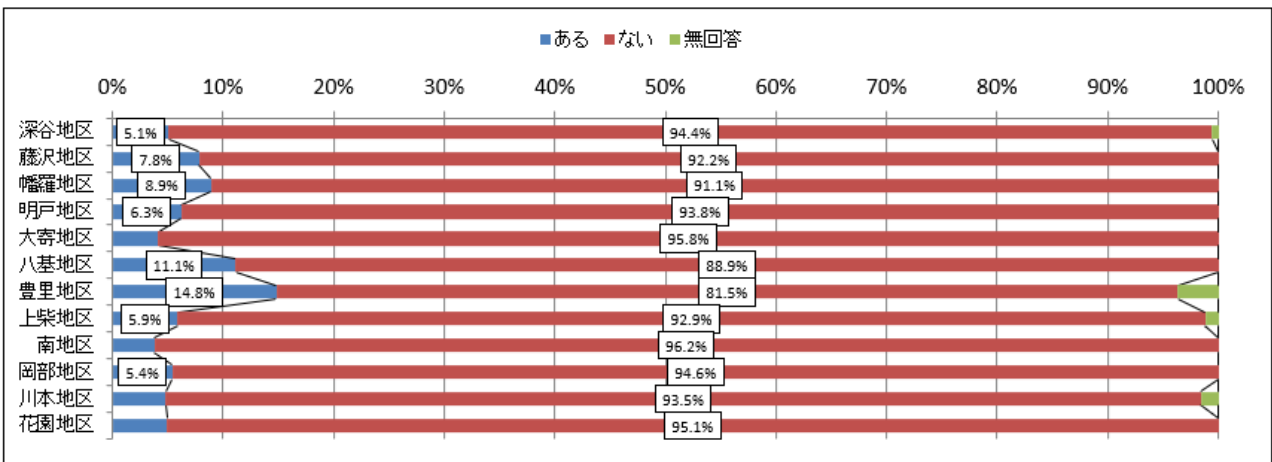
母集団		ある	ない	無回答	合計
TOTAL	785	6.2%	93.1%	0.6%	100.0%
男性全体	315	6.0%	93.3%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	7.4%	92.6%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	4.2%	95.8%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	2.9%	97.1%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	5.6%	93.1%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	4.8%	95.2%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	5.8%	93.5%	0.7%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	3.8%	94.3%	1.9%	100.0%
女性40歳代	80	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	7.9%	92.1%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	2.4%	97.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	7.3%	91.7%	1.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	5.1%	94.4%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	7.8%	92.2%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	8.9%	91.1%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	93.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	95.8%	0.0%	100.0%
八基地区	18	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	14.8%	81.5%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	5.9%	92.9%	1.2%	100.0%
南地区	53	3.8%	96.2%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	5.4%	94.6%	0.0%	100.0%
川本地区	62	4.8%	93.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	4.9%	95.1%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	88.9%	5.6%	100.0%

➤ 性別・世代別



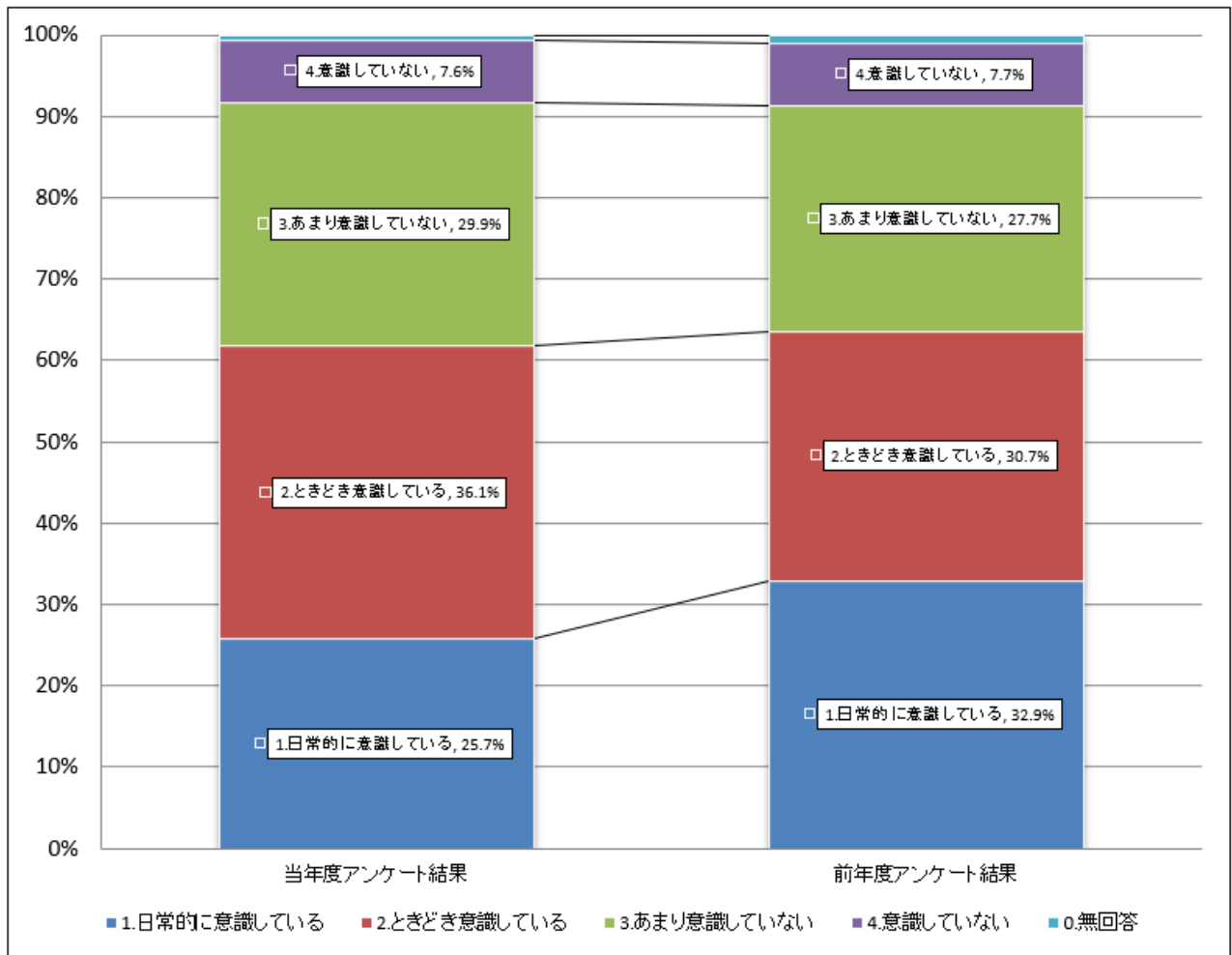
性別・世代別にみると、「ある」と回答した人の割合は男性が 6.0%であるのに対して、女性は 5.8%となっています。このことから、男女差はほとんどないことがうかがえます。また、「ある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 10 歳代 (0.0%)、女性は 10 歳代、20 歳代ともに (0.0%) であり、一方で、最も多い世代は、男性が 50 歳代 (10.0%) であり、女性は 40 歳代 (10.0%) となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「ある」と回答した人の割合が最も少ないのは、南地区 (3.8%) であり、次いで大寄地区 (4.2%) となっています。最も多いのは豊里地区 (14.8%) であり、次いで八基地区 (11.1%) となっています。地域によって差があることがうかがえます。

## お互いの人権について意識をして生活をしていますか。



「ときどき意識している」と回答した人の割合が 36.1%と最も多く、次いで「あまり意識していない」と回答した人の割合が 29.9%、「日常的に意識している」と回答した人の割合が 25.7%、「意識していない」と回答した人の割合が最も少なく 7.6%となっています。

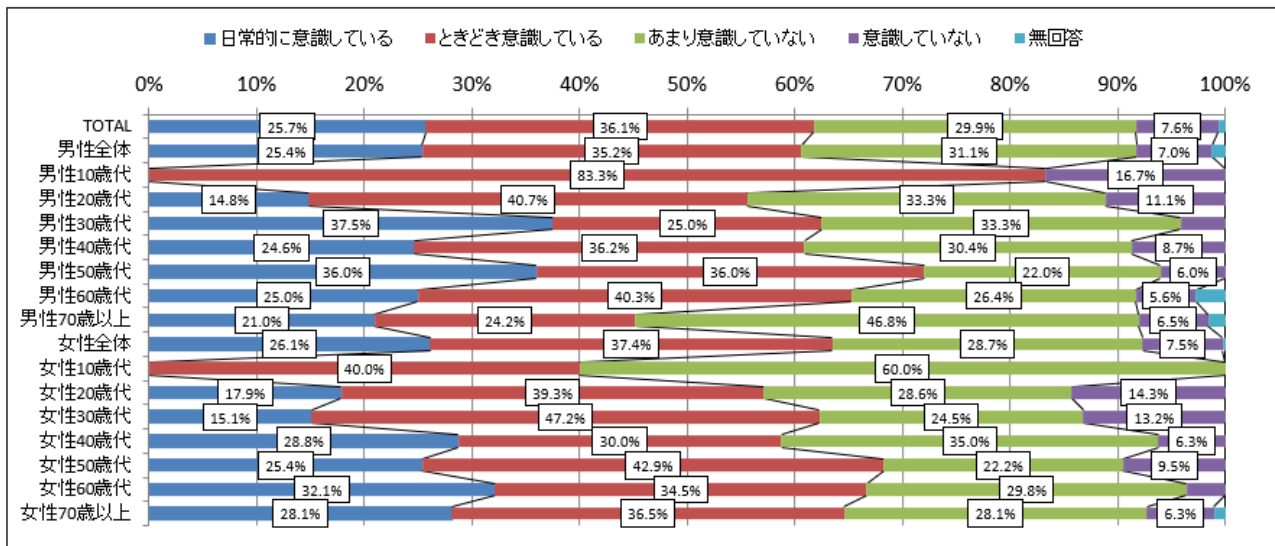
「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合は 61.8%であり、市民の 6 割以上が日頃からお互いの人権について尊重しながら生活していることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合は 63.6%であり、前年度アンケートと比較して、微減していることがうかがえます。

母集団		日常的に意識している	ときどき意識している	あまり意識していない	意識していない	無回答	合計
TOTAL	785	25.7%	36.1%	29.9%	7.6%	0.6%	100.0%
男性全体	315	25.4%	35.2%	31.1%	7.0%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	14.8%	40.7%	33.3%	11.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	37.5%	25.0%	33.3%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	24.6%	36.2%	30.4%	8.7%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	36.0%	36.0%	22.0%	6.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	25.0%	40.3%	26.4%	5.6%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	24.2%	46.8%	6.5%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	26.1%	37.4%	28.7%	7.5%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	17.9%	39.3%	28.6%	14.3%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	15.1%	47.2%	24.5%	13.2%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	28.8%	30.0%	35.0%	6.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	25.4%	42.9%	22.2%	9.5%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	32.1%	34.5%	29.8%	3.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	28.1%	36.5%	28.1%	6.3%	1.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	25.4%	35.6%	31.1%	7.3%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	17.6%	47.1%	29.4%	5.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	24.8%	36.6%	35.6%	3.0%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	31.3%	68.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	20.8%	25.0%	45.8%	8.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	22.2%	38.9%	33.3%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	22.2%	37.0%	18.5%	18.5%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	24.7%	32.9%	30.6%	10.6%	1.2%	100.0%
南地区	53	28.3%	28.3%	37.7%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	23.9%	41.3%	28.3%	6.5%	0.0%	100.0%
川本地区	62	33.9%	25.8%	29.0%	9.7%	1.6%	100.0%
花園地区	61	34.4%	36.1%	19.7%	9.8%	0.0%	100.0%
無回答	18	16.7%	33.3%	27.8%	16.7%	5.6%	100.0%



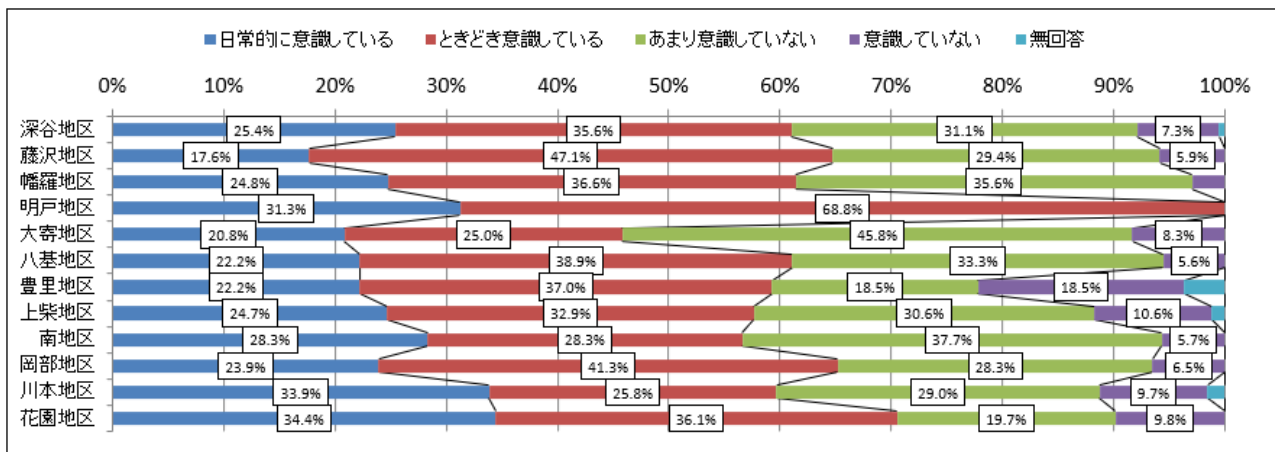
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合は男性が60.6%であるのに対して、女性は63.5%となっています。

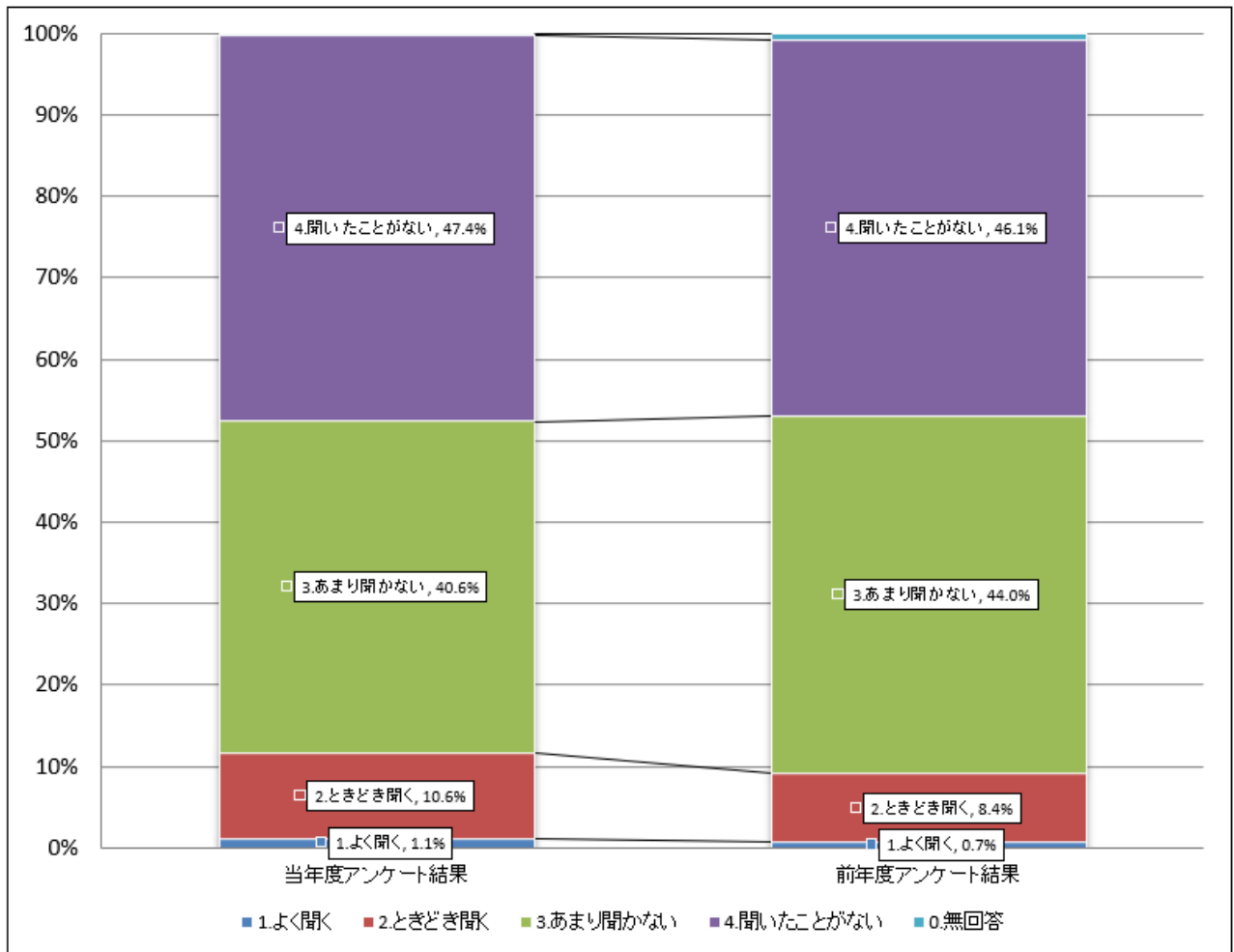
また、「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が70歳代（45.2%）、女性が10歳代（40.0%）であり、一方で、最も多い世代は、男性が10歳以上（83.3%）、女性が50歳代（68.3%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「日常的に意識している」または「ときどき意識している」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区（45.8%）であり、次いで南地区（56.6%）となっています。最も多いのは明戸地区（100.0%）であり、次に花園地区（70.5%）となっています。

市内で、外国人とのトラブルなどを聞いたことはありますか。



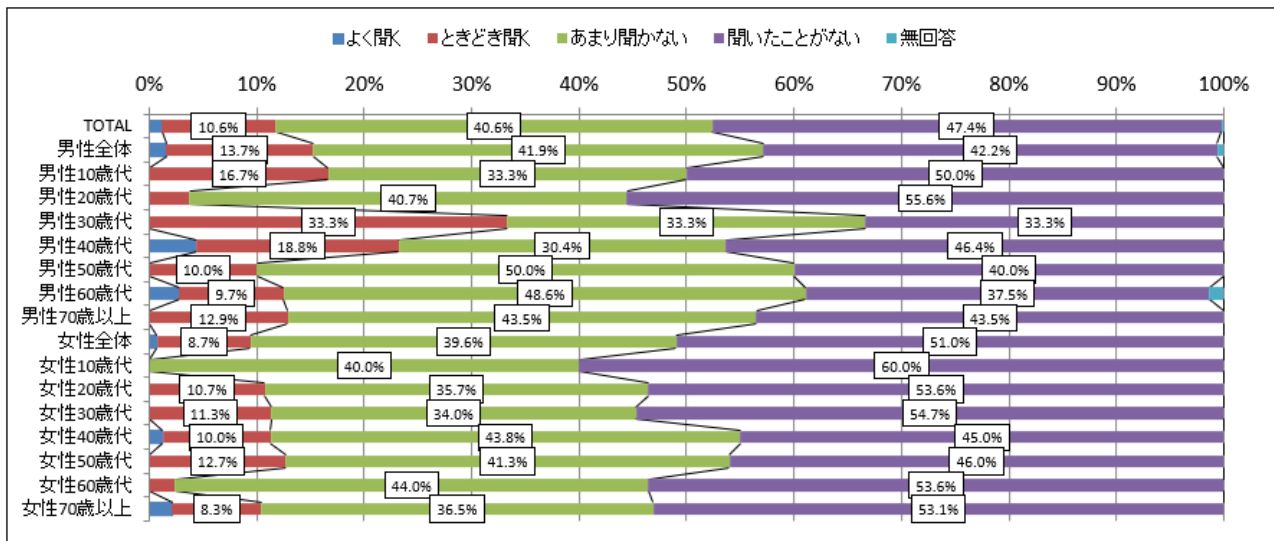
「聞いたことがない」と回答した人の割合が 47.4%と最も多く、次いで「あまり聞かない」と回答した人の割合が 40.6%、「ときどき聞く」と回答した人の割合が 10.6%、「よく聞く」と回答した人の割合が最も少なく 1.1%となっています。

「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合は 11.7%であり、深谷市内における外国人とのトラブルはごくわずかであることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合は 9.1%であり、前年度アンケートと比較して、増加していることがうかがえます。

母集団		よく聞く	ときどき聞く	あまり聞かない	聞いたことがない	無回答	合計
TOTAL	785	1.1%	10.6%	40.6%	47.4%	0.3%	100.0%
男性全体	315	1.6%	13.7%	41.9%	42.2%	0.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	0.0%	3.7%	40.7%	55.6%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	4.3%	18.8%	30.4%	46.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	0.0%	10.0%	50.0%	40.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	2.8%	9.7%	48.6%	37.5%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	0.0%	12.9%	43.5%	43.5%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	0.7%	8.7%	39.6%	51.0%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	10.7%	35.7%	53.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	0.0%	11.3%	34.0%	54.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	1.3%	10.0%	43.8%	45.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	0.0%	12.7%	41.3%	46.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	0.0%	2.4%	44.0%	53.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	2.1%	8.3%	36.5%	53.1%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	0.6%	10.7%	34.5%	54.2%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	0.0%	3.9%	39.2%	56.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	1.0%	13.9%	35.6%	49.5%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	25.0%	50.0%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	0.0%	58.3%	37.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	0.0%	5.6%	44.4%	50.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	14.8%	55.6%	29.6%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	2.4%	9.4%	41.2%	47.1%	0.0%	100.0%
南地区	53	0.0%	13.2%	45.3%	41.5%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	1.1%	13.0%	51.1%	34.8%	0.0%	100.0%
川本地区	62	0.0%	6.5%	37.1%	54.8%	1.6%	100.0%
花園地区	61	3.3%	11.5%	36.1%	49.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	5.6%	33.3%	55.6%	5.6%	100.0%

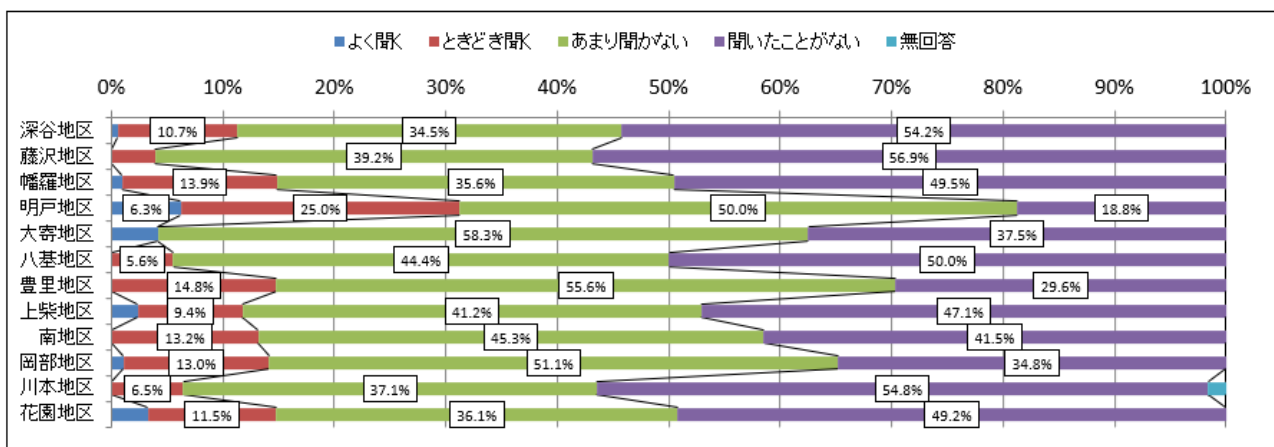
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合は男性が15.2%であるのに対して、女性は9.4%となっています。

また、「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性は20歳代(3.7%)であり、女性は10歳代(0.0%)であり、一方で、最も多い世代は、男性は30歳代(33.3%)であり、女性は50歳代(12.7%)となっています。

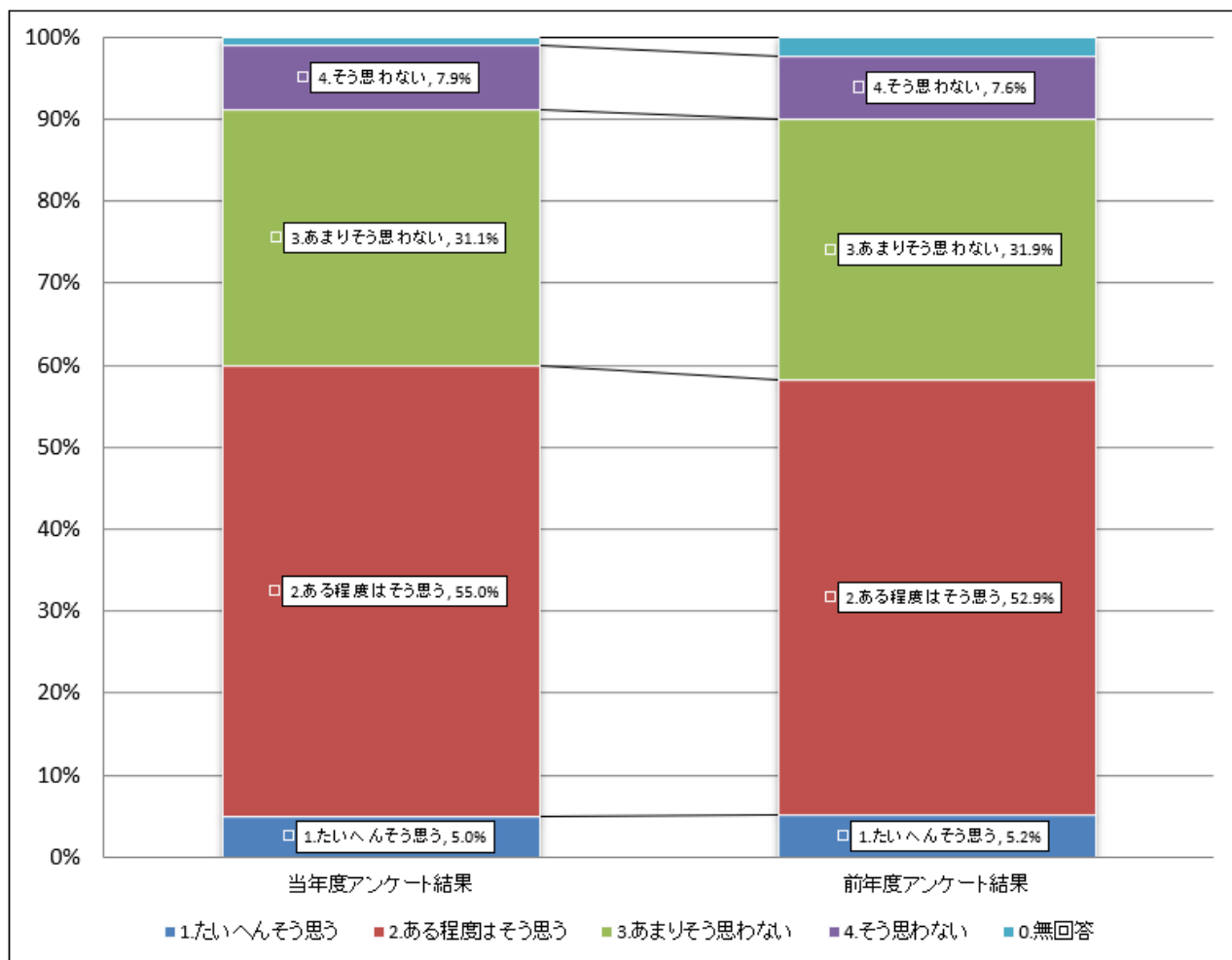
## ➤ 地区別



地区別にみると、「よく聞く」または「ときどき聞く」と回答した人の割合が最も少ないのは、藤沢地区(3.9%)であり、次いで大寄地区(4.2%)となっています。最も多いのは明戸地区(31.3%)であり、次いで幡羅地区(14.9%)となっています。

## ②男女がともに輝く社会づくり（7. 問5～7）

性別に関係なく、家庭、地域、職場で対等な役割分担がされていると思いますか。

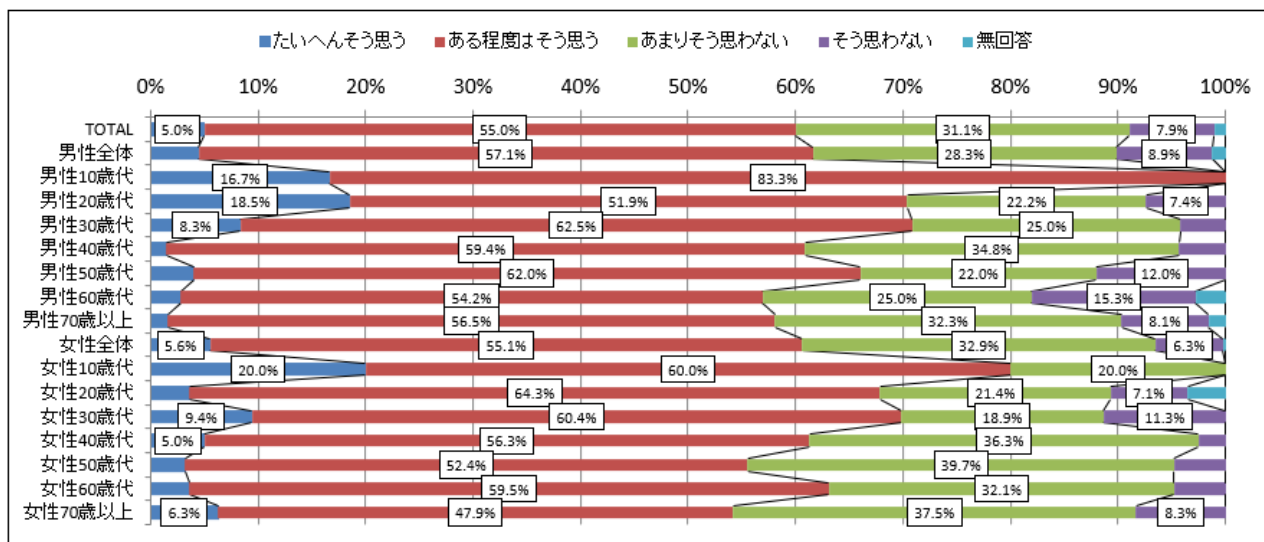


「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が 55.0%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」と回答した人の割合が 31.1%、「そう思わない」と回答した人の割合が 7.9%、「たいへんそう思う」と回答した人の割合が最も少なく 5.0%となっています。

「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 60.0%であり、性別に関係なく、家庭、地域、職場で対等な役割分担がされていると感じている市民が 6 割を占めることがうかがえます。「前年度アンケート」の結果は、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 58.1%であり、前年度アンケートと比較して、性別に関係なく、家庭、地域、職場で対等な役割分担がされていないと感じているとの回答増加がうかがえます。

母集団		たいへんそう思う	ある程度はそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
TOTAL	785	5.0%	55.0%	31.1%	7.9%	1.0%	100.0%
男性全体	315	4.4%	57.1%	28.3%	8.9%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	18.5%	51.9%	22.2%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	62.5%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	1.4%	59.4%	34.8%	4.3%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	4.0%	62.0%	22.0%	12.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	2.8%	54.2%	25.0%	15.3%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	1.6%	56.5%	32.3%	8.1%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	5.6%	55.1%	32.9%	6.3%	0.2%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	3.6%	64.3%	21.4%	7.1%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	9.4%	60.4%	18.9%	11.3%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	5.0%	56.3%	36.3%	2.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	3.2%	52.4%	39.7%	4.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	3.6%	59.5%	32.1%	4.8%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	6.3%	47.9%	37.5%	8.3%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	5.1%	55.9%	28.2%	10.2%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	2.0%	68.6%	25.5%	3.9%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	3.0%	52.5%	37.6%	6.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	56.3%	25.0%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	37.5%	45.8%	12.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	5.6%	50.0%	16.7%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	44.4%	44.4%	7.4%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	5.9%	58.8%	34.1%	0.0%	1.2%	100.0%
南地区	53	5.7%	54.7%	34.0%	5.7%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	4.3%	58.7%	28.3%	7.6%	1.1%	100.0%
川本地区	62	6.5%	62.9%	24.2%	4.8%	1.6%	100.0%
花園地区	61	11.5%	47.5%	36.1%	4.9%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	27.8%	16.7%	33.3%	16.7%	100.0%

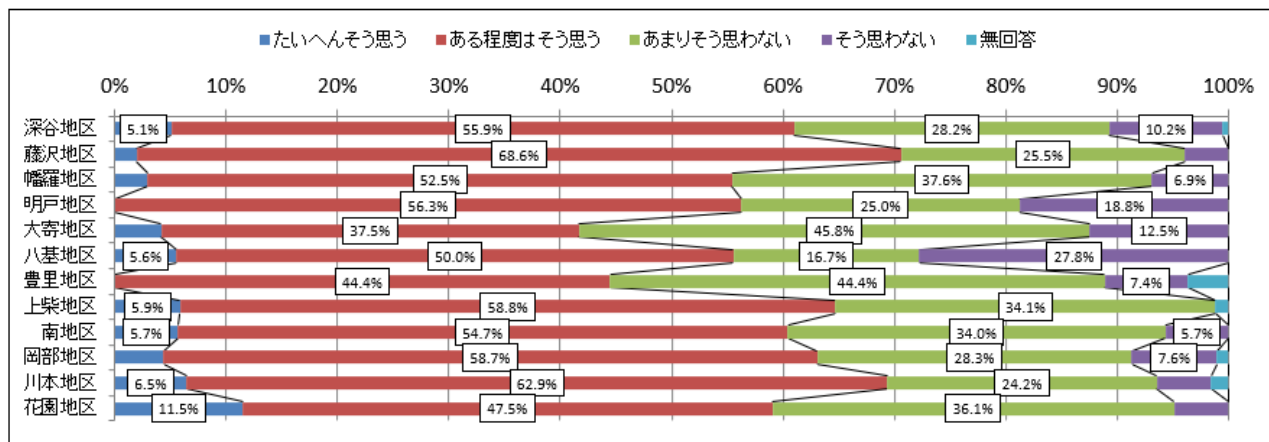
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性が61.5%であるのに対して、女性は60.7%となっています。

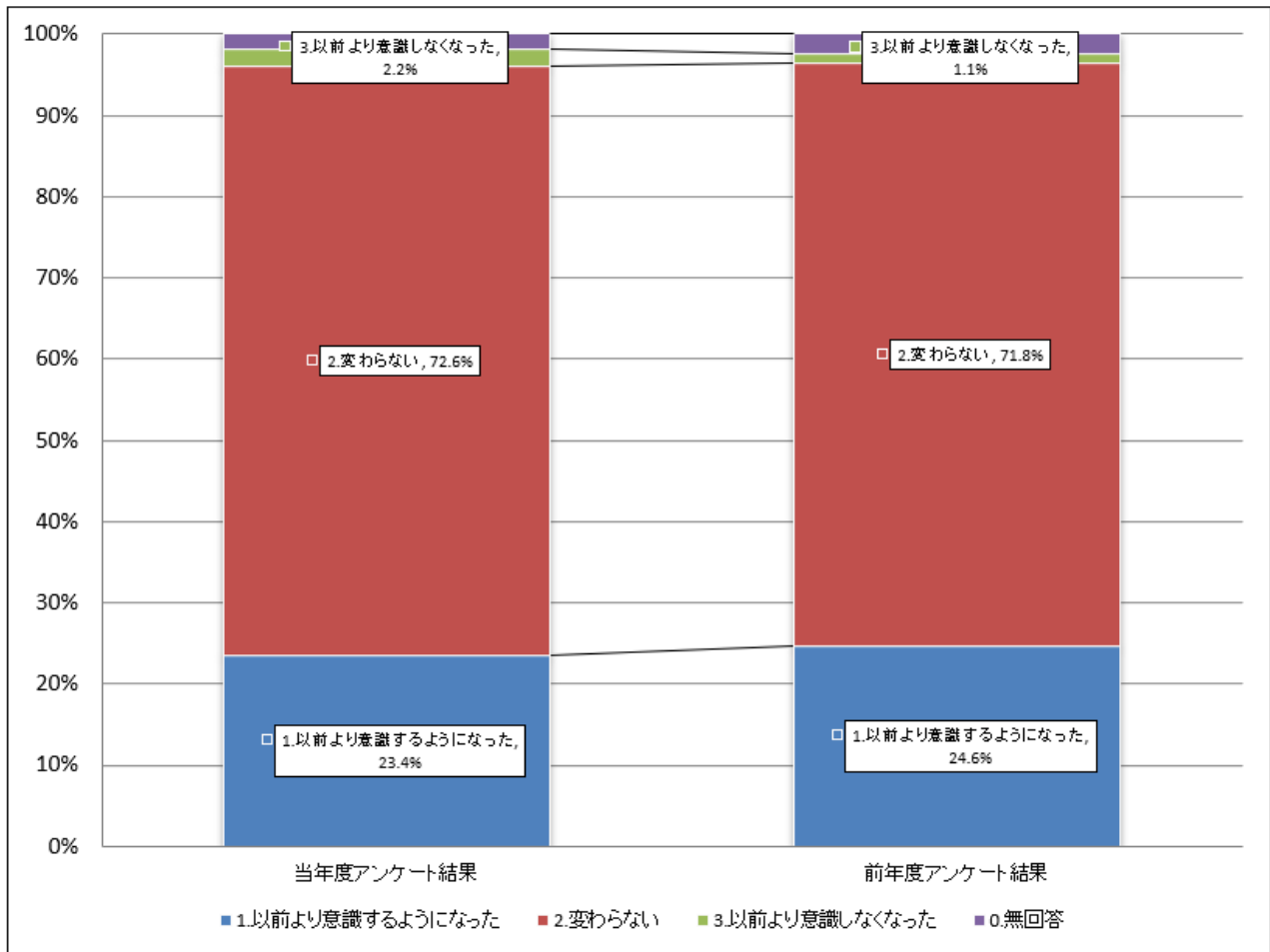
また、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が60歳代（56.9%）、女性が70歳以上（54.2%）であり、一方で、最も多い世代は、男女ともに10歳代（男性100.0%、女性80.0%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区（41.7%）であり、次いで豊里地区（44.4%）となっています。最も多いのは藤沢地区（70.6%）であり、次いで川本地区（69.4%）となっています。

## 男女共同参画の意識は以前と比べて変化していますか。



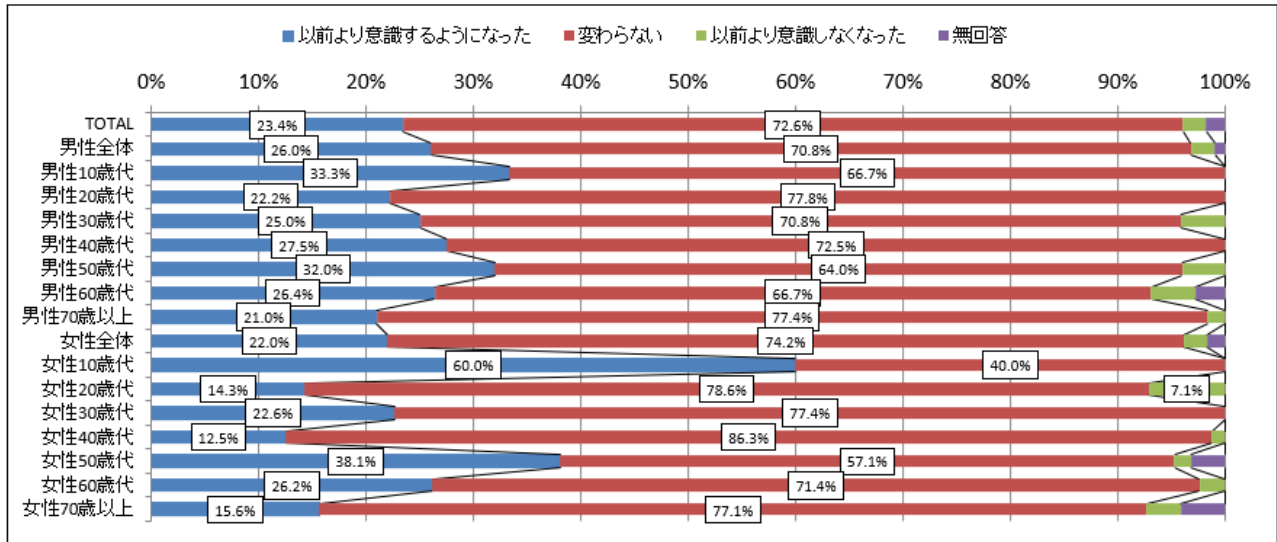
「変わらない」と回答した人の割合が 72.6%と最も多く、次いで「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が 23.4%、「以前より意識しなくなった」と回答した人の割合が 2.2%となっており、男女共同参画に対する意識は、以前から変わっていないと感じる市民が大多数を占めていることがうかがえます

また、「前年度アンケート」の結果は、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合は 24.6%であり、前年度アンケートと比較して、微減していることがうかがえます。



母集団		以前より意識するようになった	変わらない	以前より意識しなくなった	無回答	合計
TOTAL	785	23.4%	72.6%	2.2%	1.8%	100.0%
男性全体	315	26.0%	70.8%	2.2%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	25.0%	70.8%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	27.5%	72.5%	0.0%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	32.0%	64.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	26.4%	66.7%	4.2%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	21.0%	77.4%	1.6%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	22.0%	74.2%	2.2%	1.7%	100.0%
女性10歳代	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	22.6%	77.4%	0.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	12.5%	86.3%	1.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	38.1%	57.1%	1.6%	3.2%	100.0%
女性60歳代	84	26.2%	71.4%	2.4%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	15.6%	77.1%	3.1%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	22.6%	72.3%	2.8%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	31.4%	62.7%	3.9%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	26.7%	71.3%	0.0%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	20.8%	70.8%	4.2%	4.2%	100.0%
八基地区	18	16.7%	77.8%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	22.2%	74.1%	3.7%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	24.7%	70.6%	3.5%	1.2%	100.0%
南地区	53	20.8%	77.4%	0.0%	1.9%	100.0%
岡部地区	92	17.4%	81.5%	1.1%	0.0%	100.0%
川本地区	62	14.5%	80.6%	1.6%	3.2%	100.0%
花園地区	61	36.1%	63.9%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	72.2%	5.6%	11.1%	100.0%

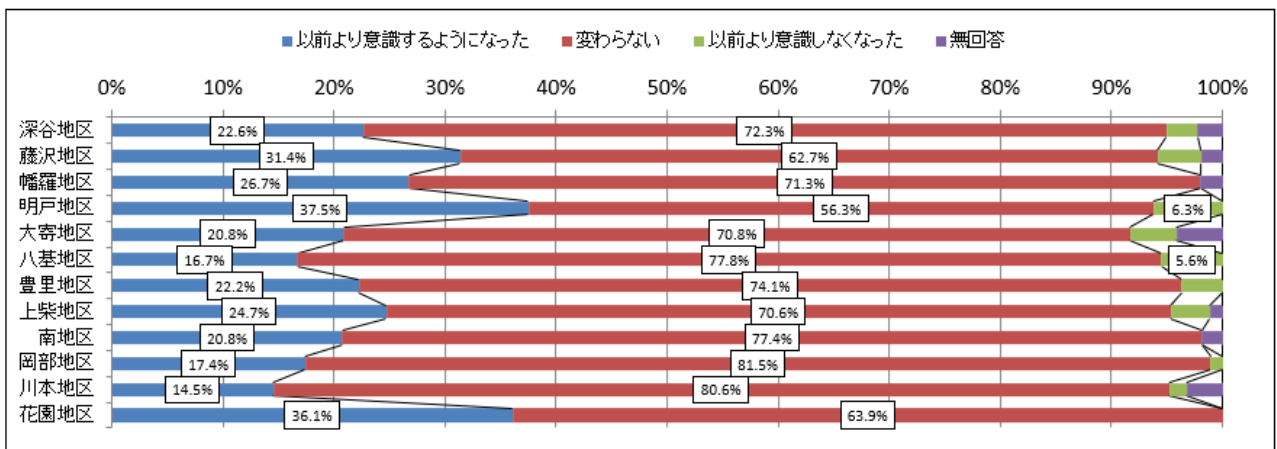
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合は男性が 26.0%であるのに対して、女性は 22.0%となっています。このことから、男女によって差があることがうかがえます。

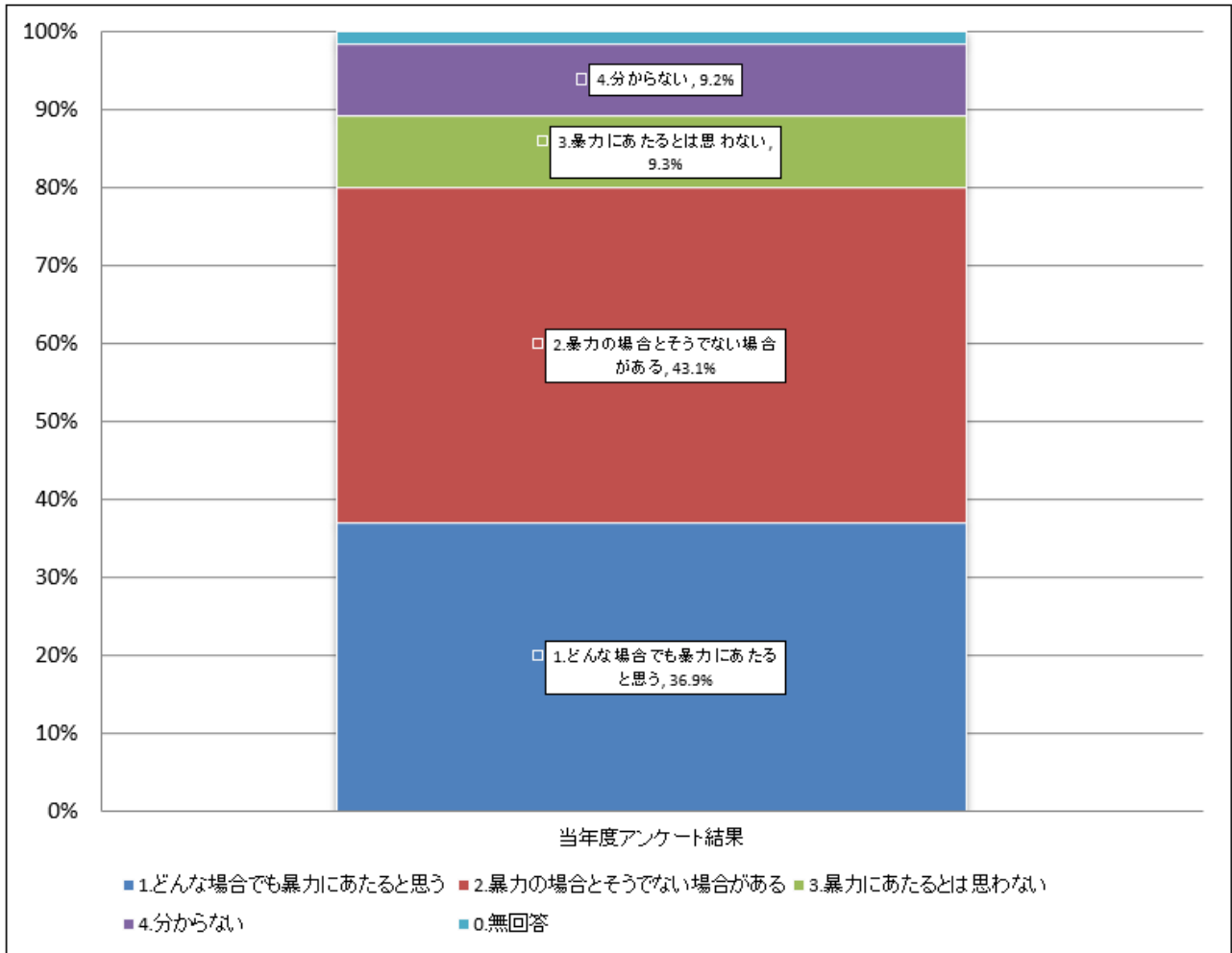
また、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 70 歳以上 (21.0%)、女性が 40 歳代 (12.5%) となっています。一方で、最も多い世代は、男女ともに 10 歳代 (男性 33.3%、女性が 60.0%) となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「以前より意識するようになった」と回答した人の割合が最も少ないのは、川本地区 (14.5%) であり、次いで八基地区 (16.7%) となっています。最も多いのは明戸地区 (37.5%) であり、次いで花園地区 (36.1%) となっています。

配偶者などによる「電話、メール等の細かい監視」「生活費を渡さない」などの行為が暴力であると思いますか。

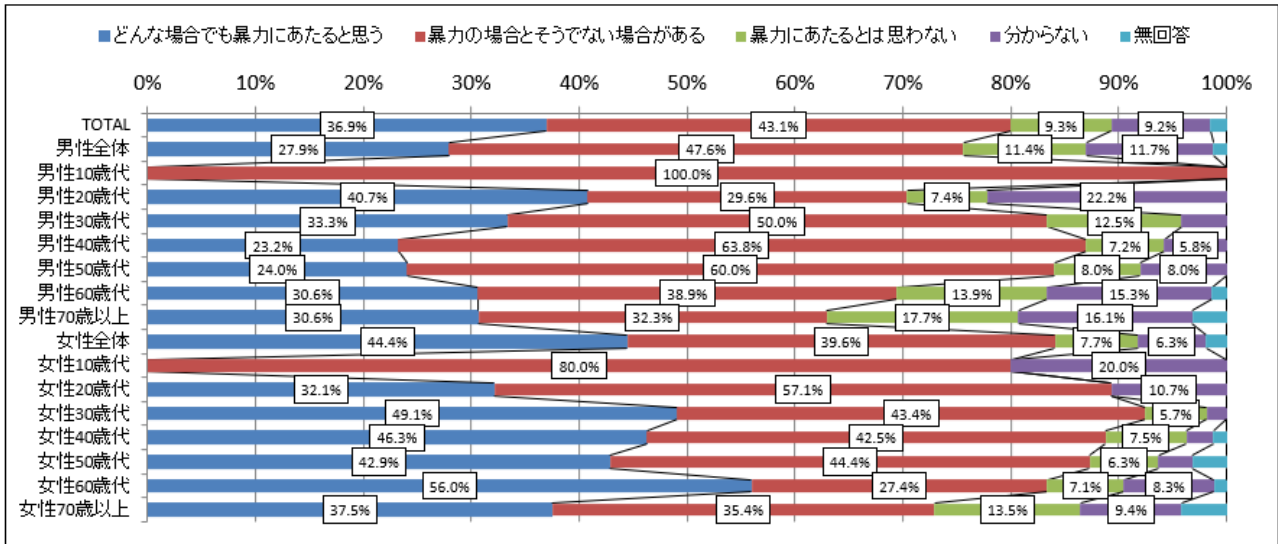


「暴力の場合とそうでない場合がある」と回答した人の割合が 43.1%と最も多く、次いで「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 36.9%、「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合が 9.3%、「分からない」が 9.2%となっています。

「どんな場合でも暴力にあたると思う」または「暴力の場合とそうでない場合がある」と回答した人の割合は 80.0%であり、約 8 割の市民がハラスメントの意識が高いことがうかがえます。

母集団		暴力にあたると思う どんな場合でも	そうでない場合がある 暴力の場合と	暴力にあたるとは思わない	分からない	無回答	合計
TOTAL	785	36.9%	43.1%	9.3%	9.2%	1.5%	100.0%
男性全体	315	27.9%	47.6%	11.4%	11.7%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	40.7%	29.6%	7.4%	22.2%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	33.3%	50.0%	12.5%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	23.2%	63.8%	7.2%	5.8%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	24.0%	60.0%	8.0%	8.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	30.6%	38.9%	13.9%	15.3%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	30.6%	32.3%	17.7%	16.1%	3.2%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	44.4%	39.6%	7.7%	6.3%	1.9%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	32.1%	57.1%	0.0%	10.7%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	49.1%	43.4%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	46.3%	42.5%	7.5%	2.5%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	42.9%	44.4%	6.3%	3.2%	3.2%	100.0%
女性60歳代	84	56.0%	27.4%	7.1%	8.3%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	37.5%	35.4%	13.5%	9.4%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	31.6%	49.2%	6.8%	11.3%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	37.3%	45.1%	7.8%	5.9%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	47.5%	36.6%	8.9%	5.9%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	45.8%	25.0%	12.5%	12.5%	4.2%	100.0%
八基地区	18	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	44.4%	33.3%	3.7%	14.8%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	38.8%	43.5%	9.4%	8.2%	0.0%	100.0%
南地区	53	41.5%	43.4%	3.8%	9.4%	1.9%	100.0%
岡部地区	92	31.5%	51.1%	10.9%	6.5%	0.0%	100.0%
川本地区	62	33.9%	35.5%	14.5%	14.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	32.8%	45.9%	14.8%	4.9%	1.6%	100.0%
無回答	18	38.9%	22.2%	11.1%	16.7%	11.1%	100.0%

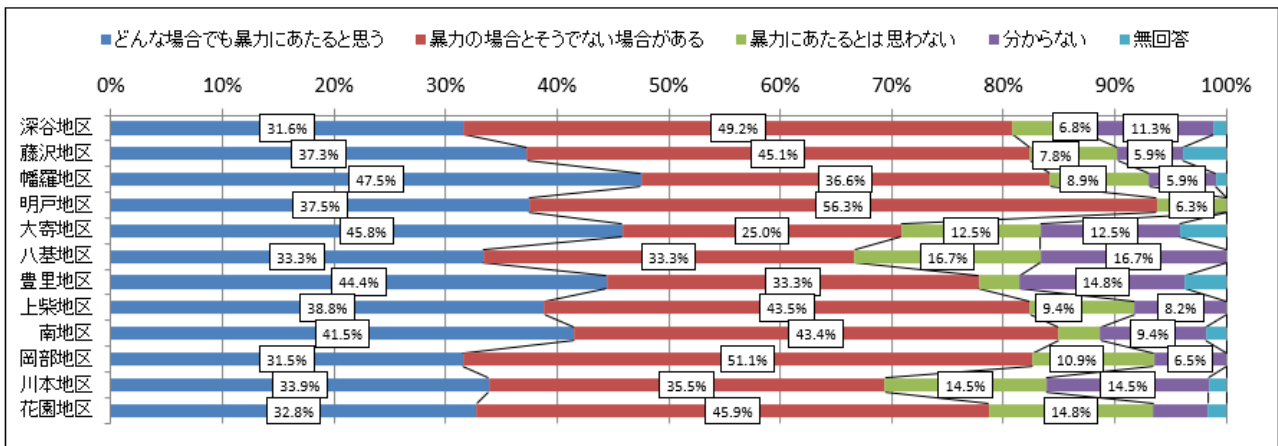
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」または「暴力の場合とそうでない場合がある」と回答した人の割合は男性が 75.6%であるのに対して、女性は 84.1%となっています。

また、「どんな場合でも暴力にあたると思う」または「暴力の場合とそうでない場合がある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに 70 歳以上（男性 62.9%、女性 72.9%）であり、一方で、最も多い世代は、男性が 10 歳代（100.0%）女性 30 歳代（92.5%）となっています。

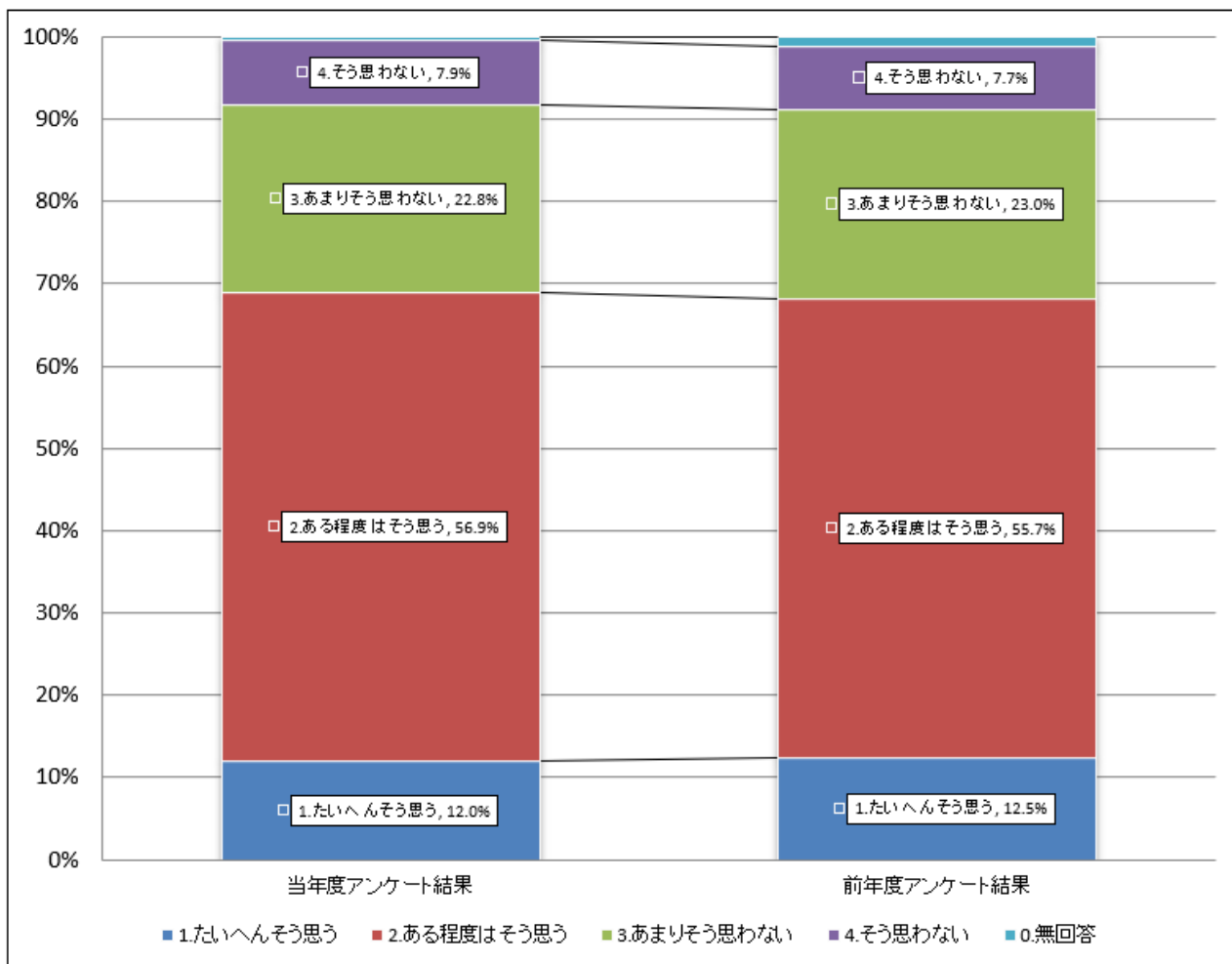
## ➤ 地区別



地区別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」または「暴力の場合とそうでない場合がある」と回答した人の割合が最も少ないのは、八基地区（66.6%）であり、次いで川本地区（69.4%）となっています。最も多いのは明戸地区（93.8%）であり、次いで南地区（84.9%）となっています。

④ 市民と行政との協働のまちづくり（7. 問8～11）

市や財政状況や行政サービス、まちづくりのほか、行事・イベント等に興味や関心をお持ちですか。



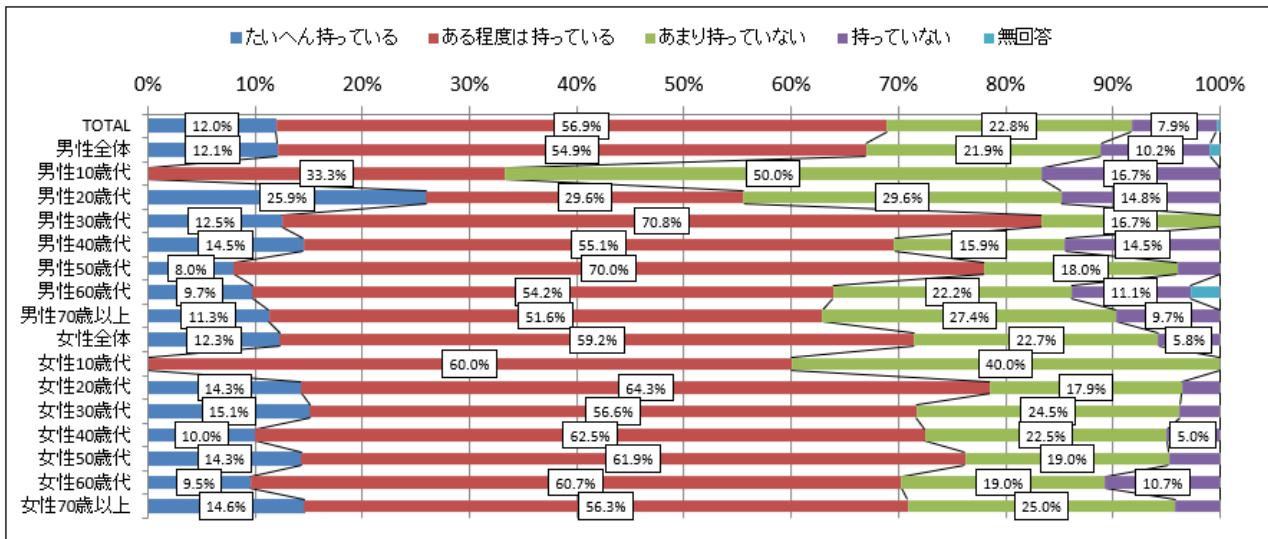
「ある程度は持っている」と回答した人の割合が 56.9%と最も多く、次いで「あまり持っていない」と回答した人の割合が 22.8%、「たいへん持っている」と回答した人の割合が 12.0%、「持っていない」と回答した人の割合が最も少なく 7.9%となっています。

「たいへん持っている」または「ある程度は持っている」と回答した人の割合は 68.9%であり、7 割近くの市民は、市や財政状況や行政サービス、まちづくりのほか、行事・イベント等に興味や関心を持っていることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへん持っている」または「ある程度は持っている」と回答した人の割合は 68.2%であり、前年度アンケートと比較して、微増していることがうかがえます。

母集団		たいへん持っている	ある程度は持っている	あまり持っていない	持っていない	無回答	合計
TOTAL	785	12.0%	56.9%	22.8%	7.9%	0.0%	100.0%
男性全体	315	12.1%	54.9%	21.9%	10.2%	0.0%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	25.9%	29.6%	29.6%	14.8%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	12.5%	70.8%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	14.5%	55.1%	15.9%	14.5%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	8.0%	70.0%	18.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	9.7%	54.2%	22.2%	11.1%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	11.3%	51.6%	27.4%	9.7%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	12.3%	59.2%	22.7%	5.8%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	14.3%	64.3%	17.9%	3.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	15.1%	56.6%	24.5%	3.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	10.0%	62.5%	22.5%	5.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	14.3%	61.9%	19.0%	4.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	9.5%	60.7%	19.0%	10.7%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	14.6%	56.3%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	15.8%	54.2%	20.3%	9.6%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	7.8%	58.8%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	12.9%	60.4%	20.8%	5.9%	0.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	68.8%	18.8%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	12.5%	41.7%	29.2%	16.7%	0.0%	100.0%
八基地区	18	16.7%	61.1%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	44.4%	25.9%	22.2%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	10.6%	63.5%	20.0%	5.9%	0.0%	100.0%
南地区	53	15.1%	67.9%	13.2%	3.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	9.8%	56.5%	29.3%	4.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	12.9%	50.0%	24.2%	11.3%	1.6%	100.0%
花園地区	61	9.8%	55.7%	24.6%	9.8%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	50.0%	16.7%	22.2%	5.6%	100.0%

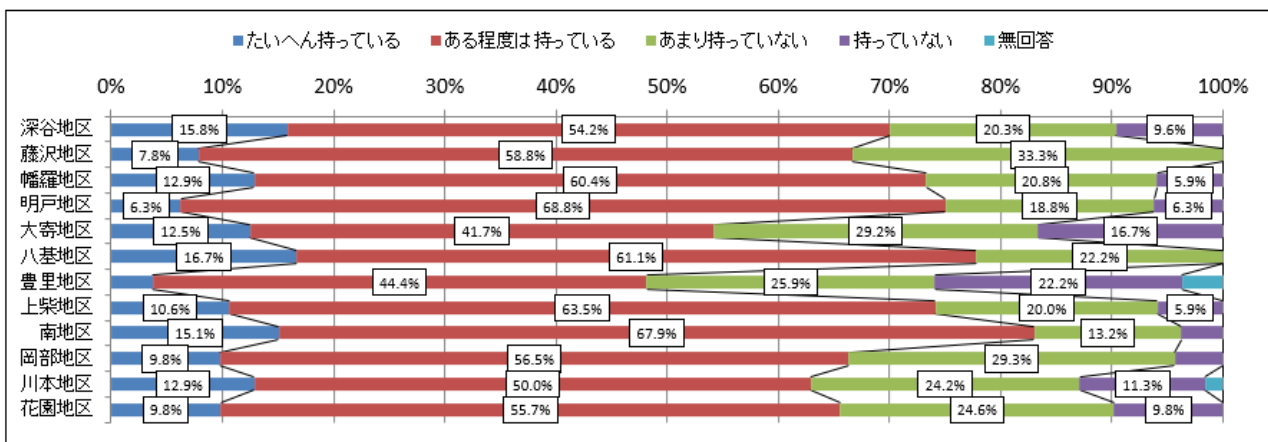
## 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへん持っている」または「ある程度は持っている」と回答した人の割合は男性が67.0%であるのに対して、女性は71.5%となっています。

また、「たいへん持っている」または「ある程度は持っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに10歳代（男性33.3%、女性60.0%）であり、一方で、最も多い世代は、男性が30歳以上（83.3%）であり、女性は20歳代（78.6%）となっています。

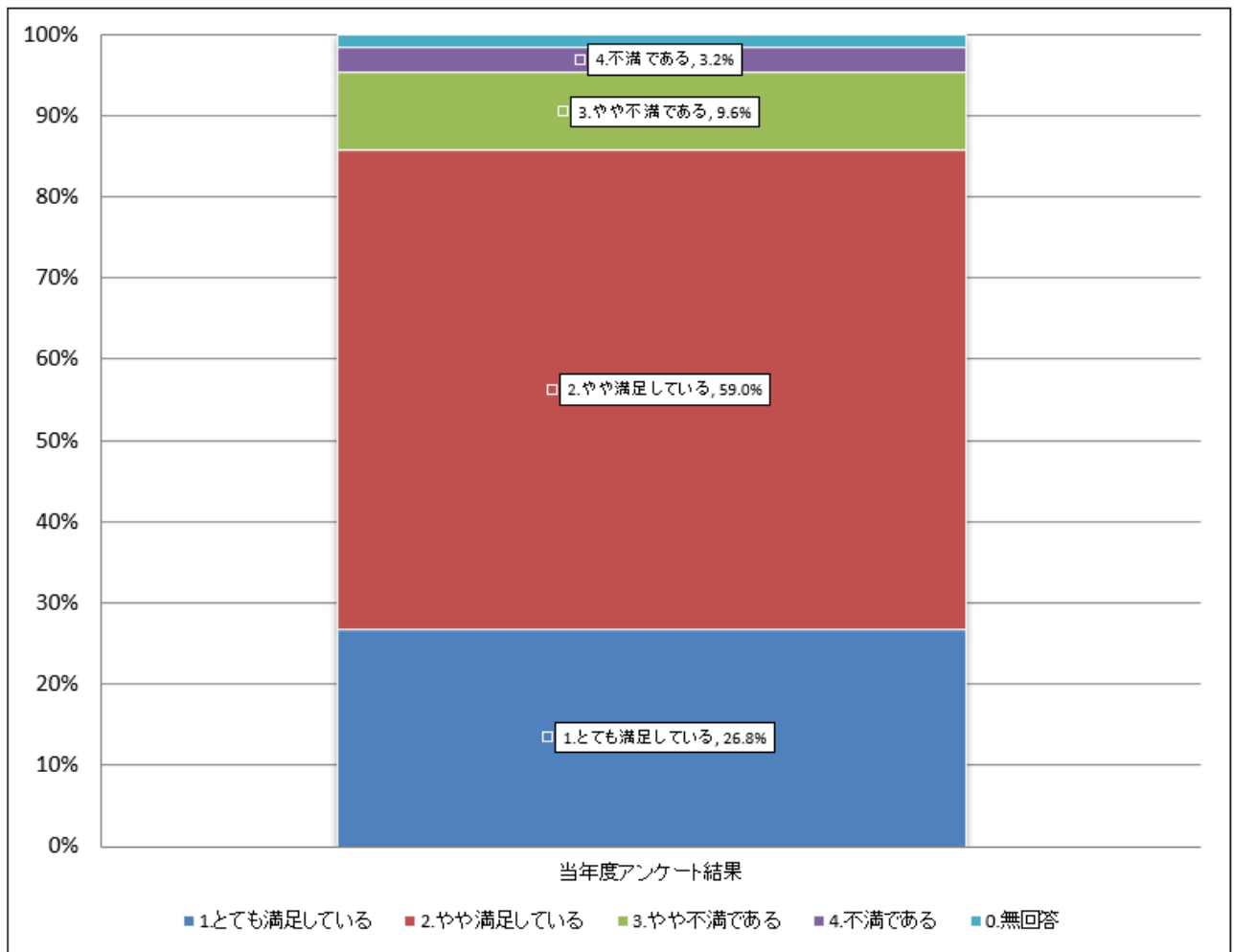
## 地区別



地区別にみると、「たいへん持っている」または「ある程度は持っている」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（48.1%）であり、次いで大寄地区（54.2%）となっています。最も多いのは南地区（83.0%）であり、次いで八基地区（77.8%）となっています。



市役所における窓口対応についての満足度をお聞かせください。

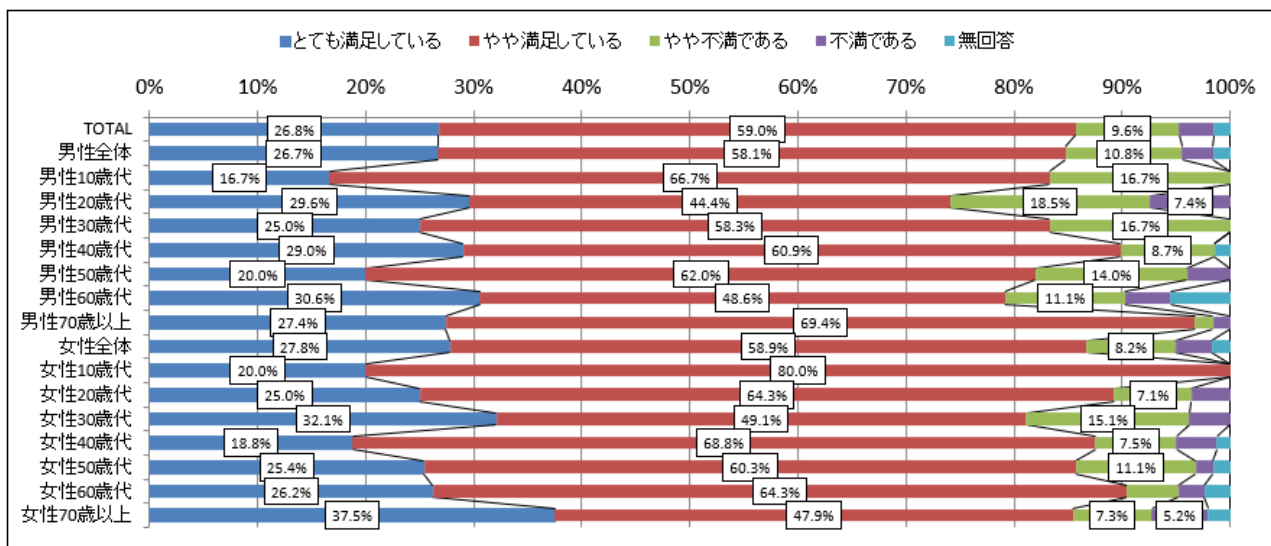


「やや満足している」と回答した人の割合が 59.0%と最も多く、次いで「とても満足している」と回答した人の割合が 26.8%、「やや不満である」と回答した人の割合が 9.6%、「不満である」が 3.2%となっています。

「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合は 85.7%であり、約 8 割以上の市民が市役所窓口の対応について満足していることがうかがえます。

母集団		とても満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	無回答	合計
TOTAL	785	26.8%	59.0%	9.6%	3.2%	1.5%	100.0%
男性全体	315	26.7%	58.1%	10.8%	2.9%	1.6%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	29.6%	44.4%	18.5%	7.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	29.0%	60.9%	8.7%	0.0%	1.4%	100.0%
男性50歳代	50	20.0%	62.0%	14.0%	4.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	30.6%	48.6%	11.1%	4.2%	5.6%	100.0%
男性70歳以上	62	27.4%	69.4%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	27.8%	58.9%	8.2%	3.4%	1.7%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	25.0%	64.3%	7.1%	3.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	32.1%	49.1%	15.1%	3.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	18.8%	68.8%	7.5%	3.8%	1.3%	100.0%
女性50歳代	63	25.4%	60.3%	11.1%	1.6%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	26.2%	64.3%	4.8%	2.4%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	37.5%	47.9%	7.3%	5.2%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	27.7%	59.3%	11.3%	1.7%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	31.4%	52.9%	7.8%	2.0%	5.9%	100.0%
幡羅地区	101	18.8%	66.3%	9.9%	1.0%	4.0%	100.0%
明戸地区	16	12.5%	68.8%	12.5%	6.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	20.8%	66.7%	4.2%	8.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	22.2%	61.1%	5.6%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	25.9%	44.4%	14.8%	7.4%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	32.9%	54.1%	9.4%	3.5%	0.0%	100.0%
南地区	53	45.3%	49.1%	1.9%	3.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	19.6%	64.1%	12.0%	4.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	24.2%	54.8%	14.5%	3.2%	3.2%	100.0%
花園地区	61	32.8%	62.3%	1.6%	1.6%	1.6%	100.0%
無回答	18	16.7%	61.1%	16.7%	5.6%	0.0%	100.0%

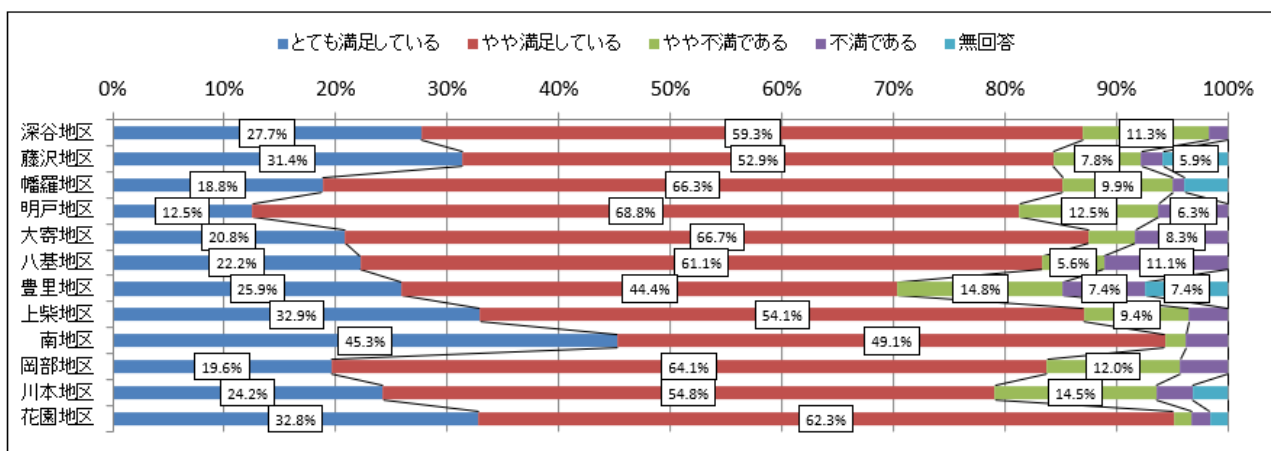
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合は男性が84.8%であるのに対して、女性は86.7%となっています。

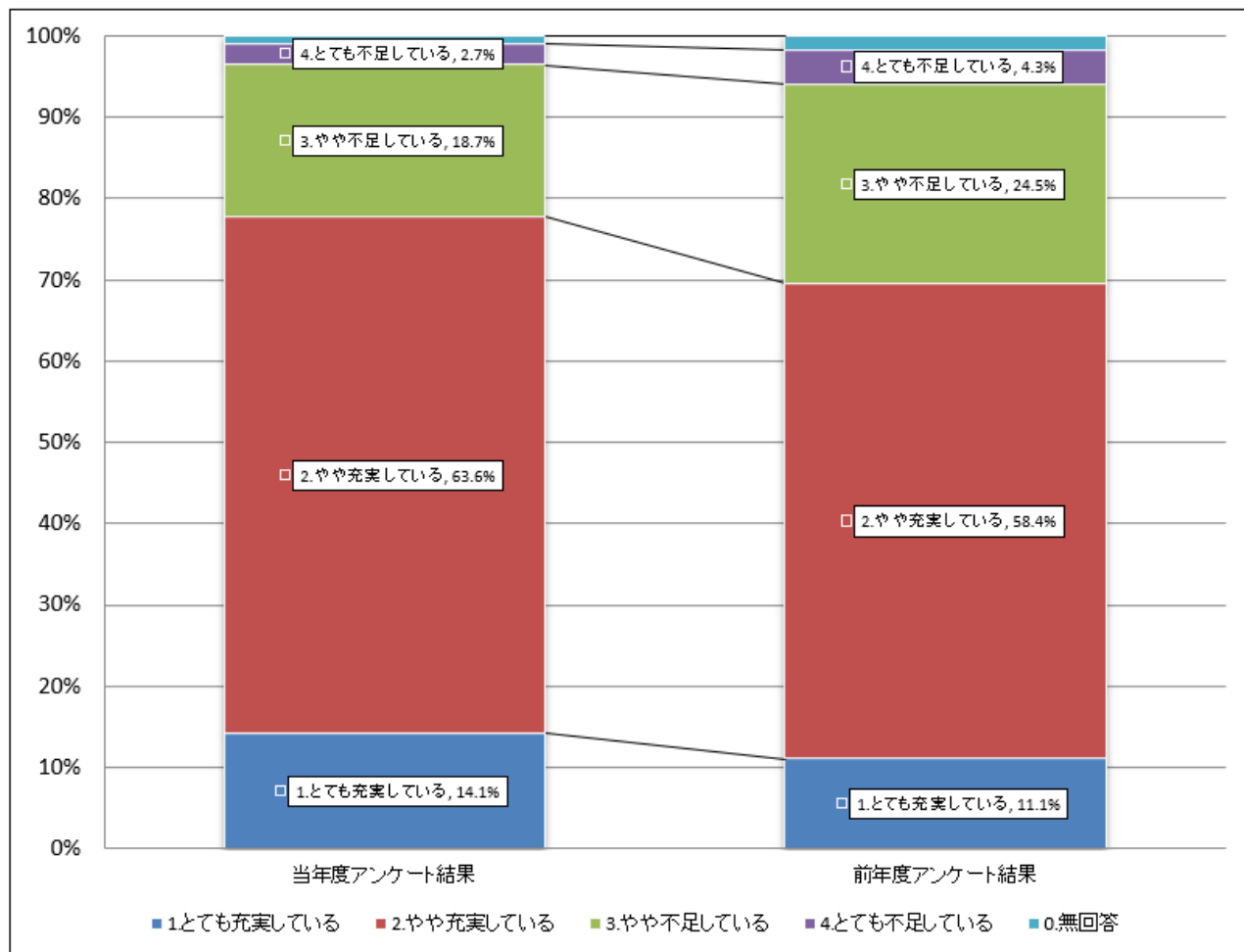
また、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性20歳代(74.1%)女性30歳代(81.1%)であり、一方で、最も多い世代は、男性が70歳以上(96.8%)女性10歳代(100.0%)となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「とても満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区(70.4%)であり、次いで川本地区(79.0%)となっています。最も多いのは花園地区(95.1%)であり、次いで南地区(94.3%)となっています。

市から得られる情報はその公表手段（ホームページや広報など）も含めて充実していますか。



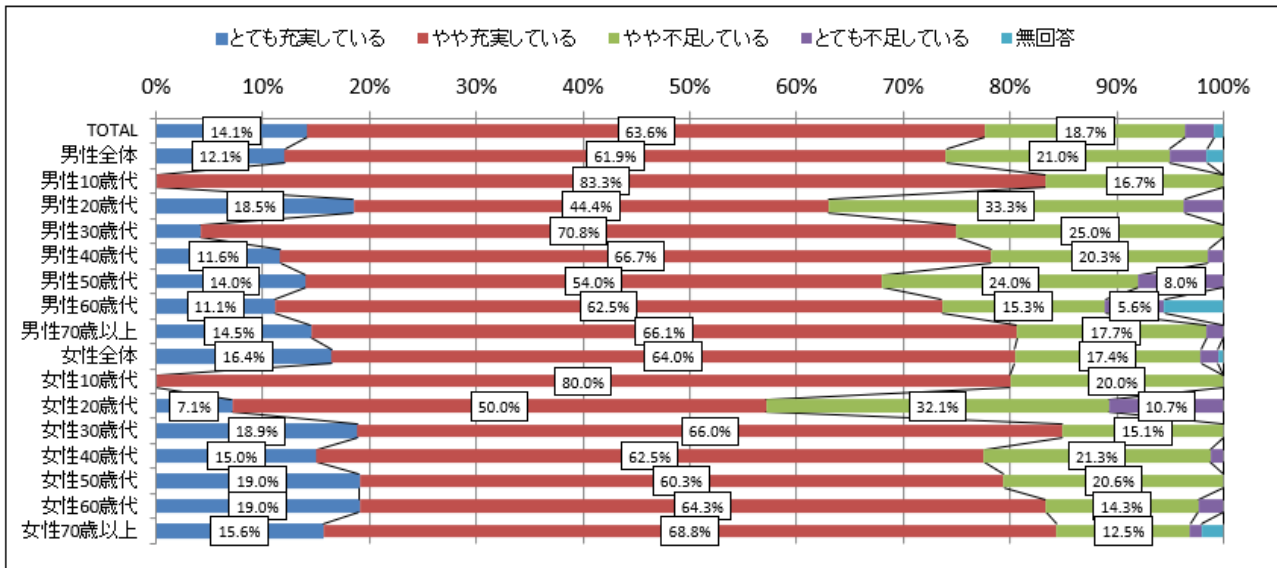
「やや充実している」と回答した人の割合が 63.6%と最も多く、次いで「やや不足している」と回答した人の割合が 18.7%、「とても充実している」と回答した人の割合が 14.1%、「とても不足している」と回答した人の割合が最も少なく 2.7%となっています。

「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合は 77.7%であり、市から得られる情報および公表手段は充実していると感じている市民が約 8 割近くを占めることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合は 69.5%であり、前年度アンケートと比較して、大きく増加したことがうかがえます。

母集団		とても充実している	やや充実している	やや不足している	とても不足している	無回答	合計
TOTAL	785	14.1%	63.6%	18.7%	2.7%	0.9%	100.0%
男性全体	315	12.1%	61.9%	21.0%	3.5%	1.6%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	18.5%	44.4%	33.3%	3.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	4.2%	70.8%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	11.6%	66.7%	20.3%	1.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	14.0%	54.0%	24.0%	8.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	11.1%	62.5%	15.3%	5.6%	5.6%	100.0%
男性70歳以上	62	14.5%	66.1%	17.7%	1.6%	0.0%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	16.4%	64.0%	17.4%	1.7%	0.5%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	50.0%	32.1%	10.7%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	18.9%	66.0%	15.1%	0.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	15.0%	62.5%	21.3%	1.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	19.0%	60.3%	20.6%	0.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	19.0%	64.3%	14.3%	2.4%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	15.6%	68.8%	12.5%	1.0%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	15.8%	60.5%	20.3%	2.8%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	19.6%	62.7%	15.7%	2.0%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	14.9%	63.4%	20.8%	0.0%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	6.3%	62.5%	12.5%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	4.2%	75.0%	12.5%	4.2%	4.2%	100.0%
八基地区	18	27.8%	50.0%	16.7%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	14.8%	48.1%	25.9%	7.4%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	11.8%	68.2%	17.6%	2.4%	0.0%	100.0%
南地区	53	15.1%	66.0%	15.1%	3.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	7.6%	70.7%	18.5%	2.2%	1.1%	100.0%
川本地区	62	9.7%	66.1%	21.0%	1.6%	1.6%	100.0%
花園地区	61	23.0%	55.7%	19.7%	1.6%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	72.2%	11.1%	0.0%	5.6%	100.0%

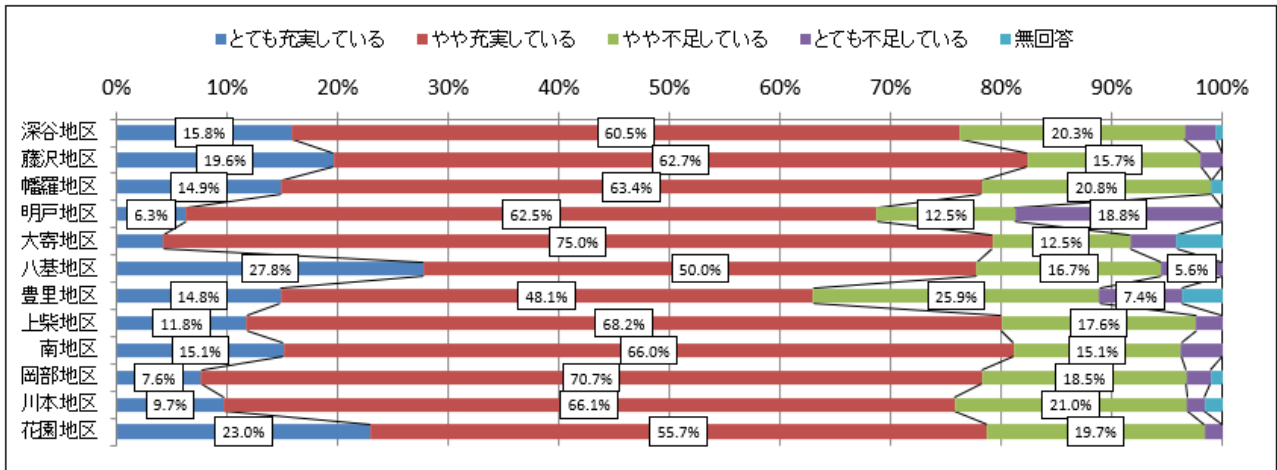
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合は男性が74.0%であるのに対して、女性は80.4%となっています。

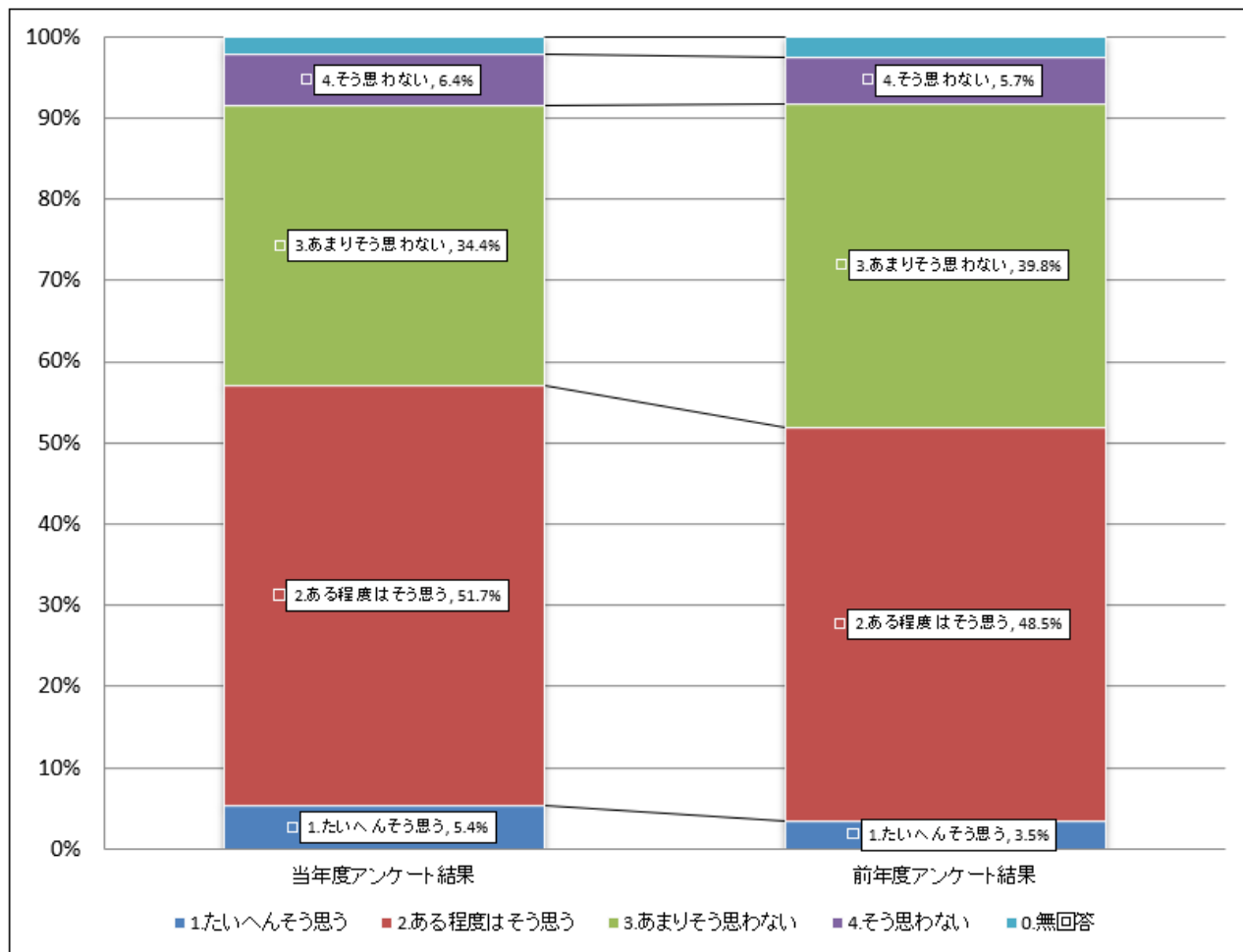
また、「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに20歳代（男性63.0%、女性57.1%）であり、一方で、最も多い世代は、男性が10歳代（83.3%）であり、女性は30歳代（84.9%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「とても充実している」または「やや充実している」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（63.0%）であり、次いで明戸地区（68.8%）となっています。最も多いのは藤沢地区（82.4%）であり、次いで南地区（81.1%）となっています。

市内において、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決すること（協働のまちづくり）ができていると思いますか。



「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が 51.7%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」と回答した人の割合が 34.4%、「そう思わない」と回答した人の割合が 6.4%、「たいへんそう思う」と回答した人の割合が最も少なく 5.4%となっています。

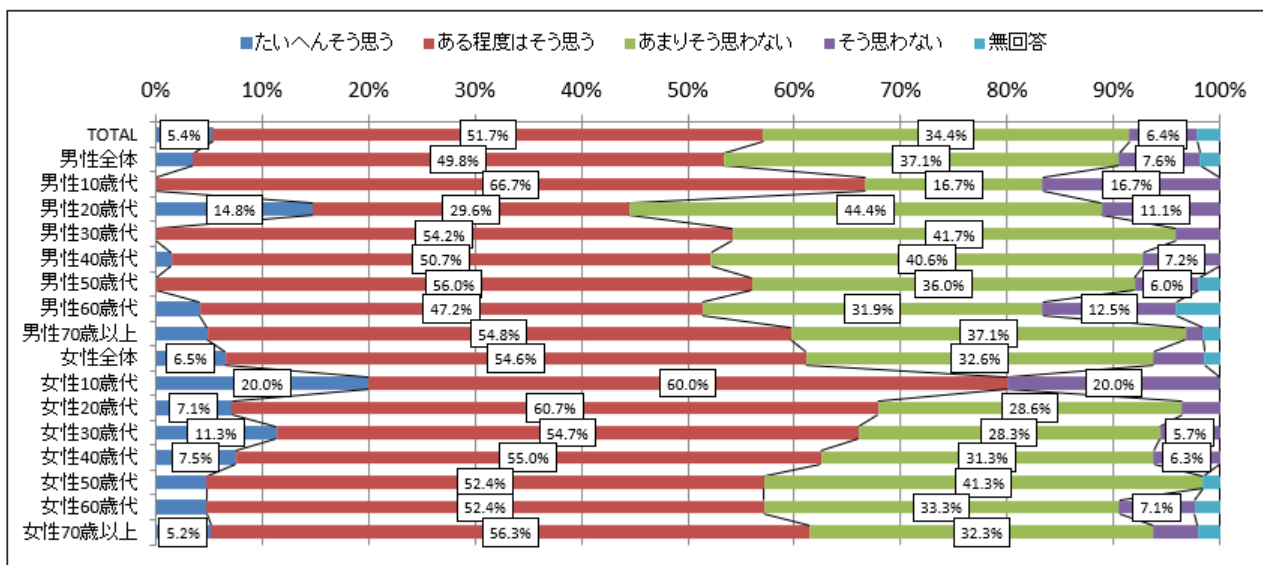
「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 57.1%であり、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決することができていると感じている市民が半数以上を占めることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は 52.0%であり、前年度アンケートと比較して、増加したことがうかがえます。

母集団		たいへんそう思う	ある程度はそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
TOTAL	785	5.4%	51.7%	34.4%	6.4%	2.2%	100.0%
男性全体	315	3.5%	49.8%	37.1%	7.6%	1.9%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	14.8%	29.6%	44.4%	11.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	54.2%	41.7%	4.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	1.4%	50.7%	40.6%	7.2%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	0.0%	56.0%	36.0%	6.0%	2.0%	100.0%
男性60歳代	72	4.2%	47.2%	31.9%	12.5%	4.2%	100.0%
男性70歳以上	62	4.8%	54.8%	37.1%	1.6%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	6.5%	54.6%	32.6%	4.8%	1.4%	100.0%
女性10歳代	5	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	7.1%	60.7%	28.6%	3.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	11.3%	54.7%	28.3%	5.7%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	7.5%	55.0%	31.3%	6.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	4.8%	52.4%	41.3%	0.0%	1.6%	100.0%
女性60歳代	84	4.8%	52.4%	33.3%	7.1%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	5.2%	56.3%	32.3%	4.2%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	4.0%	54.2%	35.0%	6.2%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	5.9%	52.9%	35.3%	3.9%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	4.0%	57.4%	33.7%	4.0%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%
八基地区	18	22.2%	50.0%	22.2%	5.6%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	3.7%	40.7%	37.0%	11.1%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	3.5%	52.9%	35.3%	5.9%	2.4%	100.0%
南地区	53	5.7%	62.3%	20.8%	9.4%	1.9%	100.0%
岡部地区	92	5.4%	47.8%	42.4%	4.3%	0.0%	100.0%
川本地区	62	4.8%	38.7%	40.3%	11.3%	4.8%	100.0%
花園地区	61	13.1%	55.7%	24.6%	3.3%	3.3%	100.0%
無回答	18	5.6%	27.8%	44.4%	0.0%	22.2%	100.0%



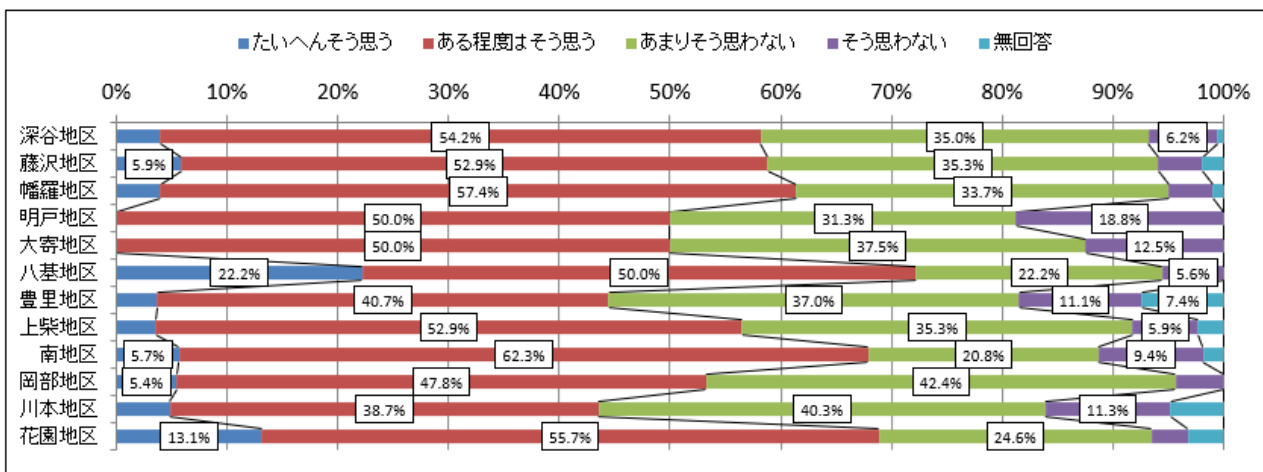
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合は男性が53.3%であるのに対して、女性は61.1%となっています。

また、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が20歳代（44.4%）、女性は50歳代、60歳代ともに（57.1%）であり、一方で、最も多い世代は、男女ともに10歳代（男性66.7%、女性80.0%）となっています。

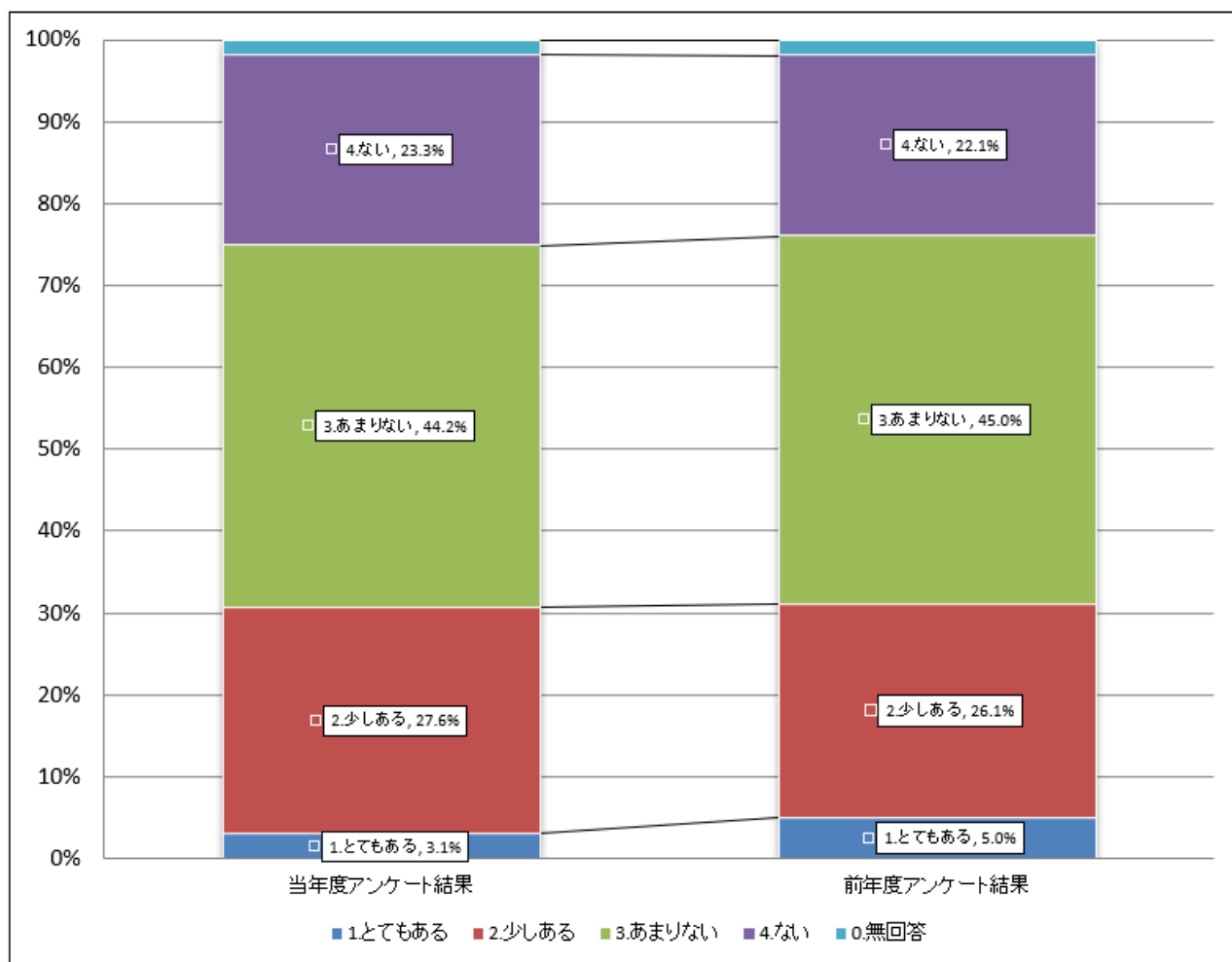
➤ 地区別



地区別にみると、「たいへんそう思う」または「ある程度はそう思う」と回答した人の割合が最も少ないのは、川本地区（43.5%）であり、次いで豊里地区（44.4%）となっています。最も多いのは八基地区（72.2%）であり、次いで花園地区（68.9%）となっています。

⑤ 絆でつながるひとづくり（7. 問12～15）

市民活動（NPO 団体での活動やボランティア活動など）の中で、興味のある活動はありますか。



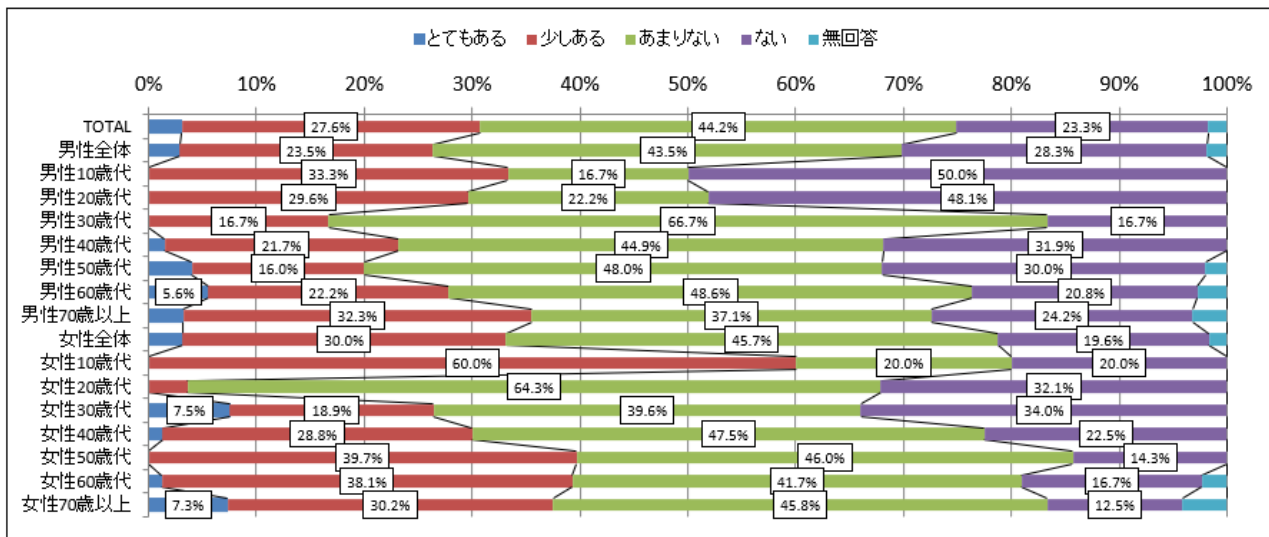
「あまりない」と回答した人の割合が 44.2%と最も多く、次いで「少しある」と回答した人の割合が 27.6%、「ない」と回答した人の割合が 23.3%、「とてもある」と回答した人の割合は最も少なく 3.1%となっています。

「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合は 30.7%であり、市民の多くは NPO 団体での活動やボランティア活動に対して興味をもっていないことがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合は 31.1%であり、前年度アンケートと比較して、微減したことがうかがえます。

母集団		とてもある	少しある	あまりない	ない	無回答	合計
TOTAL	785	3.1%	27.6%	44.2%	23.3%	1.8%	100.0%
男性全体	315	2.9%	23.5%	43.5%	28.3%	1.9%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	0.0%	29.6%	22.2%	48.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	1.4%	21.7%	44.9%	31.9%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	4.0%	16.0%	48.0%	30.0%	2.0%	100.0%
男性60歳代	72	5.6%	22.2%	48.6%	20.8%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	3.2%	32.3%	37.1%	24.2%	3.2%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	3.1%	30.0%	45.7%	19.6%	1.7%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	3.6%	64.3%	32.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	7.5%	18.9%	39.6%	34.0%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	1.3%	28.8%	47.5%	22.5%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	0.0%	39.7%	46.0%	14.3%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	1.2%	38.1%	41.7%	16.7%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	7.3%	30.2%	45.8%	12.5%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	3.4%	27.1%	42.9%	26.0%	0.6%	100.0%
藤沢地区	51	5.9%	25.5%	49.0%	17.6%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	4.0%	27.7%	42.6%	21.8%	4.0%	100.0%
明戸地区	16	0.0%	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	0.0%	29.2%	45.8%	20.8%	4.2%	100.0%
八基地区	18	0.0%	38.9%	50.0%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	0.0%	22.2%	48.1%	22.2%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	1.2%	27.1%	48.2%	21.2%	2.4%	100.0%
南地区	53	1.9%	45.3%	34.0%	18.9%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	5.4%	20.7%	52.2%	21.7%	0.0%	100.0%
川本地区	62	1.6%	22.6%	38.7%	35.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	4.9%	34.4%	36.1%	23.0%	1.6%	100.0%
無回答	18	0.0%	5.6%	55.6%	33.3%	5.6%	100.0%

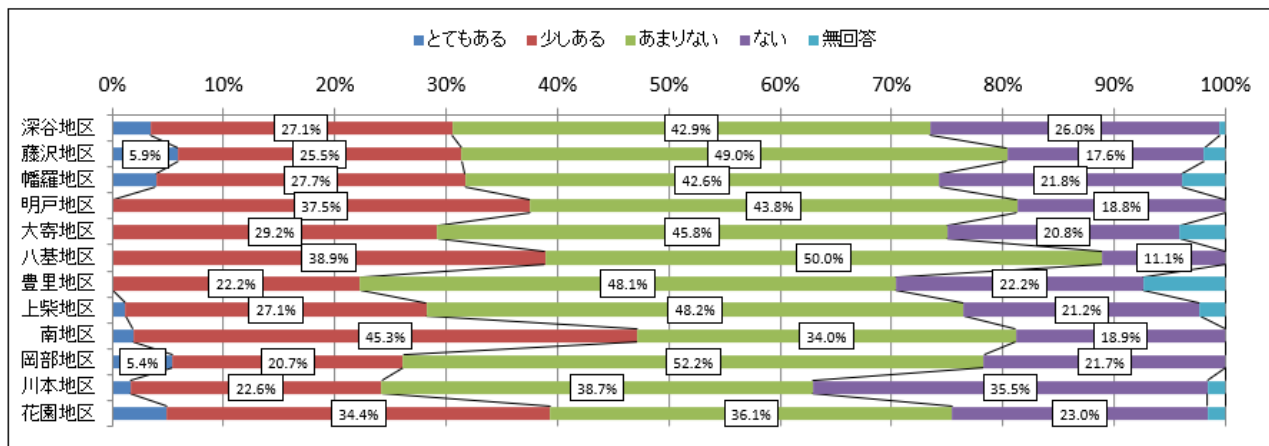
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合は男性が26.4%であるのに対して、女性は33.1%となっています。

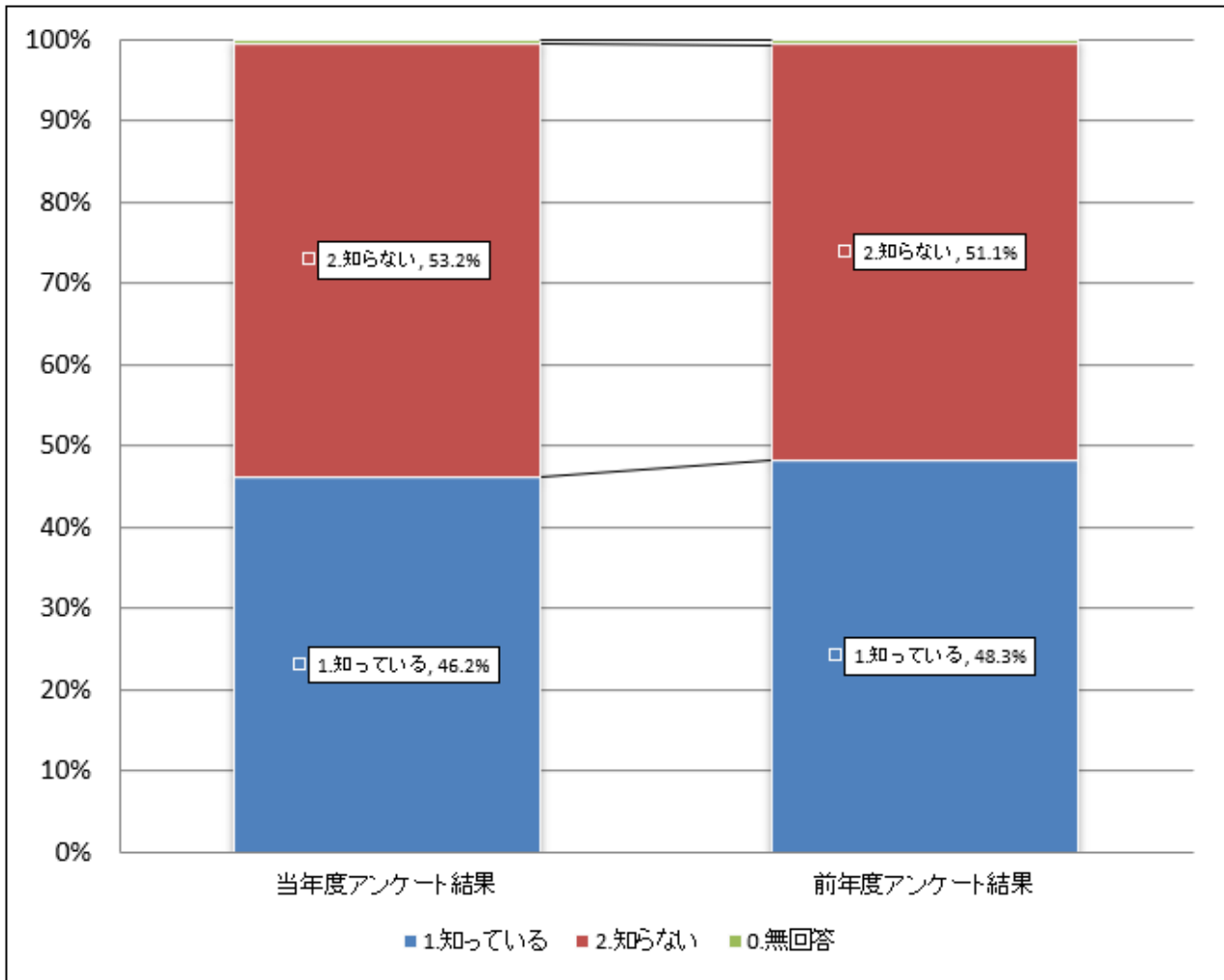
「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が30歳代（16.7%）、女性が20歳代（3.6%）となっています。最も多い世代は、男性が70歳以上（男性35.5%）、女性が10歳代（60.0%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「とてもある」または「少しある」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（22.2%）であり、次いで川本地区（24.2%）となっています。最も多いのは南地区（47.2%）であり、次いで花園地区（39.3%）となっています。

市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを知っていますか。

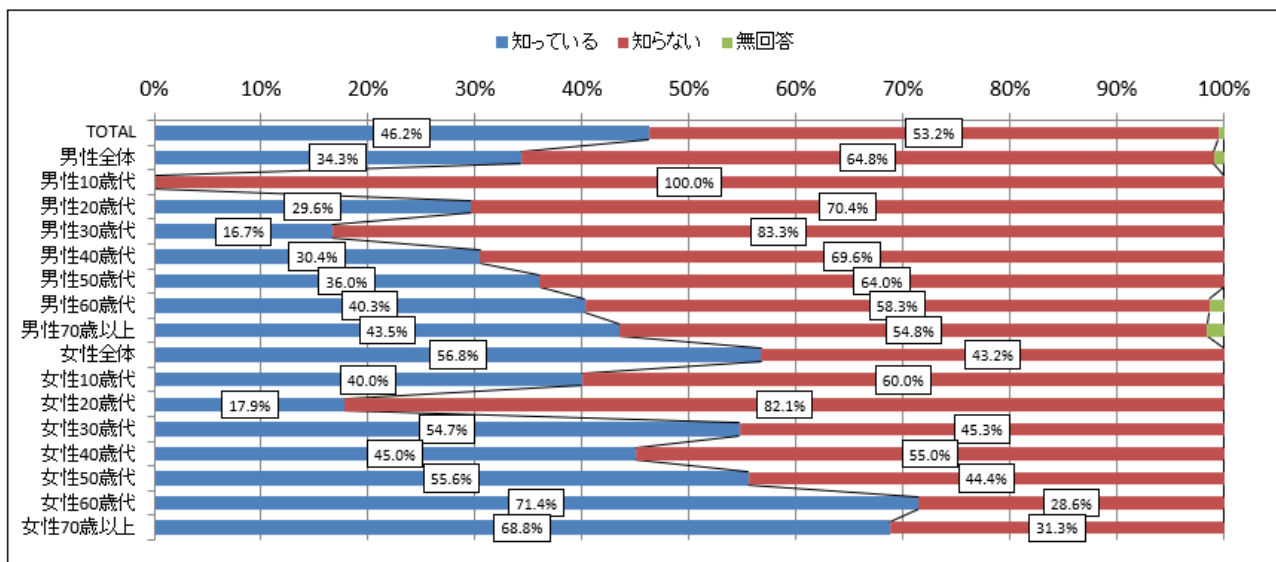


「知らない」と回答した人の割合は 53.2%、「知っている」と回答した人の割合は 46.2% であり、半数以上の人々が市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを知らないことがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「知っている」と回答した人の割合は 48.3% であり、前年度アンケートと比較して、微減していることがうかがえます。

母集団		知っている	知らない	無回答	合計
TOTAL	785	46.2%	53.2%	0.5%	100.0%
男性全体	315	34.3%	64.8%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	29.6%	70.4%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	30.4%	69.6%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	36.0%	64.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	40.3%	58.3%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	43.5%	54.8%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	56.8%	43.2%	0.0%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	17.9%	82.1%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	54.7%	45.3%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	45.0%	55.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	71.4%	28.6%	0.0%	100.0%
女性70歳以上	96	68.8%	31.3%	0.0%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
深谷地区	177	46.3%	53.7%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	58.8%	41.2%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	47.5%	51.5%	1.0%	100.0%
明戸地区	16	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	45.8%	54.2%	0.0%	100.0%
八基地区	18	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	37.0%	63.0%	0.0%	100.0%
上柴地区	85	47.1%	52.9%	0.0%	100.0%
南地区	53	66.0%	34.0%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	38.0%	62.0%	0.0%	100.0%
川本地区	62	32.3%	64.5%	3.2%	100.0%
花園地区	61	47.5%	52.5%	0.0%	100.0%
無回答	18	27.8%	66.7%	5.6%	100.0%

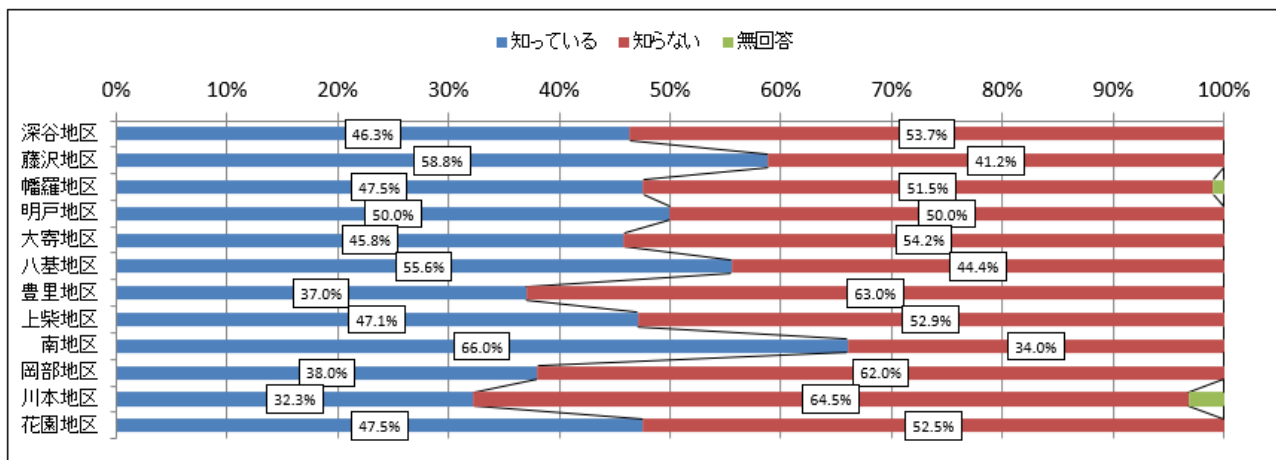
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「知っている」と回答した人の割合は、男性が 34.3%であるのに対して、女性は 56.8%となっています。男女によって、差があることがうかがえます。

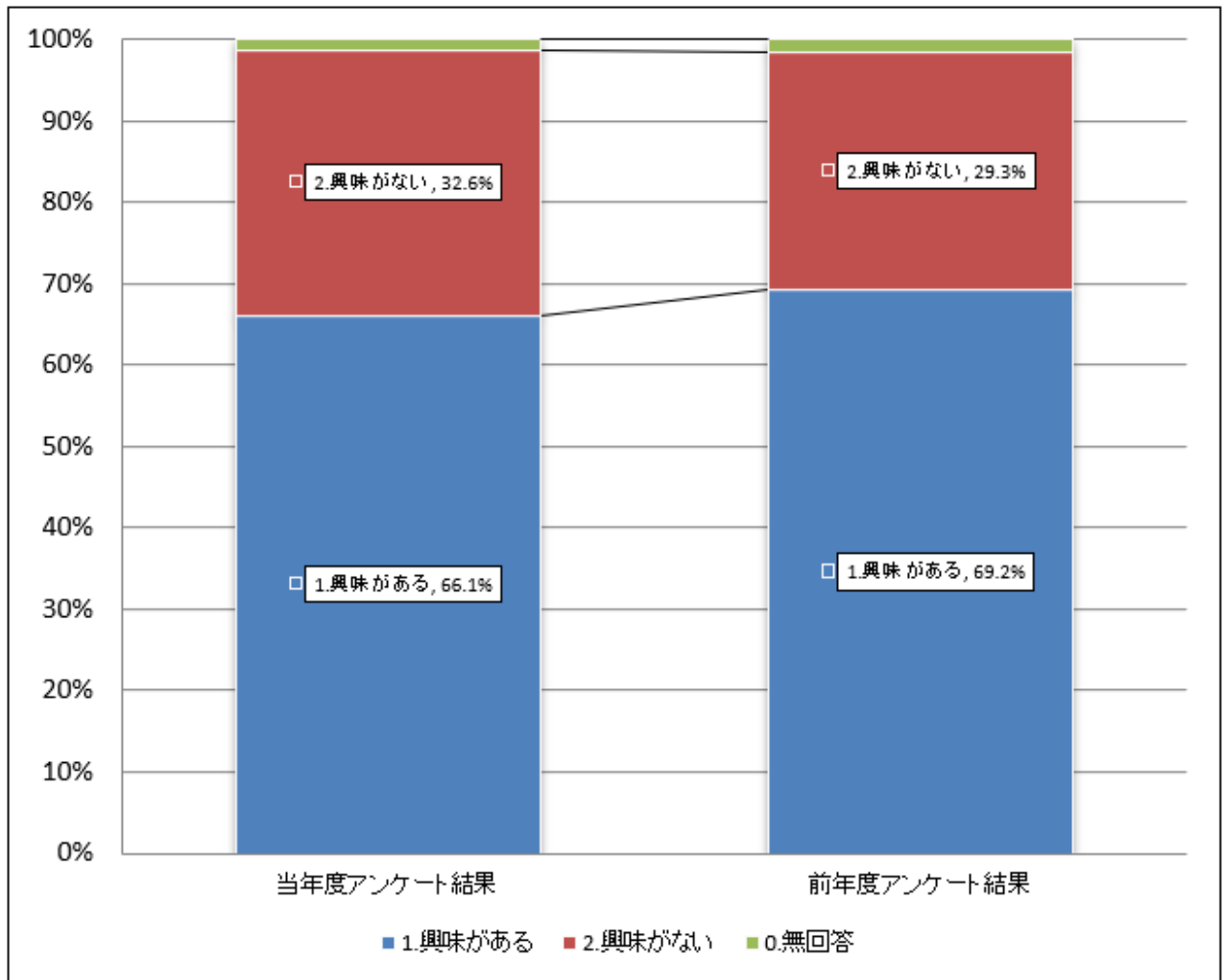
また、「知っている」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 10 歳代 (0.0%)、女性が 20 歳代 (17.9%) であり、一方で最も多い世代は、男性が 70 歳以上 (男性 43.5%)、女性が 60 歳代 (71.4%) となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「知っている」と回答した人の割合が最も少ないのは、川本地区 (32.3%) であり、次いで豊里地区 (37.0%) となっています。最も多いのは南地区 (66.0%) であり、次いで藤沢地区 (58.8%) となっています。

花と緑をいかしたまちづくり活動に興味はありますか。



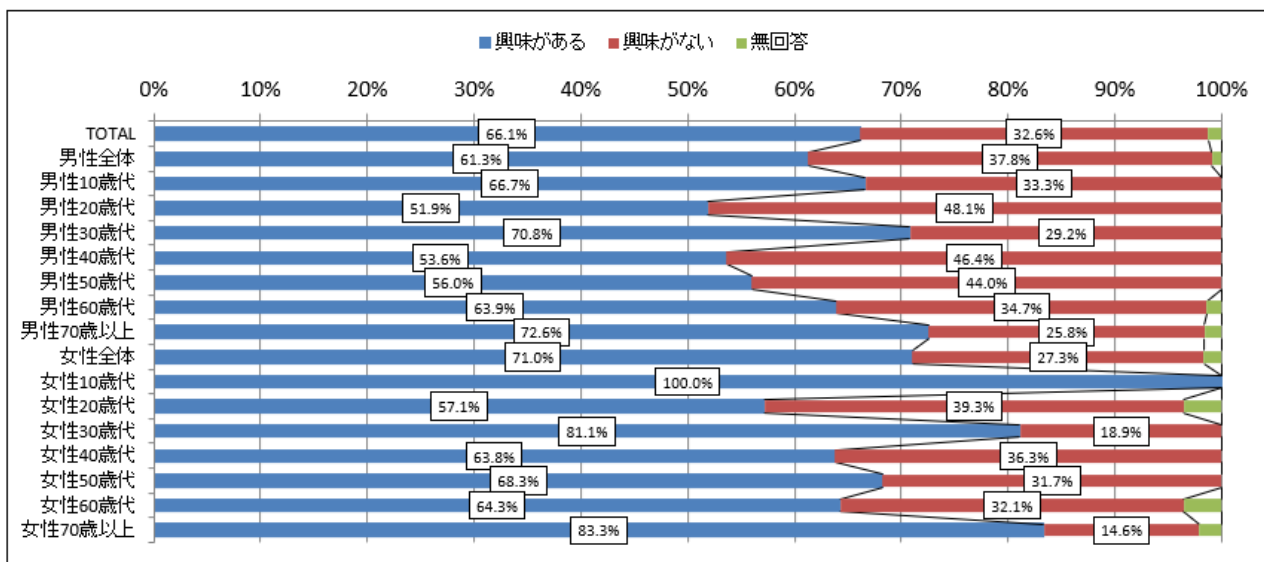
「興味がある」と回答した人の割合は 66.1%、「興味がない」と回答した人の割合は 32.6%であり、市民の 6 割以上が花と緑をいかしたまちづくり活動に興味があることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「興味がある」と回答した人の割合は 69.2%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。



母集団		興味がある	興味がない	無回答	合計
TOTAL	785	66.1%	32.6%	1.3%	100.0%
男性全体	315	61.3%	37.8%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	51.9%	48.1%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	70.8%	29.2%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	53.6%	46.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	56.0%	44.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	63.9%	34.7%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	72.6%	25.8%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	71.0%	27.3%	1.7%	100.0%
女性10歳代	5	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	57.1%	39.3%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	81.1%	18.9%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	63.8%	36.3%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	68.3%	31.7%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	64.3%	32.1%	3.6%	100.0%
女性70歳以上	96	83.3%	14.6%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
藤沢地区	51	66.7%	29.4%	3.9%	100.0%
幡羅地区	101	69.3%	28.7%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	68.8%	31.3%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	66.7%	29.2%	4.2%	100.0%
八基地区	18	77.8%	22.2%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	44.4%	51.9%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	63.5%	35.3%	1.2%	100.0%
南地区	53	73.6%	26.4%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	69.6%	29.3%	1.1%	100.0%
川本地区	62	56.5%	41.9%	1.6%	100.0%
花園地区	61	72.1%	27.9%	0.0%	100.0%
無回答	18	44.4%	50.0%	5.6%	100.0%

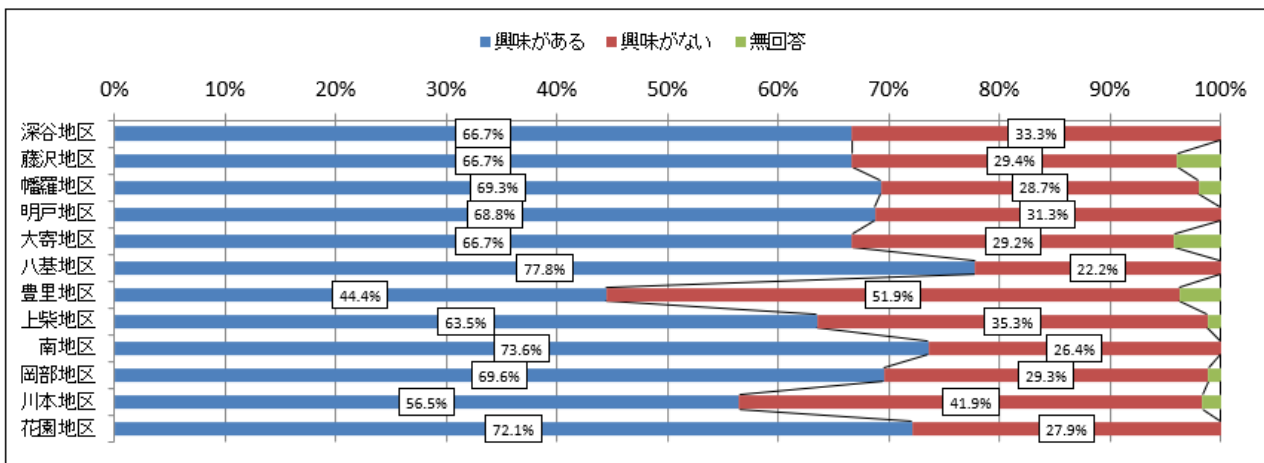
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「興味がある」と回答した人の割合は男性が 61.3%であるのに対して、女性は 71.0%となっています。

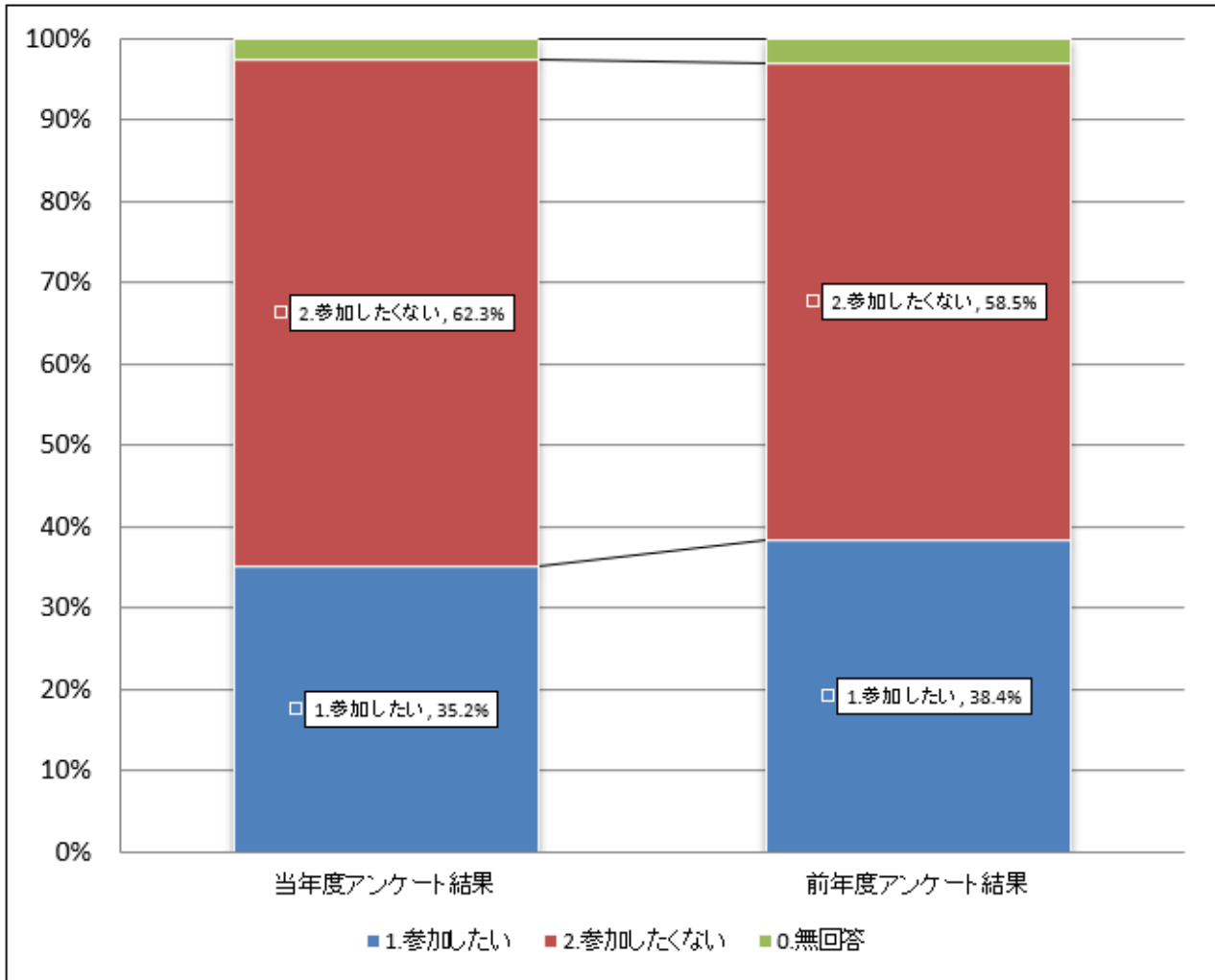
また、「興味がある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに 20 歳代（男性 51.9%、女性 57.1%）となっています。最も多い世代は、男性が 70 歳以上（72.6%）、女性が 10 歳代（100.0%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「興味がある」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区（44.4%）であり、次いで川本地区（56.5%）となっています。最も多いのは八基地区（77.8%）であり、次いで南地区（73.6%）となっています。

## 花と緑をいかしたまちづくり活動に参加したいですか。



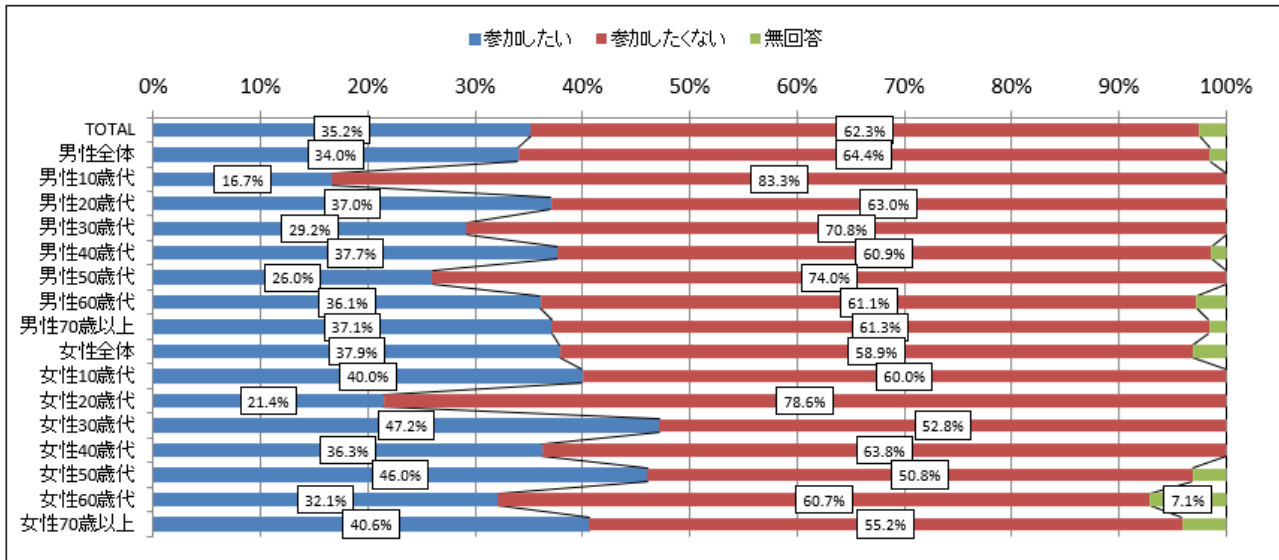
「参加したくない」と回答した人の割合は 62.3%であり、「参加したい」と回答した人の割合は 35.2%となっています。

前問の「花と緑をいかしたまちづくり活動に興味はありますか。」に対して、「興味がある」と回答した人は全体の 66.1%を占めるものの、実際に活動に参加したいと思うまでには至っていない市民が多数いることがうかがえます。

また、「前年度アンケート」の結果は、「参加したい」と回答した人の割合は 38.4%であり、前年度アンケートと比較して、減少していることがうかがえます。

母集団		参加したい	参加したくない	無回答	合計
TOTAL	785	35.2%	62.3%	2.5%	100.0%
男性全体	315	34.0%	64.4%	1.6%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	37.0%	63.0%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	29.2%	70.8%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	37.7%	60.9%	1.4%	100.0%
男性50歳代	50	26.0%	74.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	36.1%	61.1%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	37.1%	61.3%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	37.9%	58.9%	3.1%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	21.4%	78.6%	0.0%	100.0%
女性30歳代	53	47.2%	52.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	36.3%	63.8%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	46.0%	50.8%	3.2%	100.0%
女性60歳代	84	32.1%	60.7%	7.1%	100.0%
女性70歳以上	96	40.6%	55.2%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	40.1%	57.6%	2.3%	100.0%
藤沢地区	51	35.3%	58.8%	5.9%	100.0%
幡羅地区	101	33.7%	63.4%	3.0%	100.0%
明戸地区	16	56.3%	43.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	29.2%	70.8%	0.0%	100.0%
八基地区	18	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	22.2%	70.4%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	30.6%	64.7%	4.7%	100.0%
南地区	53	24.5%	75.5%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	35.9%	63.0%	1.1%	100.0%
川本地区	62	37.1%	61.3%	1.6%	100.0%
花園地区	61	47.5%	52.5%	0.0%	100.0%
無回答	18	5.6%	83.3%	11.1%	100.0%

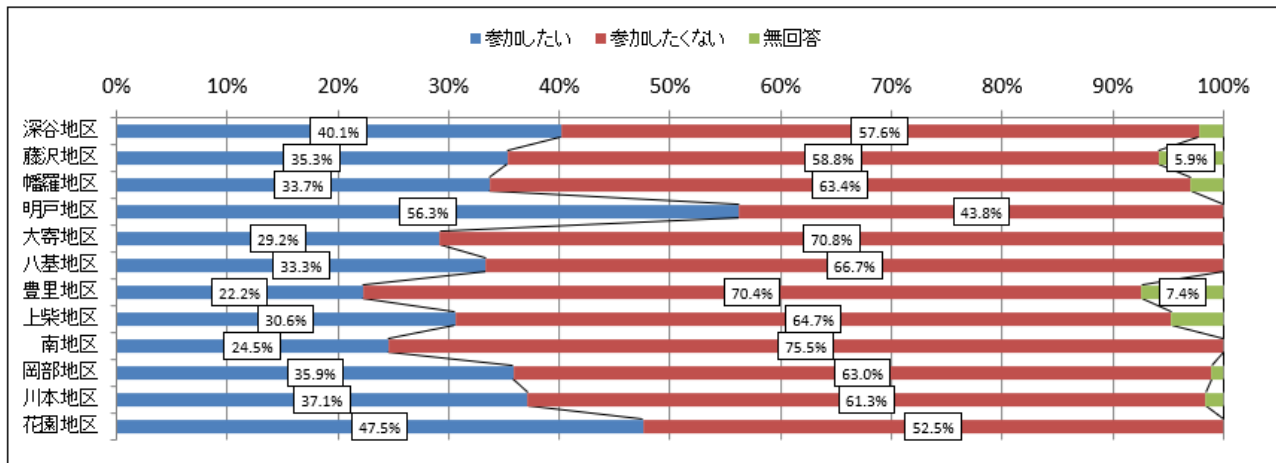
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「参加したい」と回答した人の割合は男性が 34.0%であるのに対して、女性は 37.9%となっています。

また、「参加したい」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男性が 10 歳代 (16.7%) であり、女性は 20 歳代 (21.4%) となっています。最も多い世代は、男性が 40 歳代 (37.7%)、女性が 30 歳代 (47.2%) となっています。

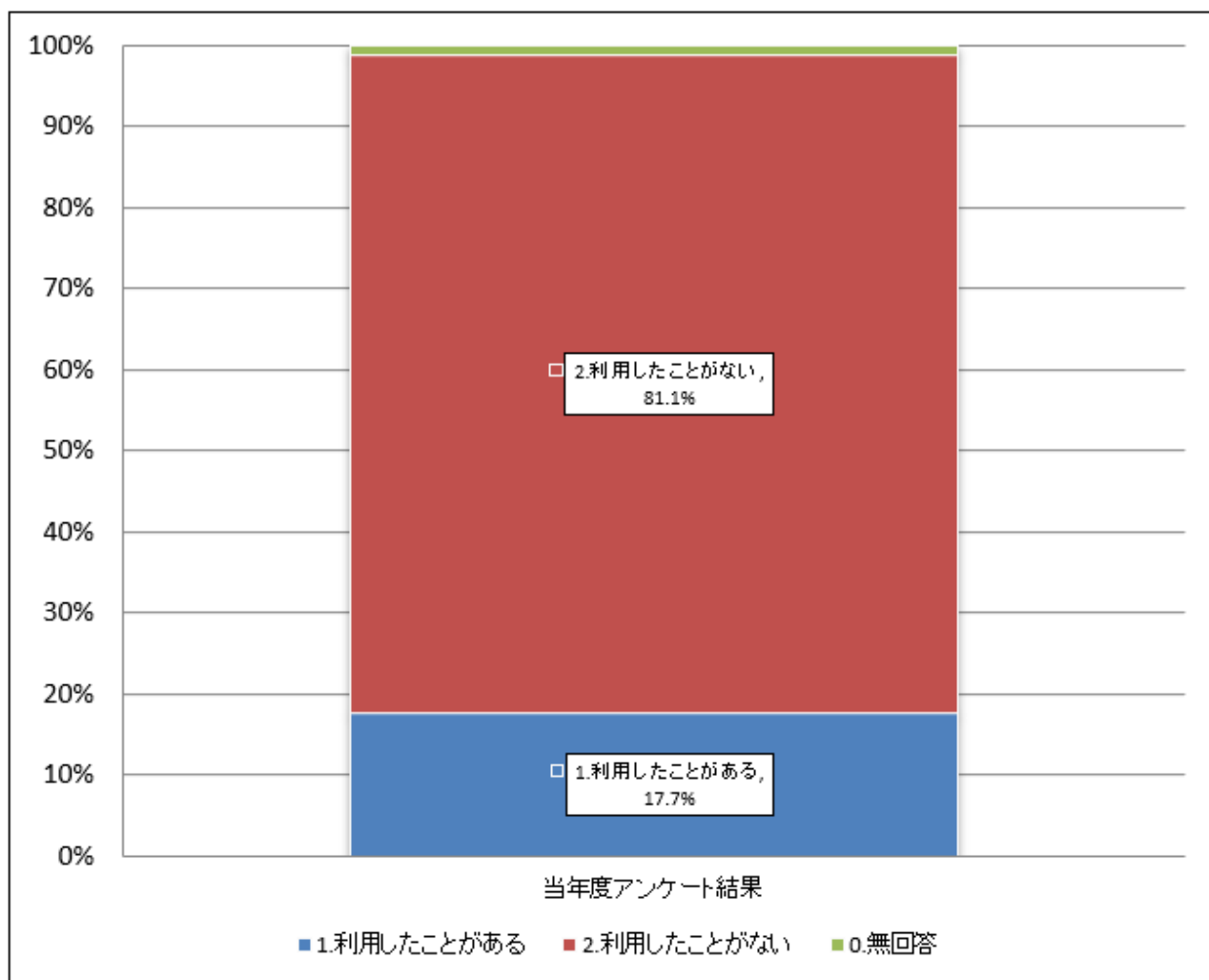
➤ 地区別



地区別にみると、「参加したい」と回答した人の割合が最も少ないのは、豊里地区 (22.2%) であり、次いで南地区 (24.5%) となっています。最も多いのは明戸地区、(56.3%) であり、次いで花園地区 (47.5%) となっています。

⑥ 行財政運営の推進（7. 問16～18）

市のオンラインサービスを利用したことがありますか。（例：各種申請手続き、相談、イベント参加、コンビニ交付など）

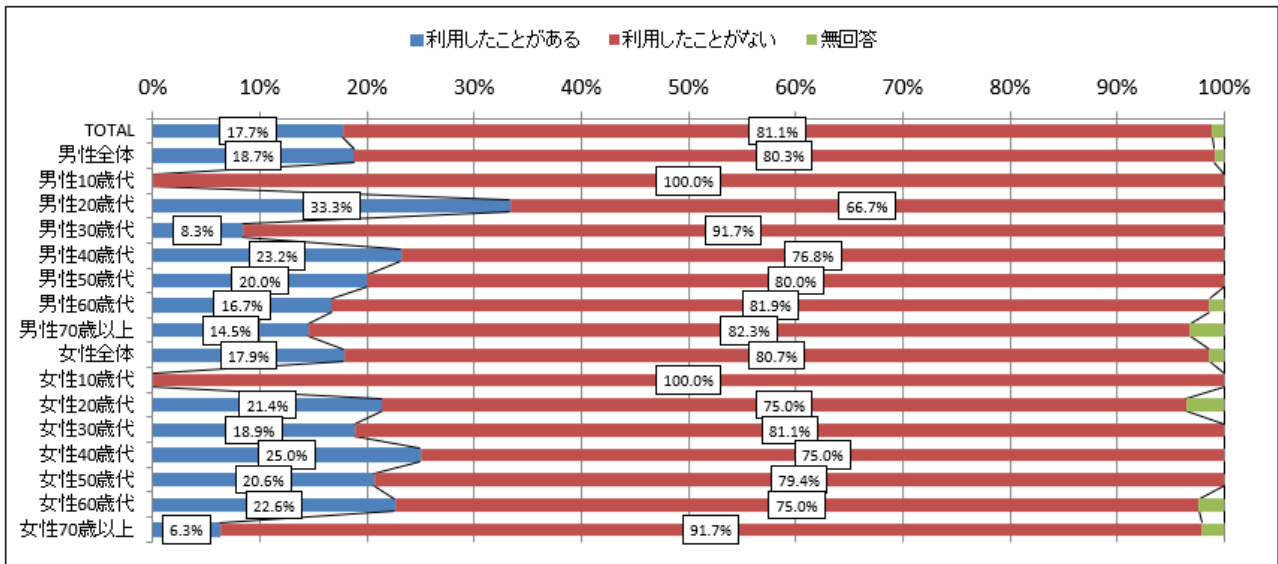


「利用したことがない」と回答した人の割合が 81.1%、「利用したことがある」と回答した人の割合が 17.7%となっています。

市のオンラインサービスを利用したことがあると回答した市民が 2 割以下と割合が低いことがうかがえます。

母集団		利用したことがある	利用したことがない	無回答	合計
TOTAL	785	17.7%	81.1%	1.1%	100.0%
男性全体	315	18.7%	80.3%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	8.3%	91.7%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	23.2%	76.8%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	16.7%	81.9%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	14.5%	82.3%	3.2%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
女性全体	414	17.9%	80.7%	1.4%	100.0%
女性10歳代	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	21.4%	75.0%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	18.9%	81.1%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	20.6%	79.4%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	22.6%	75.0%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	6.3%	91.7%	2.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	18.1%	80.2%	1.7%	100.0%
藤沢地区	51	7.8%	92.2%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	20.8%	77.2%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	31.3%	68.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
八基地区	18	27.8%	72.2%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	14.8%	81.5%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	24.7%	75.3%	0.0%	100.0%
南地区	53	22.6%	77.4%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	15.2%	83.7%	1.1%	100.0%
川本地区	62	9.7%	88.7%	1.6%	100.0%
花園地区	61	14.8%	83.6%	1.6%	100.0%
無回答	18	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%

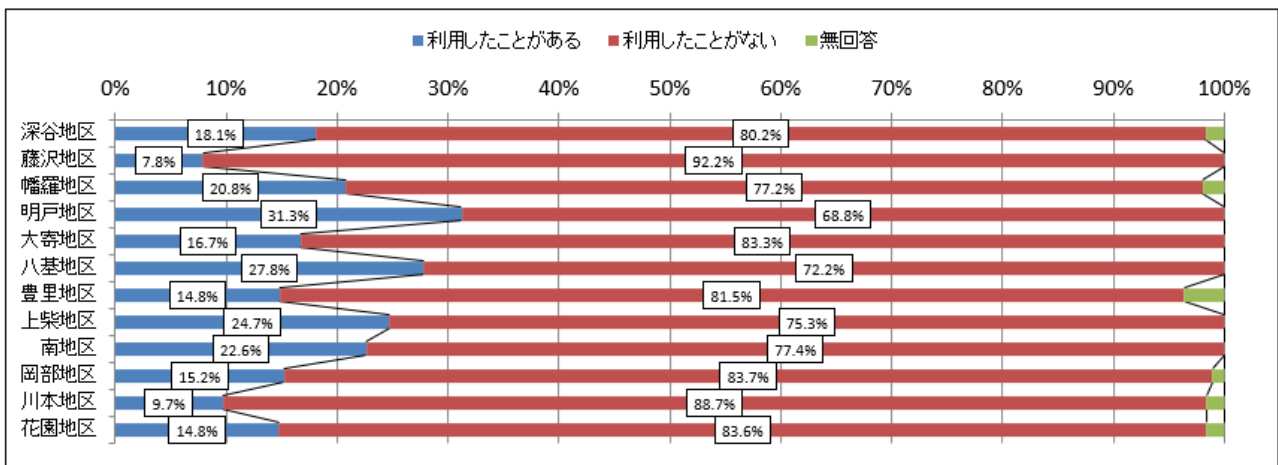
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「利用したことがある」と回答した人の割合は男性が 18.7%であるのに対して、女性は 17.9%となっています。

また、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに 10歳代（男性 0.0%、女性 0.0%）であり、一方で、最も多い世代は、男性が 20歳代（33.3%）女性 40歳代（25.0%）となっています。

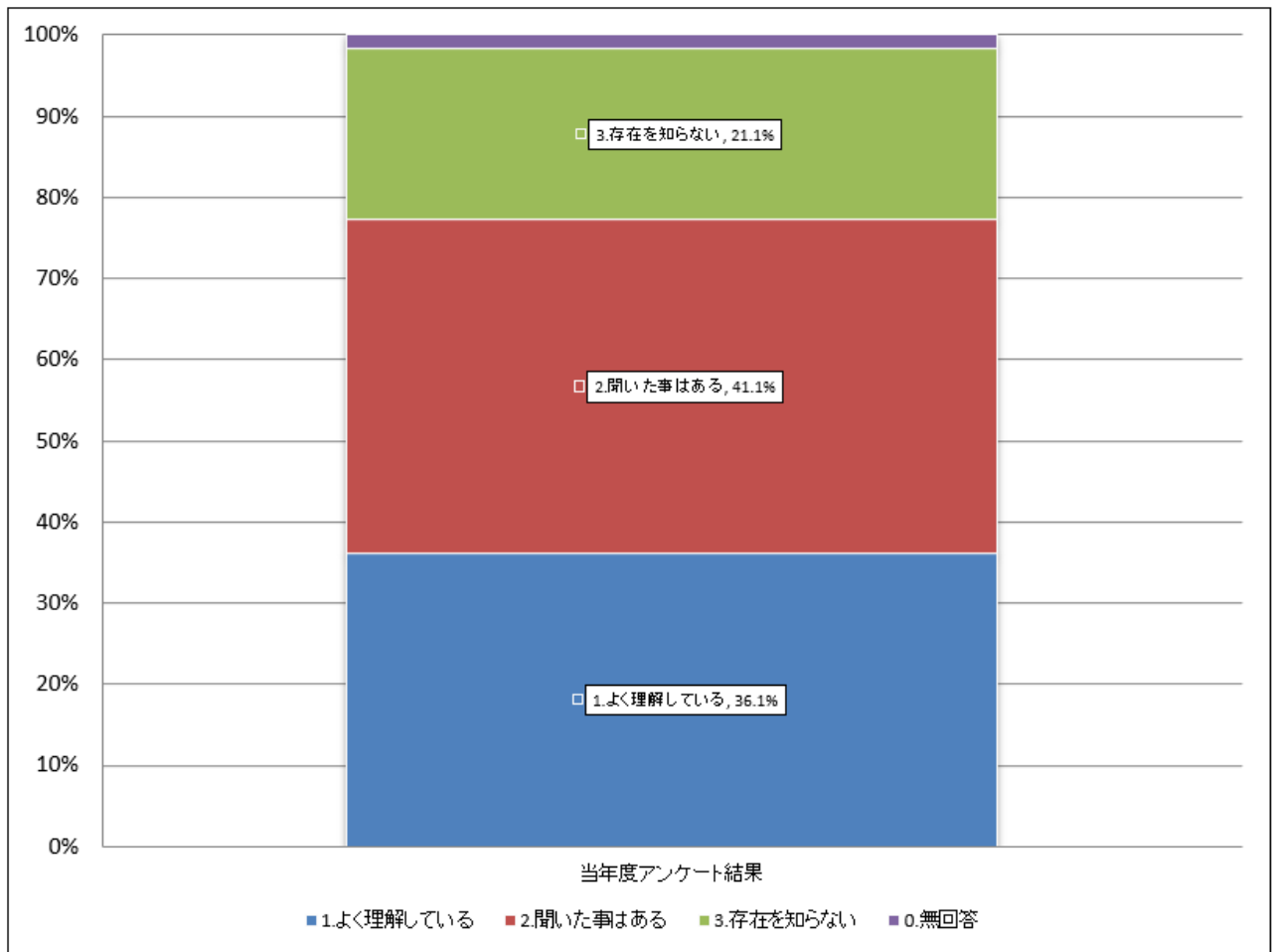
## ➤ 地区別



地区別にみると、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も少ないのは、藤沢地区（7.8%）であり、次いで川本地区（9.7%）となっています。最も多いのは明戸地区（31.3%）であり、次いで八基地区（27.8%）となっています。



## 「SDGs」という言葉を知っていますか。

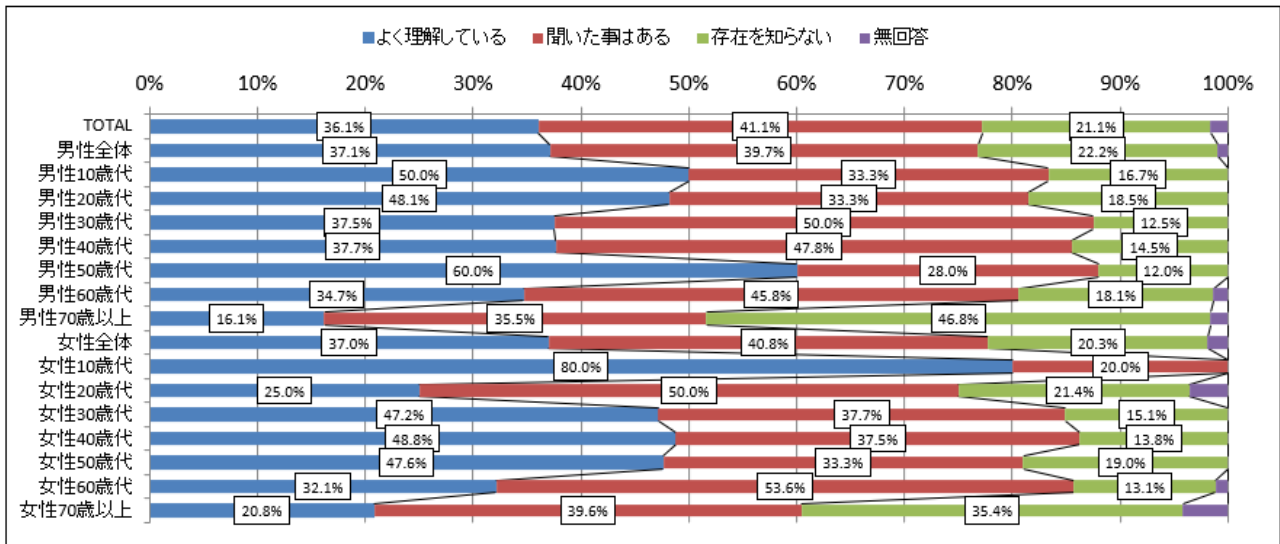


「聞いた事はある」と回答した人の割合が 41.1%と最も多く、次いで「よく理解している」と回答した人の割合が 36.1%、「存在を知らない」と回答した人の割合が 21.1%となっています。

「よく理解している」と回答した人の割合は 36.1%であり、約 3 割以上の市民が「SDGs」という言葉を理解していることがうかがえます。

母集団		よく理解している	聞いた事はある	存在を知らない	無回答	合計
TOTAL	785	36.1%	41.1%	21.1%	1.7%	100.0%
男性全体	315	37.1%	39.7%	22.2%	1.0%	100.0%
男性10歳代	6	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	48.1%	33.3%	18.5%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	37.7%	47.8%	14.5%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	60.0%	28.0%	12.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	34.7%	45.8%	18.1%	1.4%	100.0%
男性70歳以上	62	16.1%	35.5%	46.8%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	37.0%	40.8%	20.3%	1.9%	100.0%
女性10歳代	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	25.0%	50.0%	21.4%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	47.2%	37.7%	15.1%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	48.8%	37.5%	13.8%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	47.6%	33.3%	19.0%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	32.1%	53.6%	13.1%	1.2%	100.0%
女性70歳以上	96	20.8%	39.6%	35.4%	4.2%	100.0%
女性年齢不詳	5	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	100.0%
深谷地区	177	36.7%	37.9%	24.3%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	35.3%	47.1%	17.6%	0.0%	100.0%
幡羅地区	101	34.7%	47.5%	15.8%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	43.8%	37.5%	18.8%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	16.7%	50.0%	29.2%	4.2%	100.0%
八基地区	18	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	25.9%	44.4%	25.9%	3.7%	100.0%
上柴地区	85	45.9%	34.1%	18.8%	1.2%	100.0%
南地区	53	43.4%	43.4%	13.2%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	31.5%	43.5%	22.8%	2.2%	100.0%
川本地区	62	27.4%	46.8%	24.2%	1.6%	100.0%
花園地区	61	44.3%	32.8%	23.0%	0.0%	100.0%
無回答	18	22.2%	27.8%	33.3%	16.7%	100.0%

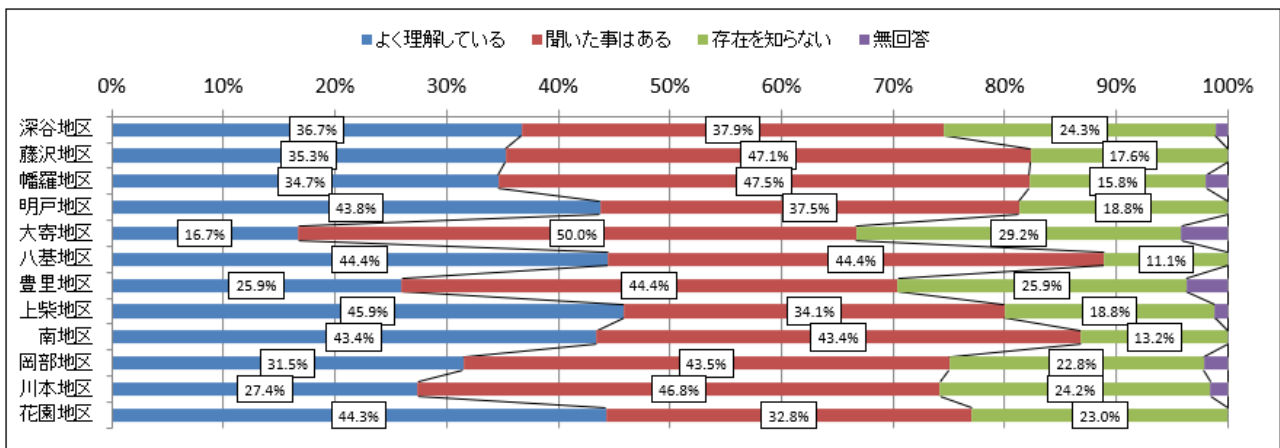
## ➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「よく理解している」と回答した人の割合は男性が 39.7%であるのに対して、女性は 40.8%となっています。

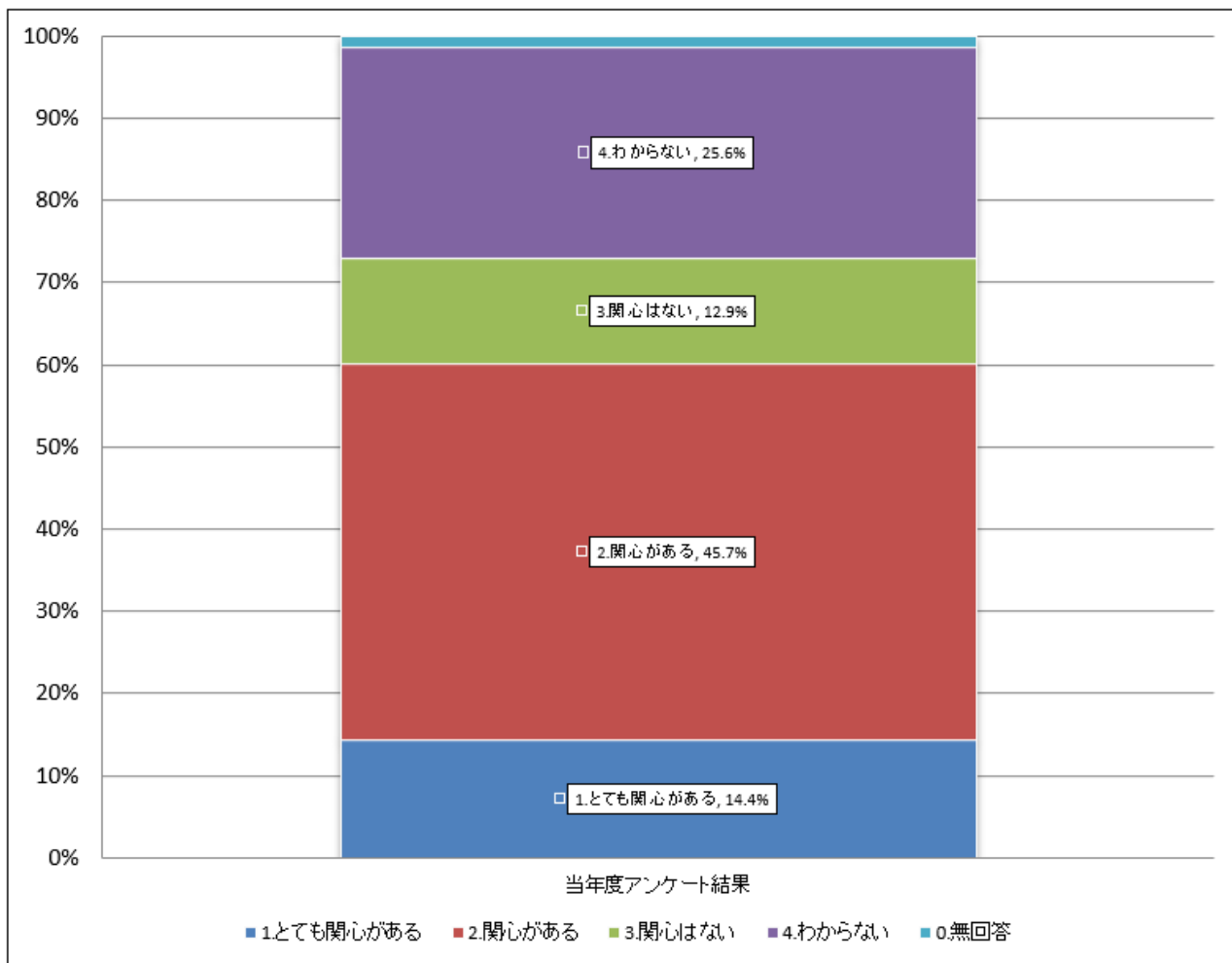
また、「よく理解している」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに 70 歳以上（男性 16.1%、女性 20.8%）であり、一方で、最も多い世代は、男性 50 歳代（60.0%）、女性 10 歳代（80.0%）となっています。

## ➤ 地区別



地区別にみると、「よく理解している」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区（16.7%）であり、次いで豊里地区（25.9%）となっています。最も多いのは上柴地区（45.9%）であり、次いで八基地区（44.4%）となっています。

## 「SDGs」にどの程度関心がありますか。

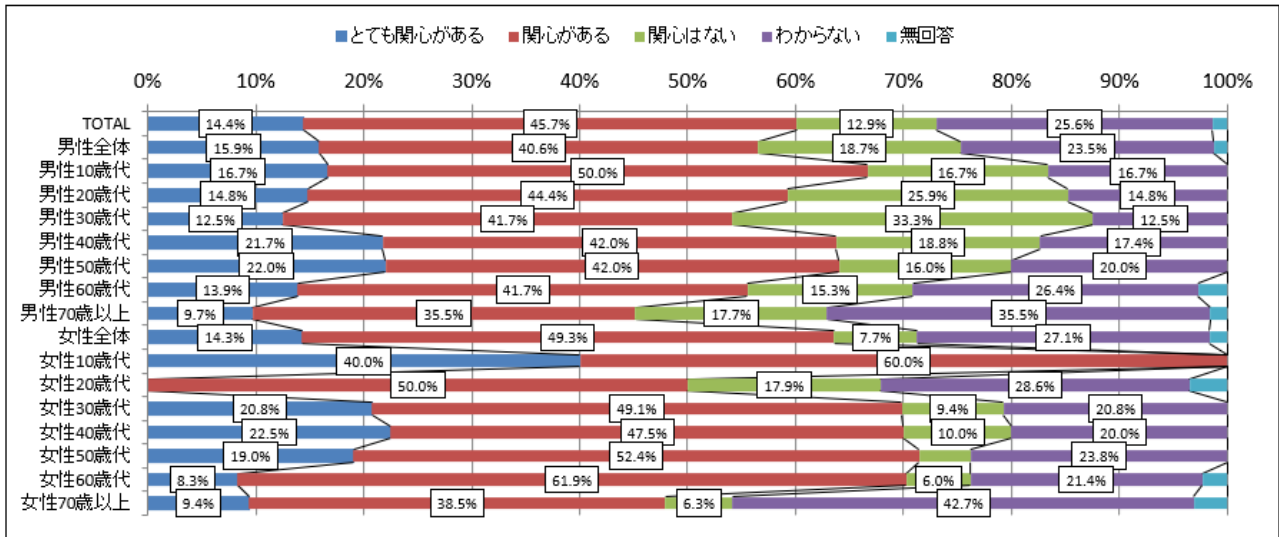


「関心がある」と回答した人の割合が 45.7%と最も多く、次いで「わからない」と回答した人の割合が 25.6%、「とても関心がある」14.4%、「関心はない」12.9%となっています。

「とても関心がある」または「関心がある」と回答した人の割合は 60.1%であり、約 6 割の市民が SDGs に関心が高いことがうかがえます。

母集団		とても 関心がある	関心 がある	関心 はない	わから ない	無回 答	合計
TOTAL	785	14.4%	45.7%	12.9%	25.6%	1.4%	100.0%
男性全体	315	15.9%	40.6%	18.7%	23.5%	1.3%	100.0%
男性10歳代	6	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
男性20歳代	27	14.8%	44.4%	25.9%	14.8%	0.0%	100.0%
男性30歳代	24	12.5%	41.7%	33.3%	12.5%	0.0%	100.0%
男性40歳代	69	21.7%	42.0%	18.8%	17.4%	0.0%	100.0%
男性50歳代	50	22.0%	42.0%	16.0%	20.0%	0.0%	100.0%
男性60歳代	72	13.9%	41.7%	15.3%	26.4%	2.8%	100.0%
男性70歳以上	62	9.7%	35.5%	17.7%	35.5%	1.6%	100.0%
男性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	100.0%
女性全体	414	14.3%	49.3%	7.7%	27.1%	1.7%	100.0%
女性10歳代	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性20歳代	28	0.0%	50.0%	17.9%	28.6%	3.6%	100.0%
女性30歳代	53	20.8%	49.1%	9.4%	20.8%	0.0%	100.0%
女性40歳代	80	22.5%	47.5%	10.0%	20.0%	0.0%	100.0%
女性50歳代	63	19.0%	52.4%	4.8%	23.8%	0.0%	100.0%
女性60歳代	84	8.3%	61.9%	6.0%	21.4%	2.4%	100.0%
女性70歳以上	96	9.4%	38.5%	6.3%	42.7%	3.1%	100.0%
女性年齢不詳	5	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	100.0%
深谷地区	177	13.6%	47.5%	13.6%	24.3%	1.1%	100.0%
藤沢地区	51	11.8%	49.0%	11.8%	25.5%	2.0%	100.0%
幡羅地区	101	18.8%	43.6%	14.9%	20.8%	2.0%	100.0%
明戸地区	16	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	100.0%
大寄地区	24	12.5%	25.0%	16.7%	41.7%	4.2%	100.0%
八基地区	18	5.6%	61.1%	5.6%	27.8%	0.0%	100.0%
豊里地区	27	7.4%	55.6%	7.4%	22.2%	7.4%	100.0%
上柴地区	85	18.8%	43.5%	15.3%	22.4%	0.0%	100.0%
南地区	53	20.8%	47.2%	11.3%	20.8%	0.0%	100.0%
岡部地区	92	14.1%	47.8%	12.0%	25.0%	1.1%	100.0%
川本地区	62	6.5%	43.5%	12.9%	35.5%	1.6%	100.0%
花園地区	61	13.1%	50.8%	9.8%	26.2%	0.0%	100.0%
無回答	18	11.1%	22.2%	16.7%	44.4%	5.6%	100.0%

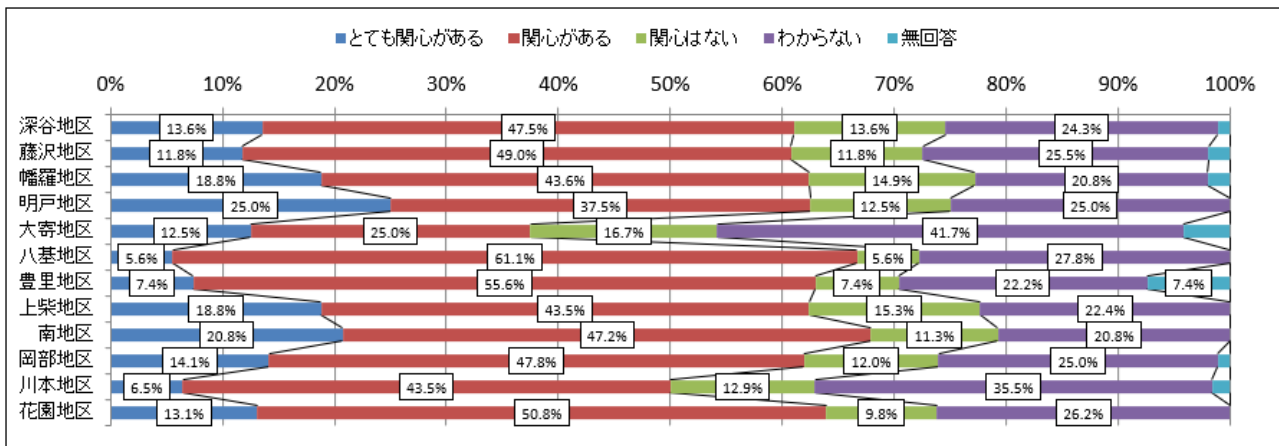
➤ 性別・世代別



性別・世代別にみると、「とても関心がある」または「関心がある」と回答した人の割合は男性が56.5%であるのに対して、女性は63.6%となっています。

また、「とても関心がある」または「関心がある」と回答した人の割合が最も少ない世代は、男女ともに70歳以上（男性45.2%、女性47.9%）であり、一方で、最も多い世代は、男女ともに10歳代（男性66.7%、女性100.0%）となっています。

➤ 地区別



地区別にみると、「とても関心がある」または「関心がある」と回答した人の割合が最も少ないのは、大寄地区（37.5%）であり、次いで川本地区（50.0%）となっています。最も多いのは南地区（68.0%）であり、次いで花園地区（63.9%）となっています。

### 3. 深谷市の施策について

深谷市が行っている施策を重要度と満足度を軸とし、i) 重要度・満足度ともに高い施策、ii) 重要度が高く、満足度が低い施策、iii) 重要度が低く、満足度が高い施策、iv) 重要度・満足度ともに低い施策の4つに分類し、施策の優先順位付けのための分析を実施しました。

なお、重要度・満足度の得点の算出方法につきましては、P. 2の1. アンケート調査の実施方法に記載されている注意書きをご参照ください。

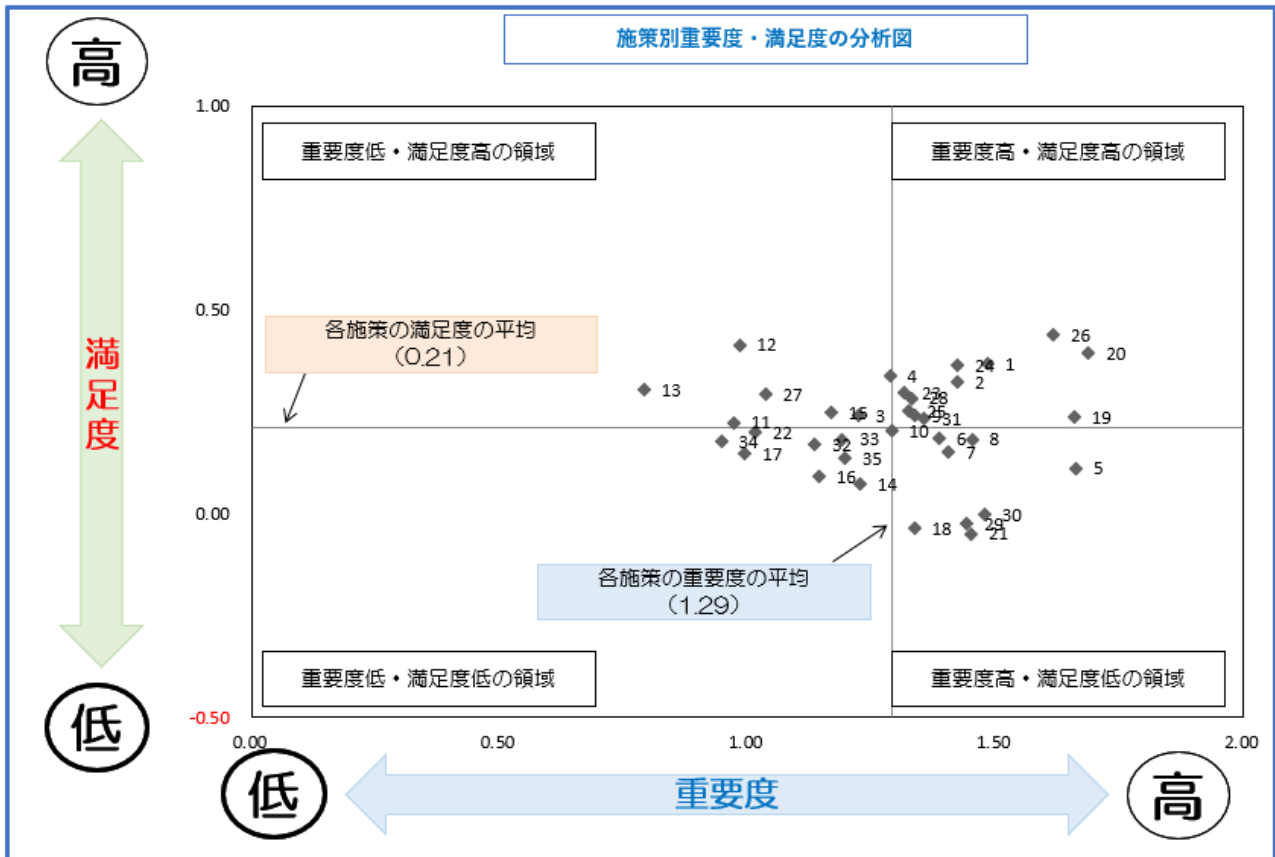
#### (1) 深谷市全体

##### ① 施策別重要度・満足度一覧

施策			重要度	満足度
1.子育て・保健・福祉	1	子育て支援の充実	1.48	0.37
	2	保育サービスの充実	1.42	0.32
	3	青少年の健全育成の推進	1.22	0.24
	4	健康づくりの推進	1.29	0.34
	5	地域医療体制の充実	1.66	0.11
	6	地域福祉の推進	1.39	0.19
	7	高齢者福祉の推進	1.41	0.15
	8	障害者福祉の推進	1.45	0.18
2.教育・文化	9	「生きる力」を育む学校教育の推進	1.34	0.24
	10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	1.29	0.20
	11	生涯学習の推進	0.97	0.22
	12	郷土の歴史・文化の継承と活用	0.98	0.42
	13	スポーツ・レクリエーションの推進	0.79	0.30
3.産業振興	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	1.23	0.07
	15	農畜産物の販売流通体制の充実	1.17	0.25
	16	商工業の振興	1.14	0.09
	17	観光資源の整備と活用	0.99	0.15
	18	就労環境の整備	1.34	(0.03)
4.暮らし・環境	19	災害に強い防災体制の推進	1.66	0.24
	20	消防・救急体制の充実	1.69	0.39
	21	防犯・空き家対策の推進	1.45	(0.05)
	22	地域コミュニティの推進	1.02	0.20
	23	自然・生活環境の保全	1.32	0.30
	24	環境衛生の推進	1.42	0.36
	25	良好な市街地・住環境形成の推進	1.33	0.25
5.都市・生活基礎	26	水の安定供給と下水処理の適正化	1.62	0.44
	27	自然・文化を生かした景観形成	1.04	0.29
	28	治水対策の推進	1.33	0.28
	29	道路・交通環境整備の推進	1.44	(0.03)
	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進	1.48	(0.00)
	31	人権・個性が尊重される社会の実現	1.36	0.23
6.協働・行政経営	32	男女共同参画の実現	1.14	0.17
	33	情報発信・共有の推進	1.19	0.18
	34	市民との協働・交流の推進	0.95	0.18
	35	行財政運営の推進	1.20	0.14
平均値			1.29	0.21

重要度の平均値は 1.29 となっており、深谷市の実施している施策について、全体的にみて、重要度が高いと認識している市民が多いことがうかがえます。一方で、満足度の平均値は 0.21 と重要度の平均値に比べて低く、行政サービスと市民の期待との間にギャップがあることがうかがえます。

② 施策別重要度・満足度の分布状況



【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
4	健康づくりの推進	2	保育サービスの充実
11	生涯学習の推進	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	19	災害に強い防災体制の推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	20	消防・救急体制の充実
15	農畜産物の販売流通体制の充実	23	自然・生活環境の保全
27	自然・文化を生かした景観形成	24	環境衛生の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
		31	人権・個性が尊重される社会の実現
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	5	地域医療体制の充実
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	6	地域福祉の推進
16	商工業の振興	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	8	障害者福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	18	就労環境の整備
32	男女共同参画の実現	21	防犯・空き家対策の推進
33	情報発信・共有の推進	29	道路・交通環境整備の推進
34	市民との協働・交流の推進	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
35	行財政運営の推進		



全施策における重要度・満足度の平均値を基準とし、重要度・満足度を<重要度高・満足度高>、<重要度高・満足度低>、<重要度低・満足度高>、<重要度低・満足度低>の4つに分類し、各施策の重要度および満足度の現状値を相対的に評価しました。

#### <重要度高・満足度高>

全施策のうち、相対的に重要度が高く、満足度も高い領域には「子育て支援の充実」、「保育サービスの充実」、「生きる力」を育む学校教育の推進、「災害に強い防災体制の推進」、「消防・救急体制の充実」、「自然・生活環境の保全」、「環境衛生の推進」、「良好な市街地・住環境形成の推進」、「水の安定供給と下水処理の適正化」、「治水対策の推進」、「人権・個性が尊重される社会の実現」の11施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点施策として優先して位置づけ、取り組んでいく必要がある施策といえます。

#### <重要度高・満足度低>

全施策のうち、相対的に重要度が高く、満足度が低い領域には、「地域医療体制の充実」、「地域福祉の推進」、「高齢者福祉の推進」、「障害者福祉の推進」、「就労環境の整備」、「防犯・空き家対策の推進」、「道路・交通環境整備の推進」、「公共交通の維持確保と交通安全の推進」の8施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズがあるにもかかわらず、行政としてその期待に応えていないことがうかがえます。これらの施策については、施策のあり方を見直す必要性が高い施策であるといえます。

#### <重要度低・満足度高>

全施策のうち、相対的に重要度が低く、満足度が高い領域には、「青少年の健全育成の推進」、「健康づくりの推進」、「生涯学習の推進」、「郷土の歴史・文化の継承と活用」、「スポーツ・レクリエーションの推進」、「農畜産物の販売流通体制の充実」、「自然・文化を生かした景観形成」、の7施策が該当します。

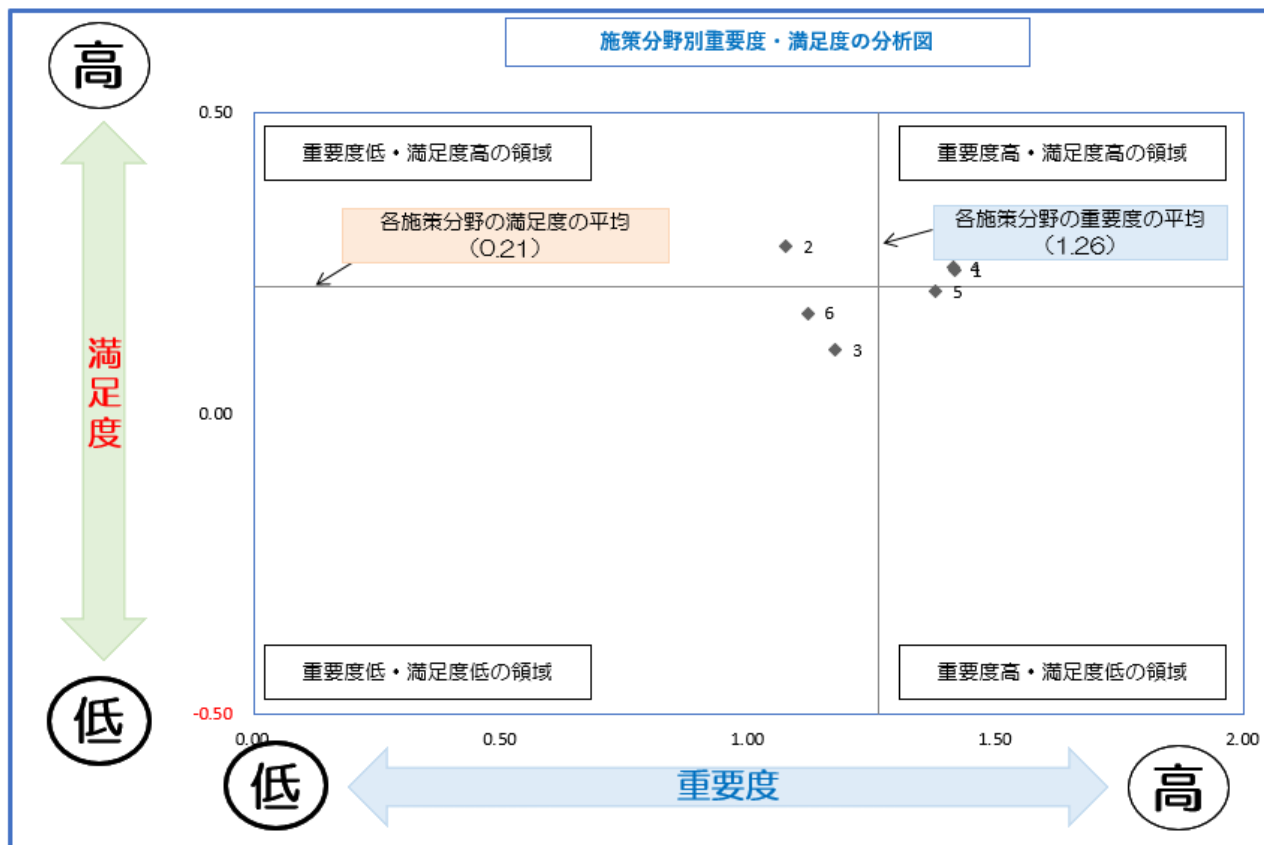
この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性もあり、行政サービスの提供が過剰となっていないかどうか確認する必要があります。

#### <重要度低・満足度低>

全施策のうち、相対的に重要度が低く、満足度も低い領域には、「家庭・地域・学校の連携による教育力の向上」、「農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「商工業の振興」、「観光資源の整備と活用」、「地域コミュニティの推進」、「男女共同参画の実現」、「情報発信・共有の推進」、「市民との協働・交流の推進」、「行財政運営の推進」の9施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民の関心度が低い施策であり、そもそも行政で対応すべきであるのかについて検討する必要があります。

### ③ 施策分野別重要度・満足度の分布状況



【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
2	教育・文化	1	子育て・保健・福祉
		4	暮らし・環境
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
3	産業振興	5	都市・生活基礎
6	協働・行政経営		

全施策分野における重要度・満足度の平均値を基準とし、重要度・満足度を<重要度高・満足度高>、<重要度高・満足度低>、<重要度低・満足度高>、<重要度低・満足度低>の4つに分類し、各施策分野の重要度および満足度の現状値を相対的に評価しました。

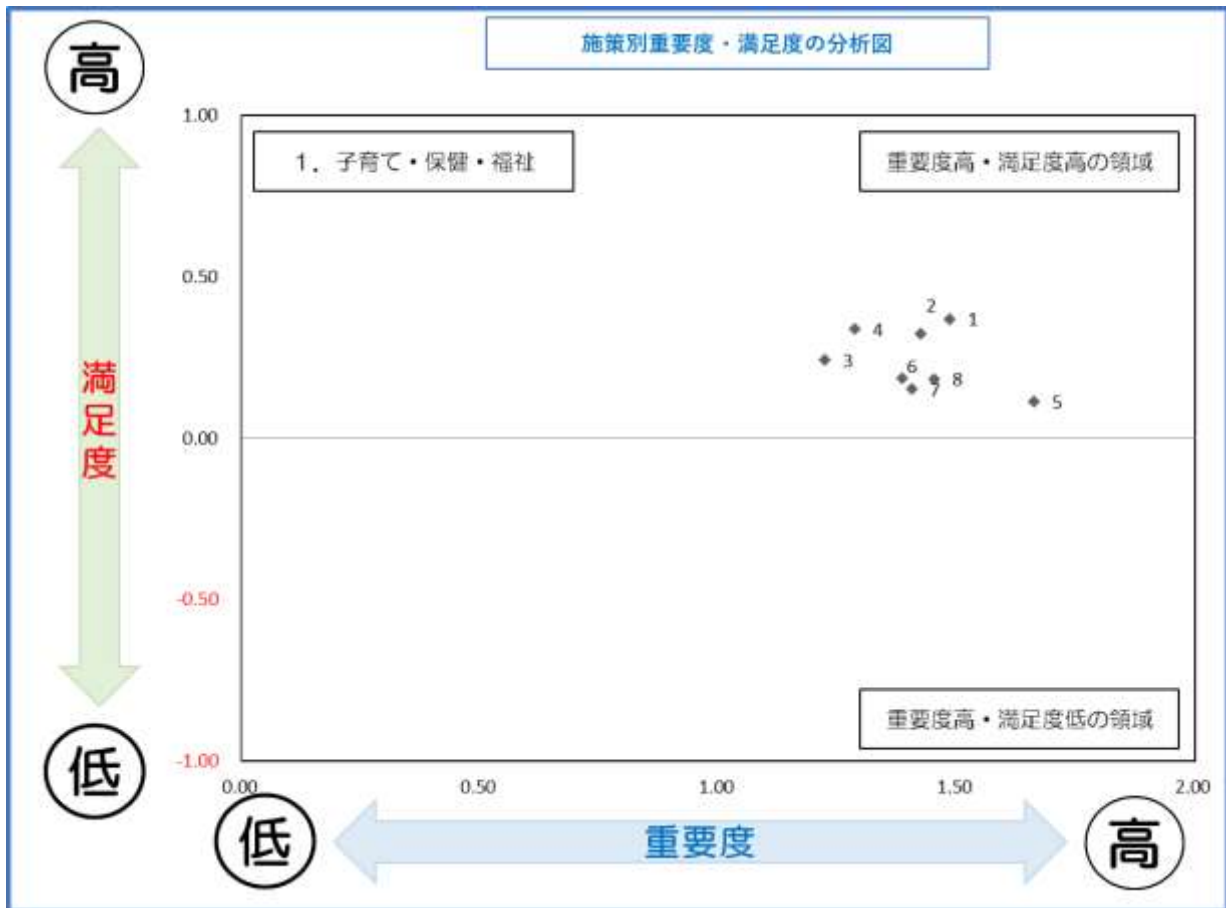
<重要度高・満足度高>に分類される施策分野は、全施策分野のうち、相対的に重要度および満足度の双方が高い施策分野であり、「子育て・保健・福祉」、「暮らし・環境」の2分野が該当します。

<重要度高・満足度低>に分類される施策分野は、全施策分野のうち、相対的に重要度は高いものの、満足度が低い施策分野であり、「都市・生活基礎」の1分野が該当します。

<重要度低・満足度高>に分類される施策分野は、全施策分野のうち、相対的に重要度は高いものの、満足度が低い施策分野であり、「教育・文化」の1分野が該当します。

<重要度低・満足度低>に分類される施策分野は、全施策分野のうち、相対的に重要度および満足度の双方が低い施策分野であり、「産業振興」、「協働・行政経営」の2分野が該当します。

< 1. 子育て・保健・福祉 >

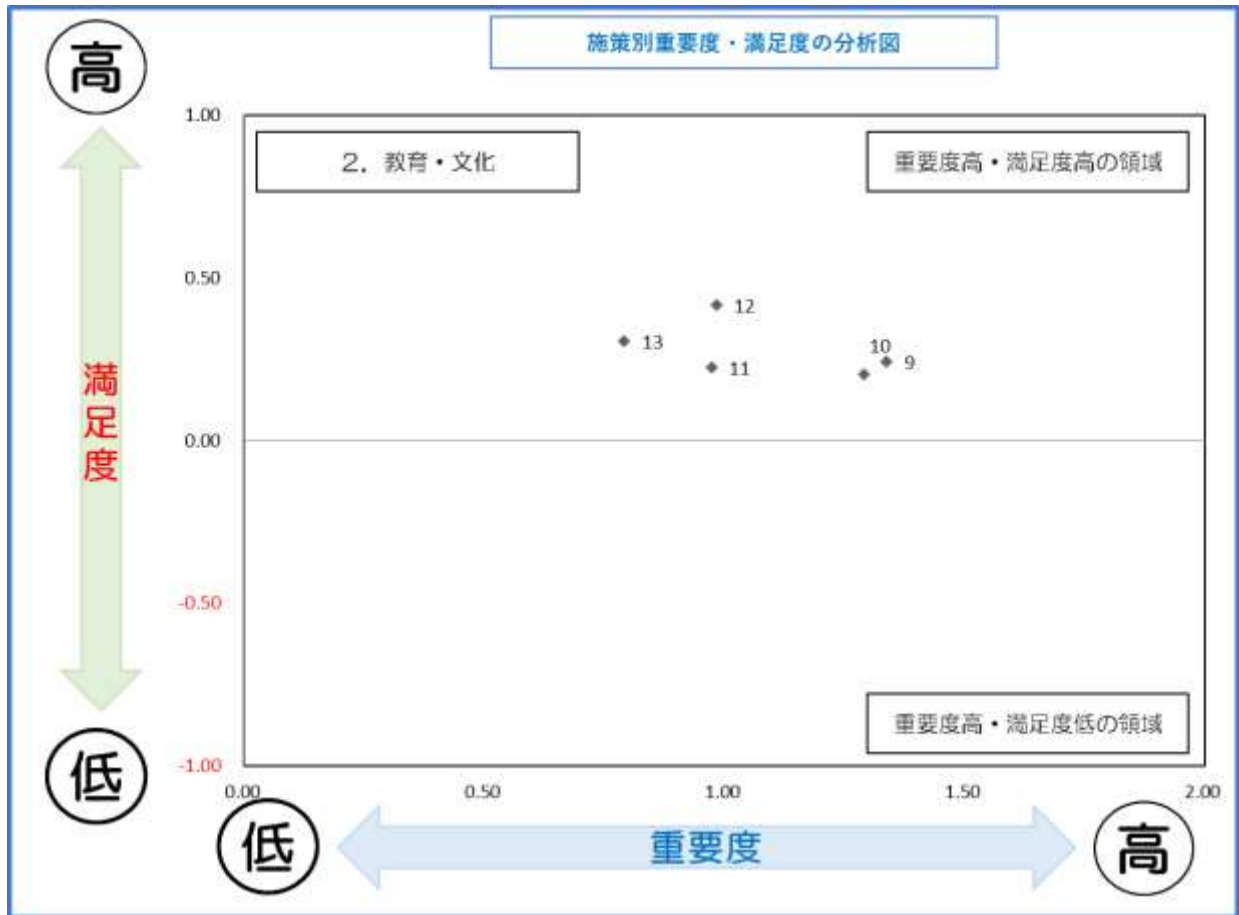


子育て・保健・福祉分野に係る施策は8施策あり、8つの施策すべてが重要度高・満足度高に分類されています。

子育て・保健・福祉分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「5. 地域医療体制の充実」、最も低かった施策は「3. 青少年の健全育成の推進」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「1. 子育て支援の充実」、最も低かった施策は「5. 地域医療体制の充実」となりました。

「5. 地域医療体制の充実」は重要度が高い施策であるものの、満足度が低いことがうかがえます。

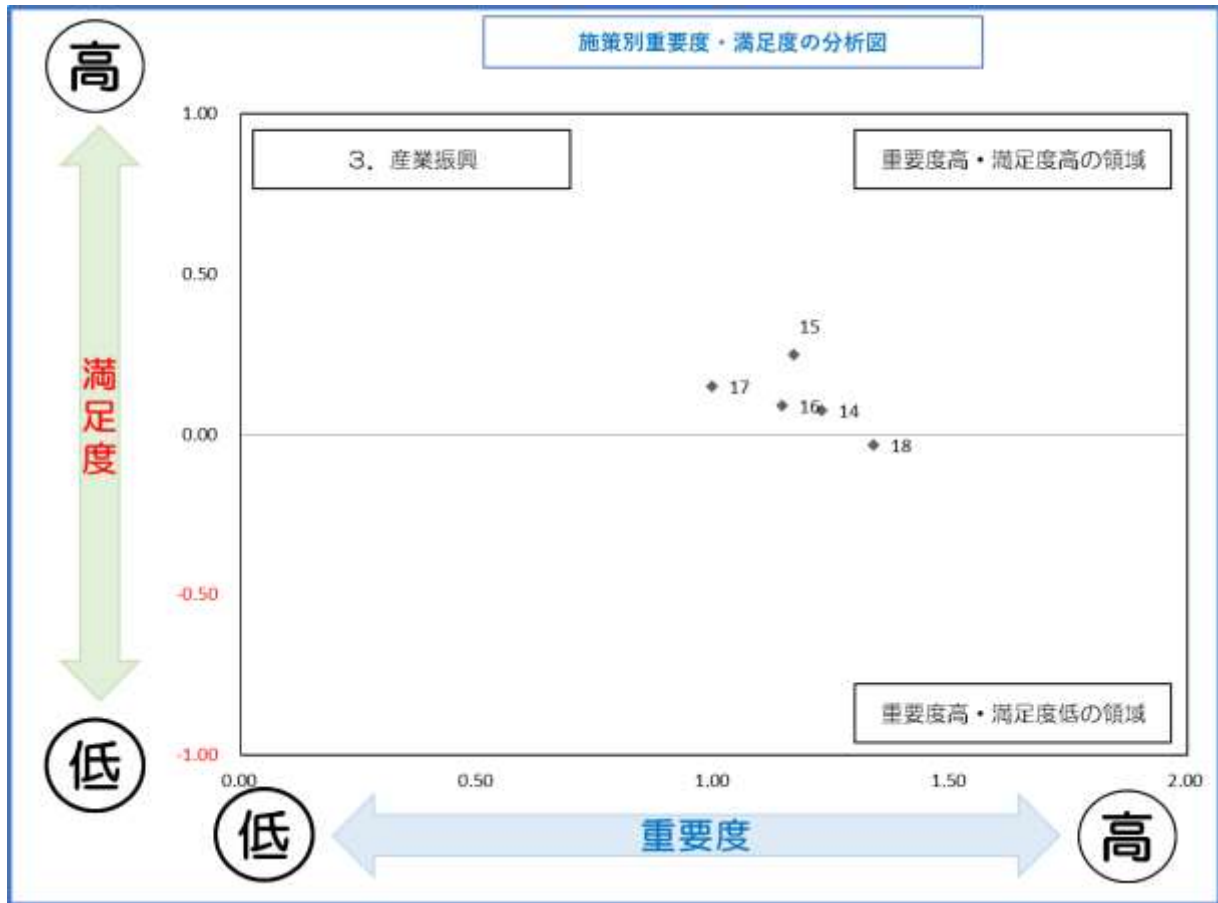
## < 2. 教育・文化 >



教育・文化分野に係る施策は5施策あり、全ての施策が重要度高・満足度高に分類されています。

教育・文化分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「9. 「生きる力」を育む学校教育の推進」、最も低かった施策は「13. スポーツ・レクリエーションの推進」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「12. 郷土の歴史・文化の継承と活用」、最も低かった施策は「10. 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上」となりました。

< 3. 産業振興 >

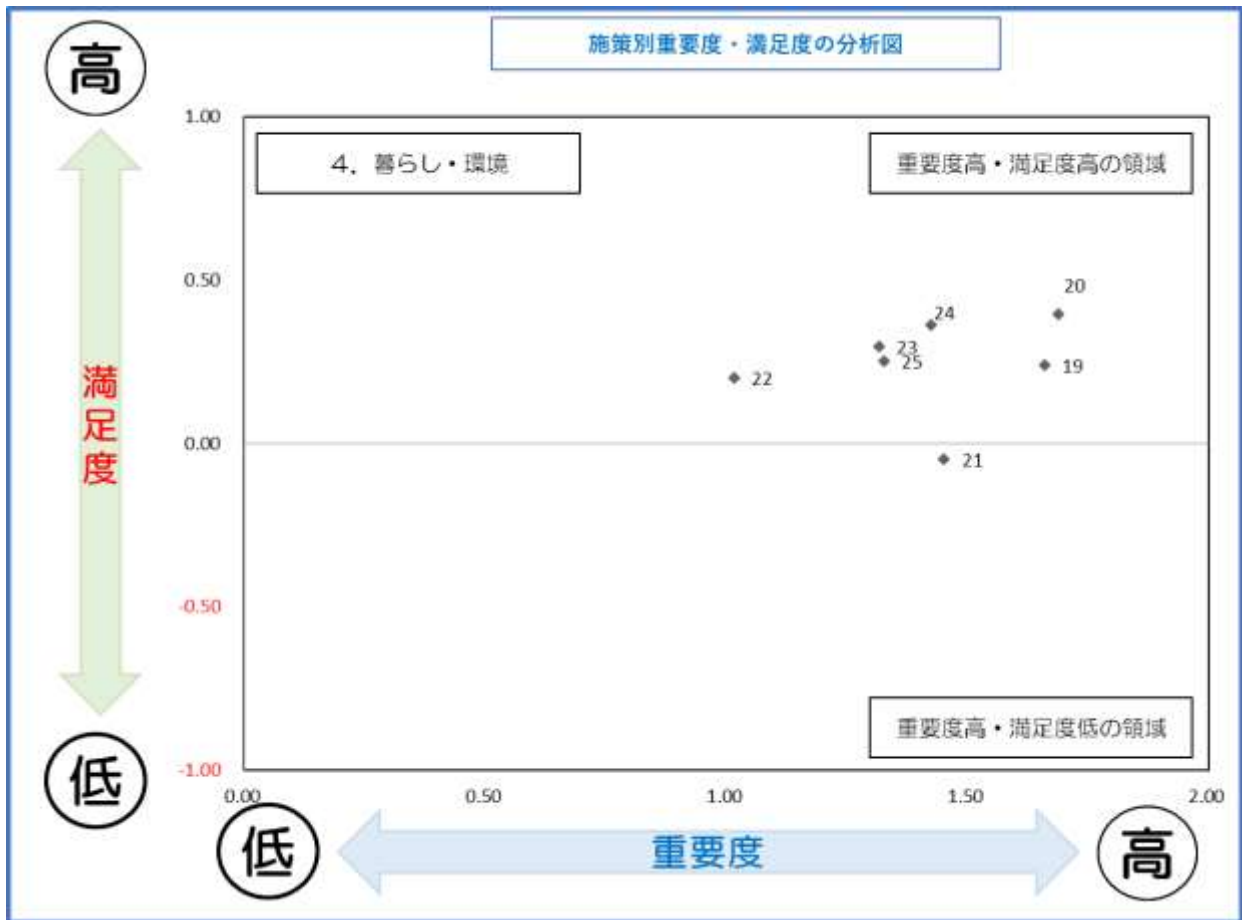


産業振興分野に係る施策は5施策あり、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」と「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」、「16. 商工業の振興」、「17. 観光資源の整備と活用」の4施策において重要度高・満足度高に分類されています。

産業振興分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「18. 就労環境の整備」、最も低かった施策は「17. 観光資源の整備と活用」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」、最も低かった施策は「18. 就労環境の整備」となりました。

「18. 就労環境の整備」は重要度が高い施策であるものの、満足度は低くなっていることがうかがえます。

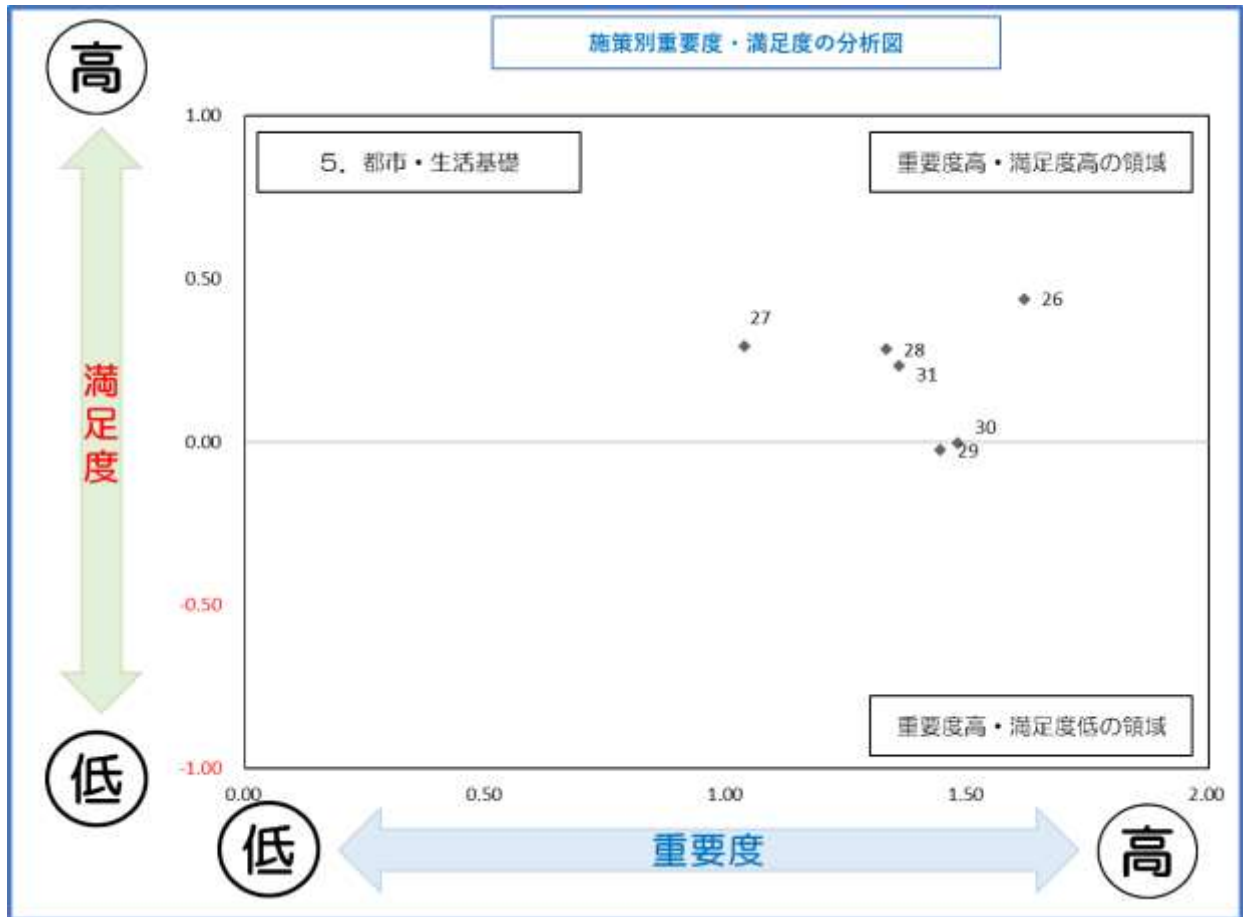
< 4. 暮らし・環境 >



暮らし・環境分野に係る施策は7施策あり、「19. 災害に強い防災体制の推進」「20. 消防・救急体制の充実」「22. 地域コミュニティの推進」「23. 自然・生活環境の保全」「24. 環境衛生の推進」「25. 良好な市街地・住環境形成の推進」の6施策において重要度高・満足度高に分類されています。

暮らし・環境分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「20. 消防・救急体制の充実」、最も低かった施策は「22. 地域コミュニティの推進」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「20. 消防・救急体制の充実」、最も低かった施策は「21. 防犯・空き家対策の推進」となりました。

< 5. 都市・生活基礎 >

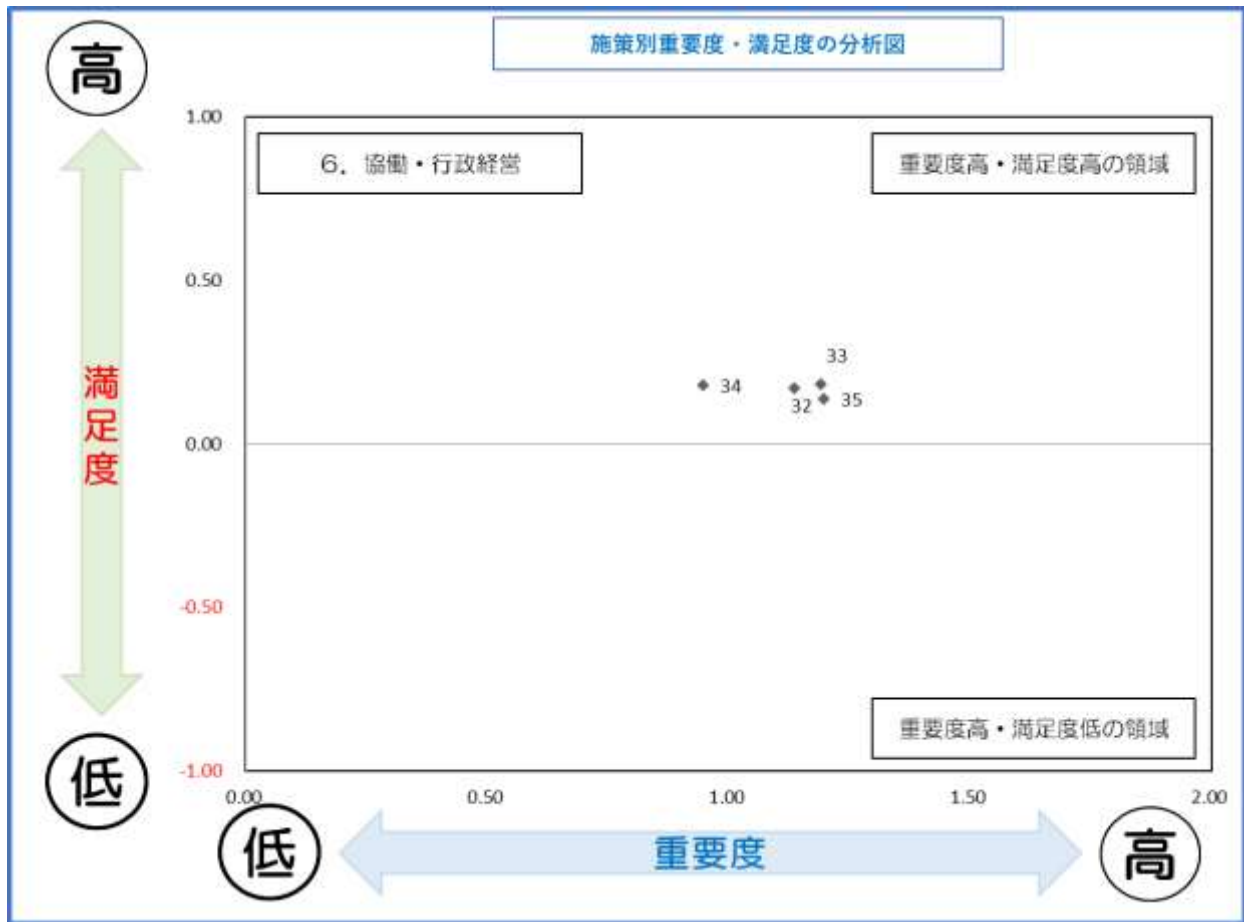


都市・生活基礎分野に係る施策は6施策あり、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」「27. 自然・文化を生かした景観形成」「28. 治水対策の推進」「31. 人権・個性が尊重される社会の実現」の4施策において重要度高・満足度高に分類されています。

都市・生活基礎分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、最も低かった施策は「27. 自然・文化を生かした景観形成」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、最も低かった施策は「29. 道路・交通環境整備の推進」となりました。



< 6. 協働・行政経営 >



協働・行政経営分野に係る施策は4施策あり、すべての施策が重要度高・満足度高に分類されています。

協働・行政経営分野の中で、重要度が最も高かった施策は、「35. 行財政運営の推進」、最も低かった施策は「34. 市民との協働・交流の推進」となりました。また、満足度が最も高かった施策は「33. 情報発信・共有の推進」、最も低かった施策は「35. 行財政運営の推進」となりました。

## (2) 地区別

### ➤ 深谷地区

【重要度・満足度マトリックス表】

<重要度低・満足度高>		<重要度高・満足度高>	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	2	保育サービスの充実
13	スポーツ・レクリエーションの推進	4	健康づくりの推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	6	地域福祉の推進
23	自然・生活環境の保全	8	障害者福祉の推進
24	環境衛生の推進	19	災害に強い防災体制の推進
25	良好な市街地・住環境形成の推進	20	消防・救急体制の充実
27	自然・文化を生かした景観形成	22	地域コミュニティの推進
28	治水対策の推進	26	水の安定供給と下水処理の適正化
31	人権・個性が尊重される社会の実現		
<重要度低・満足度低>		<重要度高・満足度低>	
5	地域医療体制の充実	7	高齢者福祉の推進
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
29	道路・交通環境整備の推進	10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
30	公共交通の維持確保と交通安全の推進	11	生涯学習の推進
32	男女共同参画の実現	16	商工業の振興
33	情報発信・共有の推進	17	観光資源の整備と活用
		18	就労環境の整備
		21	防犯・空き家対策の推進
		34	市民との協働・交流の推進
		35	行財政運営の推進

深谷地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「2. 保育サービスの充実」、「6. 社会福祉の推進」、「18. 就労環境の整備」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、などの施策が挙げられ、このうち、「18. 就労環境の整備」、「21. 防犯・空き家対策の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」、「32. 男女共同参画の実現」、「33. 情報発信・共有の推進」などの施策が挙げられます。これらの施策については、深谷地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 藤沢地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
1	子育て支援の充実	2	保育サービスの充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	4	健康づくりの推進
23	自然・生活環境の保全	19	災害に強い防災体制の推進
24	環境衛生の推進	20	消防・救急体制の充実
25	良好な市街地・住環境形成の推進	26	水の安定供給と下水処理の適正化
27	自然・文化を生かした景観形成	35	行財政運営の推進
28	治水対策の推進		
29	道路・交通環境整備の推進		
31	人権・個性が尊重される社会の実現		
33	情報発信・共有の推進		
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
5	地域医療体制の充実	3	青少年の健全育成の推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	6	地域福祉の推進
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	7	高齢者福祉の推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	8	障害者福祉の推進
30	公共交通の維持確保と交通安全の推進	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
		10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
		11	生涯学習の推進
		16	商工業の振興
		17	観光資源の整備と活用
		18	就労環境の整備
		21	防犯・空き家対策の推進
		22	地域コミュニティの推進
		32	男女共同参画の実現
		34	市民との協働・交流の推進

藤沢地区では、重要度が高い施策として、「2. 保育サービスの充実」、「4. 健康づくりの推進」、「18. 就労環境の整備」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、などの施策が挙げられ、このうち「18. 就労環境の整備」、「21. 防犯・空き家対策の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「13. スポーツ・レクリエーションの推進」、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」が挙げられます。これらの施策については、藤沢地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 幡羅地区

【重要度・満足度マトリックス表】

<重要度低・満足度高>		<重要度高・満足度高>	
4	健康づくりの推進	1	子育て支援の充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	2	保育サービスの充実
13	スポーツ・レクリエーションの推進	3	青少年の健全育成の推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
22	地域コミュニティの推進	19	災害に強い防災体制の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	20	消防・救急体制の充実
31	人権・個性が尊重される社会の実現	23	自然・生活環境の保全
33	情報発信・共有の推進	24	環境衛生の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
<重要度低・満足度低>		<重要度高・満足度低>	
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	5	地域医療体制の充実
11	生涯学習の推進	6	地域福祉の推進
16	商工業の振興	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	8	障害者福祉の推進
32	男女共同参画の実現	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援
34	市民との協働・交流の推進	18	就労環境の整備
35	行財政運営の推進	21	防犯・空き家対策の推進
		29	道路・交通環境整備の推進
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進

幡羅地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「5. 地域医療体制の充実」、「18. 就労環境の整備」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、「21. 防犯・空き家対策の推進」などの施策が挙げられます。比較的重要度が高い施策の中で、「18. 就労環境の整備」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、に関しては、重要度に比べ満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「16. 商工業の振興」、「17. 観光資源の整備」、「32. 男女共同参画の実現」、「34. 市民との協働・交流の推進」などの施策が挙げられます。これらの施策については、幡羅地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 明戸地区

【重要度・満足度マトリックス表】

<重要度低・満足度高>		<重要度高・満足度高>	
9	「生きる力」を育む学校教育の推進	1	子育て支援の充実
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	2	保育サービスの充実
11	生涯学習の推進	3	青少年の健全育成の推進
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	4	健康づくりの推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	8	障害者福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	20	消防・救急体制の充実
23	自然・生活環境の保全	24	環境衛生の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	26	水の安定供給と下水処理の適正化
34	市民との協働・交流の推進		
<重要度低・満足度低>		<重要度高・満足度低>	
15	農畜産物の販売流通体制の充実	5	地域医療体制の充実
16	商工業の振興	6	地域福祉の推進
18	就労環境の整備	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援
25	良好な市街地・住環境形成の推進	19	災害に強い防災体制の推進
		21	防犯・空き家対策の推進
		28	治水対策の推進
		29	道路・交通環境整備の推進
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
		31	人権・個性が尊重される社会の実現
		32	男女共同参画の実現
		33	情報発信・共有の推進
		35	行財政運営の推進

明戸地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「35. 行財政運営の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「29. 道路・交通環境整備の推進」や「35. 行財政運営の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」、「16. 商工業の振興」、「25. 良好な市街地・住環境形成の推進」などの施策が挙げられます。これらの施策については、明戸地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 大寄地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
2	保育サービスの充実	1	子育て支援の充実
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	4	健康づくりの推進
11	生涯学習の推進	5	地域医療体制の充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	6	地域福祉の推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	8	障害者福祉の推進
16	商工業の振興	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
17	観光資源の整備と活用	19	災害に強い防災体制の推進
		23	自然・生活環境の保全
		24	環境衛生の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
		31	人権・個性が尊重される社会の実現
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
3	青少年の健全育成の推進	7	高齢者福祉の推進
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	20	消防・救急体制の充実
15	農畜産物の販売流通体制の充実	21	防犯・空き家対策の推進
18	就労環境の整備	28	治水対策の推進
22	地域コミュニティの推進	29	道路・交通環境整備の推進
27	自然・文化を生かした景観形成		
32	男女共同参画の実現		
33	情報発信・共有の推進		
34	市民との協働・交流の推進		
35	行財政運営の推進		

大寄地区では、重要度が高い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「8. 障害者福祉の推進」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」に関しては満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」などの施策が挙げられます。これらの施策については、大寄地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 八基地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
1	子育て支援の充実	20	消防・救急体制の充実
2	保育サービスの充実	23	自然・生活環境の保全
3	青少年の健全育成の推進	24	環境衛生の推進
11	生涯学習の推進	25	良好な市街地・住環境形成の推進
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	26	水の安定供給と下水処理の適正化
13	スポーツ・レクリエーションの推進	35	行財政運営の推進
22	地域コミュニティの推進		
27	自然・文化を生かした景観形成		
31	人権・個性が尊重される社会の実現		
32	男女共同参画の実現		
33	情報発信・共有の推進		
34	市民との協働・交流の推進		
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
4	健康づくりの推進	5	地域医療体制の充実
6	地域福祉の推進	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援
7	高齢者福祉の推進	18	就労環境の整備
8	障害者福祉の推進	19	災害に強い防災体制の推進
9	「生きる力」を育む学校教育の推進	21	防犯・空き家対策の推進
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	28	治水対策の推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	29	道路・交通環境整備の推進
16	商工業の振興	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
17	観光資源の整備と活用		

八基地区では、重要度が高い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「24. 環境衛生の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」などの施策が挙げられ、このうち、「5. 地域医療体制の充実」、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「21. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「7. 高齢者福祉の推進」、「9. 「生きる力」を育む学校教育の推進」、「10. 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上」などの施策が挙げられます。これらの施策については、八基地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 豊里地区

【重要度・満足度マトリックス表】

<重要度低・満足度高>		<重要度高・満足度高>	
2	保育サービスの充実	1	子育て支援の充実
3	青少年の健全育成の推進	6	地域福祉の推進
4	健康づくりの推進	8	障害者福祉の推進
9	「生きる力」を育む学校教育の推進	24	環境衛生の推進
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	31	人権・個性が尊重される社会の実現
11	生涯学習の推進		
12	郷土の歴史・文化の継承と活用		
13	スポーツ・レクリエーションの推進		
15	農畜産物の販売流通体制の充実		
27	自然・文化を生かした景観形成		
33	情報発信・共有の推進		
34	市民との協働・交流の推進		
35	行財政運営の推進		
<重要度低・満足度低>		<重要度高・満足度低>	
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	5	地域医療体制の充実
16	商工業の振興	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	18	就労環境の整備
22	地域コミュニティの推進	19	災害に強い防災体制の推進
23	自然・生活環境の保全	20	消防・救急体制の充実
32	男女共同参画の実現	21	防犯・空き家対策の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
		29	道路・交通環境整備の推進
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進

豊里地区では、重要度が高い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「6. 地域福祉の推進」、「18. 就労環境の整備」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「24. 環境衛生の推進」、「31. 人権・個性が尊重される社会の実現」などの施策が挙げられ、このうち、「5. 地域医療体制の充実」、「18. 就労環境の整備」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「17. 観光資源の整備と活用」、「32. 男女共同参画の実現」などの施策が挙げられます。これらの施策については、豊里地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。



➤ 上柴地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
4	健康づくりの推進	1	子育て支援の充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	2	保育サービスの充実
13	スポーツ・レクリエーションの推進	5	地域医療体制の充実
27	自然・文化を生かした景観形成	19	災害に強い防災体制の推進
33	情報発信・共有の推進	20	消防・救急体制の充実
		23	自然・生活環境の保全
		24	環境衛生の推進
		25	良好な市街地・住環境形成の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
3	青少年の健全育成の推進	7	高齢者福祉の推進
6	地域福祉の推進	8	障害者福祉の推進
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
11	生涯学習の推進	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援
15	農畜産物の販売流通体制の充実	18	就労環境の整備
16	商工業の振興	21	防犯・空き家対策の推進
17	観光資源の整備と活用	29	道路・交通環境整備の推進
22	地域コミュニティの推進	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
32	男女共同参画の実現	31	人権・個性が尊重される社会の実現
34	市民との協働・交流の推進		
35	行財政運営の推進		

上柴地区では、重要度が高い施策として、「5. 地域医療体制の充実」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「6. 地域福祉の推進」、「16. 商工業の振興」などの施策が挙げられます。これらの施策については、上柴地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 南地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	1	子育て支援の充実
13	スポーツ・レクリエーションの推進	4	健康づくりの推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	7	高齢者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	8	障害者福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
31	人権・個性が尊重される社会の実現	20	消防・救急体制の充実
32	男女共同参画の実現	23	自然・生活環境の保全
		24	環境衛生の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
3	青少年の健全育成の推進	2	保育サービスの充実
11	生涯学習の推進	5	地域医療体制の充実
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	6	地域福祉の推進
16	商工業の振興	18	就労環境の整備
25	良好な市街地・住環境形成の推進	19	災害に強い防災体制の推進
33	情報発信・共有の推進	21	防犯・空き家対策の推進
34	市民との協働・交流の推進	29	道路・交通環境整備の推進
35	行財政運営の推進		

南地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「5. 地域医療体制の充実」、「8. 障害者福祉の推進」、「18. 就労環境の整備」、「20. 消防・救急体制の充実」、「29. 道路・交通環境整備の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「5. 地域医療体制の充実」、「18. 就労環境の整備」、「29. 道路・交通環境整備の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「3. 青少年の健全育成の推進」、「16. 商工業の振興」などの施策が挙げられます。これらの施策については、南地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 岡部地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
11	生涯学習の推進	2	保育サービスの充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	4	健康づくりの推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	7	高齢者福祉の推進
15	農畜産物の販売流通体制の充実	8	障害者福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	9	「生きる力」を育む学校教育の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	19	災害に強い防災体制の推進
28	治水対策の推進	20	消防・救急体制の充実
31	人権・個性が尊重される社会の実現	23	自然・生活環境の保全
		24	環境衛生の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	5	地域医療体制の充実
16	商工業の振興	6	地域福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援
25	良好な市街地・住環境形成の推進	18	就労環境の整備
32	男女共同参画の実現	21	防犯・空き家対策の推進
33	情報発信・共有の推進	29	道路・交通環境整備の推進
34	市民との協働・交流の推進	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
35	行財政運営の推進		

岡部地区では、重要度が高い施策として、「7. 高齢者福祉の推進」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「22. 地域コミュニティの推進」、「34. 市民との協働・交流の推進」などの施策が挙げられます。これらの施策については、岡部地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 川本地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
11	生涯学習の推進	2	保育サービスの充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	4	健康づくりの推進
25	良好な市街地・住環境形成の推進	6	地域福祉の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	7	高齢者福祉の推進
32	男女共同参画の実現	8	障害者福祉の推進
		9	「生きる力」を育む学校教育の推進
		10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
		20	消防・救急体制の充実
		24	環境衛生の推進
		26	水の安定供給と下水処理の適正化
		28	治水対策の推進
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
13	スポーツ・レクリエーションの推進	5	地域医療体制の充実
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	18	就労環境の整備
15	農畜産物の販売流通体制の充実	19	災害に強い防災体制の推進
16	商工業の振興	21	防犯・空き家対策の推進
17	観光資源の整備と活用	23	自然・生活環境の保全
22	地域コミュニティの推進	29	道路・交通環境整備の推進
33	情報発信・共有の推進	30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
34	市民との協働・交流の推進	31	人権・個性が尊重される社会の実現
35	行財政運営の推進		

川本地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「9. 「生きる力」を育む学校教育の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「26. 水の安定供給と下水処理の適正化」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「21. 防犯・空き家対策の推進」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「15. 農畜産物の販売流通体制の充実」、「22. 地域コミュニティの推進」が挙げられます。これらの施策については、川本地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

➤ 花園地区

【重要度・満足度マトリックス表】

＜重要度低・満足度高＞		＜重要度高・満足度高＞	
3	青少年の健全育成の推進	1	子育て支援の充実
11	生涯学習の推進	2	保育サービスの充実
12	郷土の歴史・文化の継承と活用	4	健康づくりの推進
13	スポーツ・レクリエーションの推進	10	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上
15	農畜産物の販売流通体制の充実	19	災害に強い防災体制の推進
16	商工業の振興	20	消防・救急体制の充実
23	自然・生活環境の保全	24	環境衛生の推進
27	自然・文化を生かした景観形成	25	良好な市街地・住環境形成の推進
33	情報発信・共有の推進	26	水の安定供給と下水処理の適正化
34	市民との協働・交流の推進		
＜重要度低・満足度低＞		＜重要度高・満足度低＞	
9	「生きる力」を育む学校教育の推進	5	地域医療体制の充実
14	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	6	地域福祉の推進
17	観光資源の整備と活用	7	高齢者福祉の推進
21	防犯・空き家対策の推進	8	障害者福祉の推進
22	地域コミュニティの推進	18	就労環境の整備
32	男女共同参画の実現	28	治水対策の推進
35	行財政運営の推進	29	道路・交通環境整備の推進
		30	公共交通の維持確保と交通安全の推進
		31	人権・個性が尊重される社会の実現

花園地区では、重要度が高い施策として、「1. 子育て支援の充実」、「8. 障害者福祉の推進」、「19. 災害に強い防災体制の推進」、「20. 消防・救急体制の充実」、「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」などの施策が挙げられ、このうち、「8. 障害者福祉の推進」、や「29. 道路・交通環境整備の推進」、「30. 公共交通の維持確保と交通安全の推進」に関しては、満足度が低いことから、施策の充実が求められます。

また、重要度、満足度がともに低い施策として、「14. 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援」、「21. 防犯・空き家対策の推進」が挙げられます。これらの施策については、花園地区の市民は、重要視しておらず、かつ、満足もしていないことがうかがえます。

#### 4. 自由記入欄（まちづくり全般について） ※原文の通り

自由意見から主要な意見を抽出し、施策分野ごとに分類しました。

##### （１）＜子育て・保健・福祉＞に関する意見

- ・子育てしやすい、子育て世代を支えてくれるようなまちづくりを希望します。経済的な面で子どもを産むのをあきらめることのないよう、仕事と両立できるように保育の面も充実しているまちだと嬉しいです。
- ・2歳の子供を子育てしていますが、深谷市には児童館がなく不便だと感じています。雨の日など子供を遊ばせられる場所があると嬉しいです。 ・第2子の保育料無償化はとてもありがたく感じています。 ・町の街灯が少ないと思います。（夜道危ない）
- ・ワクチン接種は他市に比べると効率が悪く時期も遅かったので、すばやい対応を希望します。
- ・私は昨年、身体障害者だった家族を亡くしました。体調が悪化する中、車イスや医療用介護ベッド等の給付決定が出るまでに時間がかかり過ぎと思います。申請を出す時点で、既に必要となっている場合がほとんどであるはずですが、それでも申請して決定が出るまでに2ヶ月も待つのは 毎日の介護する家族、本人も、もちろん大変なことです。是非改善してほしいです。
- ・子供に対する支援は良く耳にしますが高齢者に対する支援はまだ不十分であると思います。この先自分が高齢になった時安心して生活をしていけるかとても心配です。社会が皆安心して生活できるようよろしくお願いします。
- ・土日祝日も仕事があるため、子供を預ってくれる保育施設があると良い。また、遠方に勤めているため、延長保育が19時までだとフルタイム復帰が難しい。（妻の意見） ・知り合いの方で土曜日の午後の時間帯に子供の救急を要請したら、診てくれる小児科が県北エリアで一つもなく遠方の病院に搬送されたというお話を聞きました。平日夜間と土曜日の夜間、日曜祝日の小児救急体制は確保されているようですが、土曜日の小児科外来は昼12時までがほとんどです。土曜日昼12時から18時までの小児救急体制の確保を早急に進めて頂きたい。 ・深谷赤十字病院は救命センターの役割を担っており、深谷赤十字病院に頼るような市の医療体制は大変危険です。市内に総合病院が少ないので市内に深谷赤十字以外の総合病院を作れないものか。 ・籠原止まりの電車が多く、熊谷と深谷では深谷のほうが電車で来訪するハードルが高い。籠原駅から深谷駅までの公共交通機関の確保を充実すべき。 ・深谷駅周辺に商業施設が少ないので駅周辺の商業の活性化を進めるべき。市外からの観光客は車保有者でないものも多い。特に若者。若者は駅周辺の環境を良く見るので若者を市内に呼び込むためには駅周辺の魅力ある環境づくりが重要。

## (2) <教育・文化>に関する意見

- ・ 深谷文化会館での演奏会などの情報やイベントを広報に掲載してほしい。文化レベルが低いと思っています。
- ・ セタや深谷まつりなど昔のように活気あるイベントにしてほしいです 深谷まつりに関して、中学・高校生が参加しやすいように、学校の協力がほしいです
- ・ 深谷には、文化的な施設や取り組みが全く無い。美術館が全くなく、そうしたもようしが無い。長野県に行けば、少なくとも小さな市にもそうした施設が少なくとも一つはある。従って、美術館、博物館、音楽ホール等の建設を直ちに推進して頂きたい。
- ・ 役所の情報セキュリティの甘さが心配。いつ個人情報流出してもおかしくないような方法でデータ（メールへの添付）のやりとりをしている人がいる。情報系（IT系）に強くない企業や個人が、そういった危険性を認識できるように情報セキュリティの教育に力を入れた方が良い。（市役所のホームページにセキュリティ教育のEラーニングを用意して周知するなど）最近ではマイナンバーカード発行を推奨しているようなので、発行時に教育を受けさせるなどして意識を高めておかないと、今後マイナンバー関連の問題が多くなるのではないかと思います。

## (3) <産業振興>に関する意見

- ・ 農産物のアピール不足を感じる 農道が整備されておらず車で通れない場所がある
- ・ 花園アウトレットも今年の秋オープンに向けて 深谷市のアピールも大事な事と思います。（花や野菜等）
- ・ 観光、商業施設、娯楽が少ない（働き口も少ない） →若者が他の市から来ない、深谷市から他の市へ移る →地域の高齢化 ・熊谷市と違い、バスやタクシーなど公共の移動手段が少なく、とても不便。 ・学生やファミリーには住みやすい深谷市だが若い働き手には仕事も娯楽もなく、住みにくい。
- ・ 深谷市からの若者流出を防ぐため、積極的な企業誘致を行っていただきたいです。また、定住を促すため遠隔（深谷）から仕事ができるような人材育成（プログラミング等）を他地域より強化したらよいと思います。子どもが安心して楽しく過ごせる施設が少ないので、検討していただきたいです。定年退職された年配者の知の資産を活用して、子どもたちに様々な分野の教育やプレゼンテーションをしていただければいいな、と思います。<子育て支援、育成、文化の継承、地域コミュニティ> 他… ・渋沢栄一のお札の顔にあやかり「お金と福祉の街」の目標をかかげる。<お金をうみだし、安定した街の整備を> ・スペインと友好関係を結び、「カルソッツ」のお店で街づくりをする。<産業復興>

#### (4) <暮らし・環境>に関する意見

- ・①自治に入会している人が年々少なくなっている ②市職員であっても、自治会に入会していな者もいる ③一般家庭ゴミの件 市の方がきちんと、指示方法を行うべきだ（あいまいの事を言ってわだめだ）
- ・今回、自治会などの活動に参加させていただいています。はっきり言うと、とても、生活の負担になっています。夏祭や、イベントが多く、集まって話し合うとが多くとても大変な作業です。（買い出しなどもあり） 地区の運動会などはもう廃止してもいいのかと思います。深谷に引っ越してきて、地区の行事の多さにびっくりしました。都内では（太田区・足立区）「盆おどり」という夏のお祭りが1つありました。公園か、学校で行い、お年よりは、やぐらの上でござります。出店がでて色々なゲームなども行います、行事はこの1つのみです。沢山の行事もいいと思いますが、負担を考えるとこういうイベント1つだけでも十分かと思います。
- ・昼夜のパトロール 皆が安全に安心して住める町にこれからもしてほしい…
- ・まちづくりでは無いのですが、野菜泥棒が年々酷くなっていて困っています。近隣の伊勢崎市の農家さんに伺った話では「野菜泥棒は犯罪です」と書いてあるのぼり旗を立てた所、激減したそうです。そう言った市がある事を知っていただけたらと思います。
- ・世帯数が増え、ゴミ収集所の問題が出て来ました。月曜日にはゴミが溢れ、カラスが漁っています、他の市ではネットが無料で配布されていますが、深谷市ではどの様に考えているのでしょうか？どの町でも、住民は頭をかかえていると思います。ぜひ善処をお願いします。
- ・今あき家、あき地などが多くなっていますが、草や木が大きくなり道路にまで出ている所が沢山あります。特に通学路になっている所など危険です。草や木をよけるために歩道から急に道路に出る人もあり、車もそれをよけるために急ブレーキをふんだり大まわりをする様になります。事故になるのではないかと心配になります。（特に雨の日です。）
- ・まちづくりに感しては家の周りでは、まったく関わりないと思う。何を言っても変わらない。ゴミの問題が一番だとは思う。毎日収集してくれるのはありがたい。全国を見てもこんなに収集日があつて指定袋がないのはとてもありがたい。このままがんばってほしいと思います。家の周りでは、あたりまえの様にゴミを燃して平気なかおをしています。道路脇にかかげてある、野焼きは中止とか書いてあるのも無視。トラブルになるのでだまっているしかない。こんな現状。中心地などはそんな事はないと思いますが、少しはなれた所ではそんな事は日常です。取りしまりの強化を希望。通報すれば言った方が、加害者扱い 理不尽な世の中にビックリです。道路の状態も少し中に入ればデコボコ車のタイヤをいためそうです。少しでも職員さんや市議の人々が見てくれればと思います。ゴミは本当に本当にありがたい。きれいなまちづくりはゴミだと思います。よろしくをお願いします。



(5) <都市・生活基盤>に関する意見

- ・街灯を増やして欲しい。横断歩道を増やして欲しい。
- ・深谷駅前赤城乳業本社前の交差点の点字ブロック等早急に修理、対処願いたい。他地域のブロック点検もお願いします。
- ・通学路に設置されているカーブミラーの鏡面劣化が多い。安全面においても問題である。点検を希望します。(西大沼地区より)
- ・家の前の道は側溝がなく大雨が降るとわが家の庭に雨水が流れて溢れてしまいます、一日も早く道路整備をお願いします。
- ・市内にある小さな公園を廃止してブロック別に運動公園やふれあい動物園みたいなものがあれば良いと思う。最近の公園は草がひどく遊具が古い！
- ・アウトレットが出来たら交通がどうなるか不安。花園に行けなくなるのではないかと感じてしまう。(大型連休)　トラックなど大型の車がたくさん通るのに歩道がない所があるので、早く作ってほしい。
- ・段々と高齢化が増えていく中で、車での交通手段しかなく、私の地域のくるりんも定時での使い方が無くなり、とても不便になりました。一搬の交通のバスも無くなり籠原駅～深谷駅のバスも無くなりとても辛いです。今は車を不安になりながら運転をしていますが、いつ事故を起すか心配です。他の市では、デマンドタクシーというのがあり、低料金で外出できる機会があり、とてもうらやましいと感じます。一人暮らしの高齢者が増えて、外出する足が無くなるのは一番大変です。家に閉じ込める事により認知症が進むことにもなるのではないかと思います。どうか高齢者に優しいまちづくりの運営をお願い致します。
- ・深谷市北部在住です。この度のアンケートで改めて感じたのは、国道14号の道幅の狭さです。車道というより、自転車の通る幅がなくて、学生さんが通学の際に、毎日危い思いをしていると思います。道はボコボコでハンドルをとられたり、草ボーボーで車道を通らないといけなかったり…深谷でもレンタサイクルを行っていると思いますが、渋沢栄一記念館や尾高惇忠生家へ自転車で行くとなると、どれだけ道が危険か、いまいちど、検討していただきたいものです。
- ・県道は年々交通量が増えています。通行する車も大型のものが何と多いことか。(バイパスがあるので、そちらを利用してもらえないかと思いますが、抜け道になっているのかとも考えます。)是非歩道をつくっていただきたいものです。・道路が痛んでいるところや、白線や標識も古くなり、安全面で心配です。街なかには整備されているところ(道路が広くなり、歩道も両わきにある 常盤町の辺り 交通量がとても多いとは思えませんが…)もありますが、中央から遠くなるに従い、見放されているのかと感じます。・市からの放送が聞こえずらいです。窓を開けると、車の騒音で内容が把握できないことがよくあります。・バス停が遠くなり、本数もへっていま

す。車の運転ができなくなったら、さぞかし不便だろうと、今から心配です。 ・新型コロナウイルスワクチン接種は地域の公民館等近くでできるとよいと思います。

#### (6) <協働・行政経営>に関する意見

- ・ふっかちゃんのイメージがとても良いと思います。また、イベントを復活して欲しいです。
- ・まちづくりとは違うと思いますが、他地域に比べて水道代がとても高いです。
- ・外国人を雇うのはいいと思うが、ルールやマナーについてもちゃんと教育をするように市からも要請して欲しい。または、そういう教育や講座会等を開いて、ルール、マナーを学んでもらい、お互い住みやすい社会作りをしてもらいたい。
- ・市民が市のために動くボランティア活動を増やしていただきたいです。ネットなどではなく郵送で募集のちらしを送っていただいた方が市の取り組みがより市民の方に伝わると思います。
- ・小山川サイクリングロードの整備ありがとうございます。定期的な草刈りで助かっております。 ・市政の状況があまり伝わっていません。インターネット、各種SNSを利用した発信をお願い致します、公報フカヤ、が私にはあまりまわってきません。 ・市で単身者の婚活推進をお願いしたいですね。30～40代向きの。
- ・行制の質問 ・マイナンバーカードの活用ですがいっこうに進んでいない様ですが、真剣に取り組んでいるのですか？ ・早くから作れのお達しで用意したのですが、いつになったら活用があるのか？どんな使い道になるのかさっぱり分かりません。今現在どんな状況で進んでいるのか知りたいです。 ・深谷市が発展してすばらしい市になる事を願います。
- ・人権、男女共同参画等、そもそもその言葉が国等の行政でつかわれていることが、まったくもって進んでいない（重要と考えていない）ことのあらわれだと思う。ネギーなどもそうだが、取り組みや考えがすばらしいことは多いがそれが本当に必要な人に届いているのか、必要のない人に厚く届いてしまっていないか、そこが重要なのでは？市の職員の方々の努力に対して効果がやすいものに時間を費やさないようお願いしたい。
- ・これから子どもを産み育てるにあたり、どんな制度や支援があるのかもっと知りたい。また、県外からの移住のため周囲からの情報が少ない。そのため地域との関わりや交流も少ない。もっと地域と関わっていきたい。 ・地域の開発については、目に見えて分かり、とてもいいと思う。（駅前と市役所周辺、アウトレット） ・深谷市のふるさと納税で“ウクライナへの支援金”はとてもよかったと思う、もっと他県へ深谷市のPRを行ってもらいたい（期待すること）

### Ⅲ. アンケート調査結果の単純集計結果

#### 1. 深谷市のまちづくりについて

深谷市の現状を把握し、今後のまちづくりの参考とします。該当する番号に○をつけてください。

##### 1. 深谷市のまち全体の印象について

問1. これからもずっと深谷市に住み続けたいと思いますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. ずっと住み続けたい  | 64.6% |
| 2. 当分の間は住みたい  | 30.6% |
| 3. できれば転居したい  | 4.1%  |
| 4. すぐにでも転居したい | 0.3%  |

##### 2. 子育て・保健・福祉について

問1. 地域で子どもを育む活動に参加していますか。(例：ボランティア活動、スポーツの指導、子ども会やPTA活動、青少年相談員やボーイスカウト等の活動など)

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 参加している     | 11.1% |
| 2. ときどき参加している | 8.8%  |
| 3. あまり参加していない | 8.4%  |
| 4. 参加していない    | 69.7% |

問2. 小学生以下（小学校6年生まで）のお子さんを持つ保護者の方にお尋ねします。仕事と子育てを両立できていると思いますか。

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 両立できていると思う      | 11.7% |
| 2. ある程度は両立できていると思う | 65.8% |
| 3. あまり両立できていないと思う  | 15.0% |
| 4. 両立できていないと思う     | 7.5%  |

問3. 中学生以下（中学校3年生まで）のお子さんを持つ保護者の方にお尋ねします。深谷市が子育てのしやすいまちだと思いますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. たいへんそう思う  | 11.3% |
| 2. ある程度はそう思う | 66.0% |
| 3. あまりそう思わない | 19.3% |
| 4. そう思わない    | 3.3%  |

問4. 普段の生活で健康づくり（運動や歩くことなど）に取り組んでいますか。

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 日常的に取り組んでいる | 31.1% |
| 2. ときどき取り組んでいる | 29.6% |
| 3. あまり取り組んでいない | 22.7% |
| 4. 取り組んでいない    | 15.8% |

問5. 定期的に健康診断や人間ドック、がん検診のいずれかを受けていますか。

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1. 受けている  | 77.5% |
| 2. 受けていない | 21.5% |

問6. かかりつけのお医者さんはいますか。

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. いる  | 74.3% |
| 2. いない | 24.7% |

問7. 健康的な食生活に気をつけていますか。

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 日常的に気をつけている | 42.7% |
| 2. ときどき気をつけている | 41.1% |
| 3. あまり気をつけていない | 12.6% |
| 4. 気をつけていない    | 2.7%  |

問8. 日常生活で困ったことがあった時に、手助けしてくれる人（民生委員・児童委員や自治会など）はいますか。

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. いる  | 47.1% |
| 2. いない | 49.7% |

##### 3. 教育・文化について

問1. 生涯学習（自発的な学習、自己啓発活動など）を実践していますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 日常的に実践している | 11.6% |
| 2. ときどき実践している | 19.7% |
| 3. あまり実践していない | 27.8% |
| 4. 実践していない    | 38.6% |

問2. この1年間に芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会がありましたか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. たいへんあった  | 2.5%  |
| 2. ある程度はあった | 16.2% |
| 3. あまりなかった  | 29.4% |
| 4. なかった     | 50.2% |

問3. スポーツやレクリエーション活動をどの程度行っていますか。

※スポーツ・レクリエーション活動は、以下のような活動も含まれます。

散歩・ウォーキング、ジョギング・ランニング、軽い体操、筋力トレーニング、ヨガ、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 日常的に行っている | 27.6% |
| 2. ときどき行っている | 26.6% |
| 3. あまり行っていない | 17.5% |
| 4. 行っていない    | 27.6% |

#### 4. 産業振興について

問1. 市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目にすることがありますか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. よく目にする   | 15.8% |
| 2. たまに目にする  | 45.0% |
| 3. あまり目にしない | 26.0% |
| 4. 目にしない    | 12.2% |

問2. 食材等の購入の際に、深谷産の農畜産物を購入することを心掛けていますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. いつも心掛けている  | 21.0% |
| 2. たまに心掛けている  | 42.4% |
| 3. あまり心掛けていない | 26.4% |
| 4. 心掛けていない    | 9.8%  |

問3. ご自身またはご家族の仕事と生活のバランスは取れていますか(休暇の取得状況や家族と過ごす時間の確保などは十分ですか)。

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 1. とてもバランスが取れている  | 17.5% |
| 2. ややバランスが取れている   | 52.9% |
| 3. あまりバランスが取れていない | 19.0% |
| 4. バランスが取れていない    | 7.9%  |

#### 5. 暮らし・環境について

問1. ハザードマップで自宅等の災害の危険性(自宅等の浸水想定が地震時の揺れやすさなど)について確認しましたか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. 確認した    | 72.4% |
| 2. 確認していない | 27.3% |

問2. ご自宅に災害に対する備え(備蓄品など)はありますか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. 十分ある    | 6.6%  |
| 2. ある程度はある | 53.8% |

- |          |       |
|----------|-------|
| 3. あまりない | 28.7% |
| 4. ない    | 10.2% |

問3. 地震発生時の避難所・避難場所を知っていますか。

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. 知っている | 77.7% |
| 2. 知らない  | 21.3% |

問4. この1年間で消費者トラブルに巻き込まれたことはありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 1.7%  |
| 2. ない | 97.8% |

問5. 日ごろ、防犯対策を行っていますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 十分行っている    | 7.6%  |
| 2. ある程度は行っている | 58.7% |
| 3. あまり行っていない  | 25.4% |
| 4. 行っていない     | 7.4%  |

問6. 地域活動(自治会での活動など)への程度参加していますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 日常的に参加している | 14.0% |
| 2. ときどき参加している | 26.0% |
| 3. あまり参加していない | 28.4% |
| 4. 参加していない    | 31.2% |

問7. 環境に配慮した取組(省エネ(節電を含みます)、自然や川の保全活動など)を行っていますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 日常的に行っている | 22.8% |
| 2. ときどき行っている | 40.3% |
| 3. あまり行っていない | 22.9% |
| 4. 行っていない    | 13.5% |

問8. 環境問題(地球温暖化問題、エネルギー問題、生態系の問題など)を以前より意識するようになりましたか。

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 1. 以前より意識するようになった | 56.7% |
| 2. 変わらない          | 41.4% |
| 3. 以前より意識しなくなった   | 1.4%  |

問9. 普段からごみの減量化やリサイクルを心がけていますか。

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. いつも心がけている   | 32.5% |
| 2. ある程度は心がけている | 52.2% |
| 3. あまり心がけていない  | 12.4% |
| 4. 心がけていない     | 2.7%  |

## 6. 都市・生活基盤について

問1. 市内の住宅、商業、工業、農業、自然などの土地利用において、相互に調和がとれていると思いますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. たいへんとれている  | 3.1%  |
| 2. ある程度はとれている | 59.6% |
| 3. あまりとれていない  | 27.5% |
| 4. とれていない     | 7.4%  |

問2. お住まい周辺の住環境に満足していますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. とても満足している  | 17.8% |
| 2. やや満足している   | 54.1% |
| 3. あまり満足していない | 20.1% |
| 4. 満足していない    | 7.1%  |

問3. あなたの身近に、自然に親しむことができる環境はありますか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. たいへんある  | 24.8% |
| 2. ある程度はある | 55.9% |
| 3. あまりない   | 18.9% |

問4. 市内に魅力的なまち並みや景観があると思いますか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. たいへんある  | 5.4%  |
| 2. ある程度はある | 46.8% |
| 3. あまりない   | 39.2% |
| 4. ない      | 7.9%  |

問5. 水害に対して安心した生活を送ることができていますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. たいへんできている  | 21.7% |
| 2. ある程度はできている | 56.9% |
| 3. あまりできていない  | 16.2% |
| 4. できていない     | 4.8%  |

問6. 市内の道路を普段利用する際に、特に不便を感じることはありませんか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. 感じない    | 15.2% |
| 2. あまり感じない | 33.5% |
| 3. ときどき感じる | 39.1% |
| 4. いつも感じる  | 11.1% |

問7. 市内の公共交通機関の利便性（時間・本数・路線・サービス）に不便を感じていますか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. 感じない    | 17.8% |
| 2. あまり感じない | 31.6% |
| 3. ときどき感じる | 30.8% |
| 4. いつも感じる  | 18.1% |

## 7. 協働・行政経営について

問1. 深谷市が人権と個性の尊重されているまちであると思いますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. たいへんそう思う  | 4.7%  |
| 2. ある程度はそう思う | 59.0% |
| 3. あまりそう思わない | 29.6% |
| 4. そう思わない    | 5.2%  |

問2. この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことはありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 6.2%  |
| 2. ない | 93.1% |

問3. お互いの人権について意識をして生活していますか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 日常的に意識している | 25.7% |
| 2. ときどき意識している | 36.1% |
| 3. あまり意識していない | 29.9% |
| 4. 意識していない    | 7.6%  |

問4. 市内で、外国人とのトラブルなどを聞いたことはありますか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. よく聞く     | 1.1%  |
| 2. ときどき聞く   | 10.6% |
| 3. あまり聞かない  | 40.6% |
| 4. 聞いたことがない | 47.4% |

問5. 性別に関係なく、家庭、地域、職場で対等な役割分担がされていると思いますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. たいへんそう思う  | 5.0%  |
| 2. ある程度はそう思う | 55.0% |
| 3. あまりそう思わない | 31.1% |
| 4. そう思わない    | 7.9%  |

問6. 男女共同参画の意識は以前と比べて変化していますか。

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 1. 以前より意識するようになった | 23.4% |
| 2. 変わらない          | 72.6% |
| 3. 以前より意識しなくなった   | 2.2%  |

問7. 配偶者などによる「電話、メール等の細かい監視」「生活費を渡さない」などの行為が暴力であると思いますか。

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. どんな場合でも暴力にあたると思う | 36.9% |
| 2. 暴力の場合とそうでない場合がある | 43.1% |
| 3. 暴力にあたるとは思わない     | 9.3%  |
| 4. 分からない            | 9.2%  |

問8. 市の財政状況や行政サービス、まちづくりのほか、行事・イベント等に興味や関心をお持ちですか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. たいへん持っている  | 12.0% |
| 2. ある程度は持っている | 56.9% |
| 3. あまり持っていない  | 22.8% |
| 4. 持っていない     | 7.9%  |

問9. 市役所における窓口対応についての満足度をお聞かせください。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. とても満足である | 26.8% |
| 2. やや満足している | 59.0% |
| 3. やや不満である  | 9.6%  |
| 4. 不満である    | 3.2%  |

問10. 市から得られる情報はその公表手段（ホームページや広報など）も含めて充実していますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. とても充実している | 14.1% |
| 2. やや充実している  | 63.6% |
| 3. やや不足している  | 18.7% |
| 4. とても不足している | 2.7%  |

問11. 市内において、市民と行政が互いに力を出し合い地域課題を解決すること（協働のまちづくり）ができていますか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. たいへんそう思う  | 5.4%  |
| 2. ある程度はそう思う | 51.7% |
| 3. あまりそう思わない | 34.4% |
| 4. そう思わない    | 6.4%  |

問12. 市民活動（NPO団体での活動やボランティア活動など）の中で、興味のある活動はありますか。

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. とてもある | 3.1%  |
| 2. 少しある  | 27.6% |
| 3. あまりない | 44.2% |
| 4. ない    | 23.3% |

問13. 市民ガーデニングボランティア、王国ボランティアを知っていますか。

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. 知っている | 46.2% |
| 2. 知らない  | 53.2% |

問14. 花と緑をいかしたまちづくり活動に興味はありますか。

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. 興味がある | 66.1% |
| 2. 興味がない | 32.6% |

問15. 花と緑をいかしたまちづくり活動に参加したいですか。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. 参加したい   | 35.2% |
| 2. 参加したくない | 62.3% |

問16. 市のオンラインサービスを利用したことがありますか。（例：各種申請手続き、相談、イベント参加、コンビニ交付など）

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 利用したことがある | 17.7% |
| 2. 利用したことがない | 81.1% |

問17. 「SDGs」という言葉を知っていますか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. よく理解している | 36.1% |
| 2. 聞いたことはある | 41.1% |
| 3. 存在を知らない  | 21.1% |

問18. 「SDGs」にどの程度関心がありますか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. とても関心がある | 14.4% |
| 2. 関心がある    | 45.7% |
| 3. 関心は無い    | 12.9% |
| 4. わからない    | 25.6% |

## 2. 深谷市の施策について

あなたは、深谷市の次の各分野別の行政施策について、どのくらい重要だと思いますか？また、現在の深谷市の取り組みについて、どのくらい満足していますか？  
それぞれあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。

### ●重要度に関する回答

	重要度 (%)					無回答 (%)	重要度(点数)
	重要である	まあ重要である	あまり重要でない	まったく重要でない	わからない		
<記入例>	①	2	3	4	5		

### ◆<子育て・保健・福祉>に関すること

子育て支援の充実	65.6	19.9	2.2	0.3	9.7	2.4	1.48
保育サービスの充実	61.8	21.9	1.9	0.6	10.6	3.2	1.42
青少年の健全育成の推進	47.4	33.8	5.1	0.6	9.8	3.4	1.22
健康づくりの推進	49.9	36.3	6.2	0.6	4.3	2.5	1.29
地域医療体制の充実	75.3	18.0	1.3	0.5	3.2	1.8	1.66
地域福祉の推進	54.4	34.6	3.6	0.6	4.5	2.3	1.39
高齢者福祉の推進	58.3	30.4	4.6	1.0	3.7	1.9	1.41
障害者福祉の推進	58.6	31.6	2.3	0.6	4.7	2.2	1.45

### ◆<教育・文化>に関すること

「生きる力」を育む学校教育の推進	53.4	31.7	4.3	0.3	7.8	2.5	1.34
家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	49.4	35.7	5.2	0.1	6.9	2.7	1.29
生涯学習の推進	32.9	44.5	12.0	0.5	7.6	2.5	0.97
郷土の歴史・文化の継承と活用	32.1	47.3	11.3	0.9	6.1	2.3	0.98
スポーツ・レクリエーションの推進	25.6	47.3	16.3	1.5	7.0	2.3	0.79

### ◆<産業振興>に関すること

農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	46.2	35.7	4.2	0.6	11.0	2.3	1.23
農畜産物の販売流通体制の充実	39.1	42.9	3.8	0.3	11.1	2.8	1.17
商工業の振興	39.5	40.9	5.0	0.3	11.3	3.1	1.14
観光資源の整備と活用	24.2	42.2	9.4	1.0	9.8	3.2	1.00
就労環境の整備	51.3	34.8	3.3	0.3	7.0	3.3	1.34

重要度 (%)					無回答 (%)	重要度(点数)
重要である	まあ重要である	あまり重要でない	まったく重要でない	わからない		

◆<暮らし・環境>に関すること

災害に強い防災体制の推進	73.0	21.1	0.8	0.3	2.7	2.2	1.66
消防・救急体制の充実	74.1	21.3	0.3	0.3	1.8	2.3	1.69
防犯・空き家対策の推進	57.1	34.3	2.8	0.3	3.2	2.4	1.45
地域コミュニティの推進	34.8	45.2	11.2	1.0	5.0	2.8	1.02
自然・生活環境の保全	47.8	41.3	5.0	0.1	3.2	2.7	1.32
環境衛生の推進	53.9	37.7	2.9	0.1	2.9	2.4	1.42

◆<都市・生活基盤>に関すること

良好な市街地・住環境形成の推進	47.9	40.6	3.8	0.0	4.5	3.2	1.33
水の安定供給と下水処理の適正化	69.3	24.3	1.3	0.0	2.7	2.4	1.62
自然・文化を生かした景観形成	35.3	45.5	12.0	0.3	4.3	2.7	1.04
治水対策の推進	50.4	35.8	3.2	0.3	7.5	2.8	1.33
道路・交通環境整備の推進	56.7	35.0	3.4	0.4	2.2	2.3	1.44
公共交通の維持確保と交通安全の推進	59.4	31.8	2.5	0.1	2.9	3.2	1.48

◆<協働・行政経営>に関すること

人権・個性が尊重される社会の実現	51.6	36.4	2.9	0.5	5.5	3.1	1.36
男女共同参画の実現	40.8	41.3	7.3	1.0	6.9	2.8	1.14
情報発信・共有の推進	40.4	44.8	5.2	0.3	6.8	2.9	1.19
市民との協働・交流の推進	31.3	46.0	12.0	1.0	6.9	2.8	0.95
行財政運営の推進	45.1	36.6	5.9	0.6	8.5	3.3	1.20



●満足度に関する回答

	満足度 (%)					無回答 (%)	満足度 (点数)
	満足である	まあ満足である	やや不満である	不満である	わからない		
<記入例>	①	2	3	4	5		

◆<子育て・保健・福祉>に関すること

子育て支援の充実	6.1	41.7	10.6	3.2	33.2	5.2	0.37
保育サービスの充実	5.9	37.7	11.5	2.8	36.6	5.6	0.32
青少年の健全育成の推進	2.9	33.4	10.7	2.2	44.3	6.5	0.24
健康づくりの推進	5.4	44.1	13.9	3.6	27.9	5.2	0.34
地域医療体制の充実	5.6	42.0	22.4	9.8	15.4	4.7	0.11
地域福祉の推進	3.7	38.1	15.9	5.5	31.3	5.5	0.19
高齢者福祉の推進	2.9	38.6	15.8	6.8	31.0	5.0	0.15
障害者福祉の推進	3.3	34.1	12.0	5.2	40.3	5.1	0.18

◆<教育・文化>に関すること

「生きる力」を育む学校教育の推進	3.7	33.2	11.1	2.7	43.8	5.5	0.24
家庭・地域・学校の連携による教育力の向上	3.8	33.2	14.9	2.8	39.6	5.6	0.20
生涯学習の推進	2.9	35.2	14.3	2.2	39.9	5.6	0.22
郷土の歴史・文化の継承と活用	6.6	43.3	11.0	2.0	32.0	5.1	0.42
スポーツ・レクリエーションの推進	3.8	39.5	12.9	1.9	36.7	5.2	0.30

◆<産業振興>に関すること

農地の保全・活用と安定した農業経営の支援	2.4	27.4	13.1	5.9	45.7	5.5	0.07
農畜産物の販売流通体制の充実	3.8	33.8	11.0	2.8	42.9	5.7	0.25
商工業の振興	3.2	29.0	14.6	5.9	41.8	5.5	0.09
観光資源の整備と活用	3.7	32.7	15.3	5.0	37.3	6.0	0.15
就労環境の整備	1.7	25.7	19.5	6.5	40.3	6.4	-0.03

満足度 (%)					無回答 (%)	満足度(点数)
満足である	まあ満足である	やや不満である	不満である	わからない		

◆<暮らし・環境>に関すること

災害に強い防災体制の推進	4.7	39.1	15.8	4.5	30.2	5.7	0.24
消防・救急体制の充実	9.3	44.2	12.4	5.5	23.4	5.2	0.40
防犯・空き家対策の推進	2.2	27.8	21.1	7.9	35.3	5.7	-0.05
地域コミュニティの推進	3.2	36.8	16.9	3.1	34.3	5.7	0.20
自然・生活環境の保全	4.1	42.3	12.6	4.1	31.5	5.5	0.30
環境衛生の推進	7.3	41.8	12.1	3.9	29.4	5.5	0.36

◆<都市・生活基盤>に関すること

良好な市街地・住環境形成の推進	5.1	42.3	16.8	5.2	24.6	6.0	0.25
水の安定供給と下水処理の適正化	13.4	42.7	11.6	7.0	19.7	5.6	0.44
自然・文化を生かした景観形成	4.5	42.8	14.4	3.9	28.7	5.7	0.29
治水対策の推進	4.6	37.1	12.2	2.8	37.3	6.0	0.28
道路・交通環境整備の推進	4.3	37.2	23.7	12.4	17.5	5.0	-0.03
公共交通の維持確保と交通安全の推進	5.5	35.3	22.3	12.1	19.4	5.5	0.00

◆<協働・行政経営>に関すること

人権・個性が尊重される社会の実現	3.3	37.1	12.7	3.8	37.5	5.6	0.23
男女共同参画の実現	2.5	33.5	15.0	3.3	40.3	5.4	0.17
情報発信・共有の推進	2.8	37.5	16.6	4.1	33.8	5.4	0.18
市民との協働・交流の推進	1.8	34.4	14.8	2.7	41.1	5.2	0.18
行財政運営の推進	1.9	31.7	13.2	4.3	43.6	5.2	0.14

### 3. 自由記入欄（まちづくり全般について）

これからの深谷市のまちづくりについて、ご意見などがありましたら自由にお書き下さい。

### 4. 最後に、あなた自身のことについておたずねします。

次のア～ウについて、あてはまる番号に○をつけてください。

ア. 性別	1	男性	40.1%	2	女性	52.7%	3	回答しない	7.1%
イ. 年齢（無回答 2.2%）	1	10 歳代	1.4%	2	20 歳代	7.1%	3	30 歳代	10.3%
	4	40 歳代	20.4%	5	50 歳代	15.4%	6	60 歳代	21.3%
	7	70 歳以上	21.9%						
ウ. お住まいの地区 （公民館の区域） （無回答 2.3%）	1	深谷地区	22.5%	2	藤沢地区	6.5%	3	幡羅地区	12.9%
	4	明戸地区	2.0%	5	大寄地区	3.1%	6	八基地区	2.3%
	7	豊里地区	3.4%	8	上柴地区	10.8%	9	南地区	6.8%
	10	岡部地区	11.7%	11	川本地区	7.9%	12	花園地区	7.8%